

真庭市が出資する法人の 経営状況を説明する書類

令和8(2026)年9月 真庭市議会定例会
真 庭 市

【目 次】

1. 対象法人一覧表	P3
2. 根拠法令等	P4
3. 第三セクター評価まとめ	P8
4. 第三セクター経営状況一覧表	P12
5. 法人の経営状況を説明する書類 第三セクター経営状況（公表用）	P13
6. 法人の経営状況を説明する書類	
・ 一般社団法人 蒜山農業公社	P21
・ 公益財団法人 真庭エスパス文化振興財団	P78
・ 公益財団法人 真庭スポーツ振興財団	P119
・ 有限会社 醍醐の里	P177
・ 株式会社 アストピア蒜山	P194
・ 株式会社 グリーンピア蒜山	P239
・ 株式会社 グリーنز	P261
・ まにわっと電力 株式会社	P278

【対象法人一覧表】

令和8年8月1日現在

No.	法 人 名	資本金等	出資比率 (出資額)	真庭市所管課
1	一般社団法人 蒜山農業公社 (蒜山堆肥センター指定管理者)	45,000千円	77.8% (35,000千円)	産業観光部 農業振興課 蒜山振興局 地域振興課
2	公益財団法人 真庭エスパス文化振興財団 (久世エスパスセンター・地域情報化施設指定管理者)	100,000千円	100.0% (100,000千円)	生活環境部 スポーツ・文化振興課
3	公益財団法人 真庭スポーツ振興財団 (落合総合公園・北町公園・宮芝公園・真庭やまびこ公園・勝山健康増進施設水夢指定管理者)	15,000千円	100.0% (15,000千円)	生活環境部 スポーツ・文化振興課
4	有限会社 醍醐の里 (道の駅醍醐の里指定管理者)	7,800千円	25.6% (2,000千円)	産業観光部 産業政策課 落合振興局 地域振興課
5	株式会社 アストピア蒜山 (津黒高原観光施設等指定管理者)	62,650千円	99.8% (62,550千円)	産業観光部 産業政策課 蒜山振興局 地域振興課
6	株式会社 グリーンピア蒜山 (風の家・ベアバレー等指定管理者)	36,250千円	66.2% (24,000千円)	産業観光部 産業政策課 蒜山振興局 地域振興課
7	株式会社 グリーنز (蒜山観光文化発信拠点施設指定管理者)	5,000千円	15.0% (750千円) ※ 30.0% (1,500千円)	産業観光部 産業政策課 蒜山振興局 地域振興課
8	まにわっと電力 株式会社	40,000千円	51.0% (20,400千円)	産業観光部 地域エネルギー政策課

※ 株式会社グリーنزの出資比率下段は、株式会社グリーンピア蒜山の出資額を合算して計算したもの。市からグリーンピア蒜山に対する出資比率が50%以上であるため。(地方自治法施行令第152条第2項)

○地方自治法（抜粋）

（予算の執行に関する長の調査権等）

第二百二十一条 普通地方公共団体の長は、予算の執行の適正を期するため、委員会若しくは委員又はこれらの管理に属する機関で権限を有するものに対して、収入及び支出の実績若しくは見込みについて報告を徴し、予算の執行状況を実地について調査し、又はその結果に基づいて必要な措置を講ずべきことを求めることができる。

2 普通地方公共団体の長は、予算の執行の適正を期するため、工事の請負契約者、物品の納入者、補助金、交付金、貸付金等の交付若しくは貸付けを受けた者（補助金、交付金、貸付金等の終局の受領者を含む。）又は調査、試験、研究等の委託を受けた者に対して、その状況を調査し、又は報告を徴することができる。

3 前二項の規定は、普通地方公共団体が出資している法人で政令で定めるもの、普通地方公共団体が借入金の元金若しくは利子の支払を保証し、又は損失補償を行う等その者のために債務を負担している法人で政令で定めるもの及び普通地方公共団体が受益権を有する信託で政令で定めるものの受託者にこれを準用する。

（財政状況の公表等）

第二百四十三条の三 普通地方公共団体の長は、条例の定めるところにより、毎年二回以上歳入歳出予算の執行状況並びに財産、地方債及び一時借入金の現在高その他財政に関する事項を住民に公表しなければならない。

2 普通地方公共団体の長は、第二百二十一条第三項の法人について、毎事業年度、政令で定めるその経営状況を説明する書類を作成し、これを次の議会に提出しなければならない。

3 普通地方公共団体の長は、第二百二十一条第三項の信託について、信託契約に定める計算期ごとに、当該信託に係る事務の処理状況を説明する政令で定める書類を作成し、これを次の議会に提出しなければならない。

○地方自治法施行令（抜粋）

（普通地方公共団体の長の調査等の対象となる法人等の範囲）

第百五十二条 地方自治法第二百二十一条第三項に規定する普通地方公共団体が出資している法人で政令で定めるものは、次に掲げる法人とする。

一 当該普通地方公共団体が設立した地方住宅供給公社、地方道路公社、土地開発公社及び地方独立行政法人

二 当該普通地方公共団体が資本金、基本金その他これらに準ずるものの二分の一以上を出資している一般社団法人及び一般財団法人並びに株式会社

三 当該普通地方公共団体が資本金、基本金その他これらに準ずるものの四分の一以上二分の一未満を出資している一般社団法人及び一般財団法人並びに株式会社のうち条例で定めるもの

2 当該普通地方公共団体及び一又は二以上の前項第二号に掲げる法人（この項の規定により同号に掲げる法人とみなされる法人を含む。）が資本金、基本金その他これらに準ずるものの二分の一以上を出資している民法第三十四条の法人及び株式会社は、同号に掲げる法人とみなす。

3 地方自治法第二百二十一条第三項に規定する普通地方公共団体がその者のために債務を負担している法人で政令で定めるものは、当該普通地方公共団体がその者のためにその資本金、基本金その他これらに準ずるものの二分の一に相当する額以上の額の債務を負担している民法第三十四条の法人及び株式会社とする。

4 地方自治法第二百二十一条第三項に規定する普通地方公共団体がその者のために債務を負担している法人で政令で定めるものは、次に掲げる法人とする。

一 当該普通地方公共団体がその者のためにその資本金、基本金その他これらに準ずるものの二分の一に相当する額以上の額の債務を負担している一般社団法人及び一般財団法人並びに株式会社

二 当該普通地方公共団体がその者のためにその資本金、基本金その他これらに準ずるものの四分の一に相当する額以上二分の一に相当する額未満の額の債務を負担している一般社団法人及び一般財団法人並びに株式会社のうち条例で定めるもの

5 地方自治法第二百二十一条第三項に規定する普通地方公共団体が受益権を有する信託で政令で定めるものは、当該普通地方公共団体が受益権を有する不動産の信託とする。

(法人の経営状況等を説明する書類)

第百七十三条 地方自治法第二百四十三条の三第二項に規定する政令で定めるその経営状況を説明する書類は、当該法人の毎事業年度の事業の計画及び決算に関する書類とする。

2 地方自治法第二百四十三条の三第三項に規定する政令で定める書類は、信託契約で定める計算期ごとの事業の計画及び実績に関する書類とする。

第三セクター等の経営健全化等に関する指針 (関係部分抜粋)

第1. 本指針の基本的な考え方

人口減少・少子高齢化、インフラの老朽化等を始めとする現下の社会経済情勢においては、地方公共団体の区域を超えた施策の展開、民間企業の立地が期待できない地域における産業の振興や雇用の確保、公共性、公益性が高い事業の効率的な実施等が強く期待されるところであり、第三セクター等はそれらを実現するための有効な手法となる場合がある。

各地方公共団体におかれては、これらの点を踏まえて、出資（原則として25%以上）を行っている法人、その他経営に実質的に主導的な立場を確保していると認められる法人を対象として、効率化・経営健全化と地域活性化等に資する有意義な活用の両立に取り組まれるよう留意されたい。

第2. 地方公共団体の第三セクター等への関与

2 議会への説明と住民への情報公開

地方公共団体は、議会・住民に対して、第三セクター等の財務書類や将来負担額等を報告・公表することに加え、経営諸指標、地方公共団体が行っている財政的支援等について、分かりやすい説明を行い、理解を得ることが必要である。そのためには、地方公共団体が第三セクター等の経営状況等を一覧できる資料を作成し公表することや、第三セクター等が自ら積極的な情報公開等に取り組むように指導すること等も有効であると考えられる。

(注1)

本指針において、「第三セクター」とは地方公共団体が出資又は出えん（以下単に「出資」という。）を行っている一般社団法人及び一般財団法人（公益社団法人及び公益財団法人を含む。以下同じ。）並びに会社法法人をいい、「地方公社」とは地方住宅供給公社、地方道路公社及び土地開発公社をいうものとする。

第三セクター評価（令和7年度分）

番 号	1	2
法人名	（一社） 蒜山農業公社	（公財） 真庭エスパス文化振興財団
所管課	産業観光部 農業振興課 蒜山振興局 地域振興課	生活環境部 スポーツ・文化振興課
I 事業適否等についての評価	蒜山地域の基幹産業である農業は、近年の耕作放棄地の増加や担い手や後継者不足などにより厳しい状況にあり、農地の管理や農作業の受託を通じて、農地の保全や担い手の育成確保に努めており、事業内容は設立目的と整合している。 蒜山地域の酪農・畜産経営に関わる環境の維持改善は、地域全体の重要な懸案事項である。こうした中、蒜山堆肥センターにおいて良質で安価な有機堆肥の生産販売を行い、耕種農家等のニーズに沿った高付加価値農産物の生産を促進し、環境保全型農業の推進に寄与している。 また、堆肥センターの運営により農業の基本である土づくりに関することで、基幹産業である農畜産業の持続可能性を上げる事業を展開しており、真庭市経済産業ビジョンで示す「回る経済（地域循環型経済）」を推進する役割を担っている。	当財団は、定款に基づく事業を着実に実施し、職員の専門性向上と公益重視した法人運営に努めている。 放送事業（真庭いきいきテレビ）については、市制20周年記念イベントの運営や、市民参加型番組『駆け上がる2026』等の制作を通じ、積極的な情報発信を行った。一方、情報手段の多様化による加入率低下が課題であり、今後は視聴者ニーズの把握と、地域に根ざした番組制作のさらなる充実が求められる。 文化振興事業（エスパスセンター）については、エスパスホールを中心に多彩な事業を実施したほか、北房文化センターや八束コミュニティセンターでの公演開催を通じて市全体への文化の普及を図った。 部活動地域展開への対応として、前年度に続き吹奏楽の実証事業を市から受託した。行政や学校と協議を重ね、令和8年3月に地域クラブ「真庭ウインドアンサンブル」を設立した。今後は運営団体として地域展開をさらに推進されたい。 旧遷喬尋常小学校については、令和10年から計画している保存・修繕工事を見据え、さらなる魅力発信に注力されたい。受託する図書館事業では、市教育委員会と連携し、今後も多様なニーズに応え生涯学習の推進に努められたい。
II 経営状況についての評価	財務指標では、当期利益として、14,697千円を計上している。 これは、市民の生活を守るための道路除草や除雪の作業受託収入等の増加によるところが大きいが、農産物の生産販売も堅調に推移しており、公益性と収益性の両立のため経営の多角化に取り組んでいる。 今後は、新たな販路の拡大やオーロラブラックの特産品化に力を入れて、地域振興の役割を担っていくことを期待する。 堆肥センターの経営については、電気料金等の管理費高騰があるものの、化学肥料の価格高騰の影響で地域の資源循環により製造される良質な有機堆肥が見直されており、堆肥の品質向上と安定生産に一層努め販路の拡大に期待する。	財務指標では、概ね経営状況は良好であると認められる。経常経費に対して公益事業の比率が80.0%となっており、公益性を保っているが、経常損益のマイナスが増加しているため、今後一層経営状況の改善に取り組み、持続的・安定的な経営を行う必要がある。 現在、エスパスセンター・M I T・図書館の各部門とも、積極的に事業に取り組んでいる。真庭市からの受託による地域貢献事業や自主事業を展開しているが、指定管理料に依存しすぎることなく、自立的で持続可能な法人経営ができるよう、事業規模の検討や的確な利用者ニーズの把握、適正な人材配置、事務の効率化による経費の削減など、引き続き財務体質の強化が望まれる。
III 総括	(1) 経営努力を行いつつ存続 法人の設立目的が主に農作業受託など収益性の低い事業であるが、耕作放棄地の減少等にも貢献しており、蒜山地域にとってなくてはならない存在となっている。 近年の肥料価格の高騰などにより、農業経営が益々厳しくなっている状況下で、市内全域に安価で高品質な有機堆肥を普及させ、離農者の抑制等に寄与する役割を果たし、更に市全体で農畜産業の担い手不足が深刻化している中で、農地集約や農作業の効率化、担い手育成などの農畜産業の振興の中核的な役割を担うための体制づくりが急務である。 堆肥センターの機械設備の老朽化による修繕費用の増加が予測されるため、日頃からのメンテナンスや定期的な点検を行い大規模修繕にならないよう経費を最小限に抑える努力が必要である。 また、オーロラブラック・ピオーネ園場を県・市と連携しながら研修の場として活用し、新規就農者の育成に積極的に取り組んでいただきたい。	(1) 経営努力を行いつつ存続 事業内容は良好であり、公益目的事業費率も高い水準を維持している。公益財団法人として地域情報化の推進や文化芸術の振興に真摯に取り組む姿勢は評価できる。一方、近年は物価高騰や人件費の増加が著しく、経営環境は厳しさを増している。これに対応するためには、不要な経費の削減を含めた、これまで以上の徹底した経営努力が求められる。 今後は、企業や各種団体、教育分野との連携を深め、広い視野に立った事業展開や新たな運営手法の導入、人材の育成・確保を多角的に推進し、これらを通じて、真庭市全体の文化振興を牽引する組織へと成長することが求められる。 さらに部活動地域展開を契機として、新たな社会教育や地域人材の発掘、共生社会の推進や多世代交流の場づくりへとつながる取り組みも期待したい。

第三セクター評価（令和7年度分）

番 号	3	4
法人名	（公財） 真庭スポーツ振興財団	（有）醍醐の里
所管課	生活環境部 スポーツ・文化振興課	産業観光部 産業政策課 落合振興局 地域振興課
I 事業 適 否 等 に つ い て の 評 価	当財団は、市内のスポーツ等の普及振興及び体力づくり活動の支援のために必要な事業を行い、市民の心身の健全な発達及び豊かな人間性の涵養に寄与することを目的として設立されている。落合総合公園、久世地内の北町公園・宮芝公園・真庭やまびこ公園、勝山健康増進施設水夢の指定管理者として適正な施設管理運営に努めるとともに、総合型地域スポーツクラブ等との連携により、施設を各種大会・イベント等での施設利用や市民の憩いの場としても幅広く活用し、市民の心身の健全な発達にも寄与するなど、設立目的と合致している。 また、各施設は地域住民が実施するスポーツレクリエーションを通じた交流の場としても利用されており、地域におけるスポーツの振興や健康づくりに貢献している。 市民のスポーツ環境の充実及び健康増進に対する関心は年々高まっており、施設利用者の増加や求められる提供サービスの多様化に対応するため、職員研修・技術向上の研修等により一層のサービスの向上が期待できる。 地域におけるスポーツ施設の管理者として、地域のスポーツ活動、スポーツの振興だけではなく部活動の地域展開など地域課題解決にも寄与していると認められる。	地域物産の生産消費拡大及び情報発信並びに消費者と生産者の交流等を通じ、産業の振興を図ることを目的として設立され、登録生産者の増加、市民生活の向上、地域の活性化への貢献など公共性は高く、設立目的と整合性がある。 地域の農畜産物の流通促進に寄与しており、利用者也市内外、県外と広範囲に及んでいる。また、定年退職後の農業従事や高齢者の生き甲斐対策の一端を担っている。 農畜産生産者の育成、地産地消の安全な食材の提供、地域交流の推進、高齢者の生き甲斐対策など、第三セクターとしての存在意義を果たしている。
II 経 営 状 況 に つ い て の 評 価	主な収入源は、真庭市からの指定管理料で、他の収入についても指定管理で得られる施設利用料や自主事業によるものである。自主事業として、市外のスポーツ活動団体の大会や宿泊・研修等を積極的に誘致してくるなど施設利用の促進や経営健全化への努力もみられる。 また、勝山健康増進施設水夢、久世地内の北町公園・宮芝公園・真庭やまびこ公園、落合総合公園について、一体管理による効率的な管理運営を推進している。 今後、継続した安定経営のため、定期的で開催される理事によるランチミーティング等での意見も参考に、自主事業による収益増加の方向性や経費の見直し等による経営改善も行うことが必要である。さらに、経営状況を分析し改善していくためのスタッフの養成が必要である。	総売上高は6,687万円で前年と比べて減額となつてはいるが（96.5%）、純利益は増加しており約151万円であった。 主な売上は以下の通り ・直売所：3,266万円（予算比97.4%） ・レストラン：1,750万円（予算比102.9%） ・高齢者等給食サービス：642万円（予算比95.8%） 直売所では生産者や地域業者との連携を密にした魅力ある店舗づくりに努めている。 レストランはメニューの変更と価格の見直しを実施し、ニーズにあったメニューづくりを心掛けている。また、タッチパネル式の券売機が定着してきた。 高齢者等給食サービスは令和7年度末をもって休止した。 特定交通安全施設である観光案内所、駐車場、トイレの清掃には清掃人員を雇用するなどの費用は、真庭市からの委託料で賄っている。 物価高騰の影響を受け売上原価増加している中で、前年度に引き続き黒字となったことは評価できる。
III 総 括	(1) 経営努力を行いつつ存続 市民の誰もが個々のライフスタイルに応じて、参加しやすいスポーツ振興事業を実施することで、真庭市のスポーツの拠点施設として集客、交流等をさらに進め、多様化するニーズに対するサービスの向上に一層の工夫と、努力が必要である。 施設管理をしていく中で、子どもから大人まで幅広い層に対しスポーツ教室などを行っている総合型地域スポーツクラブ等と連携し、より一層のスポーツ振興を図り、施設利用率の向上を目指したイベント企画等も行い、HPやSNSなどで広く情報発信し集客力を上げることで、収益アップにつなげることを期待する。 真庭市スポーツ推進計画に沿い、誰もが気軽に楽しくスポーツが出来る環境づくりやスポーツライフ人口の増加に向けた事業展開と併せて効率的な施設運営による健全経営に尽力されたい。 公益財団法人として団体の公益性を高め、さらなる市民から信頼される団体となることを期待する。	(1) 経営努力を行いつつ存続 4年度連続で純利益を計上しており、引き続き経営改善に努めていきたい。 ・直売所・・・生産者や地域業者との連携を密にした魅力ある店舗づくりやスタッフの丁寧で親しみやすい接客が実を結んできた。 ・レストラン・・・新メニューや期間限定メニューにより集客力を高め、リピーターを増している。 ・特定交通安全施設・・・利用者の憩いの場となるような清掃活動を行う。また、施設・設備の老朽化が進んでおり、長期的な視野での修繕計画が必要となっている。

第三セクター評価（令和7年度分）

番 号	5	6
法人名	(株) アストピア蒜山	(株) グリーンピア蒜山
所管課	産業観光部 産業政策課 蒜山振興局 地域振興課	産業観光部 産業政策課 蒜山振興局 地域振興課
I 事業適否等についての評価	地域の観光振興、地域資源の活用による地域活性化及び地域振興を図ることを目的として設立され、津黒高原荘及び蒜山ヒルズ（R7.11休業）の宿泊施設、サイクリングターミナル、快湯館、蒜山高原スポーツ公園、オートキャンプ場、プールなどを管理運営している。 津黒高原荘は周辺の関係団体や施設と連携することで、地域経済面に相乗効果を生み出している。また、快湯館は地域住民が気軽に利用できる憩いの場所、地域外利用者との交流の場として広く親しまれるなど、各施設とも地域資源を生かした運営により、観光客との交流の場、市民と来訪者の心身の健全な発達、健康の保持促進などそれぞれの設立目的と整合している。	地域の特産品や農産物等を販売することにより、地域を活性化するとともに、地域の人々に生きがいの場を提供しており、設立の目的と整合している。また、蒜山地区でも有数の企業に成長し、地域の安定雇用に関しても役割を果たしている。 県下有数の観光地である蒜山高原の中でも、各施設が観光目的地として集客力があり、地域の商工業者や農家などに農産物等の生産や取引等で大きな経済効果が生まれている。 地域内での雇用の創出・確保、事業収益による地域経済への波及効果などから、広く地域経済の循環に貢献している。 特に、地域特産品の一つとなっているそばの生産・加工・販売を行うことで農業振興及び耕作放棄地の減少に寄与しており、第三セクターとしての役割を十分に果たしている。 道の駅風の家は真庭市の北の玄関として情報発信、地域間交流、地域特産物販売等の役割を果たしており、地域振興の拠点として地域のイメージアップに大きく貢献している。
II 経営状況についての評価	経営状況は、純資産が△31,514千円の債務超過となり、引き続き厳しい状況である。売上高は、蒜山ヒルズのホテル休業などで昨年度より減額となり、費用において人件費の削減など経費削減に努めたが当期損益として△13,867千円の赤字決算となった。 主な部門ごとの収支では、蒜山ヒルズ部門ではホテルをR7.11より休業したが、ペーカリー事業を含めたコスト改善が不十分で大幅な赤字となっている。快湯館部門では休業日の発生も含め利用者が減少し赤字額が拡大している。津黒高原荘部門では利用者のニーズに合わせたサービス改善が実を結んで黒字となっている。 各部門について引き続き収支改善のための適正な管理費を意識し、繁忙期及び閑散期に適した労働力配分や目指すサービスなどについて営業計画を改定する必要がある。	繁閑の大きな中、一年を通して各施設を創意工夫し効率的に運営されており、各施設で売り上げを伸ばしている。特にスキー場はリフト利用料金の改定及び12月からの積雪による多客期での営業が可能となり売上増につながっており、全体でも前年を上回る利益を出すなど経営状況は安定している。また、資産の運用など法人として常に利益向上を意識して運営されている。 蒜山地域において複数の観光施設を管理運営し、インスタグラムを中心とした各種広報媒体を積極的に活用して、それぞれの施設が蒜山の特色ある観光施設として、情報発信のみならず利用者のニーズを的確に把握することで満足度の向上に努めている。 加えて、各施設でアンケートを実施するとともにSNSでの投稿等の書き込みにも注視することでニーズの変化に対応し、毎年少しずつサービスレベルを上げて集客サービスの向上に努めている。
III 総括	(3) 再建を行いつつ存続 経営状況を社内でも共有し、社員全員が共通認識の基に提供サービスに対する経費意識をもって危機感を持って経営改善に取り組んでいただきたい。 蒜山ヒルズ部門ではホテルの休業、ペーカリー経営の切り離し、道の駅蒜山高原、自然牧場公園の維持管理に注力し利用者が気持ちよく利用できるようサービスの向上が求められる。 快湯館部門では利用料見直しに合わせ、一層のサービス向上に努め利用者の回復を図るとともに、効率的な人員配置と経費抑制により収支の改善が求められる。 津黒高原荘部門では引き続き利用者のニーズを取り込んだきめ細やかなサービスを継続することで満足度をより高め、収益を伸ばすことが求められる。	(1) 経営努力を行いつつ存続 これまでの経営努力により健全な経営体制を維持している。各施設での収益力を高める為、自社でのクーポン付パンフレットの作成、各施設の行事案内の情報発信など観光客の多様なニーズにきめ細やかに対応しており、引き続き地域経済のけん引役となるような施設づくりを期待する。 今後の課題としては、各施設や設備の老朽化が進んでいるため、修繕及び更新に多額の経費が発生することが予測されることから、経営効率を高めるとともに来客者の満足度を高めるため計画的な維持管理対応が必要である。 引き続き市との連携を密にしながら、現状に満足せず、中長期的な視点とスピード感を持ちつつ、蒜山の観光地域において、中核的な役割を果たしつつ、市全体の観光地域づくりの担い手として事業拡大を期待する。

第三セクター評価（令和7年度分）

番 号	7	8
法人名	(株) グリーンス	まにわっと電力（株）
所管課	産業観光部 産業政策課 蒜山振興局 地域振興課	産業観光部 地域エネルギー政策課
I 事業 適 否 等 に つ い て の 評 価	真庭市の観光振興と地域文化の向上を図るため設置された真庭市蒜山観光文化発信拠点施設の管理及び運営に関する業務を実施し、蒜山の観光及び地域資源に熟知した地域事業者と地域内外の事業者との連携を補佐することや、蒜山地域の地域価値の向上を目的に設立されており、同施設の管理及び運営に関する業務を実施しており、真庭市の観光の振興と市民と地域を訪れる人々の交流に寄与していると認められ、設立目的と整合性がある。 また、GREENableブランドにふさわしい商品を販売することで、自然と共生する真庭のイメージを高め、「蒜山ミュージアム」においては文化的、芸術的要素を情報発信しており、多様な客層が訪れる施設として貢献しており、地域内の他施設への周遊効果も認められる。	本事業は、電力取次事業により得た収益を地域に還元し、地域課題の解決や地域活性化を図ることを目的とするものであり、地域内に資金を循環させる仕組みを構築する点で意義が大きい。需要家に対しても、従来契約と比較した電力コスト削減を提案・実現することで、経済的効果を生み出し、地域経済への波及が期待できる。 県内には類似の地域新電力会社も存在し、一定の競争環境はあるものの、三セクとして地域密着型の事業展開が可能である点は強みである。また、自治体単独では困難であった電力分野での資金獲得と地域還元の仕組みを担う役割を果たしており、存在意義は大きい。 さらに、利益活用について株主間で積極的な議論が行われていることから、公益性・地域貢献性も高いと評価できる。 以上を踏まえ、本事業は妥当であり、今後も効果的な運営を継続することが適当である。
II 経 営 状 況 に つ い て の 評 価	森の芸術祭開催に伴う集客効果が薄れ、売店売上高は減少したが、業務受託収入の増加、販売・一般管理費の削減により経常利益、当期利益とも増加しており、人件費や物価高騰による管理費等への影響を最小限に抑えており、引き続き経営の安定化を図っていくことを期待する。 また、関係事業者と連携して蒜山の自然環境イメージを活かした商品の開発及び販売を行うと共に天候に左右されない誘客施設である「蒜山ミュージアム」の集客力をより高めるために、GREENableブランド商品の魅力向上及びミュージアムの展覧会などの情報発信をより一層充実させて経営の安定化に努めることが求められる。	経営状況については、固定資産を必要最低限に抑え、資産の大半を現金及び売掛金で構成するなど、軽量で機動的な財務体質となっている。一方で、負債は主に買掛金であり、過度な借入に依存しない健全な財務構造であると評価できるが、事業の安定化に向けては、着実な収益確保により現金を積み上げていくことが重要である。 事業活動については、販売費及び一般管理費は事務所開設に伴い増加しており、当期純利益率も0.8%と低水準にとどまっているため、今後は売上の拡大と費用の適正化を図る必要がある。現時点で経営状況は概ね良好であるが、収益性の向上に向けた継続的な取組が求められる。
III 総 括	(1) 経営努力を行いつつ存続 蒜山地域の豊かな自然や歴史、文化を活用しながら、国内外からの観光客の来訪及び滞在を促進させ、地域間交流を図り、また「自然共生×洗練」の統一コンセプトの下にGREENableというコミュニティブランドを真庭市外の企業・地域も含めた共通ブランドとして確立し、拡大していくための拠点施設としての役割を担うための体制強化を期待する。 自立経営に向けた経営基盤を確保するため、施設来訪者の分析により来訪傾向を把握し来訪者数の回復・拡大のための方策を実施するとともに、今後更に収益増につながる商品・リピーター獲得につながるイベント企画の充実・情報の発信強化に注力することが必要である。	(1) 経営努力を行いつつ存続 株主、経営陣及び市が、地域への貢献という共通目標のもと連携し、協力体制を構築した第1期であった。事業の性質上、電力小売の取次は売上規模に比して利益率が低い構造にあるが、安定的な収益確保に向けた基盤づくりは進んでいる。 今後は、引き続き高圧・大口需要家との契約拡大に努めるとともに、新たな収益源の確保に向けた事業分野の拡大を検討し、持続可能な経営の確立を図る必要がある。

令和7年度真庭市第三セクター決算状況一覧表

aa

令和8年8月1日作成【上段（ ）書は昨年実績】

(単位：千円)

No	1	2	3	4	5	6	7	8		
第三セクター名称	一般社団法人 蒜山農業公社	公益財団法人 真庭エスパス 文化振興財団	公益財団法人 真庭スポーツ振 興財団	有限会社 醍醐の里	株式会社 アストピア 蒜山	株式会社 グリーンピア 蒜山	株式会社 グリーンズ	株式会社 まにわっと電力	合計	備考
期末資産合計	(107,613) 121,612	(402,656) 396,358	(68,184) 81,902	(68,432) 69,940	(115,827) 96,451	(340,466) 357,714	(23,951) 27,443	113,946	(1,127,129) 1,265,366	
総収入	(76,875) 84,257	(444,321) 453,149	(214,700) 214,181	(69,522) 67,767	(185,908) 171,688	(645,407) 676,294	(46,065) 43,687	179,606	(1,682,798) 1,890,636	
当期正味財産増減額・当期損益	(12,063) 14,697	(▲2,956) ▲7,523	(13,513) 11,610	(163) 1,516	(▲35,705) ▲13,867	(11,015) 21,686	(1,635) 2,404	1,439	(▲272) 31,962	○社団財団は「当期正味財産増減額」、株式会社等は「当期損益」プラス→「黒字法人」、マイナス→「赤字法人」
正味財産期末残高・純資産 (A)	(93,525) 108,222	(382,416) 374,893	(41,609) 53,218	(36,856) 38,372	(▲17,646) ▲31,514	(286,418) 306,291	(11,886) 14,290	41,439	(835,064) 905,211	○社団財団は「正味財産期末残高」、株式会社等は「純資産」
基本財産等	基本財産（財団法人、社団法人、公益法人）	45,000	100,000	15,000					160,000	
	指定正味財産の期末残高 (B)	0	0	0					0	
	資本金 (C)				7,800	62,650	36,250	5,000	40,000	151,700
	市出資金	35,000	100,000	15,000	2,000	62,550	24,000	1,500	20,400	260,450
	出資割合 (%)	77.8%	100.0%	100.0%	25.6%	99.8%	66.2%	30.0%	51.0%	83.6%
一般正味財産・利益剰余金 (A)-(B)-(C)		(93,525) 108,222	(382,416) 374,893	(41,609) 53,218	(29,056) 30,572	(▲80,296) ▲94,164	(250,168) 270,041	(6,886) 9,290	1,439	(723,364) 753,511
市の関与	補助金・会費・委託料等	(46,699) 53,464	(76,380) 79,514	(11,579) 22,889	(3,600) 3,615	(3,691) 3,320	(428) 478	(7,124) 9,618		(149,501) 172,898
	指定管理料	(12,000) 12,000	(82,478) 82,612	(135,553) 128,299		(24,428) 24,428		(11,805) 11,805		(266,264) 259,144
	真庭市への施設納付金・株主配当金・清算等		(50,673) 48,562		(182) 182		(3,550) 3,550			(54,405) 52,294
	損失補償等	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	

監括
(1) 経営努力を行いつつ存続
(2) 事業内容等の見直しを行った上で存続
(3) 再建を行いつつ存続
(4) 廃止、又は完全民営化、若しくは事業の民間譲渡
(5) その他(再編等)

真庭市第三セクター経営状況（公表用）

1 作成年月日及び作成担当部署									
作成年月日		令和 8 年 6 月 26 日							
作成担当部署		真庭市役所 蒜山 振興局 地域振興 課							
2 第三セクター名等									
第三セクター名		一般社団法人蒜山農業公社							
第三セクター所在地		〒 717-0505 真庭市 蒜山上長田449番地6			電話番号(0867) 44-1151				
設立年月日		平成 12 年 4 月 6 日 ホームページアドレス: http://hiruzen-nougyo.com/							
3 資本金									
		45,000 千円		(真庭市の出資割合) 77.8 %					
4 事業内容									
(1) 農地所有者代理事業		(4) 農業生産基盤整備の推進							
(2) 農地売買等事業、研修等事業		(5) 地域特産物の開発、販売促進							
(3) 農作業の受委託、経営体育成及び強化		(6) その他法人の目的を達成するために必要な事業							
5 財務状況 事業年度 (令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日)									
貸借対照表から	項目	金額(千円)			損益計算書から	項目	金額(千円)		
		前々年度	前年度	本年度			前々年度	前年度	本年度
	総資産	89,359	107,613	121,162		総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	45,340	76,875	84,257
	負債	7,897	14,088	12,940		(うち地方公共団体からの補助金・委託金)	23,278	55,199	61,964
	(うち有利子負債)	0	0	0		経常損益	1,845	18,928	20,362
	純資産	81,462	93,525	108,222		当期損益	576	12,063	14,697
	利益剰余金	81,462	93,525	108,222		減価償却前当期損益	803	13,874	15,987
6 役職員の状況									
役員数(うち地方公共団体出向者・退職者)		役員平均年齢	役員の平均年収(千円)	職員数(うち地方公共団体出向者・退職者)	職員平均年齢	職員の平均年収(千円)			
7(3)		67	88	6(0)	60	2,670			
7 第三セクターへの関与の状況									
(1)公的支援(フロー)									
項目		金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)				
		前々年度	前年度	本年度					
①	補助金(助成金)								
②	利子補給金								
③	税の減免額								
④	その他(年会費)	3,500	3,500	3,500	真庭市出資金の1割				
小計		3,500	3,500	3,500	-				
⑤	損失補償契約に伴う金利軽減額								
⑥	出資金、低利貸付等に伴う機会費用								
小計		0	0	0	-				
合計		3,500	3,500	3,500					
(参考)									
指定管理料 (または施設納付金)		8,460	12,000	12,000	指定管理料12,000千円				
委託料 (指定管理料を除く)		14,818	43,199	49,964	除雪業務委託47,947千円、除草業務委託2,017千円				
(2)公的支援(ストック)									
項目		金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)				
		前々年度	前年度	本年度					
①	損失補償契約に係る債務残高								
	(将来負担額)	()	()	()					
	(将来負担算入率)	()	()	()					
②	貸付金残高								
③	出資金	35,000	35,000	35,000					
合計		35,000	35,000	35,000	-				
8 真庭市による監査結果									
9 真庭市による点検評価の結果									
経営状況についての予備的診断における評価		A		A:経営努力を行いつつ事業は継続 B:事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要 C:深刻な経営難の状況にあり、経営の観点から事業の存続も含めた検討が必要					
今後の方向性	ア	ア:経営努力を行いつつ現状のまま存続 イ:事業内容等の見直しを行った上で存続 ウ:再建を行いつつ存続 エ:廃止、又は完全民営化、若しくは事業の民間譲渡 オ:その他()							
(今後の方向性に関するコメント、克服すべき課題等)									
市全体の農業振興の中核的な役割を担うための人材確保及び育成に努め体制強化を図るとともに、新規就農者の育成に積極的に取り組むことを期待する。									
(その他)									
オーロラブラックの生産が軌道に乗り、今後の品質向上と収量増が期待されている。また、堆肥の安定生産、品質向上に一層努め、それぞれ販売先の開拓に努めることを期待する。									
10 その他の特記事項									

○一般社団法人及び一般財団法人並びに公益社団法人及び公益財団法人については、「5. 財務状況」の記入に当たって下記のとおり公益法人会計基準に読み替えること。

<貸借対照表>

・「純資産」→「正味財産合計」
・「利益剰余金」→「一般正味財産」

<損益計算書>

・「損益計算書」→「正味財産増減計算書」
・総収入「=売上高+営業外収益+特別利益」→「=経常収益+経常外収益+当期指定正味財産増加額」
・「経常損益」→「当期経常増減額」・「当期損益」→「当期一般正味財産増減額」

真庭市第三セクター経営状況（公表用）

1 作成年月日及び作成担当部署									
作成年月日		令和 8 年 6 月 26 日							
作成担当部署		真庭市役所 生活環境 部 スポーツ・文化振興 課							
2 第三セクター名等									
第三セクター名		公益財団法人 真庭エスパス文化振興財団							
第三セクター所在地		〒 719-3214 真庭市 鍋屋17-1		電話番号(0867) 42-7000					
設立年月日		平成 9 年 1 月 6 日		ホームページアドレス : http:// k u s e - e s p a c e . j p					
3 資本金									
100,000 千円		(真庭市の出資割合) 100 %							
4 事業内容									
(1) 地域情報化の推進に関する事業		(4) 図書、記録等を収集、整理、保管して利用者の閲覧に供する事業							
(2) 芸術文化の振興に関する事業		(5) 公益目的事業の推進に資するための収益事業							
(3) 文化財の保存、活用に関する事業									
5 財務状況 事業年度 (令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日)									
貸借対照表から	項目	金額 (千円)			損益計算書から	項目	金額 (千円)		
		前々年度	前年度	本年度			前々年度	前年度	本年度
	総資産	411,953	402,656	396,358		総収入 (=売上高+営業外収益+特別利益)	457,996	444,321	453,149
	負債	26,581	20,240	21,466		(うち地方公共団体からの補助金・委託金)	168,572	158,858	164,318
	(うち有利子負債)	0	0	0		経常損益	22,881	▲ 2,956	▲ 7,421
	純資産	385,372	382,416	374,893		当期損益	22,881	▲ 2,956	▲ 7,523
	利益剰余金	385,372	382,416	374,893		減価償却前当期損益	30,447	4,757	▲ 807
6 役職員の状況									
役員数 (うち地方公共団体出向者・退職者)		役員平均年齢	役員の平均年収 (千円)	職員数 (うち地方公共団体出向者・退職者)		職員平均年齢	職員の平均年収 (千円)		
26(9)		70	255	31		43.81	4,803		
7 第三セクターへの関与の状況									
(1)公的支援 (フロー)									
項目		金額 (千円)			備考 (目的、内容、算出根拠等)				
		前々年度	前年度	本年度					
①	補助金 (助成金)	5,772	965	4,324	地域の文化・芸術活動助成金 (地域創造)、文化芸術応援事業補助金 (真庭市)				
②	利子補給金								
③	税の減免額								
④	その他 (年会費・)								
小計		5,772	965	4,324	-				
⑤	損失補償契約に伴う金利軽減額								
⑥	出資金、低利貸付等に伴う機会費用								
小計		0	0	0	-				
合計		5,772	965	4,324					
(参考)		指定管理料	83,260	82,478	82,612	エスパス指定管理料82,612千円			
		施設納付金	51,284	50,673	48,562	地域情報化施設 (真庭ひかりネットワーク) 施設納付金48,562千円			
		委託料 (指定管理料を除く)	84,093	75,415	77,382	図書館委託25,499千円、その他(広報紙制作委託等)51,883千円			
(2)公的支援 (ストック)									
項目		金額 (千円)			備考 (目的、内容、算出根拠等)				
		前々年度	前年度	本年度					
①	損失補償契約に係る債務残高								
	(将来負担額)	()	()	()					
	(将来負担算入率)	()	()	()					
②	貸付金残高								
③	出資金	100,000	100,000	100,000					
合計		100,000	100,000	100,000	-				
8 真庭市による監査結果									
令和7年度監査結果による指摘事項・検討事項は特になし。									
9 真庭市による点検評価の結果									
経営状況についての予備的診断における評価		A	A : 経営努力を行いつつ事業は継続 B : 事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要 C : 深刻な経営難の状況にあり、経営の観点から事業の存続も含めた検討が必要						
今後の方向性	ア	ア : 経営努力を行いつつ現状のまま存続 イ : 事業内容等の見直しを行った上で存続 ウ : 再建を行いつつ存続 エ : 廃止、又は完全民営化、若しくは事業の民間譲渡 オ : その他 ()							
(今後の方向性に関するコメント、克服すべき課題等)									
引き続き経営努力は行いつつ、真庭市全体の地域情報化、文化芸術活動を推進する組織として、市や地域と連携しながら事業の充実を図る必要がある。									
(その他)									
施設の老朽化への対策を長期的視点で計画的に行っていく必要がある。									
10 その他の特記事項									

○一般社団法人及び一般財団法人並びに公益社団法人及び公益財団法人については、「5. 財務状況」の記入に当たって下記のとおり公益法人会計基準に読み替えること。

<貸借対照表>

- ・「純資産」→「正味財産合計」
- ・「利益剰余金」→「一般正味財産」

<損益計算書>

- ・「損益計算書」→「正味財産増減計算書」
- ・総収入「= 売上高 + 営業外収益 + 特別利益」→「= 経常収益 + 経常外収益 + 当期指定正味財産増加額」
- ・「経常損益」→「当期経常増減額」・「当期損益」→「当期一般正味財産増減額」

真庭市第三セクター経営状況（公表用）

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日	令和 8 年 6 月 26 日
作成担当部署	真庭市 生活環境部 スポーツ・文化振興 課

2 第三セクター名等

第三セクター名	公益財団法人 真庭スポーツ振興財団		
第三セクター所在地	〒 719-3143	真庭市 下市瀬586-3	電話番号(0867) 52-5905
設立年月日	令和 元 年 5 月 24 日	ホームページアドレス http://www.maniwa-sports.net/	

3 資本金

15,000 千円	(真庭市の出資割合) 100 %
-----------	------------------

4 事業内容

公益事業		収益事業	
(1)	スポーツの振興に関する事業	(4)	飲食物品の販売に関する事業
(2)	スポーツによる健康の保持及び増進に関する事業	(5)	公益目的以外の施設貸与事業
(3)	真庭市から受託するスポーツ施設の管理運営及び利用促進に関する事業	(6)	合宿誘致に関する事業
		(7)	その他この法人の目的を達成するために必要な事業

5 財務状況 事業年度 (令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日)

貸借対照表から	項目	金額（千円）			損益計算書から	項目	金額（千円）		
		前々年度	前年度	本年度			前々年度	前年度	本年度
	総資産	51,757	68,184	81,902		総収入（＝売上高＋営業外収益＋特別利益）	196,214	214,700	214,181
	負債	23,662	26,575	28,684		（うち地方公共団体からの補助金・委託金）	130,552	148,332	151,188
	（うち有利子負債）	0				経常損益	4,210	14,089	12,835
	純資産	28,096	41,609	53,218		当期損益	4,210	13,513	11,610
	利益剰余金	13,096	16,109	18,218		減価償却前当期損益	4,725	15,288	14,683

6 役職員の状況

役員数（うち地方公共団体出向者・退職者）	役員平均年齢	役員の平均年収（千円）	職員数（うち地方公共団体出向者・退職者）	職員平均年齢	職員の平均年収（千円）
21（0）	61	-	30（0）	53.43	2,544

7 第三セクターへの関与の状況

(1) 公的支援（フロー）

項目		金額（千円）			備考（目的、内容、算出根拠等）
		前々年度	前年度	本年度	
①	補助金（助成金）	1,285	1,280	465	真庭市体育振興組織活動事業補助金465千円
②	利子補給金				
③	税の減免額				
④	その他（年会費・）				
小計		1,285	1,280	465	-
⑤	損失補償契約に伴う金利軽減額				
⑥	出資金、低利貸付等に伴う機会費用				
小計		0	0	0	-
合計		1,285	1,280	465	

(参考)	指定管理料（または施設納付金）	122,504	135,553	128,299	指定管理料128,299千円
	委託料（指定管理料を除く）	8,048	11,499	22,424	旧久世高校体育館等管理業務9,804千円、地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業3,158千円 他

(2) 公的支援（ストック）

項目		金額（千円）			備考（目的、内容、算出根拠等）
		前々年度	前年度	本年度	
①	損失補償契約に係る債務残高				
	（将来負担額）	()	()	()	
	（将来負担算入率）	()	()	()	
②	貸付金残高				
③	出資金	15,000	15,000	15,000	
合計		15,000	15,000	15,000	-

8 真庭市による監査結果

--

9 真庭市による点検評価の結果

経営状況についての予備的診断における評価		A	A：経営努力を行いつつ事業は継続 B：事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要 C：深刻な経営難の状況にあり、経営の観点から事業の存続も含めた検討が必要
今後の方向性	ア	ア：経営努力を行いつつ現状のまま存続　イ：事業内容等の見直しを行った上で存続　ウ：再建を行いつつ存続　エ：廃止、又は完全民営化、若しくは事業の民間譲渡　オ：その他（　　）	
（今後の方向性に関するコメント、克服すべき課題等） 公益性を重視し、スタッフの育成をしながら健全経営を継続していく。			
（その他） 真庭市民誰もが気軽に楽しむことが出来るスポーツ環境の提供と当面の真庭市南部施設の一体管理により効率的な管理運営を目指す。			

10 その他の特記事項

--

○一般社団法人及び一般財団法人並びに公益社団法人及び公益財団法人については、「５．財務状況」の記入に当たって下記のとおり公益法人会計基準に読み替えること。

<貸借対照表>

- ・「純資産」→「正味財産合計」
- ・「利益剰余金」→「一般正味財産」

<損益計算書>

- ・「損益計算書」→「正味財産増減計算書」
- ・総収入「＝売上高＋営業外収益＋特別利益」→「＝経常収益＋経常外収益＋当期指定正味財産増加額」
- ・「経常損益」→「当期経常増減額」・「当期損益」→「当期一般正味財産増減額」

真庭市第三セクター経営状況(公表用)

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日	令和 8 年 6 月 29 日
作成担当部署	真庭市役所 落合 振興局 地域振興 課

2 第三セクター名等

第三セクター名	有限会社 醍醐の里		
第三セクター所在地	〒 719-3152	真庭市 鹿田391番地1	電話番号(0867) 52-8040
設立年月日	平成 13 年 8 月 23 日	ホームページアドレス: http:// www.daigonosato.jp/	

3 資本金

7,800 千円	(真庭市の出資割合) 25.6 %
----------	-------------------

4 事業内容

(1) 農畜産物、林産物及び加工品・特産品の展示販売	(4) イベント等出展者への施設賃貸業務
(2) 食料品の展示販売及び受託販売業務	(5) 公共団体所有に係わる土地及び施設の管理運営の受託
(3) 料理、飲食に関する業務	

5 財務状況 事業年度 (令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日)

貸借対照表から	項目	金額(千円)			損益計算書から	項目	金額(千円)		
		前々年度	前年度	本年度			前々年度	前年度	本年度
	総資産	56,535	68,432	69,940		総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	69,785	69,522	67,767
	負債	19,842	31,576	31,568		(うち地方公共団体からの補助金・委託金)	3,500	3,600	3,615
	(うち有利子負債)	0	14,500	10,500		経常損益	1,540	234	1,688
	純資産	36,693	36,856	38,372		当期損益	1,469	163	1,516
	利益剰余金	28,893	29,056	30,572		減価償却前当期損益	2,089	1,352	3,008

6 役職員の状況

役員数(うち地方公共団体出向者・退職者)	役員平均年齢	役員の平均年収(千円)	職員数(うち地方公共団体出向者・退職者)	職員平均年齢	職員の平均年収(千円)
5(0)	69	192	21(0)	57	1,452

7 第三セクターへの関与の状況

(1) 公的支援(フロー)

項目		金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
		前々年度	前年度	本年度	
①	補助金(助成金)				
②	利子補給金				
③	税の減免額				
④	その他(年会費・)				
小計		0	0	0	-
⑤	損失補償契約に伴う金利軽減額				
⑥	出資金、低利貸付等に伴う機会費用				
小計		0	0	0	-
合計		0	0	0	

(参考)	指定管理料(または施設納付金)	450	200	200	施設納付金200千円
	委託料(指定管理料を除く)	3,500	3,600	3,615	駅舎管理委託3,615千円

(2) 公的支援(ストック)

項目		金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
		前々年度	前年度	本年度	
①	損失補償契約に係る債務残高				
	(将来負担額)	()	()	()	
	(将来負担算入率)	()	()	()	
②	貸付金残高				
③	出資金	2,000	2,000	2,000	
合計		2,000	2,000	2,000	-

8 真庭市による監査結果

--

9 真庭市による点検評価の結果

経営状況についての予備的診断における評価		A	A:経営努力を行いつつ事業は継続 B:事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要 C:深刻な経営難の状況にあり、経営の観点から事業の存続も含めた検討が必要
今後の方向性	ア	ア:経営努力を行いつつ現状のまま存続 イ:事業内容等の見直しを行った上で存続 ウ:再建を行いつつ存続 エ:廃止、又は完全民営化、若しくは事業の民間譲渡 オ:その他()	
(今後の方向性に関するコメント、克服すべき課題等)			
利用者に気持ちよく利用していただくよう施設の美化、SNS・ホームページ等での情報発信を強化する必要がある。			
(その他)			
施設や設備が老朽化しているため、修繕や備品・機器の更新を今後も引き続き行っていく必要がある。			

10 その他の特記事項

--

○一般社団法人及び一般財団法人並びに公益社団法人及び公益財団法人については、「5. 財務状況」の記入に当たって下記のとおり公益法人会計基準に読み替えること。

<貸借対照表>

・「純資産」→「正味財産合計」
・「利益剰余金」→「一般正味財産」

<損益計算書>

・「損益計算書」→「正味財産増減計算書」
・総収入「=売上高+営業外収益+特別利益」→「=経常収益+経常外収益+当期指定正味財産増加額」
・「経常損益」→「当期経常増減額」・「当期損益」→「当期一般正味財産増減額」

真庭市第三セクター経営状況（公表用）

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日	令和 8 年 6 月 26 日
作成担当部署	真庭市役所 蒜山 振興局 地域振興 課

2 第三セクター名等

第三セクター名	株式会社アストピア蒜山		
第三セクター所在地	〒 717-0505	真庭市 蒜山上長田2300番地1	電話番号(0867) 66-2155
設立年月日	平成 8 年 4 月 1 日	ホームページアドレス: http://	info@asutopia.com

3 資本金

62,650 千円	(真庭市の出資割合) 99.8 %
-----------	-------------------

4 事業内容

(1) 農林水産物の加工及び販売	(4) 市営施設等公共施設の管理運営受託
(2) 飲食物、観光土産物品及びスポーツ用品の販売	(5) 市道及び農道の草刈り、除雪等の管理業務の受託
(3) 宿泊施設、食堂、喫茶店及びスポーツ施設の経営	(6) 不動産の売買、賃貸借、管理及び仲介業務

5 財務状況

事業年度		(令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日)		
貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		前々年度	前年度	本年度
	総資産	46,323	115,827	96,451
	負債	28,265	133,474	127,965
	(うち有利子負債)	18,096	113,376	109,524
損益計算書から	純資産	18,058	▲ 17,646	▲ 31,514
	利益剰余金	▲ 44,592	▲ 80,296	▲ 94,164
損益計算書から	項目	金額(千円)		
		前々年度	前年度	本年度
	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	159,568	185,908	171,688
	(うち地方公共団体からの補助金・委託金)	31,000	25,562	25,225
	経常損益	▲ 11,916	▲ 35,554	▲ 13,685
減価償却前当期損益	当期損益	▲ 12,099	▲ 35,705	▲ 13,867
	減価償却前当期損益	▲ 11,178	▲ 24,615	▲ 2,777

6 役職員の状況

役員数(うち地方公共団体出向者・退職者)	役員平均年齢	役員の平均年収(千円)	職員数(うち地方公共団体出向者・退職者)	職員平均年齢	職員の平均年収(千円)
5(1)	57	200	2(0)	46	2,412

7 第三セクターへの関与の状況

(1) 公的支援(フロー)

項目		金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
		前々年度	前年度	本年度	
①	補助金(助成金)	82	0	0	
②	利子補給金				
③	税の減免額				
④	その他(年会費・)				
小計		82	0	0	-
⑤	損失補償契約に伴う金利軽減額				
⑥	出資金、低利貸付等に伴う機会費用				
小計		0	0	0	-
合計		82	0	0	

(参考)	指定管理料(または施設納付金)	24,838	22,207	22,207	指定管理料22,207千円
	委託料(指定管理料を除く)	6,080	3,355	3,018	コミュニティバス運行委託2,985千円、その他33千円

(2) 公的支援(ストック)

項目		金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
		前々年度	前年度	本年度	
①	損失補償契約に係る債務残高				
	(将来負担額)	()	()	()	
	(将来負担算入率)	()	()	()	
②	貸付金残高				
③	出資金	62,550	62,550	62,550	
合計		62,550	62,550	62,550	-

8 真庭市による監査結果

--

9 真庭市による点検評価の結果

経営状況についての予備的診断における評価	C	A: 経営努力を行いつつ事業は継続 B: 事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要 C: 深刻な経営難の状況にあり、経営の観点から事業の存続も含めた検討が必要
今後の方向性	ウ	ア: 経営努力を行いつつ現状のまま存続 イ: 事業内容等の見直しを行った上で存続 ウ: 再建を行いつつ存続 エ: 廃止、又は完全民営化、若しくは事業の民間譲渡 オ: その他()
(今後の方向性に関するコメント、克服すべき課題等)		
各部門において、人件費を含めた経費の削減を行うとともに、サービスの向上と収支の改善に努めること。		
(その他)		
SNSを活用した情報発信により誘客を強化するとともに、利用者のニーズを取り込んだきめ細やかで魅力的なサービスを提供することが必要である。		

10 その他の特記事項

--

○一般社団法人及び一般財団法人並びに公益社団法人及び公益財団法人については、「5. 財務状況」の記入に当たって下記のとおり公益法人会計基準に読み替えること。

<貸借対照表>

- ・「純資産」→「正味財産合計」
- ・「利益剰余金」→「一般正味財産」

<損益計算書>

- ・「損益計算書」→「正味財産増減計算書」
- ・総収入「=売上高+営業外収益+特別利益」→「=経常収益+経常外収益+当期指定正味財産増加額」
- ・「経常損益」→「当期経常増減額」・「当期損益」→「当期一般正味財産増減額」

真庭市第三セクター経営状況（公表用）

1 作成年月日及び作成担当部署										
作成年月日		令和 8 年 6 月 26 日								
作成担当部署		真庭市役所 蒜山 振興局 地域振興 課								
2 第三セクター名等										
第三セクター名		株式会社グリーンピア蒜山								
第三セクター所在地		〒 717-0612 真庭市 蒜山上徳山1380番地6			電話番号(0867) 66-4661					
設立年月日		平成 2 年 3 月 29 日			ホームページアドレス: http:// ww81.tiki.ne.jp/~hiruzen/					
3 資本金										
		36,250 千円		(真庭市の出資割合) 66.2 %						
4 事業内容										
(1) 農畜産物及び水産物の加工、販売		(4) 不動産の売買、賃貸借、管理及び仲介業務								
(2) レストラン、喫茶店、スポーツ施設、ドライブインの経営		(5) 市営施設等公共施設の管理運営受託								
(3) 各種食料品、清涼飲料水、乳製品、酒類、観光用土産品等の販売		(6) 市道及び農道等の草刈り、除雪等の管理業務の受託								
5 財務状況 事業年度 (令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日)										
貸借対照表から	項目	金額(千円)			損益計算書から	項目	金額(千円)			
		前々年度	前年度	本年度			前々年度	前年度	本年度	
	総資産	316,391	340,466	357,714		総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	665,889	645,407	676,294	
	負債	39,176	54,048	51,423		(うち地方公共団体からの補助金・委託金)	102	388	434	
	(うち有利子負債)	0	0	0		経常損益	▲ 17,849	11,240	24,737	
	純資産	277,215	286,418	306,291		当期損益	▲ 18,636	11,015	21,686	
	利益剰余金	240,965	250,168	270,041		減価償却前当期損益	13,557	40,522	51,771	
6 役職員の状況										
役員数(うち地方公共団体出向者・退職者)		役員平均年齢		役員の平均年収(千円)	職員数(うち地方公共団体出向者・退職者)		職員平均年齢		職員の平均年収(千円)	
7 (1)		71		100	49 (0)		44		3,740	
7 第三セクターへの関与の状況										
(1) 公的支援(フロー)										
項目		金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)					
		前々年度	前年度	本年度						
①	補助金(助成金)	102	27	50	企業人材スキルアップ支援事業補助金50千円					
②	利子補給金									
③	税の減免額									
④	その他(年会費・)									
小計		102	27	50	-					
⑤	損失補償契約に伴う金利軽減額									
⑥	出資金、低利貸付等に伴う機会費用									
小計		0	0	0	-					
合計		102	27	50						
(参考)	指定管理料 (または施設納付金)	2,725	2,350	2,350	施設納付金2,350千円					
	委託料 (指定管理料を除く)	0	361	384	花壇管理委託384千円					
(2) 公的支援(ストック)										
項目		金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)					
		前々年度	前年度	本年度						
①	損失補償契約に係る債務残高									
	(将来負担額)	()	()	()						
	(将来負担算入率)	()	()	()						
②	貸付金残高									
③	出資金	24,000	24,000	24,000						
合計		24,000	24,000	24,000	-					
8 真庭市による監査結果										
9 真庭市による点検評価の結果										
経営状況についての予備的診断における評価		A		A: 経営努力を行いつつ事業は継続 B: 事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要 C: 深刻な経営難の状況にあり、経営の観点から事業の存続も含めた検討が必要						
今後の方向性	ア	ア: 経営努力を行いつつ現状のまま存続 イ: 事業内容等の見直しを行った上で存続 ウ: 再建を行いつつ存続 エ: 廃止、又は完全民営化、若しくは事業の民間譲渡 オ: その他()								
(今後の方向性に関するコメント、克服すべき課題等)										
観光客のニーズの多様化への対応や入り込み客数の更なる増加に向け、各施設の魅力向上と連携強化を引き続き推し進めるとともに、老朽化が進んでいる施設等の適切な維持管理に努める必要がある。										
(その他)										
周辺観光地域との地域間競争が激しくなる中、運営する各施設を創意工夫し効率的な運用を行うことで、経営状況は安定している。										
10 その他の特記事項										

○一般社団法人及び一般財団法人並びに公益社団法人及び公益財団法人については、「5. 財務状況」の記入に当たって下記のとおり公益法人会計基準に読み替えること。

<貸借対照表>

・「純資産」→「正味財産合計」
・「利益剰余金」→「一般正味財産」

<損益計算書>

・「損益計算書」→「正味財産増減計算書」
・総収入「=売上高+営業外収益+特別利益」→「=経常収益+経常外収益+当期指定正味財産増加額」
・「経常損益」→「当期経常増減額」・「当期損益」→「当期一般正味財産増減額」

真庭市第三セクター経営状況（公表用）

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日	令和 8 年 6 月 26 日
作成担当部署	真庭市役所 森山 振興局 地域振興 課

2 第三セクター名等

第三セクター名	株式会社グリーンズ		
第三セクター所在地	〒 717-0602	真庭市 森山上福田1205-220	電話番号(0867) 45-0750
設立年月日	令和 3 年 1 月 8 日	ホームページアドレス: https://www.greenable-hiruzen.co.jp/	

3 資本金

5,000 千円	(真庭市の出資割合) 15 %
----------	-----------------

4 事業内容

(1) 市営施設等公共施設の管理及び運営に関する業務	(4) 各種食料品、清涼飲料水、牛乳、乳製品、酒類、観光用土産品、日用品、スポーツ用品、たばこ、衣料品等の販売
(2) 農産物、畜産物の生産、加工及び販売	(5) イベントの企画、制作、実施及び受託
(3) レストラン、ドライブイン、スポーツ施設及び飲食店の経営	(6) 前各号に付帯する一切の業務

5 財務状況

事業年度 (令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日)

貸借対照表から	項目	金額(千円)			損益計算書から	項目	金額(千円)		
		前々年度	前年度	本年度			前々年度	前年度	本年度
	総資産	25,504	23,951	27,443		総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	43,565	46,065	43,687
	負債	15,253	12,066	13,154		(うち地方公共団体からの補助金・委託金)	16,374	17,209	19,475
	(うち有利子負債)	9,168	7,816	6,568		経常損益	4,326	2,187	3,190
	純資産	10,251	11,886	14,290		当期損益	3,294	1,635	2,404
	利益剰余金	5,251	6,886	9,290		減価償却前当期損益	3,393	1,635	2,404

6 役職員の状況

役員数(うち地方公共団体出向者・退職者)	役員平均年齢	役員の平均年収(千円)	職員数(うち地方公共団体出向者・退職者)	職員平均年齢	職員の平均年収(千円)
5(0)	67	0	5(1)	44	1,960

7 第三セクターへの関与の状況

(1) 公的支援(フロー)

項目		金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
		前々年度	前年度	本年度	
①	補助金(助成金)	13	135	126	未来につなぐ元気事業応援補助金126千円
②	利子補給金				
③	税の減免額				
④	その他(年会費・)				
小計		13	135	126	-
⑤	損失補償契約に伴う金利軽減額				
⑥	出資金、低利貸付等に伴う機会費用				
小計		0	0	0	-
合計		13	135	126	

(参考)	指定管理料(または施設納付金)	10,095	10,732	10,732	指定管理料10,732千円
	委託料(指定管理料を除く)	6,266	6,342	8,617	ミュージアム受付等業務委託6,754千円、その他1,863千円

(2) 公的支援(ストック)

項目		金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
		前々年度	前年度	本年度	
①	損失補償契約に係る債務残高				
	(将来負担額)	()	()	()	
	(将来負担算入率)	()	()	()	
②	貸付金残高				
③	出資金	750	750	750	
合計		750	750	750	-

8 真庭市による監査結果

令和7年度監査結果による指摘事項・検討事項は特になし。

9 真庭市による点検評価の結果

経営状況についての予備的診断における評価		A	A:経営努力を行いつつ事業は継続 B:事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要 C:深刻な経営難の状況にあり、経営の観点から事業の存続も含めた検討が必要
今後の方向性	ア	ア:経営努力を行いつつ現状のまま存続 イ:事業内容等の見直しを行った上で存続 ウ:再建を行いつつ存続 エ:廃止、又は完全民営化、若しくは事業の民間譲渡 オ:その他()	
(今後の方向性に関するコメント、克服すべき課題等)			
施設の特色を最大限に活かし、グリーンナブルブランドを共通ブランドとして確立し拡大していくための拠点施設としての役割を期待する。			
(その他)			
経営の安定化を確立するためにブランド理念に沿った商品開発・販路拡大、イベント企画の開発を積極的に行うとともに、施設維持管理費の削減に継続的に取り組むことが求められる。			

10 その他の特記事項

○一般社団法人及び一般財団法人並びに公益社団法人及び公益財団法人については、「5. 財務状況」の記入に当たって下記のとおり公益法人会計基準に読み替えること。

＜貸借対照表＞

・「純資産」→「正味財産合計」
・「利益剰余金」→「一般正味財産」

＜損益計算書＞

・「損益計算書」→「正味財産増減計算書」
・総収入「=売上高+営業外収益+特別利益」→「=経常収益+経常外収益+当期指定正味財産増加額」
・「経常損益」→「当期経常増減額」・「当期損益」→「当期一般正味財産増減額」

真庭市第三セクター経営状況（公表用）

1 作成年月日及び作成担当部署									
作成年月日		令和 8 年 6 月 22 日							
作成担当部署		真庭市役所 産業観光 部 地域エネルギー政策 課							
2 第三セクター名等									
第三セクター名		まにわつと電力株式会社							
第三セクター所在地		〒 719-3202 真庭市 中島 1 4 3				電話番号(0867) 45-1130			
設立年月日		令和 7 年 8 月 5 日				ホームページアドレス : http:// maniwatt.com/			
3 資本金									
40,000 千円				(真庭市の出資割合) 51 %					
4 事業内容									
(1) 発電及び電力供給事業					(7) 環境付加価値等の取引事業				
(2) 電力の売買事業及びその代理、代行、仲介					(8) 古物営業法に基づく古物商				
(3) 太陽光発電設備の販売、リース、設置、運転及び保守事業					(9) 飲食店の経営				
(4) 蓄電池の販売、リース、設置、運転及び保守事業					(10) 食料品、調味料、嗜好品、飲料などの製造、輸入、仕入れ、加工及び販売				
(5) 再生可能エネルギー及び省エネルギー機器の販売、リース、設置、運転及び保守事業					(11) 地域の活性化に関する事業				
(6) 再生可能エネルギー及び省エネルギーに関するコンサルティング業務					(12) 前各号に附帯又は関連する一切の事業				
5 財務状況 事業年度 (令和7年8月5日 ~ 令和8年3月31日)									
貸借対照表から	項目	金額（千円）			損益計算書から	項目	金額（千円）		
		前々年度	前年度	本年度			前々年度	前年度	本年度
	総資産			113,946		総収入（＝売上高＋営業外収益＋特別利益）			179,606
	負債			72,507		（うち地方公共団体からの補助金・委託金）			0
	（うち有利子負債）			0		経常損益			2,000
	純資産			41,439		当期損益			1,439
	利益剰余金			1,439		減価償却前当期損益			2,160
6 役職員の状況									
役員数（うち地方公共団体出向者・退職者）		役員平均年齢		役員平均年収（千円）	職員数（うち地方公共団体出向者・退職者）		職員平均年齢		職員平均年収（千円）
2(0)		67		0	1(1)				
7 第三セクターへの関与の状況									
(1) 公的支援（フロー）									
項目		金額（千円）			備考（目的、内容、算出根拠等）				
		前々年度	前年度	本年度					
①	補助金（助成金）								
②	利子補給金								
③	税の減免額								
④	その他（年会費・ ）								
小計		0	0	0	-				
⑤	損失補償契約に伴う金利軽減額								
⑥	出資金、低利貸付等に伴う機会費用								
小計		0	0	0	-				
合計		0	0	0					
(参考)									
(2) 公的支援（ストック）									
項目		金額（千円）			備考（目的、内容、算出根拠等）				
		前々年度	前年度	本年度					
①	損失補償契約に係る債務残高								
	（将来負担額）	()	()	()					
	（将来負担算入率）	()	()	()					
②	貸付金残高								
③	出資金			20,400	設立時出資金				
合計		0	0	20,400	-				
8 真庭市による監査結果									
9 真庭市による点検評価の結果									
経営状況についての予備的診断における評価				A	A：経営努力を行いつつ事業は継続 B：事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要 C：深刻な経営難の状況にあり、経営の観点から事業の存続も含めた検討が必要				
今後の方向性	ア	ア：経営努力を行いつつ現状のまま存続 イ：事業内容等の見直しを行った上で存続 ウ：再建を行いつつ存続 エ：廃止、又は完全民営化、若しくは事業の民間譲渡 オ：その他（ ）							
（今後の方向性に関するコメント、克服すべき課題等） 売上の拡大と収益性の向上を図り、複数人の雇用が可能な事業規模への成長を目指すこと。									
（その他） 価格やサービスを自ら設計し収益拡大を図るべく、小売電気事業のライセンス取得を目指すこと。									
10 その他の特記事項									

○一般社団法人及び一般財団法人並びに公益社団法人及び公益財団法人については、「5. 財務状況」の記入に当たって下記のとおり公益法人会計基準に読み替えること。

<貸借対照表>

・「純資産」→「正味財産合計」
・「利益剰余金」→「一般正味財産」

<損益計算書>

・「損益計算書」→「正味財産増減計算書」
・総収入「＝売上高＋営業外収益＋特別利益」→「＝経常収益＋経常外収益＋当期指定正味財産増加額」
・「経常損益」→「当期経常増減額」 ・ 「当期損益」→「当期一般正味財産増減額」

令和8年度

法人の経営状況を説明する書類

一般社団法人 蒜山農業公社

令和 8 年度

一般社団法人蒜山農業公社第 1 回定時社員総会

次 第

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議長選出

(定款第 2 1 条；社員総会の議長は、当該社員総会において、社員のうちから選任する。)

4. 議 事

第 1 号議案

令和 7 年度事業報告及び収支決算の承認について

第 2 号議案

令和 8 年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認について

第 3 号議案

役員の改選について

5. その他

6. 閉 会

令和 8 年度一般社団法人蒜山農業公社第 1 回定時社員総会議事一覧

	議案	審議案件	結果
	議案第 1 号	令和 7 年度事業報告及び収支決算の承認について	
	議案第 2 号	令和 8 年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認について	
	議案第 3 号	役員の改選について	

一般社団法人蒜山農業公社社員名簿

令和 8 年 8 月 日現在

1 正社員（会員）

氏 名	住 所
太 田 昇	真庭市久世 2 9 2 7 番地 2（真庭市）
金 光 章	倉敷市玉島八島 1 5 1 0 番地 1（晴れの国岡山農業協同組合）
長 恒 充	真庭市蒜山中福田 9 5 8 番地（蒜山酪農農業協同組合）

2 特別社員（会員）

氏 名	住 所

3 賛助社員

氏 名	住 所

正 社 員 3 名
 特別社員 名
 賛助社員 名
 総 数 名

第 1 号議案

令和 7 年度事業報告及び収支決算の承認に
ついて

令和 7 年度 一般社団法人 蒜山農業公社 事業実績

(令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日)

1. 農地利用集積円滑化事業に関する事業

(1) 農地売買等事業

実績なし

(2) 農地所有者代理事業

実績なし

(3) 研修等事業

ハイブリッド事業によるブドウハウス (8m×55m) 5 棟管理。(定植 6 年目)
岡山市より 2 名の実務研修を受け入れた。

まにわいきいき帰農塾の会場となり、4 回の研修を実施している。

また、帰農塾に合わせ、まにわぶどう部会のおためし研修を開催している。

2. 生産体系の確立に関する事業

(1) 農作業受託事業

① 公社受託事業

- ・八束、川上、中和地区 (WCS は、真庭地域) での農作業の受託。
- ・除雪作業受託 (除雪車 8 台受託、内 3 台委託)
- ・除草作業受託 (市より除草機械を借受、市道、農道、林道の除草作業)

② 中核農家等への作業委託

担い手農家に畔付け、荒耕、荒搔、代搔、田植えの作業委託の斡旋。

(2) 経営体の育成及び強化

農地に関する相談、栽培等に関する相談等、戸別訪問も行った。

(4) 農業生産基盤整備の推進

環境保全型事業の推進

真庭市の指定管理を受け真庭市蒜山堆肥センターの管理運営を行った。

(5) 地域特産品の開発及び販売促進

① 菌床きくらげの栽培を行い、風の家、特産館で販売。

② 地域特産物の開発 (地域振興事業等)

- ・昨年に引き続き、ジェイエイまにわ蒜山農産加工(有)との委託契約により「ひるぜん漬」の販売他につとめた。(つむぐ株式会社)

3. その他法人の目的達成のために必要な事業

- ・真庭市草地（15,763a）及び大根畑（1,199.3a）の管理を受託。

蒜山農業公社のぶどう栽培施設は、真庭市就農促進トータルサポート事業、新規就農者確保計画の研修施設の一つとなり、研修生の技術習得に活用されている。

ハウス（オーロラブラック 3 棟、ピオーネ 1 棟、シャインマスカット 1 棟）
定植 6 年目（8 年度は約 5,700 房を出荷予定）

令和7年度 「真庭市蒜山堆肥センター」 月別事業実績

区分 月	堆 肥 セ ン タ ー 事 業 量				
	製 造 品 販 売		堆 肥 散 布	施 設 使 用	
	バラ堆肥	袋堆肥		糞処理	尿処理
計画	650 t	1,200 袋	250 t	3,000 t	t
4 月	185 t	358 袋	91 t	122 t	t
5 月	59 t	159 袋	51 t	143 t	t
6 月	7 t	0 袋	6 t	144 t	t
7 月	15 t	20 袋	14 t	115 t	t
8 月	6 t	175 袋	0 t	84 t	t
9 月	8 t	40 袋	0 t	89 t	t
10 月	130 t	20 袋	75 t	117 t	t
11 月	51 t	15 袋	34 t	138 t	t
12 月	5 t	0 袋	0 t	145 t	t
1 月	0 t	0 袋	0 t	126 t	t
2 月	0 t	0 袋	0 t	155 t	t
3 月	13 t	110 袋	0 t	164 t	t
計	479 t	897 袋	271 t	1,542 t	t
計画対比	73.7 %	74.8 %	108.4 %	51.4 %	%
6年度	492 t	854 袋	279 t	1,526 t	t
前年対比	97.4 %	105.0 %	97.1 %	101.0 %	%

貸借対照表内訳表

令和 8年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	6,542,919	0	44,016,000	0	50,558,919
未収金	0	17,785,262	0	0	17,785,262
棚卸資産	0	2,023,560	0	0	2,023,560
前払費用	0	880,000	0	0	880,000
他会計短期貸付金	0	82,847,476	0	△ 82,847,476	0
貸倒引当金	0	△ 105,000	0	0	△ 105,000
流動資産合計	6,542,919	103,431,298	44,016,000	△ 82,847,476	71,142,741
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
基本財産合計	0	0	0	0	0
(2) 特定資産					
機械及び装置（特）	0	2	0	0	2
減価償却引当預金（特）	0	14,389,395	0	0	14,389,395
特定資産合計	0	14,389,397	0	0	14,389,397
(3) その他固定資産					
建物	0	1	0	0	1
車両運搬具	0	1,699,858	0	0	1,699,858
什器備品	3	0	0	0	3
構築物	5	1,130,124	0	0	1,130,129
機械及び装置	5	2,207,021	0	0	2,207,026
土地	11,500,000	0	0	0	11,500,000
強化基金引当預金	0	0	14,900,000	0	14,900,000
リサイクル預託金	0	38,590	0	0	38,590
長期前払費用	0	4,153,836	0	0	4,153,836
その他固定資産合計	11,500,013	9,229,430	14,900,000	0	35,629,443
固定資産合計	11,500,013	23,618,827	14,900,000	0	50,018,840
資産合計	18,042,932	127,050,125	58,916,000	△ 82,847,476	121,161,581
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	30,260	4,124,015	583,351	0	4,737,626
未払法人税等	0	5,650,400	0	0	5,650,400
未払消費税等	0	0	1,442,400	0	1,442,400
預り金	0	0	1,109,481	0	1,109,481
他会計短期借入金	6,057,634	32,236,779	44,553,063	△ 82,847,476	0
流動負債合計	6,087,894	42,011,194	47,688,295	△ 82,847,476	12,939,907
2. 固定負債					
固定負債合計	0	0	0	0	0
負債合計	6,087,894	42,011,194	47,688,295	△ 82,847,476	12,939,907
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
2. 一般正味財産	11,955,038	85,038,931	11,227,705	0	108,221,674
(うち特定資産への充当額)	(0)	(14,389,397)	(0)	(0)	(14,389,397)
正味財産合計	11,955,038	85,038,931	11,227,705	0	108,221,674
負債及び正味財産合計	18,042,932	127,050,125	58,916,000	△ 82,847,476	121,161,581

正味財産増減計算書内訳表

令和 7年 4月 1日 から令和 8年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計					法人会計	内部取引等消去	合計
	農地利用集積円滑化事業	小計	農地管理事業	農産物生産販売等事業	施設管理事業	堆肥販売事業	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
特定資産運用益										
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	10,296	0	10,296
受取会費										
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	3,500,000	0	3,500,000
事業収益	0	0	60,192,962	2,558,382	12,774,280	4,128,371	79,651,995	0	0	79,651,995
雑収入	3,460	3,460	0	1,002,030	0	0	1,002,030	0	0	1,005,490
事業収益計	3,460	3,460	60,192,962	3,558,412	12,774,280	4,128,371	80,654,025	0	0	80,657,485
雑収益										
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	89,689	0	89,689
経常収益計	3,460	3,460	60,192,962	3,558,412	12,774,280	4,128,371	80,654,025	3,599,985	0	84,257,470
(2) 経常費用										
事業費										
仕入高	0	0	0	23,100	0	0	23,100	0	0	23,100
給料手当	830,975	830,975	4,084,108	830,975	2,381,325	1,591,184	8,887,592	0	0	9,718,567
臨時雇賃金	0	0	8,428,358	1,270,375	129,375	514,875	10,342,983	0	0	10,342,983
賞与	207,693	207,693	673,078	207,693	100,000	50,000	1,030,771	0	0	1,238,464
法定福利費	200,419	200,419	937,585	176,352	125,929	234,388	1,474,254	0	0	1,674,873
役員報酬	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	480,000	0	0	600,000
福利厚生費	0	0	15,657	118,790	11,982	0	146,429	0	0	146,429
旅費交通費	0	0	28,490	33,590	0	360	62,440	0	0	62,440
通信運搬費	82,478	82,478	0	5,044	31,828	1,372	38,244	0	0	120,722
減価償却費	73,297	73,297	318,337	503,716	0	394,644	1,216,697	0	0	1,289,994
消耗品費	39,031	39,031	251,235	649,644	60,123	4,755	965,757	0	0	1,004,788
修繕費	10,950	10,950	2,868,025	1,189,078	994,970	712,326	5,762,399	0	0	5,773,349
燃料費	0	0	2,283,246	0	856,370	302,550	3,442,166	0	0	3,442,166
光熱水料費	214,099	214,099	6,219	0	3,400,752	7,802	3,414,773	0	0	3,628,872
貸借料	276,389	276,389	432,762	1,260,034	24,398	120,264	1,837,458	0	0	2,113,847
保険料	163,917	163,917	183,930	60,357	138,690	176,510	559,487	0	0	723,404
租税公課	33,000	33,000	2,000,440	39,710	617,191	376,559	3,033,900	0	0	3,066,900
委託費	187,453	187,453	8,853,769	771,183	174,413	143,653	9,943,018	0	0	10,130,471
資材費	0	0	605,385	977,398	2,525,600	0	4,108,383	0	0	4,108,383
備用費	0	0	3,300	10,240	0	0	13,540	0	0	13,540
会議費	0	0	311,250	113,870	0	0	425,120	0	0	425,120
保安点検費	0	0	0	0	554,124	0	554,124	0	0	554,124
手数料	9,880	9,880	13,035	1,760	24,420	6,710	45,925	0	0	55,805
貸倒償却	0	0	62,000	1,000	0	0	63,000	0	0	63,000
期首仕掛品棚卸高	0	0	0	0	2,351,008	0	2,351,008	0	0	2,351,008
期末仕掛品棚卸高	0	0	0	0	△ 2,023,560	0	△ 2,023,560	0	0	△ 2,023,560
事業費計	2,449,581	2,449,581	32,478,209	8,363,909	12,598,938	4,757,952	58,199,008	0	0	60,648,589
管理費										
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	15,000	0	15,000
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	1,290,550	0	1,290,550
賞与	0	0	0	0	0	0	0	50,000	0	50,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	7,628	0	7,628
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	271,535	0	271,535
会議費	0	0	0	0	0	0	0	43,003	0	43,003
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	7,230	0	7,230
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	82,478	0	82,478
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	459,600	0	459,600
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	39,030	0	39,030
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	4,066	0	4,066
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	134,428	0	134,428
貸借料	0	0	0	0	0	0	0	276,388	0	276,388
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	10,520	0	10,520
委託費	0	0	0	0	0	0	0	389,051	0	389,051
手数料	0	0	0	0	0	0	0	50,891	0	50,891
備用費	0	0	0	0	0	0	0	114,874	0	114,874
管理費計	0	0	0	0	0	0	0	3,246,482	0	3,246,482
経常費用計	2,449,581	2,449,581	32,478,209	8,363,909	12,598,938	4,757,952	58,199,008	3,246,482	0	63,895,071
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,446,121	△ 2,446,121	27,714,753	△ 4,805,497	175,342	△ 629,581	22,455,017	353,503	0	20,362,399
当期経常増減額	△ 2,446,121	△ 2,446,121	27,714,753	△ 4,805,497	175,342	△ 629,581	22,455,017	353,503	0	20,362,399
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 2,446,121	△ 2,446,121	27,714,753	△ 4,805,497	175,342	△ 629,581	22,455,017	353,503	0	20,362,399
税引前当期一般正味財産増減額	△ 2,446,121	△ 2,446,121	27,714,753	△ 4,805,497	175,342	△ 629,581	22,455,017	353,503	0	20,362,399
法人税、住民税及び事業税	0	0	5,582,150	17,750	52,750	17,750	5,650,400	0	0	5,665,710
当期一般正味財産増減額	△ 2,446,121	△ 2,446,121	22,132,603	△ 4,823,247	122,592	△ 647,331	16,804,617	338,193	0	14,696,689
一般正味財産期首残高	14,401,159	14,401,159	85,050,693	541,480	△ 11,813,009	△ 5,544,850	68,234,314	10,889,512	0	93,524,985
一般正味財産期末残高	11,955,038	11,955,038	107,203,296	△ 4,281,767	△ 11,690,417	△ 6,192,181	85,038,931	11,227,705	0	108,221,674
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	11,955,038	11,955,038	107,203,296	△ 4,281,767	△ 11,690,417	△ 6,192,181	85,038,931	11,227,705	0	108,221,674

収支計算書総括表

令和 7年 4月 1日 から令和 8年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計					法人会計	内部取引等消去	合計
	農地利用集積円滑化事業	小計	農地管理事業	農産物生産販売等事業	施設管理事業	堆肥販売事業	小計			
I 事業活動収支の部										
1. 事業活動収入										
①特定資産運用収入										
特定資産利息収入	0	0	0	0	0	0	0	10,296	0	10,296
②会費収入										
正会員会費収入	0	0	0	0	0	0	0	3,500,000	0	3,500,000
③事業収入										
事業収入	0	0	60,192,962	2,556,382	12,774,280	4,128,371	79,651,995	0	0	79,651,995
雑収入	3,460	3,460	0	1,002,030	0	0	1,002,030	0	0	1,005,490
事業収入計	3,460	3,460	60,192,962	3,558,412	12,774,280	4,128,371	80,654,025	0	0	80,657,485
④雑収入										
受取利息収入	0	0	0	0	0	0	0	89,689	0	89,689
事業活動収入計	3,460	3,460	60,192,962	3,558,412	12,774,280	4,128,371	80,654,025	3,599,985	0	84,257,470
2. 事業活動支出										
①事業費支出										
仕入高	0	0	0	23,100	0	0	23,100	0	0	23,100
給料手当支出	830,975	830,975	4,084,108	830,975	2,381,325	1,591,184	8,887,592	0	0	9,718,567
臨時雇賃金支出	0	0	8,428,358	1,270,375	129,375	514,875	10,342,983	0	0	10,342,983
賞与支出	207,693	207,693	673,078	207,693	100,000	50,000	1,030,771	0	0	1,238,464
法定福利費支出	200,419	200,419	937,585	176,352	125,929	234,388	1,474,254	0	0	1,674,673
役員報酬支出	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	480,000	0	0	600,000
福利厚生費支出	0	0	15,657	118,780	11,982	0	146,429	0	0	146,429
旅費交通費支出	0	0	28,490	33,590	0	360	62,440	0	0	62,440
通信運搬費支出	82,478	82,478	0	5,044	31,828	1,372	38,244	0	0	120,722
消耗品費支出	39,031	39,031	251,235	649,644	60,123	4,755	965,757	0	0	1,004,788
修繕費支出	10,950	10,950	2,866,025	1,189,078	994,970	712,326	5,762,399	0	0	5,773,349
燃料費支出	0	0	2,283,246	0	856,370	302,550	3,442,166	0	0	3,442,166
光熱水料費支出	214,099	214,099	6,219	0	3,400,752	7,802	3,414,773	0	0	3,628,872
貸借料支出	276,389	276,389	432,762	1,260,034	24,398	120,264	1,837,458	0	0	2,113,647
保険料支出	163,917	163,917	183,930	60,357	138,690	176,510	559,487	0	0	723,404
租税公課支出	33,000	33,000	2,000,440	39,710	617,191	376,559	3,033,900	0	0	3,066,900
委託費支出	187,453	187,453	8,853,769	771,183	174,413	143,653	9,943,018	0	0	10,130,471
資材費支出	0	0	605,385	977,398	2,525,600	0	4,108,383	0	0	4,108,383
需用費支出	0	0	3,300	10,240	0	0	13,540	0	0	13,540
会議費支出	0	0	311,250	113,870	0	0	425,120	0	0	425,120
保安点検費支出	0	0	0	0	554,124	0	554,124	0	0	554,124
手数料支出	0	0	13,035	1,760	24,420	6,710	45,925	0	0	45,925
事業費支出計	2,366,404	2,366,404	32,097,872	7,859,193	12,271,490	4,363,308	56,591,863	0	0	58,958,267
②管理費支出										
役員報酬支出	0	0	0	0	0	0	0	15,000	0	15,000
給料手当支出	0	0	0	0	0	0	0	1,290,550	0	1,290,550
賞与支出	0	0	0	0	0	0	0	50,000	0	50,000
福利厚生費支出	0	0	0	0	0	0	0	7,628	0	7,628
法定福利費支出	0	0	0	0	0	0	0	271,535	0	271,535
会議費支出	0	0	0	0	0	0	0	43,003	0	43,003
旅費交通費支出	0	0	0	0	0	0	0	7,230	0	7,230
通信運搬費支出	0	0	0	0	0	0	0	82,478	0	82,478
消耗品費支出	0	0	0	0	0	0	0	39,030	0	39,030
燃料費支出	0	0	0	0	0	0	0	4,066	0	4,066
光熱水料費支出	0	0	0	0	0	0	0	134,428	0	134,428
貸借料支出	0	0	0	0	0	0	0	276,388	0	276,388
租税公課支出	0	0	0	0	0	0	0	10,520	0	10,520
委託費支出	0	0	0	0	0	0	0	389,061	0	389,061
手数料支出	0	0	0	0	0	0	0	50,891	0	50,891
需用費支出	0	0	0	0	0	0	0	114,874	0	114,874
管理費支出計	0	0	0	0	0	0	0	2,786,682	0	2,786,682
③その他の支出										
法人税、住民税及び事業税	0	0	5,562,150	17,750	52,750	17,750	5,650,400	15,310	0	5,665,710
事業活動支出計	2,366,404	2,366,404	37,660,022	7,876,943	12,324,240	4,381,058	62,242,263	2,801,992	0	67,410,659
事業活動収支差額	△ 2,362,944	△ 2,362,944	22,532,940	△ 4,318,531	450,040	△ 252,687	18,411,762	797,993	0	16,846,811
II 投資活動収支の部										
1. 投資活動収入										
①固定資産売却収入										
長期前払費用取崩収入	0	0	0	795,504	0	0	795,504	0	0	795,504
投資活動収入計	0	0	0	795,504	0	0	795,504	0	0	795,504
2. 投資活動支出										
①固定資産取得支出										
車両運搬具購入支出	0	0	0	1,773,760	0	0	1,773,760	0	0	1,773,760
什器備品購入支出	0	0	0	0	0	0	0	459,800	0	459,800
機械購入支出	0	0	1,733,600	0	0	0	1,733,600	0	0	1,733,600
リサイクル紙金支出	0	0	0	8,200	0	0	8,200	0	0	8,200
固定資産取得支出計	0	0	1,733,600	1,781,960	0	0	3,515,560	459,800	0	3,975,360
投資活動支出計	0	0	1,733,600	1,781,960	0	0	3,515,560	459,800	0	3,975,360
投資活動収支差額	0	0	△ 1,733,600	△ 986,456	0	0	△ 2,720,056	△ 459,800	0	△ 3,179,856
III 財務活動収支の部										
1. 財務活動収入										
①その他の収入										
他会計借入金収入	530,131	530,131	△ 10,675,019	3,884,332	5,555,325	△ 1,911,713	△ 3,147,075	2,616,944	0	0
財務活動収入計	530,131	530,131	△ 10,675,019	3,884,332	5,555,325	△ 1,911,713	△ 3,147,075	2,616,944	0	0
2. 財務活動支出										
財務活動支出計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	530,131	530,131	△ 10,675,019	3,884,332	5,555,325	△ 1,911,713	△ 3,147,075	2,616,944	0	0
当期収支差額	△ 1,832,813	△ 1,832,813	10,124,321	△ 1,420,655	6,005,365	△ 2,164,400	12,544,631	2,955,137	0	13,666,955
前期繰越収支差額	16,203,853	16,203,853	△ 15,459,265	△ 655,406	48,638,267	△ 31,730,702	792,894	25,620,572	0	42,617,319
次期繰越収支差額	14,371,040	14,371,040	△ 5,334,944	△ 2,075,061	54,643,632	△ 33,895,102	13,337,525	28,575,709	0	56,284,274

収支計算書総括表会計別明細書 法人会計

令和7年4月1日から令和8年3月31日

(単位: 円)

科 目	金 額	備 考	令和6年度
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①会費収入			
正会員会費収入	3,500,000	真庭市年会費	3,500,000
②事業収入			
事業収入	0		0
雑収入	10,296	(特定資産利息収入) 減価償却積立預金	2,133
			0
事業収入計	3,510,296		3,500,247
③雑収入			2,310
受取利息収入	89,689	定期及び普通預金利息	13,434
事業活動収入合計	3,599,985		3,500,800
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
研修費支出	0		0
事業費支出計	0		0
②管理費支出			
役員報酬支出	15,000	役員報酬	15,000
給与手当支出	1,290,550	臨時職員0.5名	742,196
賞与支出	50,000	臨時職員0.5名	25,000
法定福利費支出	271,535	臨時職員0.5名 社会保険料	142,494
福利厚生費支出	7,628	検診助成	
会議費支出	43,003		106,670
旅費交通費支出	7,230	出張手当(自己車使用20円/km)	13,582
通信運搬費支出	82,478	電話代・ネット利用料・切手 公益事業と配賦	74,447
消耗品費支出	39,030	事務用品他公益事業と配賦	53,845
燃料費支出	4,066		0
光熱水料費支出	134,428	電気、水道、 公益事業と配賦	134,632
賃借料支出	276,388	税理士会計ソフト、複合機・PCリース料公益事業と配賦	276,673
租税公課費支出	10,520		12,000
委託費支出	389,061	財務会計ソフト、ホームページ開設、委託料他	120,065
手数料支出	50,891	振込手数料	29,622
需用費支出	114,874	香典他	125,322
管理費支出計	2,786,682		1,795,110
③その他の支出			
法人税、住民税及び事業税	15,310		2,380
事業活動支出合計	2,801,992		2,801,992
事業活動収支差額	2,897,993		1,643,949

収支計算書総括表会計別明細書 法人会計

令和7年4月1日から令和8年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	備 考	令和6年度
Ⅱ 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
①固定資産売却売却収入			
強化基金引当預金取崩収入	0		0
投資活動収入合計	0		0
2. 投資活動支出			
①固定資産取得支出			
什器備品購入支出	459,800	PC 3 台	0
投資活動支出合計	459,800		0
投資活動収支差額	△ 459,800		0
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
①その他の収入			
他会計借入金収入	2,616,944		17,055,064
財務活動収入計	2,616,944		17,055,064
2. 財務活動支出			
①その他の支出			0
他会計貸付金支出	0		0
財務活動支出計	0		0
財務活動収支差額	2,616,944		17,055,064
Ⅳ 他会計振替額	△ 7,240,881		△ 7,241,881
当期収支差額	2,955,137		11,458,132
前期繰越収支差額	25,620,572		14,162,440
次期繰越収支差額	28,575,709		25,620,572

収支計算書総括表会計別明細書 農地利用集積円滑化事業会計（公益）

令和7年4月1日から令和8年3月31日

（単位：円）

科 目	金 額	備 考	令和6年度
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
②事業収入			
事業収入	0		0
雑収入	3,460	ぶどうハウス中電電柱敷地料	3,460
事業収入計	3,460		0
③雑収入			
受取利息収入	0		
事業活動収入計	3,460		0
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
仕入高	0		
給与手当支出	830,975	職員0.2名 給与手当	2,439,646
臨時雇用賃金支出	0		267,750
賞与支出	207,693	職員0.2名 賞与・手当	440,386
法定福利費支出	200,419	職員0.2名社会保険料・中退金事業所負担分	455,217
役員報酬支出	120,000		120,000
福利厚生費支出	0	支給 空調服	0
旅費交通費支出	0		46,780
通信運搬費支出	82,478	電話・ネット使用料等法人会計と配賦	79,208
消耗品費支出	39,031		561,415
修繕費支出	10,950		138,546
需用費	0		8,510
燃料費支出	0		0
光熱水料費支出	214,099	ブドウハウス、西原椎茸ハウス電気代	218,277
賃借料支出	276,389	ぶどうハウスリース料（資金諸口）1/10年、複合機他リー	982,104
保険料支出	163,917	ぶどうハウス農業共済、旧光陽火災保険他	236,473
租税公課支出	33,000	真庭市固定資産税、他	45,800
委託費支出	187,453	ハウス水工事他、合併槽管理料、税理士事務所他	383,514
資材費支出	0		137,534
会議費支出	0		25,210
保安点検費支出	0		0
手数料支出	0	振込手数料	3,740
販売促進費支出	0		0
事業費支出計	2,366,404		4,981,439
②管理費支出			
役員報酬	0		0
賃借料支出	0		0
租税公課費支出	0		0
管理費支出計	0		0
③その他の支出			
法人税、住民税及び事業税	0		0
事業活動支出計	2,366,404		4,981,439
事業活動収支差額	△ 2,362,944		△ 4,977,979
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
長期前払費用取崩収入	530,131	ぶどうハウス	619,190

収支計算書総括表会計別明細書 農地利用集積円滑化事業会計（公益）

令和7年4月1日から令和8年3月31日

（単位：円）

科 目	金 額	備 考	令和6年度
投資活動収入合計	530,131		619,190
2. 投資活動支出			
①固定資産取得支出	0		0
車両運搬具購入支出	0		188,000
機械購入支出	0		1,039,500
長期前払費用支出	0		1,234,200
リサイクル預託金支出	0		9,880
固定資産取得支出計	0		2,471,580
投資活動支出計	0		2,471,500
投資活動収支差額	0		△ 1,852,390
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
①その他の収入	0		0
他会計借入金収入	530,131		4,586,414
財務活動収入計	530,131		4,586,414
2. 財務活動支出			
①固定資産取得支出	0		0
機械購入支出	0		0
財務活動支出計	0		0
財務活動収支差額	530,131		4,586,414
Ⅳ 他会計振込額	0		7,240,881
当期収支差額	△ 1,832,813		3,388,255
前期繰越収支差額	16,203,853		12,815,598
次期繰越収支差額	14,371,040		16,203,853

収支計算書総括表会計別明細書 農地管理事業（収益事業等会計）

令和7年4月1日から令和8年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	備 考	令和6年度
I 事業活動収支の部		農作業受託収入 60,192,962	53,697,962
1. 事業活動収入		除雪作業 47,791,569	42,370,284
①会費収入	0	WCS 作業 2,983,000	2,640,000
正会員会費収入		道路除草作業 2,017,400	617,100
②事業収入		農作業 680,385	1,222,785
事業収入	60,192,962	草地、畑利用料 6,041,483 (八束RC 679,125)	53,697,962
雑収入	0		0
事業収入計	60,192,962		53,697,962
③雑収入			
受取利息収入	0		0
事業活動収入計	60,192,962		53,697,962
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
給与手当支出	4,084,108	職員0.6名臨時職員0.5名 給与手当	4,112,734
臨時雇用賃金支出	8,428,358	除雪・除草作業・農作業WCS他	7,379,334
賞与支出	673,078	職員0.6名臨時職員0.5名 賞与	673,078
法定福利費支出	937,585	職員0.6名臨時職員0.5名 社会保険料、中退金事業所負担分	759,774
福利厚生費支出	15,657	検診助成・農作業飲料代	6,482
役員報酬支出	120,000		120,000
旅費交通費支出	28,490	WCS高速代・自己車使用 (20円/km)	44,210
通信運搬費支出	0	郵送料	0
消耗品費支出	251,235	オイル他 (デジカメ2台)	56,322
修繕費支出	2,866,025	トラクター、SMR修理他	2,445,036
燃料費支出	2,283,246	農機燃料代他	2,995,581
光熱水料費支出	6,219		0
賃借料支出	432,762	HPサーバーレンタル料、道路補修コンボレンタル料	318,956
保険料支出	183,930	トラクター、ローダー任意保険	108,500
租税公課支出	2,000,440	自動車税、軽自動車税、重量税他	1,693,033
委託費支出	8,853,769	除雪委託3台・川上公有林管理委託料・WCS委託料 除草他	7,206,940
資材費支出	605,385	WCS用ラップ・ネット・道なおし用 碎石他	781,495
需用費支出	3,300	県証紙、印紙、証明書他	24,185
会議費支出	311,250	除雪会議、WCS会議	235,700
手数料支出	13,035	振込料等	5,995
保安点検費	0		0
貸倒損失支出	0		0
事業費支出計	32,097,872		28,967,355
②管理費支出			
役員報酬	0		0
賃借料支出	0		0
租税公課費支出	0		0
委託費支出	0		0
管理費支出計	0		0
③その他の支出			
法人税、住民税及び事業税	5,562,150		6,537,050
事業活動支出計	37,660,022		35,504,405
事業活動収支差額	22,532,940		18,193,557
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
①固定資産売却売却収入	0		0
減価償却引当預金取崩収入	0		0

収支計算書総括表会計別明細書 農地管理事業（収益事業等会計）

令和7年4月1日から令和8年3月31日

（単位：円）

科 目	金 額	備 考	令和6年度
投資活動収入合計	0		0
2. 投資活動支出			
①固定資産取得支出			
減価償却引当預金支出	0		0
機械購入支出	1,733,600	融雪剤散布機、BTスターター	0
投資活動支出計	1,733,600		0
投資活動収支差額	△ 1,733,600		0
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
①その他の収入			0
他会計借入金収入	△ 10,675,019		△ 26,562,392
財務活動収入計	△ 10,675,019		△ 26,562,392
2. 財務活動支出			
①その他の支出	0		0
他会計貸付金支出	0		0
財務活動支出計	0		0
財務活動収支差額	△ 10,675,019		△ 26,562,392
Ⅳ 他会計振込額	0		0
当期収支差額	10,124,321		△ 8,368,835
前期繰越収支差額	△ 15,459,265		△ 7,090,430
次期繰越収支差額	△ 5,334,944		△ 15,459,265

収支計算書総括表会計別明細書 農産物生産販売等事業（収益事業等会計）

令和7年4月1日から令和8年3月31日

（単位：円）

科 目	金 額	備 考	令和6年度
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①会費収入			
正会員会費収入	0	木質ペレット26,400	
②事業収入		WCS販売（たちあやか） ぶどう販売 きくらげ販売	
事業収入	2,556,382	250,000 1,883,862 396,120	1,705,284
雑収入	1,002,030	経営所得安定対策交付金996,030 シャイン苗6,000	992,460
事業収入計	3,558,412		2,697,744
③雑収入			
受取利息収入	0		0
事業活動収入計	3,558,412		2,697,744
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
仕入高	23,100	木質ペレット仕入れ	23,100
給与手当支出	830,975	職員0.2	
臨時雇用賃金支出	1,270,375		732,226
賞与支出	207,693	職員0.2	0
法定福利費支出	176,352	職員0.2	1,857
役員報酬支出	120,000		120,000
旅費交通費支出	33,590	自己車使用20円/km	24,920
通信運搬費支出	5,044	ぶどう送料（ヤマト）防除機用スマホ（モバイル料金）	0
消耗品費支出	649,644	ぶどう、きくらげシール他出荷資材	306,741
修繕費支出	1,189,078	灌水スプリンクラー・天張り張替え工事	0
福利厚生費支出	118,790	空調服、飲料水	0
燃料費支出	0		0
光熱水料費支出	0	ハウスリース1/10防除機リース1/7↓	0
賃借料支出	1,260,034	機械リース料（ユンボ、動噴他）田んぼ借地料	227,909
保険料支出	60,357	ハウス農済、自賠責保険	0
租税公課支出	39,710	消費税	27,688
委託費支出	771,183	財務会計ソフト、風の家、特産館他委託料、田んぼ作業委託料	554,982
資材費支出	977,398	稲苗、肥料、農薬、菌床代	563,475
需用費支出	10,240	風の家年会費、北部クリーンセンター	7,250
会議費支出	113,870	ぶどう、WCS、きくらげ	10,940
手数料支出	1,760	振込手数料	1,100
販売促進費支出	0		0
事業費支出計	7,859,193		2,632,188
②管理費支出			
役員報酬	0		0
賃借料支出	0		0
租税公課費支出	0		0
委託費支出	0		0
管理費支出計	0		0
③その他の支出			
法人税、住民税及び事業税	17,750		17,750
事業活動支出計	7,876,943		2,649,938
事業活動収支差額	△ 4,318,531		47,806
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
①固定資産売却売却収入	0		0
長期前払費用取崩収入	795,504		0

収支計算書総括表会計別明細書 農産物生産販売等事業（収益事業等会計）

令和7年4月1日から令和8年3月31日

（単位：円）

科 目	金 額	備 考	令和6年度
投資活動収入合計	795,504		0
2. 投資活動支出			
①固定資産取得支出	8,200	リサイクル預託金支出	
車両運搬具購入支出	1,773,760	スズキエブリイバン	176,000
投資活動支出計	1,781,960		176,000
投資活動収支差額	△ 986,456		△ 176,000
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
①その他の収入			0
他会計借入金収入	3,884,332		△ 418,971
財務活動収入計	3,884,332		△ 418,971
2. 財務活動支出			
①その他の支出	0		0
他会計貸付金支出			0
財務活動支出計	0		0
財務活動収支差額	3,884,332		△ 418,971
Ⅳ 他会計振込額	0		0
当期収支差額	△ 1,420,655		△ 547,185
前期繰越収支差額	△ 655,406		△ 108,241
次期繰越収支差額	△ 2,076,061		△ 655,406

収支計算書総括表会計別明細書 施設管理事業・本来事業（収益事業等会計）
令和7年4月1日から令和8年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	備 考	令和6年度
I 事業活動収支の部			(施設全体)
1. 事業活動収入			
①会費収入			12,000,000
正会員会費収入			
②事業収入	12,774,280	指定管理料・糞処理料	762,483
事業収入		12,000,000 774,280	
雑収入	0		0
事業収入計	12,774,280		12,762,483
③雑収入			
受取利息収入	0		
事業活動収入計	12,774,280		12,762,483
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
給与手当支出	2,381,325	臨時職員1.0名 給与手当	2,232,325
臨時雇用賃金支出	129,375		95,000
賞与支出	100,000		100,000
法定福利費支出	125,929	臨時職員1.0名 社会保険料、	301,874
役員報酬支出	120,000		120,000
福利厚生費支出	11,982	検診助成	15,000
旅費交通費支出	0	出張手当(自己車使用 20円/km)	780
通信運搬費支出	31,828	堆肥センター電話代、郵送料	25,527
消耗品費支出	60,123	オイル、ラップ他消耗品	49,249
修繕費支出	994,970	堆肥設備、車輛等修理代	227,190
燃料費支出	856,370	堆肥センター燃料費	615,995
光熱水料費支出	3,400,752	堆肥センター電気代、LPG他	3,610,115
賃借料支出	24,398	コンボリース代	0
保険料支出	138,690	施設賠償責任保険、車両任意保険	64,750
租税公課支出	617,191	消費税・車輛重量税他	567,663
委託費支出	174,413	財務会計ソフト他委託料、堆肥成分検査他	148,874
資材費支出	2,525,600	堆肥水分調整材(おが屑)他購入費	2,060,300
需用費支出	0		0
保安点検費支出	554,124	中国電気保安協会、浄化槽点検、ローダ・リフト年次点検他	403,998
手数料支出	24,420	振込手数料	16,555
会議費支出	0		0
貸倒損失支出	0		2
事業費支出計	12,271,490		10,655,195
②管理費支出			
役員報酬	0		0
賃借料支出	0		0
租税公課費支出	0		0
委託費支出	0		0
管理費支出計	0		0
③その他の支出			
法人税、住民税及び事業税	52,750		297,050
事業活動支出計	12,324,240		10,952,245
事業活動収支差額	450,040		1,810,238
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
①固定資産売却売却収入			0
強化基金引当預金取崩収入	0		0

収支計算書総括表会計別明細書 施設管理事業本来事業（収益事業等会計）

令和7年4月1日から令和8年3月31日

（単位：円）

科 目	金 額	備 考	令和6年度
投資活動収入合計	0		0
2. 投資活動支出			
①固定資産取得支出			
車輛運搬具購入支出			292,830
リサイクル預託金支出			7,170
固定資産取得支出計	0		300,000
投資活動収支差額	0		△ 300,000
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
①その他の収入	0		0
他会計借入金収入	5,555,325		5,590,329
財務活動収入計	5,555,325		5,590,329
2. 財務活動支出			
①その他の支出	0		0
他会計貸付金支出	0		0
財務活動支出計	0		0
財務活動収支差額	5,555,325		5,590,329
Ⅳ 他会計振込額	0		0
当期収支差額	6,005,365		7,100,567
前期繰越収支差額	48,638,267		41,537,700
次期繰越収支差額	54,643,632		48,638,267

収支計算書総括表会計別明細書 施設管理事業・自主事業（収益事業等会計）

令和7年4月1日から令和8年3月31日

（単位：円）

科 目	金 額	備 考	令和6年度
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①会費収入			
正会員会費収入	0		
②事業収入			
事業収入	3,354,091	堆肥販売収入	3,426,466
雑収入	774,280	水分調整材補助	762,483
事業収入計	4,128,371		4,188,949
③雑収入			
受取利息収入	0		
事業活動収入計	4,128,371		4,188,949
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
仕入高	0		
給与手当支出	1,591,184	臨時職員 0.5名 給与手当	1,566,559
臨時雇用賃金支出	514,875		477,250
賞与支出	50,000	臨時職員 0.5名 賞与	50,000
法定福利費支出	234,388	臨時職員 0.5名 社会保険料	226,813
役員報酬支出	120,000		120,000
福利厚生費支出	0	検診助成	0
旅費交通費支出	360	出張手当（自己車使用 20円/km）	700
通信運搬費支出	1,372	堆肥成分検査（ヤマト）	1,550
消耗品費支出	4,755	オイル他消耗品	74,660
修繕費支出	712,326	車輛等修理代	902,264
燃料費支出	302,550	堆肥センター車輛燃料費	0
光熱水料費支出	7,802	堆肥ストックヤード電気代	7,850
賃借料支出	120,264	富山根ストックヤード借地料（真庭市）他	128,930
保険料支出	176,510	車輛自賠責・任意保険	247,013
租税公課支出	376,559	消費税・車輛重量税・自動車税・軽自動車税他	570,947
委託費支出	143,653	財務会計ソフト他委託料	162,085
資材費支出	0	堆肥袋代金	112,285
需用費支出	0	消耗品	0
会議費支出	0	富山根ストックヤード役員会	0
手数料支出	6,710	振込手数料	9,790
販売促進費支出	0		0
事業費支出計	4,363,308		4,658,696
②管理費支出			
役員報酬	0		0
賃借料支出	0		0
租税公課費支出	0		0
委託費支出	0		0
管理費支出計	0		0
③その他の支出			
法人税、住民税及び事業税	17,750		17,750
事業活動支出計	4,381,058		4,676,446
事業活動収支差額	△ 252,687		△ 487,497
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
①固定資産売却売却収入			0
強化基金引当預金取崩収入	0		0

収支計算書総括表会計別明細書 施設管理事業（収益事業等会計）

令和7年4月1日から令和8年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	備 考	令和6年度
投資活動収入合計	0		
2. 投資活動支出			
①固定資産取得支出			
車輦運搬具購入支出	0		1,082,120
リサイクル預託金支出	0		23,220
投資活動支出計	0		1,105,340
投資活動収支差額	0		△ 115,340
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
①その他の収入	0		
他会計借入金収入	△ 1,911,713		△ 250,444
財務活動収入計	△ 1,911,713		△ 250,444
2. 財務活動支出			
①その他の支出	0		
他会計貸付金支出	0		0
財務活動支出計	0		0
財務活動収支差額	△ 1,911,713		△ 250,444
Ⅳ 他会計振込額	0		0
当期収支差額	△ 2,164,400		△ 1,843,281
前期繰越収支差額	△ 31,730,702		△ 29,887,421
次期繰越収支差額	△ 33,895,102		△ 31,730,702

財産目録

令和 8年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	普通預金			50,558,919
	未収金			17,785,262
	たな卸資産			2,023,560
	前払費用			880,000
	貸倒引当金			△ 105,000
流動資産合計				71,142,741
(固定資産)	特定資産			
	機械及び装置 (特)			2
	減価償却引当預金 (特)			14,389,395
	その他固定資産			
	建物			1
	車両運搬具			1,699,858
	什器備品			3
	構築物			1,130,129
	機械及び装置			2,207,026
	土地			11,500,000
	強化基金引当預金			14,900,000
	リサイクル預託金			38,590
	長期前払費用			4,153,836
	固定資産合計			50,018,840
資産合計				121,161,581
(流動負債)	未払金			4,737,626
	未払法人税等			5,650,400
	未払消費税等			1,442,400
	預り金			1,109,481
	流動負債合計			12,939,907
固定負債合計				0
負債合計				12,939,907
正味財産				108,221,674

少額減価償却資産内訳明細書

令和 7年 4月 1日 ~ 令和 8年 3月31日

商号：一般社団法人 森山農業公社

P- 1

印刷：令和 8年 5月25日(19:12)

【取得年月日順】 【自社資産】

(単位：円)

行	固定資産コード	名 称 構造・細目	単位 数量	取得年月日 事業供用日	取得価額	償却資産 申告先	摘 要
1	0000000019	クボタ畦刈機	台 1	平成29年 3月31日 平成29年 4月13日	213,840	対象 真庭市	
2	0000000020	軽ダンプ	台 1	平成29年 5月29日 平成29年 5月29日	150,000	対象外	
3	0000000023	東芝dynabook B65 事務・通信機器電子計算機(パソコン)	台 1	令和 1年 7月 9日 令和 1年 7月 9日	113,400	対象 真庭市	公益事業
4	0000000024	東芝dynabook B65 事務・通信機器電子計算機(パソコン)	台 1	令和 1年12月 1日 令和 1年12月 1日	124,300	対象 真庭市	
5	0000000028	動噴 農業	台 1	令和 4年 5月31日 令和 4年 5月31日	140,800	対象 真庭市	
6	0000000030	三菱キャンター3340 前掲のもの以外自動車(他貨物その他)	台 1	令和 6年 4月23日 令和 6年 4月23日	292,830	対象外	堆肥販売事業
7	0000000031	三菱キャンター3341 前掲のもの以外自動車(他貨物その他)	台 1	令和 6年 4月23日 令和 6年 4月23日	292,830	対象外	堆肥センター管理 事業
8	0000000032	エアコン (ぶどう出荷室) 家具、電気、ガス、家庭冷房用機器	台 1	令和 6年 9月26日 令和 6年 9月26日	176,000	対象 真庭市	農作物生産販売事 業
9	0000000034	電動エコキャリア	台 1	令和 7年 1月15日 令和 7年 1月15日	188,000	対象 真庭市	公益事業
10	0000000036	HP ノートPC 250R G9 事務・通信機器電子計算機(パソコン)	台 1	令和 7年 8月27日 令和 7年 8月27日	148,500	対象 真庭市	
11	0000000037	HP ノートPC 250R G9 事務・通信機器電子計算機(パソコン)	台 1	令和 7年 8月27日 令和 7年 8月27日	148,500	対象 真庭市	
12	0000000038	バッテリスターターSK-1240	台 1	令和 7年12月16日 令和 7年12月16日	247,500	対象 真庭市	
13	0000000039	HP 250R G9 NOTEBOOK 事務・通信機器電子計算機(パソコン)	台 1	令和 8年 3月23日 令和 8年 3月23日	162,800	対象 真庭市	
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							

(単位：円)

原簿区分 固資産・外 部	名 称	価額 方法	事業供用 年月日	(5%相当額) 取得価額	期首帳簿価額	償却基礎金額	耐用 年数	償却限度額			当期償却額	償却累計額	期末帳簿価額	摘要
								普通償却限度額	特別償却限度額	合 計				
	【建物】													
11	0000000027 100-0-0 プレハブハウス 簡易建物柱10cm以下タンクつき 建物	定額法 1.00棟	R 6. 3. 7	304,150	139,403	304,150	2年 0.500	139,402		139,402	139,402	304,149	1 農産物生産販売	
	種類合計			304,150	139,403	304,150		139,402		139,402	139,402	304,149	1	
				【新築費の取得価額】 304,150	【期中買入額】 0	【期中売却額】 0		【売却損】 0	【売却益】 0	【売却処分利益（損失）】 0	【除却損】 0			
	【構築物】													
13	0000000026 100-0-0 井戸ポンプ 農業用金属造	定額法 1.00式	R 4. 4. 30	1,490,500	1,168,552	1,490,500	14年 0.072	107,316		107,316	107,316	429,264	1,061,236 農作物生産販売	
13	0000000021 100-0-0 灌水施設 農業用	定額法 1.00式	H30. 4. 10	344,440	103,332	344,440	10年 0.100	34,444		34,444	34,444	275,552	68,888 農作物生産販売	
13	0000000001 100-0-0 バイオハウス 構築物	旧定額法 5.00棟	H18. 3. 20	7,478,100	5	6,730,290	8年 0.125	0		0	0	7,478,095	5 公益事業	
	種類合計			9,313,040	1,271,889	8,565,230		141,760		141,760	141,760	8,182,911	1,130,129	
				【新築費の取得価額】 9,313,040	【期中買入額】 0	【期中売却額】 0		【売却損】 0	【売却益】 0	【売却処分利益（損失）】 0	【除却損】 0			
	【機械及び装置】													
21	0000000002 100-0-0 灌水施設 農業	旧定額法 1.00式	H18. 3. 20	32,393	1	583,065	7年 0.142	0		0	0	647,849	1 公益事業	
21	0000000003 100-0-0 加圧噴霧システム 農業	旧定額法 1.00式	H18. 3. 20	14,175	1	255,150	7年 0.142	0		0	0	283,499	1 公益事業	
21	0000000004 100-0-0 セット動噴 農業	旧定額法 1.00式	H18. 3. 20	12,354	1	222,359	7年 0.142	0		0	0	247,064	1 公益事業	
21	0000000005 100-0-0 給水施設 農業	旧定額法 1.00式	H18. 3. 20	14,464	1	260,338	7年 0.142	0		0	0	289,263	1 公益事業	
21	0000000006 100-0-0 牧草モア 農業	旧定額法 1.00台	H18. 3. 20	16,202	1	291,627	7年 0.142	0		0	0	324,029	1 公益事業	
21	0000000009 100-0-0 ヨシツバ 農業	定額法 1.00台	H20. 5. 1	912,450	1	912,450	7年 0.143	0		0	0	912,449	1 農地管理事業	
21	0000000013 100-0-0 マルチャ 農業	定額法 1.00台	H23.12. 5	204,750	1	204,750	7年 0.143	0		0	0	204,749	1 農地管理事業	
21	0000000014 100-0-0 汎用型飼料収穫機(特)	定額法 1.00台	H24. 8. 25	17,220,000	1	17,220,000	7年 0.143	0		0	0	17,219,999	1 農地管理事業	
21	0000000015 100-0-0 自走ラップマシーン(特)	定額法 1.00台	H24. 8. 25	2,310,000	1	2,310,000	7年 0.143	0		0	0	2,309,999	1 農地管理事業	

(注1) 償却累計額の合計の上段は期末所有資産のみの合計を表示しています。

(注2) 種類が樹木及び芝の普通償却限度額の上段は、増加償却の割合と金額を表示しています。

(注3) 圧積配係を積立金方式で行っている場合は、TPS10000のメニュー「332 法人税・地方税ワーキングシート」で、圧積積立金取崩額を別表4に直接入力してください。

(注4) 改定償却率による計算を開始している資産は、「償却基礎金額」列の upper に「改定償却率」、下段に「改定取得価額」を表示しています。

「ス期間」を表示しています。

(TPS1000--K3 Copyright (C) TKC)

旧定額法・定額法による固定資産減価償却内訳明細書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

【全登録資産】

原価区分(%) 原・販・外	固定資産コード	名 称	価 額 方法	事業利用 年月日	(5%相当額) 取得価額	期首帳簿価額	償却基礎金額	耐用 年数	償却限度額			償却累計額	期末帳簿価額	摘要
									普通償却限度額	特別償却限度額	合 計			
100・0・0	00000000033	ロボモア 17Y FA0007956	定額法 1.00式	R 6. 8. 27	1,039,500	940,402	1,039,500	7年	148,648	148,648	791,754	農作物生産販売		
100・0・0	00000000040	農業 融雪剤散布機	定額法 1.00台	R 7.12.18	1,486,100		1,486,100	7年	70,837	70,837	1,415,263	農地管理事業		
100・0・0	00000000010	ホイローローダー	定額法 1.00台	H23. 9. 6	845,000	1	845,000	2年	0	0	844,999	農地管理事業		
100・0・0	00000000011	三菱トラクター	定額法 1.00台	H23. 9. 22	525,000	1	525,000	2年	0	0	524,999	農地管理事業		
		機械及び装置 種類合計			26,334,509 【期末資産の取得価額】	940,413 【期中買入額】	26,155,339 【期中売却額】		219,485 【売却損】	219,485 【売却損】	24,127,481 24,127,481	2,207,028		
		【車両及び運搬具】			26,334,509	1,486,100	0		0	0				
100・0・0	00000000017	トラクター	定額法 1.00台	H24. 8. 20	966,000	1	966,000	4年	0	0	965,999	1	農地管理事業	
100・0・0	00000000035	スズキ軽ダンプ(小型車)	定額法 1.00台	R 8. 2. 21	1,773,760		1,773,760	4年	73,906	73,906	1,699,854	1	農地管理事業	
100・0・0	00000000016	スズキ軽ダンプ4701	定額法 1.00台	H28. 2. 18	501,015	1	501,015	2年	0	0	501,014	1	農地管理事業	
100・0・0	00000000022	日産パネットバン8297	定額法 1.00台	H30. 4. 5	1,389,210	1	1,389,210	2年	0	0	1,389,209	1	農地管理事業	
100・0・0	00000000029	日野レンジャー1024	定額法 1.00台	R 6. 4. 23	789,290	394,645	789,290	2年	394,644	394,644	789,289	1	堆肥販売事業	
		車両及び運搬具 種類合計			5,419,275 【期末資産の取得価額】	394,648 【期中買入額】	5,419,275 【期中売却額】		468,550 【売却損】	468,550 【売却損】	3,719,417 3,719,417	1,699,858		
		【器具及び備品】			5,419,275	1,773,760	0		0	0				
100・0・0	00000000007	防風、防草施設	旧定額法 1.00式	H18. 3. 20	59,693	1	1,074,465	5年	0	0	1,193,849	1	公益事業	
100・0・0	00000000008	0栽培施設	旧定額法 1.00式	H18. 3. 20	15,645	1	281,610	5年	0	0	312,899	1	公益事業	
100・0・0	00000000025	農場ハウス用巻上資材	定額法 1.00式	R 3. 4. 1	366,490	73,298	366,490	5年	73,297	73,297	366,489	1	公益事業	
		器具及び備品 種類合計			1,873,240 【期末資産の取得価額】	73,300 【期中買入額】	1,722,565 【期中売却額】		73,297 【売却損】	73,297 【売却損】	1,873,237 1,873,237	3		

注1) 償却累計額の合計の上段は期末所有資産のみの合計を表示しています。

注2) 種類が機械及び装置の普通償却限度額の上段は、増加償却の割合と金額を表示しています。

注3) 圧縮記帳を積立金方式で行っている場合は、TPS1000のメニュー「332 法人税・地方税ワーキングシートの入力」で、圧縮積立金取崩額を別表4に直接入力してください。

注4) 改定償却率による計算を開始している資産は、「償却基礎金額」列の upper 段に「改定償却率」、下段に「改定取得価額」を表示しています。

注5) 経過リース期間定額法を適用している資産の場合は、「耐用年数」列及び「償却期間」列に「改定リース期間」を表示しています。

TKC

10057143

税理士法人ペンタス

旧定額法・定額法による固定資産減価償却内訳明細書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

商号：一般社团法人 蒜山農業公社

3
1
P

【全登録資産】

印刷：令和 8 年 5 月 25 日 (19:11)

(単位:円)

[illegible]

(注1)償却累計額の合計の上段は期末所有資産のみの合計を表示しています。
(注2)種別が機械及び装置の普通償却限度額の上段は、増加償却の割合と金額を表示しています。
(注3)圧縮記録機を積立方式で行っている場合は、TPS100のメニュー「332 法人税・地方税ワーキングシート」で、圧縮簿立金取崩額を別表4に直接入力してください。
(注4)償却記録帳を積立方式で計算を開始している資産は、「償却基礎金額」列の上段に「改定償却率」、下段に「改定取得価額」を表示しています。
(注5)改定償却率による計算を開始していない資産は、「償却基礎金額」列に「改定リース期間」を記入し、「耐用年数」列及び「償却期間」列に「改定リース期間」を記入しています。
(注6)経過リース期間定額法を適用している資産の場合は、「耐用年数」列に「償却期間」を記入し、「償却率」列に「改定リース期間」を記入しています。

(TPS1000-K3 Copyright (C) TKC)

令和 7 年度剰余金処分案

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

当期収入合計 85,052,974 円

当期支出合計 71,386,019 円

当期収支差額 13,666,955 円

前期繰越金 42,617,319 円

当期剰余金 56,284,274 円

令和 7 年度剰余金（当期剰余金）56,284,274 円の処分については、次の年度に繰り越すものとする。

令和 8 年 8 月 日

一般社団法人蒜山農業公社
理事長 入 澤 元 治

監 査 報 告 書

一般社団法人 蒜山農業公社
理事長 入澤 元治 殿

令和 8 年 8 月 6 日

一般社団法人 蒜山農業公社

監事 宮 永 優 (印)

監事

私は、令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までの令和 7 年度
における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査方法と概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会の関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きにより業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 収支状況及び財政状態は、正しく表示しているものと認める。
- (2) 事業報告書の内容は、真実であるものと認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款違反の事実はないと認める。

以 上

第 2 号議案

令和 8 年度事業計画（案）及び収支予算（案）
の承認について

令和 8 年度 一般社団法人 蒜山農業公社 事業計画（案）

1. 農地利用集積円滑化事業に関する事業

（1）農地所有者代理事業・売買等事業

農業者の高齢化が進む中、耕作放棄地、遊休農地増加を抑えるため、中間農地管理機構に協力し、農用地を規模拡大農家（認定農業者等）へ売り渡し、貸し付け、又は仲介斡旋し意欲のある農家の経営を確立させる。また、蒜山地域内の大規模草地等の維持管理及び運営を受託し、農家への貸付業務を行う。事業実施にあたっては、真庭市、晴れの国岡山農業協同組合、蒜山酪農農業協同組合、市農業委員会と連携を密にして各集落の実態の把握に努めるとともに広報活動も実施する。

（2）研修等事業

真庭市、晴れの国岡山農業協同組合等と連携を図り、新規就農者等に対する就農相談窓口を設けるほか、団塊世代等の退職者や I ターン・U ターンの若年層への就農対策は、体験農場（ぶどう栽培）の充実を図ることで、農業に対する知識と意欲を高め、先進的な農業経営の目標に向け、一元的な指導体制の充実強化により新たな担い手の確保育成を図る。

令和 2 年度にハイブリッド産地育成推進事業で整備した「担い手研修施設(ハウス)」及びブドウが 6 年目を迎えた。市場への本格出荷を開始するにあたり、岡山県が 9 月に開催する就農相談会【後期】で、新規就農者の受入募集を開始する。また今年度は、スマート防除機 XAG の導入や、環境に配慮した取組（液肥散布等）も始めた。効率よいぶどう栽培、また、循環型農業による付加価値のあるブドウ栽培を目指し、担い手（新規就農者）の育成を行っていく。あわせて、北部地域での研修拠点としてブドウの産地拡大を目指す。また、夏場のキクラゲの栽培を行う。

2. 生産体系の確立に関する事業

（1）公社受託事業

高齢者農家、兼業農家の労働力不足を補うため農作業受託を行う。また、耕作放棄地の復旧、遊休農地の保全管理を地域農業者と連携し積極的に取り組み、農地の維持管理、多面的機能増進に努める。

- ・「汎用型飼料収獲機」を有効活用し、真庭地域全域での作業を行い、耕畜連携の要となる作業受託により地域貢献に繋がる事業を行う。
- ・受託する農作業については、今後必要となる作業を選定し作業機械の導入・更新を検討する。
- ・道路除雪作業及び道路除草作業を受託し、地域住民生活の安全確保に貢献する。

（２）経営体の育成及び強化

新規就農者受入組織である株式会社グリーンフィットに農場の一部、及び作業機械の提供を行い、地域農業を支える人材の育成を図る。また、真庭市・晴れの国岡山農業協同組合・蒜山酪農農業協同組合と協力し、生産者組織、各部会に参加し情報の共有を図る。

（３）環境保全型農業の推進

- ・真庭市蒜山堆肥センターの業務を受託し「バイオマスタウン真庭」にふさわしい、循環型農業の基となる良質堆肥を製造する。低コストの水分調整材の調達に努める。
- ・耕種農家と畜産農家との連携を図り、利用意向調査等を行い地域のニーズを把握することで、今以上に畜産農家からの糞の受け入れを積極的に実施し環境保全に努める。
- ・蒜山地域の大根、キャベツ、トマト等の耕種農家へ幅広く堆肥の利用を推進し、良質で安心安全な野菜の生産、PRを行い、さらなるブランド化に寄与する。

（４）地域特産物の開発及び販売促進

・地域特産物の販売促進

蒜山地域で生産する農産物、加工品の販売促進や蒜山フェア等の支援を行う。

また、つむぐ株式会社（前岡山直売所ネットワーク）が運営するジェイエイまにわ蒜山農産加工（有）と業務委託契約を結び、引き続き協力する。

・農村と都市との交流

蒜山地域が有する豊かな自然を活用し、蒜山で生まれる産品のブランド化、商品化を目指し、農観連携による企画を展開し、一人でも多くの人に足を運んでもらい真庭・蒜山のファンを増やす。

・特産品の開発（農産物の栽培試験）

飼料高騰の中、引き続き稲WC Sの栽培を実施する。

3. 活性化対策事業の実施（グリーンツーリズムの推進）

グリーンツーリズムを通じて都市と農村の交流を実施することにより、蒜山高原の素晴らしさを満喫していただき、真庭ファンを確立する。

（各団体との連携をとる。）

4. その他法人の目的達成のために必要な事業

- ・真庭市の大規模草地等の管理受託（農道維持管理を含む）
- ・蒜山農業公社職員も高齢化が進む中、若手職員の求人募集を行う。

令和8年度 収支予算書(案)

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	合 計	法人会計	公益会計	農産物	農地管理	施設管理	施設自主事業
I 収入の部							
1 事業収入	47,560,000	0	0	4,420,000	36,000,000	1,500,000	5,640,000
2 基本財産運用収入	0	0	0	0	0	0	0
3 会費収入	3,500,000	3,500,000	0	0	0	0	0
4 補助金等収入	0	0	0	0	0	0	0
5 借入金収入	0	0	0	0	0	0	0
6 特定預金取崩収入	0	0	0	0	0	0	0
7 他会計繰入金収入	10,000,000	5,000,000	5,000,000	0	0	0	0
8 指定管理料収入	12,000,000	0	0	0	0	12,000,000	0
9 雑収入	15,000	15,000	0				
当期収入合計(A)	73,075,000	8,515,000	5,000,000	4,420,000	36,000,000	13,500,000	5,640,000
前期繰越収支差額	0	0	0	0	0	0	0
収入合計(B)	73,075,000	8,515,000	5,000,000	4,420,000	36,000,000	13,500,000	5,640,000

科 目	合 計	法人会計	公益会計	農産物	農地管理	施設管理	施設自主事業
II 支出の部							
1 事業費	49,363,000	0	2,768,000	4,220,000	25,840,000	13,220,000	3,315,000
給料手当	13,450,000	0	0	1,750,000	5,600,000	4,600,000	1,500,000
臨時職員賃金	5,670,000	0	100,000	500,000	5,000,000	70,000	300,000
法定福利費	2,550,000	0	0	310,000	1,200,000	800,000	240,000
報償費	600,000	0	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
福利厚生費	110,000	0	70,000	0	20,000	10,000	10,000
需用費	90,000	0	10,000	0	50,000	30,000	0
通信運搬費	325,000	0	90,000	0	200,000	30,000	5,000
修繕費	3,100,000	0	300,000	0	2,500,000	300,000	300,000
燃料費	2,910,000	0	0	10,000	2,000,000	600,000	300,000
光熱水費	3,650,000	0	250,000	0	0	3,400,000	5,000
資材費	4,350,000	0	350,000	500,000	1,000,000	2,500,000	0
賃借料	1,300,000	0	1,000,000	300,000	0	0	150,000
委託料	6,655,000	0	120,000	300,000	6,000,000	115,000	120,000
保安点検費	300,000	0	0	0	0	300,000	0
仕入高	10,000	0	0	10,000	0	0	0
消耗品費	450,000	0	100,000	200,000	150,000	0	0
農地保全管理費	100,000	0	0	0	100,000	0	0
保険料	280,000	0	150,000	0	120,000	10,000	100,000
租税公課費	1,885,000	0	15,000	0	1,400,000	320,000	150,000
会議費	370,000	0	50,000	20,000	300,000	0	0
交通費	170,000	0	40,000	50,000	70,000	0	10,000
借地料	150,000	0	0	150,000	0	0	0
減価償却積立	0	0	0	0	0	0	0
手数料	33,000	0	3,000	0	10,000	15,000	5,000
2 管理費	2,930,000	2,930,000	0	0	0	0	0
給料手当	1,500,000	1,500,000	0	0	0	0	0
法定福利費	250,000	250,000	0	0	0	0	0
福利厚生費	15,000	15,000	0	0	0	0	0
役員報償費	15,000	15,000	0	0	0	0	0
会議費	200,000	200,000	0	0	0	0	0
旅費	30,000	30,000	0	0	0	0	0
需用費	150,000	150,000	0	0	0	0	0
委託料	150,000	150,000	0	0	0	0	0
消耗品費	80,000	80,000	0	0	0	0	0
通信運搬費	90,000	90,000	0	0	0	0	0
租税公課費	15,000	15,000	0	0	0	0	0
負担金	5,000	5,000	0	0	0	0	0
手数料	10,000	10,000	0	0	0	0	0
光熱水費	120,000	120,000	0	0	0	0	0
賃借料	300,000	300,000	0	0	0	0	0
3 借入金返済支出	0	0	0	0	0	0	0
4 繰入金支出	10,000,000	5,000,000	0	0	5,000,000	0	0
5 予備費	10,782,000	585,000	2,232,000	200,000	5,160,000	280,000	2,325,000
当期支出合計(C)	73,075,000	8,515,000	5,000,000	4,420,000	36,000,000	13,500,000	5,640,000
当期収支差額(A-C)	0	0	0	0	0	0	0
次期繰越収支差額(B-C)	0	0	0	0	0	0	0

人員 事業別配賦

福富 1.0人

入澤 0.5人

野尻 1.0人

村上 1.0人

広本 0.5人

入澤 0.5人

牧原 1.0人

広本 0.5人

令和8年度 蒜山農業公社 法人会計収支予算(案)
(令和8年 4月 1日～令和9年 3月31日)

(収入の部)

(単位:円)

大 科 目	中 科 目	小 科 目	本年度 予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
1. 会費収入	1. 正会員会費収入	1. 年会費	3,500,000	3,500,000	0	真庭市年会費
2. 補助金等収入	1. 補助金	1. 県補助金	0			
		2. 市補助金	0	0	0	
		3. 農協補助金	0	0	0	
3. 借入金収入	1. 短期借入金収入	1. 短期借入金収入	0	0	0	
4. 特定預金取崩収入	1. 定期積立金取崩収入	1. 定期積立預金取崩収入				
5. 繰入金収入	1. 繰入金収入	1. 他会計繰入金収入	5,000,000	6,500,000	-1,500,000	(農地管理会計より)
6. 雑収入	1. 受取利息	1. 受取利息	15,000	1,000	14,000	定期預金利息、普通預金利息、雑収入
当期収入合計(A)			8,515,000	10,001,000	-1,486,000	
前期繰越収支差額			0	0	0	
収入合計(B)			8,515,000	10,001,000	-1,486,000	

令和8年度 蒜山農業公社 法人会計収支予算 (案)
(令和8年 4月 1日～令和9年 3月31日)

(支出の部)

(単位:円)

大 科 目	中 科 目	小 科 目	本年度 予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
1. 事業費	1. 事業費	1. 事業推進費	0	0	0	
	2. 事業費	1. 研修費	0	0	0	
2. 管理費	1. 一般管理費	1. 給料手当	1,500,000	700,000	800,000	臨時1.0名
		2. 法定福利費	250,000	150,000	100,000	臨時1.0名
		3. 福利厚生費	15,000	0	15,000	
		4. 報償費	15,000	70,000	-55,000	役員報酬 (監査他)
		5. 会議費	200,000	200,000	0	
		6. 旅費	30,000	30,000	0	
		7. 需用費	150,000	150,000	0	香典他
		8. 委託料	150,000	150,000	0	会計事務委託料 1/5
		9. 備品費	80,000	80,000	0	事務用品等
		10. 通信運搬費	90,000	90,000	0	電話、ネット、切手代等
		11. 公租公課費	15,000	15,000	0	法人県、市民税外
		12. 負担金	5,000	5,000	0	会議負担金他
		13. 手数料	10,000	10,000	0	振込手数料
		14. 光熱水費	120,000	120,000	0	電気、水道代、灯油代
		15. 賃借料	300,000	300,000	0	複合機・パソコンリース料 印刷代・会計ソフト
3. 借入金返済支出	1. 短期借入金返済支出	1. 短期借入金返済支出	0	0	0	
4. 繰入金支出	1. 繰入金支出	1. 他会計繰入金支出	5,000,000	6,500,000	-1,500,000	(公益目的事業会計へ)
5. 予備費	1. 予備費	1. 予備費	585,000	1,431,000	-846,000	
当期支出合計 (C)			8,515,000	10,001,000	-1,486,000	
当期収支差額 (A) - (C)			0	0	0	
次期繰越収支差額 (B) - (C)			0	0	0	

令和8年度 蒜山農業公社 公益目的事業会計収支予算 (案)
(令和8年 4月 1日～令和9年 3月31日)

(収入の部)

(単位：円)

大 科 目	中 科 目	小 科 目	本年度 予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
1. 事業収入	1. 農地利用集積円滑化事業	1. 規模拡大加算手数料	0	0	0	
	2. その他収入	1.			0	
	3.	1.			0	
	1.				0	
2. 繰入金収入	1. 繰入金収入	1. 他会計繰入金収入	5,000,000	5,000,000	0 (法人会計より)	
3. 繰入金収入2	1. 繰入金収入2	1. 他会計繰入金収入	0	0	0	
当期収入合計 (A)			5,000,000	5,000,000	0	
前期繰越収支差額			0	0	0	
収入合計 (B)			5,000,000	5,000,000	0	

令和8年度 蒜山農業公社 公益事業会計収支予算(案)
(令和8年 4月 1日～令和9年 3月31日)

(支出の部)

(単位:円)

大 科 目	中 科 目	小 科 目	本年度 予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
1. 事業費	農地利用集積円滑化 1. 等事業	1. 給料手当	0	1,060,000	-1,060,000	職員0.2名 給与手当 賞与
		2. 臨時雇用賃金	100,000	100,000	0	臨時職員(作業員)
		3. 法定福利費	0	150,000	-150,000	職員0.4名臨時0.5 社会保険料、中退金事業所負担分
		4. 報償費	120,000	120,000	0	役員報酬
		5. 福利厚生費	70,000	70,000	0	
		6. 需用費	10,000	10,000	0	
		7. 賃借料	1,000,000	1,000,000	0	複合機・PCリース料・印刷代・会計ソフト・ハウスリース料
		8. 光熱水費	250,000	250,000	0	
		9. 通信運搬費	90,000	90,000	0	電話・ネット使用料法人会計配賦
		10. 消耗品費	100,000	100,000	0	
		11. 手数料	3,000	3,000	0	振込手数料等
		12. 修繕費	300,000	300,000	0	機械修理
		13. 管理委託料	120,000	120,000	0	会計事務委託料
		13. 保険料	150,000	150,000	0	農業共済他
		14. 租税公課費	15,000	15,000	0	
	2. 研修等事業	1. 会議費	50,000	50,000	0	
		2. 資材費	350,000	350,000	0	ハウス資材等
		3. 講師派遣料	0	0	0	
		5. 交通費	40,000	40,000	0	出張旅費・自己車使用等
	3.	1.			0	
2. 管理費	1. 一般管理費	1. 委託料	0		0	
		2. 通信運搬費	0		0	
		3. 租税公課費	0		0	
		4. 手数料	0		0	
3. 繰入金支出	1. 繰入金支出	1. 他会計繰入金支出	0		0	
4. 予備費	1. 予備費	1. 予備費	2,232,000	292,000	1,940,000	
	当期支出合計(C)		5,000,000	4,270,000	730,000	
	当期収支差額(A)-(C)		0	0	0	
	次期繰越収支差額(B)-(C)		0	0	0	

(※上記の小科目予算は事務局長の承認により流用を認める)

令和8年度 蒜山農業公社 農地管理会計収支予算(案)
(令和8年 4月 1日～令和9年 3月31日)

(収入の部)

(単位:円)

大 科 目	中 科 目	小 科 目	本年度 予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
1. 事業収入	1. 受委託収入	1. 農作業受委託収入	30,000,000	30,000,000	0	0 農作業受託 (除雪, 除草作業含む)
	2. 土地管理貸付収入	1. 草地使用料	6,000,000	6,000,000	0	0 川上・八束大規模草地/大根畑管理料
	3.	1.				
2. その他事業収入	1. その他収入	1. その他収入	0	0	0	
3. 繰入金収入	1. 繰入金収入	1. 他会計繰入金収入			0	
4. 雑収入	1. 雑収入	1. 雑収入	0	0	0	
当期収入合計 (A)			36,000,000	36,000,000	0	
前期繰越収支差額			0	0	0	
収入合計 (B)			36,000,000	36,000,000	0	

令和8年度 蒜山農業公社 農地管理会計収支予算(案)

(令和8年 4月 1日～令和9年 3月31日)

(単位:円)

(支出の部)

大 科 目	中 科 目	小 科 目	本年度 予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
1. 事業費	1. 農作業受委託事業	1. 給料手当	5,600,000	4,500,000	1,100,000	職員1.5名 臨時職員0.5名 給与手当・賞与
		2. 臨時雇用賃金	5,000,000	5,000,000	0	臨時職員 (農作業・除雪作業員)
		3. 法定福利費	1,200,000	1,000,000	200,000	職員1.5名 臨時職員0.5名 社保、中退金
		4. 報償費	120,000	120,000	0	役員報酬
		5. 福利厚生費	20,000	10,000	10,000	検診助成
		6. 需用費	50,000	50,000	0	
		7. 修繕費	2,500,000	2,500,000	0	農作業機械修繕費
		8. 光熱水費	0	0	0	
		9. 燃料費	2,000,000	2,000,000	0	農作業機械燃料代 (除雪車)
		10. 消耗品費	150,000	150,000	0	オイル他
		11. 通信運搬費	200,000	200,000	0	機械回送料
		12. 旅費交通費	70,000	70,000	0	自己車使用 (20円/km) 高速料金等
		13. 資材費	1,000,000	1,000,000	0	WCSラップ他
		14. 管理委託料	6,000,000	6,000,000	0	除雪委託・川上林野保護組合・会計事務ソフト
		15. 保険料	120,000	120,000	0	トラクター任意保険
		16. 租税公課費	1,400,000	1,400,000	0	収益事業法人税、消費税外
		17. 手数料	10,000	10,000	0	振込手数料
		18. 会議費	300,000	300,000	0	除雪会議・WCS会議等
	3. その他支出	1. 仕入高			0	
		2. 印刷費				
		3. 需用費			0	
		5. 減価償却費積立	0	0	0	
	4. 遊休農地保全管理	1. 管理費	100,000	100,000	0	農道補修等
2. 管理費	1. 一般管理費	1. 委託料	0	0	0	
		3. 租税公課費	0	0	0	
		4. 手数料	0	0	0	
3. 繰入金支出	1. 繰入金支出	1. 他会計繰入金支出	5,000,000	5,000,000	0	法人会計へ
4. 予備費	1. 予備費	1. 予備費	5,160,000	6,470,000	-1,310,000	
当期支出合計 (C)			36,000,000	36,000,000	0	
当期収支差額 (A) - (C)			0	0	0	
次期繰越収支差額 (B) - (C)			0	0	0	

令和8年度 蒜山農業公社 農産物生産販売等事業会計収支予算(案)
(令和8年 4月 1日～令和9年 3月31日)

(収入の部)

(単位:円)

大 科 目	中 科 目	小 科 目	本年度 予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
1. 事業収入	1. 農産物生産販売事業	1. ぶどう販売収入	2,500,000	1,900,000	600,000	
	2.	1. WCS用稲栽培	1,300,000	1,300,000	0	
	3.	1. 菌床栽培(きくらげ)	600,000	600,000	0	
	2.	1. 木質ペレット販売	20,000	20,000	0	
3. 繰入金収入	1. 繰入金収入	1. 他会計繰入金収入	0	0		
4. 雑収入	1. 雑収入	1. 雑収入			0	
当期収入合計(A)			4,420,000	3,820,000	600,000	
前期繰越収支差額			0	0	0	
収入合計(B)			4,420,000	3,820,000	600,000	

令和8年度 蒜山農業公社 農産物生産販売等事業会計収支予算(案)
(令和8年 4月 1日～令和9年 3月31日)

(単位:円)

(支出の部)

大 科 目	中 科 目	小 科 目	本年度 予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
1. 事業費	1. 農産物生産販売事業	1. 給料手当	1,750,000	1,060,000	690,000	職員0.5人 給与手当賞与
		2. 臨時雇用賃金	500,000	500,000	0	
		3. 法定福利費	310,000	150,000	160,000	職員0.5人 給与手当賞与
		4. 報償費	120,000	120,000	0	役員報酬
		5. 福利厚生費		0	0	
		6. 消耗品費	200,000	200,000	0	さくらげ出荷資材
		7. 修繕費	0	0	0	草刈り機等
		8. 燃料費	10,000	10,000	0	
		9. 通信運搬費	0	0	0	宅配料他
		10. 資材費	0	0	0	
		11. 作業委託料・賃借料	300,000	300,000	0	委託作業、機械リース料
		12. 旅費交通費	50,000	50,000	0	自己車使用20円/km
		13. 管理委託料	300,000	300,000	0	会計事務委託・ソフトリース料他
		13. 借地料	150,000	150,000	0	
		14. 租税公課費	0	0	0	消費税
	その他支出	1. 資材費	500,000	500,000	0	肥料、農薬、育苗苗、他(JA)
		2. 仕入高	10,000	10,000	0	
		3.			0	
		5. 会議費	20,000	20,000	0	
		1.	0	0	0	
4.						
2. 管理費	1. 一般管理費	1. 委託料	0	0	0	
		2. 通信運搬費	0	0	0	
		3. 租税公課費	0	0	0	
		4. 手数料	0	0	0	
3. 繰入金支出	1. 繰入金支出	1. 他会計繰入金支出	0	0	0	
4. 予備費	1. 予備費	1. 予備費	200,000	350,000	-150,000	
	当期支出合計(C)		4,420,000	3,720,000	700,000	
	当期収支差額(A)-(C)		0	0	0	
	次期繰越収支差額(B)-(C)		0	0	0	

令和8年度 蒜山農業公社 施設管理会計収支予算 (案)
(令和8年 4月 1日～令和9年 3月31日)

(収入の部)		(単位：円)				
大 科 目	中 科 目	小 科 目	本年度 予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
1. 事業収入	1. 事業収入	1. 製造品販売高			0	
		2. 散布料			0	
		3. 運搬料			0	
		4. 施設使用料	1,500,000	1,500,000	0	糞処理 3,000 t×500円
		5. 管理委託料	12,000,000	12,000,000	0	真庭市指定管理料
					0	
2. 繰入金収入	1. 繰入金収入	1. 他会計繰入金収入	0	0	0	自主事業より
3. 雑収入	1. 雑収入	1. 雑収入			0	
当期収入合計 (A)			13,500,000	13,500,000	0	
前期繰越収支差額			0	0	0	
収入合計 (B)			13,500,000	13,500,000	0	

令和8年度 蒜山農業公社 施設管理会計収支予算(案)
(令和8年 4月 1日～令和9年 3月31日)

(単位:円)

(支出の部)

大 科 目	中 科 目	小 科 目	本年度 予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
1. 事業費	1. 堆肥センター事業費	1. 給料手当	4,600,000	2,300,000	2,300,000	臨時職員2.0名 基本給・賞与
		2. 法定福利費	800,000	400,000	400,000	臨時職員2.0名 社会保険
		3. 福利厚生費	10,000	10,000	0	検診助成
		4. 報償費	120,000	120,000	0	役員報酬
		5. 臨時雇用賃金	70,000	70,000	0	
		6. 通信運搬費	30,000	30,000	0	施設電話代
		7. 需用費	30,000	30,000	0	オイル、グリス等
		8. 修繕費	300,000	300,000	0	施設、作業機械修繕費
		9. 光熱水費	3,400,000	3,500,000	-100,000	堆肥センター電気代他
		10. 燃料費	600,000	600,000	0	軽油、灯油代
		11. 資材費	2,500,000	3,000,000	-500,000	おが屑(リサイクル)他
		12. 保安点検費	300,000	300,000	0	作業機械、施設保安点検
		13. 委託料	115,000	115,000	0	会計事務委託・ソフトリソース料
		14. 保険料	10,000	10,000	0	施設賠償保険料
		15. 租税公課費	320,000	320,000	0	消費税他
		16. 旅費交通費支出	0	0	0	
		17. 手数料	15,000	15,000	0	振込手数料
		18. 雑費	0	0	0	
	2.	1. 需用費			0	
2. 管理費	1. 一般管理費	1. 委託料			0	
		2. 通信運搬費			0	
3. 繰入金支出	1. 繰入金支出	1. 他会計繰入金支出	0	0	0	
4. 予備費	1. 予備費	1. 予備費	280,000	2,380,000	-2,100,000	
	当期支出合計(C)		13,500,000	13,500,000	0	
	当期収支差額(A)-(C)		0	0	0	
	次期繰越収支差額(B)-(C)		0	0	0	

令和8年度 蒜山農業公社 施設管理会計自主事業収支予算 (案)
(令和8年 4月 1日～令和9年 3月31日)

(収入の部)

(単位：円)

大 科 目	中 科 目	小 科 目	本年度 予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
1. 事業収入	1. 堆肥販売事業収入	1. 製造品販売高	3,600,000	3,600,000	0	バラ販売650 t × 5,000円 袋販売1,100袋 × 310円
		2. 散布料	540,000	540,000	0	堆肥散布代 250 t × 2,160円
		3. 製造資材負担金	1,500,000	1,500,000	0	水分調整材料負担金500円/t (2,000 t)
		4. 施設使用料	0	0	0	
		5. 管理委託料	0	0	0	
	3.	1. 施設使用料	0	0	0	
2. 繰入金収入	1. 繰入金収入	1. 他会計繰入金収入	0	0	0	
3. 雑収入	1. 雑収入	1. 雑収入	0	0	0	
当期収入合計 (A)			5,640,000	5,640,000	0	
前期繰越収支差額			0	0	0	
収入合計 (B)			5,640,000	5,640,000	0	

令和8年度 蒜山農業公社 施設管理会計自主事業収支予算 (案)
(令和8年 4月 1日～令和9年 3月31日)

(支出の部)

(単位：円)

大 科 目	中 科 目	小 科 目	本年度 予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
1. 事業費	1. 堆肥販売事業費	1. 給料手当	1,500,000	1,500,000	0	臨時職員0.5名 基本給・賞与
		2. 法定福利費	240,000	240,000	0	臨時職員0.5名 社会保険 中退金事業所負担分
		3. 福利厚生費	10,000	10,000	0	人間ドック等検診
		4. 報償費	120,000	120,000	0	役員報酬
		5. 臨時雇用賃金	300,000	300,000	0	
		6. 通信運搬費	5,000	5,000	0	郵送料
		7. 需用費	0	0	0	消耗品等
		8. 修繕費	300,000	300,000	0	車輛、作業機械修繕費
		9. 光熱水費	5,000	5,000	0	富山根ストック場電気代他
		10. 燃料費	300,000	300,000	0	車輛、作業機燃料代
		11. 資材費	0	0	0	
		12. 保安点検費	0	0	0	
		13. 委託料	120,000	120,000	0	会計事務委託・ソフトウェア料
		14. 保険料	100,000	100,000	0	車輛、自賠償、任意保険料
		15. 租税公課費	150,000	150,000	0	消費税、重量税他
		16. 旅費交通費支出	10,000	10,000	0	
		17. 手数料	5,000	5,000	0	振込手数料
		18. 賃借料	150,000	150,000	0	富山根ストック場借地料 (真庭市)
		19. 雑費	0	0	0	
2. 管理費	1. 一般管理費	1. 需用費	0		0	
		1. 委託料			0	
3. 繰入金支出	1. 繰入金支出	2. 通信運搬費			0	
		1. 他会計繰入金支出	0	0	0	
4. 予備費	1. 予備費	1. 予備費	2,325,000	2,325,000	0	
		当期支出合計 (C)	5,640,000	5,640,000	0	
	当期収支差額 (A) - (C)		0	0	0	
	次期繰越収支差額 (B) - (C)		0	0	0	

第 3 号議案

役員の改選について

一般社団法人 蒜山農業公社理事 新旧対照表（案）

現 役 員		新 役 員	
職 名	氏 名	職 名	氏 名
理 事 (理事長)	入 澤 元 治	理 事	長 恒 充
理 事 (副理事長)	長 恒 充	理 事	植 木 康 雄
理 事 (副理事長)	植 木 康 雄	理 事	池 田 尚 義
理 事	伊 藤 敦 哉	理 事	伊 藤 敦 哉
理 事	池 田 尚 義	理 事	
理 事		理 事	
監 事	宮 永 優	監 事	宮 永 優
監 事	上 原 哲 也	監 事	有 富 丈

一般社団法人 蒜山農業公社 役員名簿 (案)

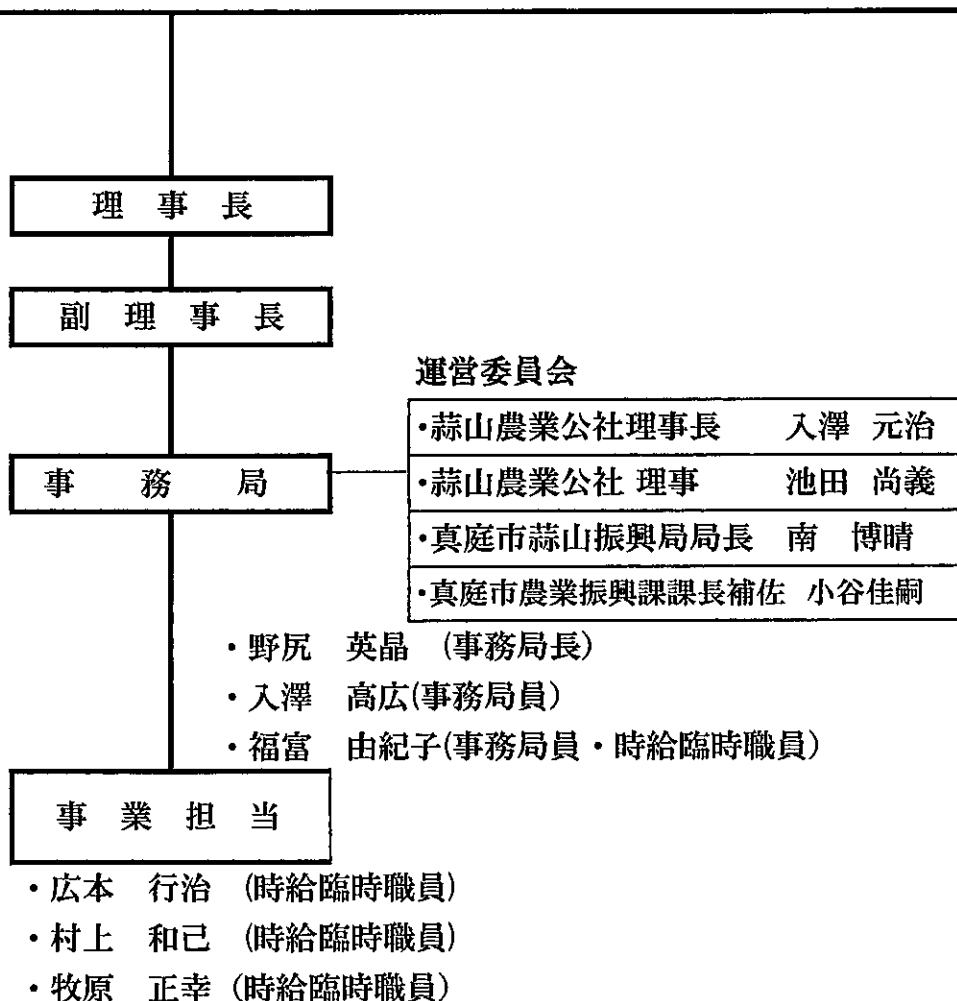
令和8年度総会

職 名	氏 名	住 所	役 職 名
理 事	長 恒 充 (理 事 長)	真庭市蒜山下徳山686番地	蒜山酪農農業協同組合 代表理事組合長
理 事	植 木 康 雄 (副 理 事 長)	真庭市仲間1679番地1	晴れの国岡山農業協同組合 常務理事
理 事	池 田 尚 義 (副 理 事 長)	真庭市蒜山上長田1859番地	学識経験者
理 事	伊 藤 敦 哉	真庭市台金屋421番地7	真庭市副市長
監 事	宮 永 優	真庭市蒜山東茅部584番地	学識経験者
監 事	有 富 丈	真庭市蒜山上長田447番地3	蒜山酪農農業協同組合 参事

一般社団法人 蒜山農業公社 組織構成 (案)

令和8年度

理 事 会		
[理事 4名 監事 2名	・ 理事長 蒜山酪農農業協同組合代表理事組合長	長恒 充
	・ 副理事長 晴れの国岡山農業協同組合常務理事	植木 康雄
	・ 副理事長 学識経験者	池田 尚義
	・ 理事 真庭市副市長	伊藤 敦哉
	・ 監事 学識経験者	宮永 優
	・ 監事 蒜山酪農農業協同組合	有富 丈



指導担当

- ・ 真庭市 (農業振興課) ・ 蒜山振興局 (地域振興課)
- ・ 蒜山酪農農業協同組合 ・ 晴れの国岡山農業協同組合 (蒜山アグリセンター)

(1) 事務分掌

事務局

- ・野尻英晶 … 財産管理、労務管理、会計管理、情報管理、
地域特産品生産販売、農地利用集積円滑化事業(蒜山地域仲介)研修等
担い手育成・除雪車運転(積雪調査)除草機械運転
受託作業(WCS含む)
- ・入澤高広 … 一般事務、ぶどう管理、除雪車運転 他
- ・福富由紀子 … 労務管理、会計管理、情報管理、省エネ推進員

事業担当

- ・広本行治 … 受託作業・堆肥センター・除雪車運転(積雪調査) (時給臨時職員)
- ・牧原雅幸 … 堆肥センター作業・管理 (時給臨時職員)
- ・村上和己 … 堆肥センター作業・管理 (時給臨時職員)
- ・三牧公成 … 受託作業(WCS含む) (時給臨時職員)
- ・久保田宗夫 … 農作業(WCS)・草刈り他 (時給臨時職員)
- ・西田公男 … 農作業(WCS)・草刈り他 (時給臨時職員)
- ・長尾広昭 … 除草機械オペレーター「市道、農道、林道」(時給臨時職員)
- ・御船元則 … 除草機械オペレーター「市道、農道、林道」(時給臨時職員)

(2) 事業協力組織

- ・真庭市
- ・蒜山酪農農業協同組合
- ・晴れの国岡山農業協同組合：担い手育成、堆肥販売
- ・蒜山地域園芸振興協議会
構成メンバー：真庭市
晴れの国岡山農業協同協同組合
真庭農業普及指導センター
- ・株式会社蒜山グリーンフィット：体験農場(野菜新規就農者受入れ)グリーンツーリズム
- ・つむぐ株式会社(前 株式会社岡山直売所ネットワーク)

一般社団法人蒜山農業公社定款

第 1 章 総 則

(名 称)

第1条 この法人は、一般社団法人蒜山農業公社という。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を岡山県真庭市蒜山上長田 4 4 9 番地 6 に置く。

(目 的)

第3条 この法人は、蒜山地域が有する豊かな自然や地域の特性を有効に活用し、効率的で生産性の高い農業の振興はもとより、幅広い地域振興施策や地域間交流を展開するとともに、これらの施策を実施する団体、地域住民等の連携を図る際の中心的役割を果たし、もって活力ある地域の創造と住民福祉の向上を図ることを目的とする。

(事 業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 農地利用集積円滑化事業に関する事業
 - ①農地所有者代理事業
 - ②農地売買等事業
 - ③研修等事業
- (2) 生産体系確立に関する事業
 - ①農作業の受委託
 - ②経営体育成及び強化
 - ③農業生産基盤整備の推進
 - ④地域特産物の開発販売促進
 - ⑤農産物他の生産・販売及び仕入・販売
- (3) その他前条の目的を達成するために必要な事業

第 2 章 社 員

(法人の構成員)

第5条 この法人は、この法人の事業に賛同する個人又は団体であって、次条の規定によりこの法人の社員となった者をもって構成する。

(社員の資格の取得)

第6条 この法人の社員になろうとする者は理事会の定めるところにより申込みをし、その承認を受けなければならない。

(経費の負担)

第7条 この法人の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、社員になった時及び毎年、社員は社員総会において別に定める額の拠出金及び会費を支払う義務を負う。ただし、社員総会において承認された場合は、拠出金及び会費の納入義務を免除することができる。

2 この法人において特別の経費を必要とするときは、社員総会の議決を経て、臨時会費を徴収することができる。

(退 社)

第8条 社員は、退社しようとするときは、その旨を理事長に届け出なければならない。

2 社員が死亡し、又は解散したときは、退社したものとみなす。

(除名)

第9条 社員が次の各号のいずれかに該当するときは、社員総会において議決権総数の3分の2以上の同意により、これを除名することができる。

(1) 会費を2年以上納入しないとき。

(2) この法人の定款又は規則に違反したとき。

(3) この法人の名誉をき損し、又はこの法人の設立の趣旨に反する行為をしたとき。

2 前項の規定により社員を除名しようとするときは、除名の決議を行う社員総会において、弁明の機会を与えなければならない。

(抛出金品の不返還)

第10条 退会し、又は除名された社員が既に納入した抛出金、会費その他の抛出金品は、返還しない。

第3章 役員等及び職員

(役員等の種別及び選任)

第11条 この法人に、次の役員等を置く。

(1) 理事長 1人

(2) 副理事長 2人

(3) 理事(理事長及び副理事長を含む。) 3人以上10名以内

(4) 監事 2人以内

2 前項第1号の理事長をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、同項第2号の副理事長をもって、同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

3 役員は、社員総会において選任する。

4 理事長及び副理事長は、理事会の決議により選定する。

5 理事及び監事は、相互に兼ねることができない。

(役員職務)

第12条 理事長は、この法人を代表し、会務を総理する。

2 副理事長は、理事長を補佐して会務を掌理する。

3 理事は、理事会を構成し、会務の執行を決定する。

4 理事長及び副理事長は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

5 監事は、理事の職務の執行を監査し法令で定めるところにより、監査報告書を作成する。

6 監事は、理事及び職員に対し事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況を調査することができる。

(役員任期)

第13条 役員任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。ただし、補欠役員任期は、前任者の残任期間とする。

2 役員は、再任されることができる。

3 役員は、第11条の定数に足りなくなる時は、辞任し又は任期が満了した場合においても、後任者が就任するまでなお役員としての権利義務を有する。

(役員解任)

第14条 役員は、社員総会に出席した社員の議決権総数の3分の2以上の同意により、これを解任することができる。

2 前項の規定により役員を解任しようとするときは、解任の決議を行う社員総会において、その役員に弁明の機会を与えなければならない。

(役員報酬等)

- 第15条 役員は、無報酬とする。ただし、必要と認める場合は社員総会において定めた額を、役員に報酬等として支払うことができる。
- 2 役員には、費用を弁償することができる。
- 3 役員の報酬及び費用弁償について必要な事項は、社員総会の議決を経て理事長が定める。
(事務局)
- 第16条 この法人の事務を処理するために、事務局を置く。
- 2 事務局には、事務局長その他の職員を置く。
- 3 事務局長その他の職員は、理事長が任免する。ただし、事務局長の任免にあつては理事会の議決を要する。

第4章 社員総会

- (構成)
- 第17条 社員総会は、すべての社員をもって構成する。
- (権限)
- 第18条 社員総会は、この定款に別に定めるもののほか、この法人の運営に関する重要な事項を議決する。
- (開催)
- 第19条 社員総会は、定時社員総会として毎年1回開催するほか、必要がある場合に臨時社員総会を開催する。
- (招集)
- 第20条 社員総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。
- (議長)
- 第21条 社員総会の議長は、当該社員総会において、社員のうちから選任する。
- (議決権)
- 第22条 社員総会における議決権は、社員1名につき1個とする。
- (定足数)
- 第23条 社員総会は、総社員の過半数の出席がなければ開会することができない。
- (議決)
- 第24条 社員総会の議事は、法令又はこの定款に別に定めるものを除き、出席した社員の議決権の過半数をもって決する。
- (議事録)
- 第25条 社員総会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成する。
- 2 議事録には、議長及び出席した社員の中からその会議において選出された議事録署名人が署名し、又は記名押印する。

第5章 理事会

- (構成)
- 第26条 この法人に理事会を置く。
- 2 理事会はすべての理事をもって構成する。
- (権限)
- 第27条 理事会は、法令又はこの定款に別に定めるもののほか、次の職務を行う。
- (1) 社員総会の議決した事項の執行に関する事項。
 - (2) 社員総会に付議すべき事項。
 - (3) その他、社員総会の議決を要しない会務の執行に関する事項。

(招 集)

第28条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは副理事長が理事会を招集する。

(決 議)

第29条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第30条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事及び監事は、前項の議事録に署名し、又は記名押印する。

第6章 資産及び会計

(資産の構成)

第31条 この法人の資産は、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 財産目録に記載された財産
- (2) 拠出金及び会費
- (3) 寄附金品
- (4) 事業に伴う収入
- (5) 資産から生ずる収入
- (6) その他の収入

(資産の管理)

第32条 資産は、理事長が管理し、その方法は、理事会の議決を経て定める。

(事業年度)

第33条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び予算)

第34条 この法人の事業計画書及び予算書は、毎事業年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の決議を経て社員総会の承認を得なければならない。

(事業報告、計算書類及び財産目録)

第35条 この法人の事業報告、計算書類及び財産目録は、理事長が作成し、理事会の承認を経て、社員総会の承認を受けなければならない。

第7章 定款の変更及び解散等

(定款の変更)

第36条 この定款は、社員総会の決議によって変更することができる。

(解散及び残余財産の処分等)

第37条 この法人は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第148条第1号、第2号及び第4号から第7号までに規定する事由によるほか、社員総会の決議により、解散することができる。

2 この法人が清算する場合において有する残余財産は、社員総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は、国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

3 この法人は、剰余金の配分を行わない。

第 8 章 公 告

(公告の方法)

第38条 この法人の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

第 9 章 雑 則

(委 任)

第39条 この定款の施行について必要な事項は、理事長が理事会の議決を経て別に定める。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める一般法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 この法人の最初の代表理事は、眞田善弘とし、副理事長は葉師寺眞人及び、入澤元治とする。
- 3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と一般法人の設立の登記を行ったときは、第33条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。(平成25年4月1日登記)

* 平成30年度総会（平成30年7月11日）にて第4章社員総会第19条を改定。

令和8年度

法人の経営状況を説明する書類

公益財団法人 真庭エスパス文化振興財団

令和 7 年度（2025 年度）
公益財団法人真庭エスパス文化振興財団
事業報告書
令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

令和 8 年（2026 年）6 月
公益財団法人真庭エスパス文化振興財団

－目 次－

【各事業年度における公益目的事業の実施状況】

■ 全体概要	1～2
■ 公益目的事業	
公 1 地域情報化の推進に関する事業	2～12
公 2 芸術文化の振興に関する事業	12～21
公 3 文化財の保存、活用に関する事業	22～23
公 4 図書、記録等を収集、整理、保管して利用者の閲覧に供する事業	23～28
■ 収益目的事業	
収 1 テレビコマーシャル等の作成、放送事業	28
収 2 公益目的以外の施設貸与事業	29
収 3 コーヒーショップの運営事業	29
収 4 真庭市からの業務受託事業	
1 地域情報化関連の業務受託事業	29
2 芸術文化関連の業務受託事業	30～31
収 5 光インターネット等の通信サービス提供事業	32
■ その他の事業	
他 1 その他情報・文化に関する事業	
1 その他事業（地域情報化関連）	32
2 その他事業（芸術文化関連）	32

【当該公益法人の運営体制の強化を図るための取り組み】

■ 法人管理部門	
1 役員に関する事項	33～34
2 職員に関する事項	34
3 理事会・評議員会開催状況	34～36
4 監査実施状況	36
5 三役・課長会議開催状況	36
6 ランチミーティング（理事との意見交換会）開催状況	36
7 組織運営に係る事項	36～37
8 その他事項	37
9 事業報告の付属明細書	37

公益財団法人真庭エスパス文化振興財団 令和7年度（2025年度）事業報告書
（自：令和7年4月1日 ～ 至：令和8年3月31日）

①各年度における公益目的事業の実施状況

財団事業構成

■公益目的事業

- 公1 地域情報化の推進に関する事業
- 公2 芸術文化の振興に関する事業
 - 1 芸術文化鑑賞事業
 - 2 芸術文化普及・支援事業
 - 3 芸術文化育成事業
 - 4 芸術文化助成事業
- 公3 文化財の保存、活用に関する事業
- 公4 図書、記録等を収集、整理、保管して利用者の閲覧に供する事業

■収益目的事業

- 収1 テレビコマーシャル等の作成、放送事業
- 収2 公益目的以外の施設貸与事業
- 収3 コーヒーショップの運営事業
- 収4 真庭市からの業務受託事業
 - 1 地域情報化関連の業務受託事業
 - 2 芸術文化関連の業務受託事業
- 収5 光インターネット等の通信サービス提供事業

■その他事業

- 他1 その他情報・文化に関する事業
 - 1 その他事業（地域情報化施設関連）
 - 2 その他事業（芸術文化関連）

事業実施概要

令和7年度は「SDGs未来都市 真庭」のコミュニティ・メディア及び芸術文化の振興、生涯学習の拠点として、地域情報化の推進、芸術文化の振興、文化財の保存活用及び図書館運営等の公益目的事業を通じ、地域コミュニティの活性化、市民の芸術文化活動の向上に取り組みました。

地域情報化事業では、地域情報・行政情報等を公平かつ継続的に発信し、情報格差の是正及び市民参加型メディアの推進に努めました。また、聴覚障がい者との意見交換や字幕対応など、誰一人取り残さない情報提供に努めました。

芸術文化振興事業では、多様なジャンルの鑑賞機会の提供に加え、地域文化団体への助成や子どもたちへの芸術文化体験機会の充実を図り、市民主体による芸術文化活動の活性化に寄与しました。

また、法人運営においては、改正公益法人制度を踏まえ、内部統制、コンプライアンス、情報公開及び適正な財務運営の強化を進めました。

公益目的事業

公 1 地域情報化の推進に関する事業

■ ケーブルテレビ事業

【事業の趣旨】

本事業はケーブルテレビによる地域情報の発信（地上デジタルテレビジョン放送の再放送を含む）を行うことにより、情報格差の是正と市民の一体感の醸成を図り、もって地域社会の発展に寄与することを目的とした、不特定多数のものの利益の増進に寄与する事業です。

【事業の概要】

- 1 ケーブルテレビによる地域情報の提供
- 2 地上デジタルテレビジョン放送、有線ラジオ放送サービスの同時再放送

【実施概要】

「SDGs 未来都市 真庭」のコミュニティ・メディアとして、コミュニティチャンネルを通じて地域情報や行政情報を提供することにより情報格差の是正を図り、誰一人取り残さない情報発信を行うことで、不特定多数の利益の増進に寄与しました。

また、市民参加型の番組制作や情報発信の場の提供により、発信の機会を確保するとともに、理事等との意見交換や市民向けアンケートの実施を行い、放送内容の質の向上、公平性の確保に努めました。

さらに、字幕対応や、聴覚に障がいがある方々との意見交換、受付窓口の筆談・翻訳環境の整備といった取り組みを行い、情報へのアクセス及びサービス提供における公平・公正等の確保を図りました。

市内の商業施設にコミュニティチャンネルが視聴できるコーナーを 3 箇所設けており、ケーブルテレビに加入していない人にも受益の機会を引き続き提供しました。

1 ケーブルテレビによる地域情報の提供

地域コミュニティの活性化や連帯感を高める役割を担うため、市民が主体的にメディアに参加するパブリック・アクセスの推進、地域資源（人、歴史・文化、産業、自然等）の振興や記録、地域課題の解決や問題提起が行えるような視点をもって、コミュニティチャンネルの運営に取り組みました。

(1) ニュース・企画番組・生中継番組の制作と放送

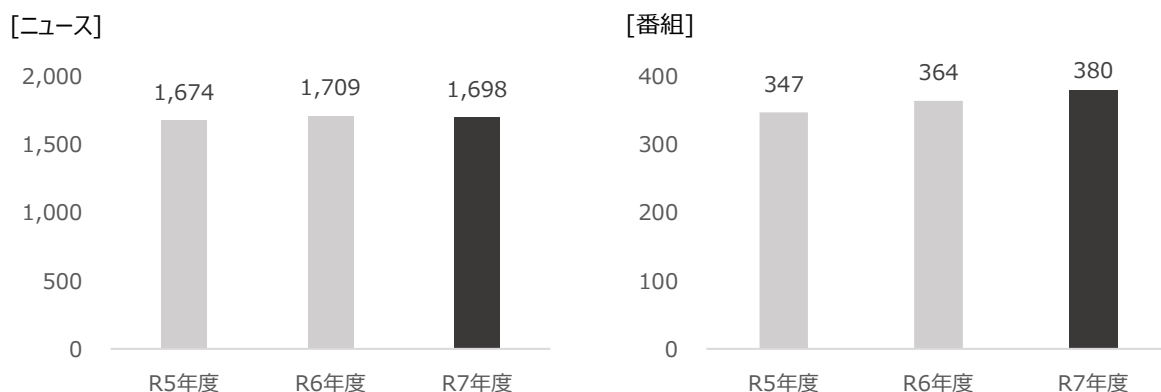
地域コミュニティの連帯感を高め、市民同士のコミュニケーションの促進を図るため、市民に必要とされるニュース、番組の制作を行います。ニュース番組は、毎週月曜日～金曜日の 5 日間更新を行い、地域の身近な話題、必要とされる情報等、正確に迅速に伝えることを目指します。また、市民からの取材依頼には可能な限り対応し、見ていただける、信頼していただけるニュース番組等の制作に努めました。

実施概要	実施基準	達成状況
ニュース番組の制作と放送	150 分以上/週（毎週月～金）	達成
企画番組の制作と放送	20 番組以上/月	達成
生中継番組の制作と放送	12 回以上/年	達成

■ 放送実績

放送種別	令和 7 年度	令和 6 年度	前年比
ニ ュ ー ス	1,698 本	1,709 本	▲11 本
企 画 番 組	380 本	364 本	16 本
生 中 継 番 組	44 本	44 本	±0 本
一 般 CM(他局含む)	808 本	630 本	178 本
エ ス パ ス C M	392 本	320 本	72 本

【制作本数の推移】



ニュース・番組ともに、例年の制作本数を維持し、市民へ地域情報や行政情報等の提供を行いました。

また、コミュニティチャンネルの質を担保、改善するための取り組みとして、市民を対象にしたアンケートを実施しました。この中では、コミュニティチャンネルを見る理由として、「家族や知人が出ているから」「市内の行事やイベントなど知らなかったことが分かる」の 2 項目で約 7 割を占めており、「市民が主体的にメディアに参加するパブリック・アクセスの推進」、「地域情報の提供」と言ったコミュニティチャンネルの役割は果たせました。

一方で「共通の話題になる」と回答した人は少なく、放送を通じて地域コミュニティの活性化に繋げていく点は、今後の課題と考えています。

(2)コミュニティチャンネルの充実

地域コミュニティの連帯感を高め、市民の活力の向上や行政との連携強化、郷土愛の醸成などが図られ、コミュニティチャンネルがより充実するよう、令和 7 年度は次に示す事項を重点的に取り組みました。

ア 真庭で暮らす人を応援する放送

日々の営みや地域の歴史・文化を守りながら生活するひと、地域活性化に携わるひと、未来を担う子どもたちへのサポートなど、真庭で暮らす人や関わりのある人たちの日常や活動を応援するニュース・番組を制作、放送しました。

テーマ	番組タイトル	概要
子育て応援番組	すくすく真庭	真庭市の子ども、子育て支援（こどもまんなか）に関する取り組みや、子育て支援をサポートしている市内企業、団体、事業所等を紹介するコーナー番組を毎月放送
真庭で暮らす「人」 応援番組	霧の杜に陽が 差して	地域課題の解決や地域のコミュニティや産業を盛り上げようと頑張っている人や団体の取り組みを応援する番組。令和 7 年度は市制施行 20 周年を記念した町歩き番組を放送
真庭の産業応援 番組	カンパイカンパニー	真庭市内で特徴のある事業を展開している事業所、新たにオープンしたお店など、市内企業の取り組みを毎月放送
真庭のスポーツ応援 番組	M スポ	市内各地で開かれるスポーツイベントを中心にスポーツに汗を流す人たちを毎週放送
その他	・市内中学校 運動会特集 ・6 年生の夢	・市内全中学校の運動会を取材、放送し、生徒の取り組みを紹介 ・ニュース番組内の企画として、希望する市内の小学 6 年生に、将来の夢を発表してもらうコーナーを放送

イ 真庭を知り郷土愛を育む放送

真庭で受け継がれてきた伝統行事や歴史・文化、真庭の自然、真庭の現状等、真庭の「今」を取材・記録するニュース・番組を制作しました。

テーマ	番組タイトル	概要
地域課題の解決を図る 番組	真庭の木の未来を繋ぐ	真庭市で木材が地場産業になった歴史と背景を紹介した番組
	まにわの野良猫を救え！ 地域で命を支える TNR 活動	真庭地域を中心に TNR 活動に取り組む NPO 法人まにわアニマルフレンズの活動紹介番組
真庭の自然を記録する 番組	四季折々	真庭市内の自然のうつろいを記録・撮影し毎月放送
地域の歴史・文化や風習を 記録する番組	終戦 80 年番組 真庭の記憶～戦争を生き た人々～	市内の戦争体験者のインタビュー番組
	美作三湯芸術温度 2025	美作三湯である湯原・奥津・湯郷に展示されているアート作品を紹介
	久世祭り だんじり喧嘩	毎年 10 月 25 日、26 日に行われる久世祭りの様子を、だんじり喧嘩を中心に放送
真庭市市制施行 20 周年 記念番組	てくてくまにわ～歩けば楽しい 出会いがいっぱい～	市制施行 20 周年を記念し、真庭市の各地域を紹介するまちぶら番組
		4 月 真庭市の 20 年の歩みを振り返る番組を放送
		5 月 美甘編

	6月	落合編
	7月	北房編
	8月	蒜山編
	9月	久世編
	10月	湯原編
	11月	勝山編
	1月	総集編

ウ 市民と行政を繋ぐ放送

教育、子育て、住民活動の支援、移住支援、産業支援、福祉など行政施策と市民制作を繋ぐニュース、番組を制作しました。

タイトル等	概要
真庭の明日、未来を拓く2025	・太田昇市長と河野慶治県議会議員による対談。令和7年度の市制に対する想いや行政施策を紹介する対談番組（令和7年5月放送）
市役所通信	・真庭市各部署の部署紹介や施策を紹介する番組。毎月放送
真庭市議会	・真庭市議会議員選挙 開票速報生中継 ・真庭市議会議員の抱負①、② ・定例会、臨時会生中継（サブチャンネル） ・常任委員会（収録放送） ・議会情報番組 GIKAI HEADLINE（兼 YouTube 配信） ・代表、一般質問 YouTube 配信

市民を対象にしたアンケートでは、コミュニティチャンネルの放送を見る理由として、「行政や議会の情報が分かる」と回答された方は約2割でした。視聴理由を尋ねる5項目の選択肢のうち、3番目に多い回答であり、引き続き、きめ細かい行政、議会情報の発信を継続します。

エ 市民参加型の放送

市民が自分の住む町に興味を持ち、主体的にメディアを活用し情報発信を行う「パブリック・アクセス」を働きかけ、「人・情報が集う場」作りを推進しました。この中では、地域住民主体で開催するイベントの告知や、学校教育の過程で賞を受賞した高校生や大学生、90歳を超えても元気に趣味に打ち込む女性などのお話をうかがうゲストトークや、令和8年に真庭市内外で活躍が期待される人たちを紹介する「駆け上がる2026～挑戦者たち～」等を企画・制作・放送しました。

→ ゲストトーク出演者数

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
出演者数	16人	16人	15人	16人	63人

→ 「駆け上がる2026～挑戦者たち～」出演者

出演者	概要
松田 暁（茨城県出身）	勝山高校蒜山校地 馬術部
松岡 玲（久世地域出身）	レーシングライダー

持徳浩太（美甘地域出身）	シンガーソングライター
デービッド・ディロン（オハイオ州出身）	郷原漆器の館 館長
矢作俊平（東京都出身）	製材業（月田 堀製材所）

→ 市民が出演(主役)の番組 ※主なものを抜粋

区分	概要
定期番組	ダイブ・トゥ・マニワ／彩り野菜ボックス／なんとむかしがあっただけな／みまさか情報局／みまさか自慢／てくてくまにわ～歩けば楽しい出会いがいっぱい～
スポット番組	まにわ 20 祭！真庭市市制施行 20 周年記念式典／落合納涼花火大会／真庭の木の未来を繋ぐ／終戦 80 年番組 真庭の記憶～戦争を生きた人々～／まにわの野良猫を救え！地域で命を支える TNR 活動／世界一大きな絵～櫻邑小学校児童の挑戦～／簡単・便利に確定申告～スマホとマイナンバーカードで e-Tax！～

→ サテライトスタジオの活用強化

令和 6 年度に開催された森の芸術祭の真庭会場の一つが FUNAYADO だったこと、また、真庭いきいきテレビが初開催した「まにわ映像コンテスト」関連業務を実施したことの影響により、令和 7 年度の開館日数、来館者数は大幅に落ち込みました。

現状、市内外の方々への認知は高いとは言えず、周知方法や運営形態（土日みの開館等）に改善の余地があると考えています。

開 館 日 数	78 日（86 日）
来 館 者 数	64 人（259 人）
主 な 利 用 状 況	・真庭いきいきテレビの番組を紹介する「みとすけタイム」の撮影 ・観光客や地元の動画編集に興味のある方との交流

※（）内は昨年度実績

オ 生中継、生放送番組

真庭の「今」をコミュニティチャンネルで伝え、現場と視聴者をリアルタイムに繋ぎ、一体感の醸成を図りました。

生中継は企画、事前準備から当日の中継、撤収まで職員の負担は大きいですが、視聴者の目や耳となり、現場と視聴者を繋ぐことで、「気になるイベントも行ったつもりで楽しめる」「だんじり喧嘩は迫力のある映像で良かった」等の声をいただきました。多くの市民の皆さまと共に制作する番組であり、引き続き取り組んでまいります。

放送日	概要
令和 7 年 4 月 13 日	真庭市議会議員選挙 開票速報
令和 7 年 5 月 11 日	富原から新茶の魅力先取り！生中継
令和 7 年 6 月 8 日	まにわ 20 祭！真庭市市制施行 20 周年記念式典
令和 7 年 7 月 26 日	第 79 回落合納涼花火大会
令和 7 年 7 月 10 日、 12 日～23 日	第 107 回全国高等学校野球選手権岡山大会
令和 7 年 9 月 21 日	ふれあいコンサート in 真庭
令和 7 年 10 月 18 日	真庭のぶどう生中継
令和 7 年 11 月 2 日	中和紅葉祭に行こう！生中継
令和 7 年 12 月 6 日	下湯原温泉ひまわり館 新そば祭り

令和 8 年 1 月 11 日	令和 8 年真庭市 20 歳の集い
令和 8 年 2 月 28 日	令和 7 年度真庭 SDGs 円卓会議
令和 8 年 3 月 21 日	MANIWA ^{ユース} 若者文化芸術祭



真庭市市制施行 20 周年記念番組
てくてくまにわ



まにわ 20 祭！
真庭市市制施行 20 周年記念式典
生中継



落合納涼花火大会 生中継

カ ユニバーサル放送、サービスの拡充

聴覚障がい者への字幕対応や意見交換、外国人利用者への翻訳対応等を通じ、情報アクセシビリティの向上と共生社会の実現に向けての取り組みに努めました。

[意見交換会]

- ・開 催 日：令和 8 年 3 月 14 日
- ・開催場所：落合総合センター
- ・参 加 者：手話サークル「やまびこ」、真庭市秘書広報課、真庭市いきテレビ 報道制作課
- ・概 要：同じニュース及び番組を音無し、音と手話を交えた状態で視聴していただきました。音無しでも十分内容が伝わったとの感想をいただきました。6 年生の夢や中学生による私の主張発表会はテロップを付与してほしいと要望がありました。

キ 市民の命を守る放送

災害時及び緊急時における地域インフラとして役割を果たすため、緊急情報の即時発信体制の維持、放送設備の安定運用に努めました。

令和 7 年度は避難指示等が出る警報の発令はありませんでしたが、大雪による公共交通機関の運行状況を、コミュチャンオーバーレイ機能を活用し市民へ伝えました。

- ・大雪による米子道通行止め情報（令和 7 年 12 月 26 日）
- ・大雪による公共交通機関の運行情報（令和 8 年 2 月 8 日、9 日）

(3)その他の業務

下記に示す業務は従前とおり行いました。

- ・サブチャンネル（122ch）の放送
- ・データ放送（お悔やみ、緊急情報等）
- ・日々の情報収集活動
- ・番組表の作成と配布
- ・コンテンツ権利保護
- ・市民向けアンケート

・SNS の活用、YouTube への動画投稿による市内外への情報発信

→ SNS 活用実績

【Facebook】

項目	令和 7 年度	令和 6 年度	増減
発 信 件 数	278 件	290 件	▲12 件
閲 覧 回 数	68,413 回	40,265 回	28,148 回

【YouTube】

項目	令和 7 年度	令和 6 年度	増減
ア ッ プ 本 数	215 件	226 件	▲11 件
視 聴 回 数	121,128 回	162,560 回	▲41,432 回

2 地上デジタルテレビジョン放送、有線ラジオ放送の同時再放送

地上デジタルテレビジョン放送(区域内 7 局、区域外 1 局)及び、ラジオ放送の同時再放送を、従前とおり行いました。

(1)地上デジタルテレビジョン放送

・NHK 総合 ・NHKE テレ ・西日本放送 ・瀬戸内海放送
 ・山陽放送 ・テレビせとうち ・岡山放送 ・サンテレビ(区域外)

(2)有線ラジオ放送

・NHK-FM ・FM 岡山 ・NHK 第一(FM 変換) ・山陽放送(FM 変換)

【真庭市地域情報化施設(真庭ひかりネットワーク)の維持管理】

1 真庭ひかりネットワーク施設、設備の維持管理・運営等

(1)施設、設備の維持管理

施設及び設備の管理業務では、本部施設の日常点検（目視点検、空調稼働確認等）及び年次点検、保守委託事業者とともに放送設備や各サブセンター設備の定期点検等を行い、施設及び設備の維持管理や故障の早期発見、長寿命化に取り組みました。

ア 日常・定期点検の実施

拠点名	種別	概要
本部施設	日常点検	設置機器目視点検、空調稼働確認、室温確認等
	年次点検	建物全体の点検(局舎内外、水回り設備、消火器有効期限等)
寺畑山受信設備	年次点検	設置機器目視点検、建物点検
各サブセンター	月次点検	設置機器目視点検、建物点検、発電機点検 (1 拠点/2 ヶ月毎実施)

イ 設備監視体制の構築と保守契約の締結

光送信設備の監視システム等の活用や、専門機関との保守契約を締結し、障害発生時に迅速な対応が可能な体制を構築、維持しました。

令和 7 年度の期間中、倒木、げっ歯類や昆虫等によるケーブル断線、機器故障等が 10 件発生しましたが、何れも故障発生当日または翌日には仮復旧対応を行いました。また、故障の影響を受けている加入者に対しては、現地や電話による状況説明、連絡手段の確認等を行いました。

ウ 光ファイバケーブルの工事対応及び設備管理の実施

中国電力等からの支障移転工事など、安全対策に配慮しながら必要な工事の実施指示、管理・監督を行いました。また、令和 7 年 6 月から改正労働安全衛生規則が施行され、職場での熱中症対策が義務付けられました。財団内部でも対策を講じたほか、工事委託会社にも適切な対応を依頼し、関係法令の遵守に努めました。

光ケーブル等の工事实績は下表のとおりでした。工事規模の拡大、人件費・資材の高騰等により工事費用が大幅に増加しました。

→ 光ケーブル関連工事実施状況

工事種別	対応件数		工事費用	
	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 6 年度
支障移転等屋外設備工事	202 件	161 件	43,458 千円	37,939 千円
屋内外設備移転、撤去工事	182 件	196 件		
映像設備工事	118 件	129 件		
その他工事（故障修理等）	9 件	9 件		

(2) 計画的な設備更新、修繕対応の実施

真庭ひかりネットワークを適切に維持管理し安定的なサービス提供環境を維持するため、真庭市の協力を得ながら、計画的な設備更新、修繕対応を行いました。

【主たる修繕内容】

・MIT 対応分

実施概要	修繕計画	実施時期
久世 SC 発電機消耗部品交換	計画修繕	令和 7 年 9 月
勝山 SC 発電機バッテリー交換	計画修繕	令和 7 年 11 月
蒜山 SC 発電機消耗部品交換	計画修繕	令和 8 年 3 月
MIT 局舎雨漏り修繕	緊急修繕	令和 7 年 6 月～10 月

・真庭市対応分（設備更改、修繕関係）

実施概要	実施時期
外部変調器更改（2 式）	令和 7 年 11 月
湯原 SC 発電機電源設備更改	令和 8 年 1 月

(3)加入者管理

真庭市地域情報化施設の設置及び管理に関する条例、同施行規則や関係法令を遵守し、公平・公正で適切な加入者管理に努めました。個人情報の管理においては、サイバーセキュリティ対策のセミナーに参加し、知識の習得に努めるとともに、物理的なセキュリティ対策機器の設置を引き続き実施しました。

また、従前とおり、経費削減や業務効率化、加入者の利便性向上のため、ホームページを活用した各種申請手続きへの案内を積極的に実施しました。

ア 主たる加入者管理業務

種別	全体処理件数	HP 申請数	HP 申請率	
			令和 7 年度	令和 6 年度
新規申請	233 件	109 件	46.8%	46.2%
廃止	294 件	59 件	20.1%	15.6%
利用休止	168 件	22 件	13.1%	11.4%
利用再開	95 件	15 件	15.8%	12.9%

イ 加入促進、地域との連携・貢献活動

地域のコミュニティ・メディアとして多くの市民にケーブルテレビをご利用いただけるよう、日々の利用者対応、加入促進活動に取り組みました。

一方で、人口の減少（自然減・社会減）やテレビ視聴環境の変化等に伴いテレビ加入者数は減少が続いています。

【施設見学等】

概要	人数等	時期
久世中学校インターンシップ受け入れ	2 人	令和 7 年 9 月 9 日～10 日
遷喬小学校 2 年生 まち探検対応（局舎見学）	11 人	令和 7 年 10 月 30 日
勝山中学校 3 年生への話し方講座開催	－	令和 7 年 10 月 30 日、11 月 10 日
キッズマニワーク 2025 出展	10 人	令和 7 年 11 月 22 日
木山小学校 MIT 見学受け入れ	17 人	令和 8 年 1 月 22 日

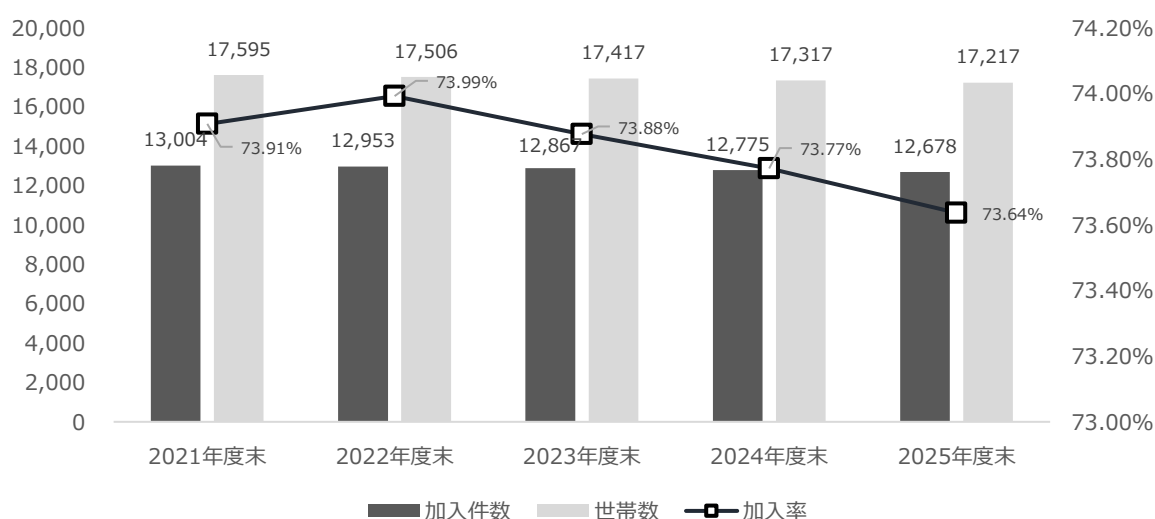
【加入促進関係】

令和 7 年度は、蒜山下長田、下見地内のテレビ共同受信施設組合が令和 9 年 3 月末で解散、設備停止を決定し、ケーブルテレビ移行に向けたサポート（役員会への出席、説明、各種書類準備等）を実施しました。この組合には過去 2 回ケーブルテレビ移行に向けた提案を行っていた事も、解散に至った要因の一つと考えています。この解散に伴い約 50 戸がケーブルテレビに移行予定です。

また、令和 7 年 11 月から本格的にサービスを開始した「mit 光」とケーブルテレビのバンドル販売を行い、ケーブルテレビ加入のメリットの一つとして案内しています。

・テレビ加入件数比較

加入区分	令和 7 年度末	令和 6 年度末	増減
テレビ加入(通信)	11,945 件	12,054 件	▲109 件
テレビ加入	244 件	232 件	12 件
入居者個別加入	460 件	460 件	±0 件
特殊加入	29 件	29 件	±0 件
合 計	12,678 件	12,775 件	▲97 件
真庭市世帯数	17,217 世帯	17,317 世帯	▲100 世帯
加入率	73.64%	73.77%	—



【その他】

1 人材育成に関すること

元 RSK の三垣公彦氏とのアドバイザー契約を継続締結し、真庭いきいきテレビが制作するニュース、番組に対して、ジャーナリストとしての深い知見をもって意見やアドバイスをいただきました。また、岡山県内のケーブルテレビ局でアナウンサーやリポーターとして活動する原璃歩子さんに定期的にアナウンサーとして出演いただく事で、職員のアナウンス技術等の向上を図りました。

この他、岡山県ケーブルテレビ振興協議会等の団体が主催する、総会、部会等に参加し、他局との意見、情報交換を行いました。

加えて、理事とのランチミーティングによる意見交換、総務省中国総合通信局等が主催するセミナーや研修に参加し知識の習得に努めました。

【研修等の参加実績】

概要	時期	場所	参加人数
総会等への出席による交流、意見交換等	令和 7 年 5 月～7 月	岡山県内等	4 名
番組制作コンクールへの応募	令和 7 年 5 月	—	3 作品
岡山県ケーブルテレビ振興協議会経営部会	令和 7 年 10 月	岡山市	2 名
放送セミナー2026	令和 8 年 1 月	web	1 名
公益法人制度改正セミナー	令和 8 年 1 月	web	2 名
サイバーセキュリティセミナー2026	令和 8 年 2 月	web	1 名

放送設備の安全・信頼性の確保に関するセミナー	令和 8 年 3 月	web	1 名
岡山県ケーブルテレビ振興協議会番組交流部会	令和 8 年 3 月	倉敷市	1 名
岡山県ケーブルテレビ振興協議会技術部会	令和 8 年 3 月	倉敷市	1 名

2 他ケーブルテレビ局との連携・交流

岡山県内及びぐるぐる中四国・関西に参加している各ケーブルテレビ局と良好な関係を築き、共同番組の制作、コマーシャルの相互放送、収録サポート、情報交換等を行いました。真庭市内の情報を市外へ発信するとともに、市外のイベント情報等を市民に伝えることが出来ました。

- ・岡山県ケーブルテレビ振興協議会主催の経営部会、技術部会等への出席
- ・高校野球実況スタッフ派遣
- ・高校野球生中継
 - 県内各局のケーブルテレビ局と協働し、第 107 回全国高等学校野球選手権岡山大会の模様を生中継で放送
- ・県北イベント情報「どんぶらこ」制作
- ・みまさか自慢制作
- ・県北ケーブルテレビ 5 局とのニュース交換
- ・コマーシャル相互放送（吉備ケーブルテレビ）

3 受賞・表彰等

令和 7 年度の期間中に受賞・表彰を受けたのは次のとおりでした。

- ・日本ケーブルテレビ連盟中国支部主催 第 15 回中国地区番組アワード CM 部門 1 位
- ・岡山県ケーブルテレビ振興協議会主催 あっちこっち岡山 2024 準グランプリ
- ・真庭防犯連合会 防犯功労団体 受賞
- ・特殊詐欺被害防止知事表彰

公 2 芸術文化の振興に関する事業

【事業の趣旨】

真庭市において人を育て、夢を育み、文化の香り高い豊かなまちづくりを推進するため、優れた音響性能を持つホールとして評価の高い「エスパホール」を中核として、魅力的な催しを企画・開催するとともに、地方で鑑賞する機会の少ない芸術・文化公演等の各種事業を通じて、地域文化の一層の振興と普及を図る事業です。

【事業の概要】

- ・芸術文化鑑賞事業
- ・芸術文化普及・支援事業
- ・芸術文化育成事業
- ・芸術文化助成事業

【実施概要】

プロ奏者を招いたクラシックコンサートから子ども向けの映画上映、お笑いライブの開催、地域の方々との共催事業など、数多くの事業を実施し、5,000 人を超える方に、芸術文化に触れる機会を提供しました。助成事業では 14 件の応募の中から 9 件を採択し、芸術文化団体の活動をサポートすることで、市民主体による持続的な芸術文化活動の推進を図りました。

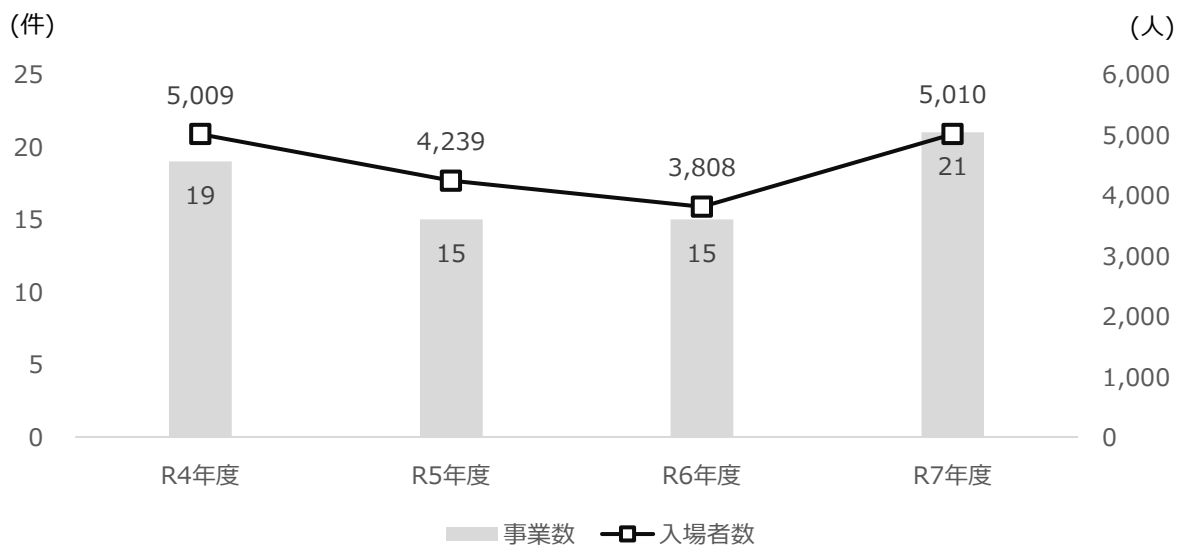
また、子どもたちの芸術文化活動の支援として、エスパスオリジナルスの運営を行ったほか、中学校部活動の地域展開として、吹奏楽を学びたい子どもたちの受け皿となる認定地域クラブの設立に取り組みました。

これらの事業・活動は、鑑賞機会の提供、芸術文化活動への参加の促進、次世代人材の育成及び地域文化活動の支援、子どもたちの文化芸術体験機会の充実に繋がっており、市全体の芸術文化の振興や継承、文化水準の向上、市民の交流に寄与しました。

事業・活動への鑑賞、参加、応募の機会はホームページ、SNS、ポスター、チラシ、広報誌や財団の特性を活かしケーブルテレビによる PR 等を行い、応募、参加の機会を広く一般に開放しており、年齢や障がいの有無、居住地域等に関わらず、幅広い方々が芸術文化に触れる機会の提供に努めました。

久世エスパスセンターの施設管理では、令和 7 年 4 月から太陽光発電による電気の供用が開始されましたが、電気代は高止まりしています。また、旧遷喬尋常小学校の保存活用に向けた調査工事が始まりました。

【実施事業数と入場者数の推移】



※鑑賞事業及びオリジナルス定期公演（早川太鼓含む）、第九演奏会のみを集計

1 芸術文化鑑賞事業

本事業は真庭市民を対象に芸術性に優れた多様な公演を企画・開催することにより、市民が優れた芸術文化に触れる機会を提供し、地域文化のより一層の振興を図る事業です。

令和 7 年度は（一財）地域創造等の助成を 2 事業獲得することができ、市民の方々に優れた公演を安価で鑑賞していただくことが出来ました。この内の一つ和谷泰扶ハーモニカトリオの公演では、「クラシックが身近に感じられ、心が洗われた」「普段馴染みのないクロマチックハーモニカの演奏が勉強になった」等の声をいただきました。

東京混声合唱団真庭エスパス特別演奏会は他県と連携した事業でした。この事業のために作られた曲を東京混声合唱団と各地域の合唱団と一緒に歌い、プロとの共演を経験できた貴重な事業となりました。

事業検討委員会から提案いただいたお笑いライブも好評を博したほか、理事の協力を得て、グラミー賞受賞アーティストを招聘することができました。

(1)鑑賞事業実施一覧

公演名	開催日	開催場所	観客数
シネエスパ映画 「ドラえもののび太の絵世界物語」 1 回目上映	R7.5.3(土・祝)	エスパホール	213 人
シネエスパ映画 「ドラえもののび太の絵世界物語」 2 回目上映	R7.5.3(土・祝)	〃	179 人
和谷泰扶ハーモニカトリオ チェロとピアノに囲まれて 助成：(公財)三井住友海上文化財団	R7.5.31(土)	〃	124 人
小学生へのプレゼントコンサート（岡山フィルハーモニック管弦楽団・真庭市連携）久世地区小学校	R7.6.16(月)	〃	280 人
中学生へのプレゼントコンサート 久世中学校	R7.6.16(月)	〃	265 人
小学生へのプレゼントコンサート 美川・湯原・河内・天津小学校	R7.6.17(火)	エスパホール	263 人
映画「やまぶき」山崎樹一郎監督作品	R7.6.21(土)	八束コミュニティセンター	8 人
北海道歌旅座 ザ★コンサート 2025 真庭公演	R7.7.20 (日)	北房文化センター	92 人
シネエスパ 映画「BAD BOYS」 JO1 豆原一成さん（真庭大使）主演映画	R7.8.10(日)	エスパホール	①73 人 ②71 人
エスパスお笑いライブ ウェストランド・真空ジェシカ・三四郎・レインボー 2 回公演	R7.8.16(土)	〃	①464 人 ②425 人
こどもと楽しむ音楽会はじめてのオーケストラ体験	R7.8.24(日)	〃	338 人
ディヴィッド・マシューズ in 岡山真庭エスパス	R7.9.16(火)	エスパスホワイエ	92人
有森博ピアノリサイタル ロシアピアノリズムの系譜 VOL.20「音楽で話！輪！和！」	R7.10.5(日)	エスパホール	96人
東京混声合唱団真庭エスパス特別演奏会 西日本公共ホール連携(島根県民会館、池田市民文化会館、三原市芸術文化センターポポロ) うたのわプロジェクト 助成：(一財)地域創造	R7.10.12(日)	エスパホール	437人
たにぞう手あそび歌あそび音楽会 ※市内こども園参加事業	R7.10.17(金)	エスパホール	410 人
エスパスディスコ サンデーナイトフィーバー DJ OSSHY	R7.11.30(日)	エスパスホワイエ	94 人



和谷泰扶ハーモニカトリオ



デイヴィッド・マシューズ



東京混声合唱団
真庭エスパス特別公演



エスパスディスコ



映画「やまがき」



エスパス お笑いライブ

2 芸術文化普及・支援事業

本事業は真庭市民が出演する公演や児童生徒の情操教育を目的とした公演、或いは文化芸術団体の支援などを通じて、真庭市民が芸術文化活動に参加できる機会を提供し、地域文化のより一層の振興を図る事業です。

地域の方々の芸術文化活動への想いに寄り添い、地域の芸術文化団体や市民の発表の機会の創出に努めました。令和 7 年度はキッズレセプションによるホールの仕事体験や安価にスタインウェイピアノやエスパススタジオが利用できる事業を初開催し、子どもたちの社会参加や文化施設への親しみの醸成を図り、居場所づくりにも繋がりました。

これらの取り組みを通じて、文化芸術活動への参加機会を広く提供し、市民主体による地域芸術文化活動の活性化に寄与しました。

久世エスパスセンターを中心としたイベント等は、文化施設を地域交流拠点としての活用が図られ、子育て支援や地域コミュニティの形成に繋がると考えており、引き続き施設全体の有効活用を図ります。

(1)共催事業

公演名	開催日	開催場所
青木宏允写真展 雪月風花～未だ見ぬ県北の四季～	R7.3.29(日)～ 4.13(日)	旧遷喬小
第 23 回県北合唱フェスティバル 11 団体	R7.7.6(日)	エスパスホール
Acoustic Band 勇次チャリティイベント RUN FOR TOMORROW 第 10 弾 夏だ！LIVE だ！夏祭りだあ～！！	R7.7.19(土)	エスパスホワイエ
岡山フィルハーモニック管弦楽団真庭特別公演～岡山県と岡フィルから音楽の贈り物～	R7.7.27(日) 2 回公演	エスパスホール
切り絵アートレッスン 講師：梅田直人	R7.7.2(水)	放課後等デイサービス マルコポーロ(久世)

切り絵アートレッスン 講師：梅田直人	R7.8.2(土)	放課後等デイサービス マルコポーロペリー (勝山)
県北展 青木宏允氏 ほか ～岡山県北最大級の作品展～	R7.9.20(土)～ 28(日)	旧遷喬小
ハートフルコンサート 2025 ピアノ・ヴァイオリン・チェロによる室内楽コンサート	R7.11.16(日)	エスパスホール
出張！マチノブンカサイ	R7.11.24 (月・振休)	旧遷喬小
Dance Club VIVO 第8回発表会 Dear.	R8.3.28(土)	エスパスホール
	R8.3.29(日)	エスパスホール

(2)後援事業

公演名	開催日	開催場所
東京藝術大学出身者による和楽器コンサート (真庭市出身 箏曲演奏家 福田恭子さん)	R7.6.21(土)	落合総合 センター
たたいてあそぼう！ドラムサークルワークショップ	R7.8.5(火)	エスパスホール
第18回「ふれあいコンサート in まにわ」	R7.9.21(日)	ポンテホール
hitosaji no shiawaseten2025 Vol.15	R7.11.2(日)	エスパスホール
@LIVE2026	R8.3.2(月)	エスパスホール

(3)エスパスオリジナルス関係公演

公演名	開催日	開催場所	観客数 参加人数
エスパス管弦楽団第21回記念定期演奏会 ハイドン交響曲 101 番「時計」、『アンコール・アンコー ル！！』と題して、過去の演奏会のアンコール曲を演 奏	R7.6.15(日)	エスパスホール	201 人
第23回県北合唱フェスティバル 11 団体出演	R7.7.6(日)	エスパスホール	84 人 参加者 220 人
少年少女合唱団強化練習	R7.8.20(水)	エスパスホール	5 人
岡山県少年少女合唱団 笠岡大会 (エスパス少年少女合唱団出演)	R7.8.24(日)	笠岡市民開館	5 人
東京混声合唱団事前指導ワークショップ 西日本公共ホール連携 うたのわプロジェクト	R7.8.30(土)	エスパスホール	45 人
東京混声合唱団真庭エスパス特別演奏会 西日本 公共ホール連携 うたのわ プロジェクト 合唱団参加 助成：(一財)地域創造	R7.10.12(日)	エスパスホール	49 人

第7回奥津芸術祭 (エスパス少年少女、男声合唱団出演)	R7.11.9(日)	鏡野町 ベスタロッジ館	80 人
真庭音楽祭(エスパス男声合唱団出演)	R7.11.23(日)	ポンテホール	15 人
秋のエスパスヴァイオリン・コントラバス発表会	R7.11.24 (月・振休)	エスパスホール	22 人
くせ活き生きサロン 筆あそびの会 エスパス少年少女合唱団	R7.12.13(土)	久世活き生き サロン	16 人
エスパス管弦楽団 New Year Concert2026	R8.1.25(日)	エスパスホール	178 人
エスパス合唱団第 24 回定期演奏会	R8.3.22(日)	エスパスホール	256 人

(4)地域貢献事業

子どもの居場所づくりや子育て支援に繋がる事業及び地域と連携を築き、共同、連携、支援事業等を実施し、地域の賑わいに貢献する事業を実施しました。

事業名	開催日	開催場所	参加者
キッズレセプション「映画ドラえもん」	R7.5.3(土・祝)	エスパスホール	7 人
キッズレセプション 和谷泰扶ハーモニカトリオ チェロとピアノに囲まれて	R7.5.31(土)	〃	1 人
エスパス館内フリーマーケット	R7.5.25(日)	エスパスホール 全館	53 組 72 区画
くるま de フリマ 5	〃	エスパス土広場	8 組
そうだ！エスパスホールでスタインウェイを弾こう	R7.7.22(火)～ 8.29(金)	エスパスホール	30 人
そうだ！500 円持ってエスパススタジオに行こう	R7.7.22(火)～ 8.29 (金)	エスパススタジオ	12 人
夏休みに絵の宿題をガンバリ隊 in 久世公民館 (マニワブラザーズ延吉氏によるダンス教室も開催)	R7.7.28(月) R7.7.29(火)	久世公民館	25 人 10 人
(共催)切り絵アートレッスン 講師：梅田直人	R7.7.29(火)	放課後等デイサービス マルコポーロ(久世)	15 人
エスパスキもだめし(お化け役には地域の方々も参加)	R7.8.2(土)	エスパスセンター	47 人
キッズレセプション (エスパスお笑いライブ)	R7.8.16(土)	〃	6 人
(共催)切り絵アートレッスン 講師：梅田直人	R7.8.21(木)	放課後等デイサービス マルコポーロベリー(勝山)	14 人
ジュニアシートの提供	－	エスパスホール	15 人
退職互助組合 協力 「音楽と伝統芸能を楽しもう！」公演チケット補助事業	－		21 人



館内フリーマーケット



エスパスキもだめし



切り絵アートレッスン



キッズレセプション



夏休みの絵の宿題

(5)普及支援事業

事業名	開催日	開催場所	観客数等
音楽愛好家 発表の場作り (花水木横丁と同日開催)	R7.4.12(土)	喫茶花水木	30 人
スタインウェイピアノ・リレーコンサート 2025	R7.4.29(火・祝)	エスパホール	88 人 観覧 100 人
空間コンサート (アマチュアの発表の場)	R7.5.25(日)	エスパス	3 人
みんなでうたおう！ 初心者のための第九練習会	8 月から開催	エスパス	6 人
舞踊集団宮坂流真庭公演	R7.9.7(日)	エスパホール	378 人
エスパス第九演奏会	R7.12.21(日)	エスパホール	332 人
エスパスのど自慢 2026	R8.1.18(日)	エスパホール	48 人
ドラムワークショップ 6	R8.3.7 (土)	エスパスタジオ	12 人
〃	R8.3.8 (日)	エスパスタジオ	12 人
早川太鼓エスパスの陣式拾七 REVENGE	R8.3.15(日)	エスパホール	119 人
乳幼児向け事業 図書館読み聞かせと童謡を 歌う会「親子で歌おう心の歌」 鈴木英子氏	毎月 1 回開催	久世図書館 お話し室	59 人
みんなで歌おう！ 初心者のための第九練習会	8 月から開催	エスパセンター	1 人
2week Gallery	随時開催	エスパセンター	18 人

3 芸術文化育成事業

本事業は芸術文化に携わる人材や団体の育成と演奏技術の向上を図り、将来の真庭市の文化水準の向上に向けた基盤づくりを行うことを目的とした事業です。

エスパスオリジナルスの運営による、地域における芸術文化活動の継承及び将来的な文化水準の向上に寄与しました。

(1)エスパスオリジナルスの運営状況

教室名	開催回数	延べ参加人数	団員数(3月末時点)	
			R7年度	R6年度
エスパス少年少女合唱団	42回	270人	11人	8人
エスパスジュニアオーケストラ	37回	133人	3人	4人
エスパス和太鼓クラブ	47回	542人	14人	13人
エスパス女声合唱団	41回	820人	26人	27人
エスパス男声合唱団	41回	504人	18人	17人
エスパス管弦楽団	40回	687人	26人	23人
エスパス弦楽教室（ヴァイオリン）	29回	81人	3人	4人
エスパス弦楽教室（コントラバス）	28回	63人	3人	3人
第九合唱団	12回	115人	—	—

4 芸術文化助成事業

本事業は真庭市内で芸術文化の発展と継承に努めている団体・個人を助成することにより、芸術文化のより一層の振興を図ることを目的とした事業です。令和7年度は6年度と比較し7件多い14件の申請があり、このうち9件を採択しました。

【申請状況】

- ・申請件数：14件
- ・助成決定件数：9件
- ・助成額：2,560千円（真庭市：1,706千円、財団：854千円）

【助成団体】

団体名等	事業概要	助成額
旧遷喬尋常小学校講堂で 尋常小学唱歌を歌う会	尋常小学唱歌を歌う会	104千円
山中一揆義民顕彰会	わたしたちはあなたたちを忘れない。山中一揆あれから 300年	404千円
まちなみ音楽隊	HISHIO MUSIC FES	126千円
焼芝クラブ	つなげ地域の輪、つなぐ世代の輪 焼芝一座秋祭り公演事業	360千円
NPO 法人 manabo-de	MANIWA ユース文化芸術祭	277千円
スーパーマニワブラザーズ	TRUE GARDEN	323千円
しましま企画	映画上映とトークイベント	111千円

特定非営利活動法人 勝山・町並み委員会	土蔵で聴くチェロの音 Vol.3	378 千円
くさのたね	小さなアートの学校	477 千円

【久世エスパスセンター施設及び設備の維持管理】

1 施設の管理運営に関すること

利用者に安全・安心に利用いただけるよう、施設設備等のメンテナンスを行いました。舞台機構、音響・照明設備等の特殊設備は専門業者に委託し、関係法令に基づく法定検査を実施しました。

令和 6 年度に続き、ユニバーサル対応として「耳マーク」、「補助犬マーク」、「こどもまんなか応援サポーター」、「ミライロ」の掲示を行うなど、共生社会の実現に向け誰もが利用し易い施設になるよう対応しました。

2 施設・設備の主な修繕に関すること

【令和 7 年度修繕関連】

→ 業者対応の工事・修繕

- ・喫茶花水木 冷蔵庫ショーケース冷却修理
- ・ホール正面反響板壁紙・楽屋 3 壁修繕（真庭市）
- ・スタジオ搬入口雨漏り修繕（真庭市）
- ・花水木側FCUドレンつまり修繕
- ・特定建築物調査で非常灯劣化不具合多数確認（計画的に修繕中）
- ・ホール天板、アーチワイヤー更新工事（真庭市）
- ・パティオ修繕工事（真庭市）

→ 財団職員対応

- ・館内の電球交換
- ・施設内樹木の剪定、芝生の管理等

3 利用者の安全に関すること

利用者の安全確保のため、防火管理者の資格を有する職員による計画点検、避難訓練、消火訓練を実施しました。

概要	実施日
エスパスセンター消防査察	R7.4.7
消防総合(避難・消火・通報等)訓練	R7.8.9、12.28
旧遷喬尋常小学校消防査察	R8.1.16
心肺蘇生法・AED 研修会	R8.3.12

4 その他管理運営に必要な業務に関すること

その他管理運営に必要なこととして、情報公開や利用者の意見反映、事業の広報、職員研修や社会貢献活動等に取り組みました。

職員の研修では、自己研鑽や魅力ある公演の企画・運営等に活かすため、積極的に研修会への参加や資格の取得に努めました。

【研修参加】

概要	時期	参加人数等
一般財団法人 地域創造フェスティバル参加	R7.8.4～6	2名
島根県舞台芸術セミナー ステージテクニカルアカデミー2025	R7.12.10	1名
インクルーシブ アウトリーチ公演視察 特別支援学校（高校）	R8.2.5	1名
食品衛生責任者研修	R8.3.3、3.9	1名

【職場体験】

概要	人数等	時期
真庭市立久世中学校	2年生2名	R7.9～11
岡山県立津山中学校	2年生1名	R7.10.22～25



【DX 推進】

利用者の利便性向上及び業務効率化を目的として、電子決済やオンラインによるチケット販売等を推進しました。

- ・チケットシステム：483件
- ・Airレジ：282件
- ・PayPay：152件
- ・まにこいん：206件

【その他（会議参加）】

概要	人数等	時期
真庭市文化芸術推進計画策定委員会	1名	
地域クラブ活動推進協議会	1名	
地域クラブ会議	2名	
旧遷喬をゆたかにする会	1名	

公 3 文化財の保存、活用に関する事業

【事業の趣旨】

国指定重要文化財である旧遷喬尋常小学校は、地域のみならず国民の「たから」であり、本事業はその保存と活用を図り、不特定多数の者の文化的向上に寄与することを目的とした事業です。

【事業の概要】

- ・文化財保存活用事業
- ・一般見学のための公開

【実施概要】

国指定重要文化財である旧遷喬尋常小学校について、適切な保存管理と公開・活用を両立し、地域住民及び来館者への教育的・文化的価値の継承に努めました。

また、令和 10 年度から予定されている校舎の保存・修繕工事に向けた調査が行われました。

1 文化財保存活用事業

概要	時期	主催等
青木宏允写真展 雪月風花～未だ見ぬ県北の四季～	R7.3.29(土)～4.13(日)	青木宏允
尋常小学唱歌を歌う会	R7.4.6(日)	旧遷喬尋常小学校講堂で 尋常小学唱歌を歌う会
第 29 回久世南光亭	R7.5.9(金)	ロマネスク遷喬の会
映画「遙かな町へ」撮影	R7.8 月～10 月(8 日間)	護縁株式会社
県北展 青木宏允氏 ほか ～岡山県北最大級の作品展～	R7.9.20(土)～28(日)	青木宏允
Hitosaji no shiawaseten	R7.11.2(日)	ひとさじ
出張！マチノブンカサイ	R7.12.24(月・振休)	真庭市スポーツ・文化振興課 じざじ
年越しイベント	R7.12.31(水)	旧遷喬をゆたかにする会
新年互例会	R8.1.6(火)	真庭市商工会
アーティストインレジデンス上野雄次	R8.2.16(月)～22(日)	旧遷喬尋常小学校 土広場
万博リング模型展示	—	真庭市



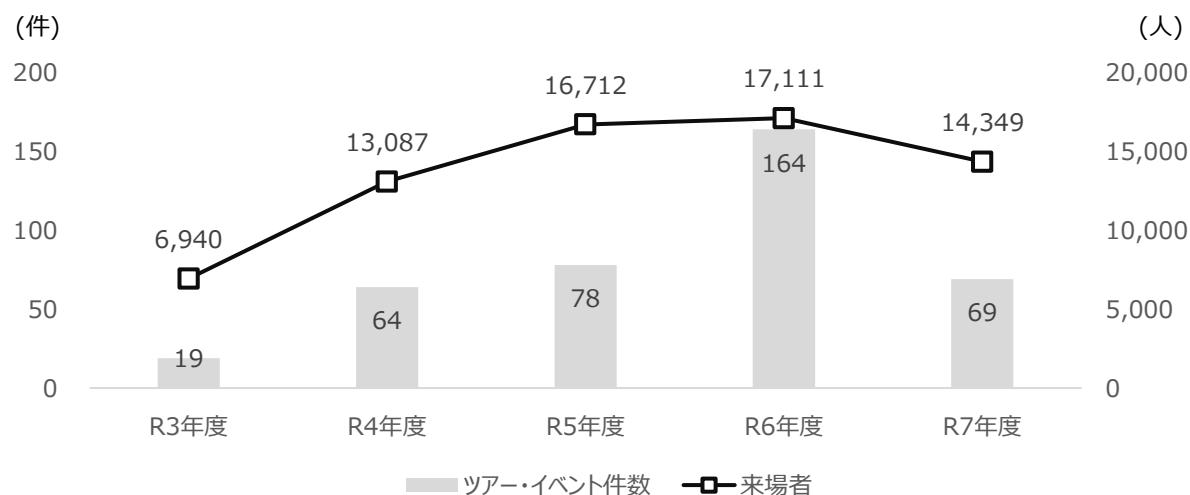
尋常小学唱歌を歌う会



アーティストインレジデンス

2 一般見学のための公開

概要	令和 7 年度	令和 6 年度	増減
ツアー・イベント件数	69 件	164 件	△95 件
来場者数	14,349 人	17,111 人	△2,762 人



公 4 図書、記録等を収集、整理、保管して利用者の閲覧に供する事業

【事業の趣旨】

本事業は、図書、雑誌、記録、視聴覚資料、その他必要な資料を収集、整理、保管して利用者の閲覧に供し、もって教育と文化の発展に寄与することを目的とした事業です。

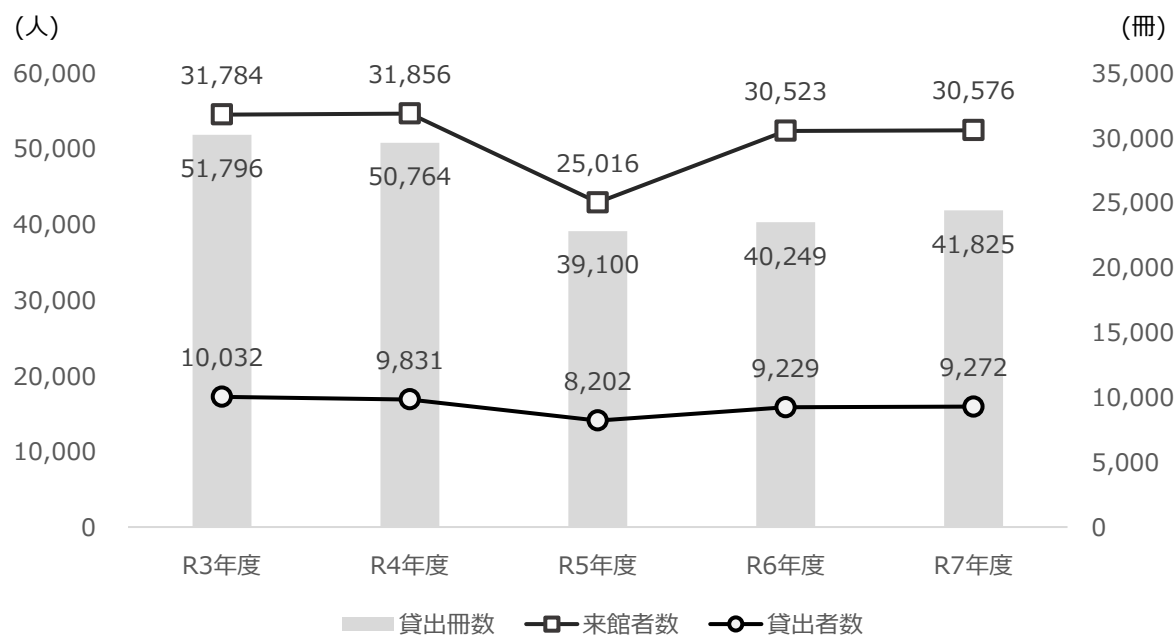
【事業の概要】

1 図書館運営事業

1 図書館運営事業

【令和 7 年度利用実績】

項 目	令和 7 年度	令和 6 年度	増減
蔵 書 数	61,210 冊	63,091 冊	▲1,881 冊
来館者数	30,576 人	30,523 人	53 人
貸出者数	9,272 人	9,229 人	43 人
貸出冊数	41,285 冊	40,249 冊	1,036 冊
レファレンス（調査相談）件数	45 件	58 件	▲13 件



【実施概要】

来館者数、貸出冊数は令和6年度を上回り、地区館として地域住民の継続的な利用に繋がりました。特に貸出冊数が増えた要因は、定期的に利用いただく団体の増加と館内の特集コーナーを増やし、展示本が増えたことが要因と考えています。

今後も、久世図書館を地域住民の学習及び交流拠点として位置づけ、乳幼児から高齢者まで幅広い世代の読書活用及び生涯学習活動の支援を継続していきます。

(1)資料の収集保存に関すること

開かれた図書館として、幼児から高齢者まですべての人の生涯学習の場として、資料の収集、保存、提供に努めるとともに、子どもたちの読書意欲と読書習慣の育成のための資料収集や読書環境の整備に努めました。

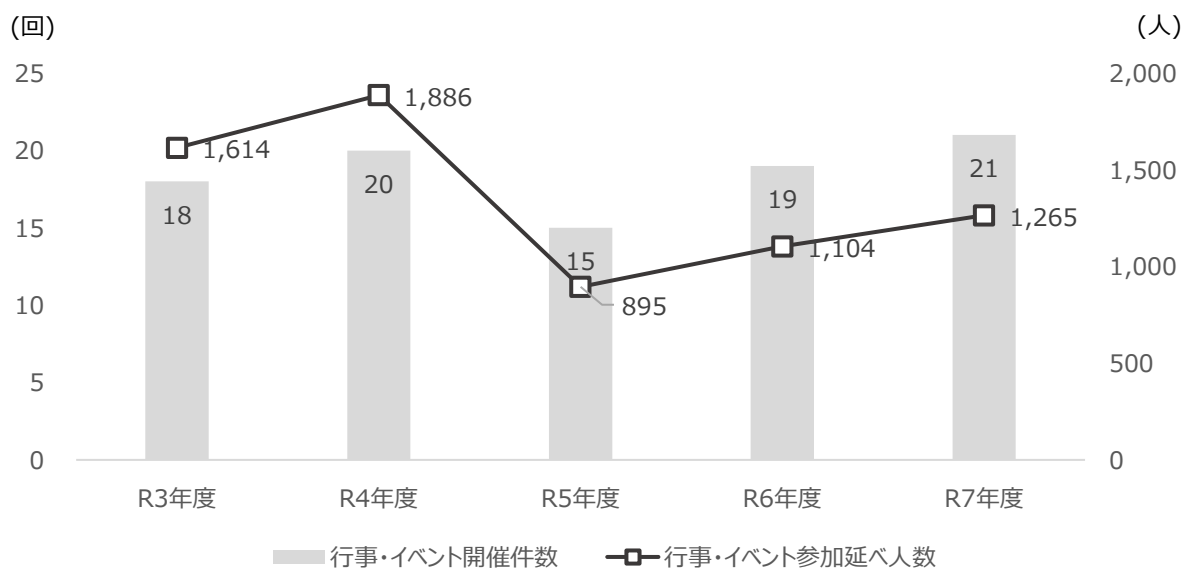
蔵書点検を行い、資料の傷みには職員で可能な限り修復し再配架を行いました。

(2)主催、協力事業に関すること

読書活動の推進や図書館の利用促進等を目的として、真庭市内の図書館全館行事も含めて、乳幼児から高齢者までの幅広い世代を対象に、主催行事、イベントを21回（毎週、毎月開催のものは1回としている）開催し、延べ1,265人が参加しました。こうした行事を通じて、子どもたちの読書習慣の形成に寄与するとともに、ボランティア及び地域住民との協働による図書館活動の活性化に繋がりました。

行事やイベントは、図書館だより「まなぶ〜る」やSNS、財団の特性を活かしたケーブルテレビ等による広報活動を行っており、広く誰でも参加できるものになっています。

【主催行事、イベント開催状況】



開催日等	行事名	内容	参加者数（人）	
			令和 7 年度	令和 6 年度
主催行事				
毎週月曜日	おはなし会 「ぼかぼかえほんばこ」	絵本読み聞かせ (乳幼児向け) 月 1 回は童謡タイム を実施	224	158
毎週土曜日	おはなし会おはなし列車	絵本読み聞かせ (幼・小向)	207	199
週 2 回	絵本読み聞かせボランティア		157	150
月 1 回	蔵書整理ボランティア		6	24
年 4 回	名画鑑賞会	DVD 上映	170	91
4/19～5/11	さがしてよんでこたえは ニャーニ？(全館行事)	クイズ	38	-
5/11	豆本を作ろう！	工作	13	8
7/9、16	読み聞かせボランティア研修	オンライン視聴	13	13
7/19～8/24	ミッションスタンプラリー (全館行事)	クイズ等	98	60
7/25～8/22	体験！ 夏休み図書館ボランティア	書架整理	20	16
8/7	読み聞かせボランティア研修	オンライン視聴	9	13
8/11	夏あかりランプシェード	工作体験(講師:ア ートグループ mo)	28	28

10/9	図書館そだて会議	図書館について意見交換	8	13
11/1～3	ポンポンポッパー	工作	19	-
11/9	本のリサイクルフェア	廃棄本等譲渡	91	212
11/16	初めての草木染体験	ワークショップ(講師:市内ボランティア)	12	11
11/30	ポチ袋を作ろう!	工作体験(講師:市内ボランティア)	5	10
12/14	クリスマスカードを作ろう!	工作	3	11
12/20～1/12	年越し福袋(全館行事)	本の福袋	102	-
2/8	野村昌子さんとバルーンアート体験	工作(講師:野村昌子)	31	57
3/17	読書ボランティア研修会	研修会(講師:おはなしグループ「そらきたホイ!」)	11	-
協力行事				
月 1 回	読んで楽しむ日本の古典	読んで楽しむ日本の古典有志の会	62	79
月 1 回	読書会	読書会有志の会	44	61
月 1 回	音読して楽しむ「源氏物語」	源氏物語有志の会	74	76

※敬称略

ワークショップ(工作等)は、イベント開催日以外にも期間を設けて材料を用意し、誰もが作品作りに参加できるよう開催方法の見直しを行い、好評を得ました。おはなし会は子どもの頃からの読書習慣の形成に繋がるよう、童謡タイム等の特色を更に発信し、参加者の増加に努めます。



夏あかりランプシェード作り



一箱図書館

(3)地区館としての活動に関すること

真庭市内のこども園や放課後児童クラブ等と連携を図り、定期的に本の貸出及びボランティアを派遣し、絵本の読み聞かせや昔語りを実施し、子どもたちの読書活動の支援や貸し出し先の読書環境の充実に努めました。

また、小学校の施設見学やインターンシップを受け入れ、市内の教育機関との連携強化、子どもたちの読書習慣の形成や学習機会の提供、図書館に対する理解の促進を図りました。

【施設への貸出活動】

貸出先(久世地区内)	冊数	貸出先(久世地区外)	冊数
米来こども園	200 冊	落合朗読サークル	81 冊
久世第二保育園	141 冊	ホントキキトホン	6 冊
久世こども園	8 冊	オアシス会	481 冊
星のこども園	13 冊	おはなしの会みるく	2 冊
真庭市発達・子育て支援センター わくわくステップ	135 冊	北房こども園	22 冊
めきっこ放課後児童クラブ	20 冊	天の川こども園	55 冊
久世読み聞かせボランティア	191 冊	勝山こども園	3 冊
多機能型児童支援事業所 バズ	73 冊	湯原こども園	100 冊
市役所健康推進課	122 冊	放課後児童クラブ 美川っ子	151 冊
久世公民館	521 冊	他放課後児童クラブ等	

※貸出先 4 箇所増加

【ボランティア派遣活動】

派遣先	派遣回数	内容
久世こども園	9 回	読み聞かせ
久世第二保育園	10 回	〃
河内こども園	9 回	〃
草加部小学校	6 回	〃
遷喬小学校	19 回	〃
余野小学校	3 回	〃
放課後児童クラブさくらんぼ	10 回	〃

【施設見学・体験学習等受入】

来館校	回数	人数	内容
真庭高校	3 回	3 人	インターンシップ
草加部小学校	1 回	9 人	見学
草加部小学校	1 回	9 人	体験学習
遷喬小学校	1 回	65 人	見学
美甘・月田・富原小学校合同	1 回	25 人	見学
余野小学校	1 回	5 人	見学

(4)職員の研修に関すること

図書館サービスの向上等を図るため、令和 8 年 2 月 13 日、鳥取県の図書館 3 館（「みんなの図書館カイケノマド」「南部町立天萬図書館」「南部町立法勝寺図書館」）を視察しました。

視察先図書館の特徴として、ミニ特集コーナーを多く設置しており、来館者の手にとってもらい易い環境作りを行っていることでした。久世図書館でも令和 7 年度から本の展示を増やしており、良い取り組みだったと確認しました。

その他、岡山県立図書館や真庭市図書館担当者会での研修を受講しました。また、財団全体の取り組みとして、避難訓練や AED 講習会に参加しました。

(5) 利用者の意見反映に関すること

図書館利用者等からの意見をいただく「おたよりボックス」を館内に常設し、意見の収集に努めました。市民参加の図書館そだて会議の中で、意見交換が出来る掲示板の設置要望があり、令和 8 年度から設置し、利用者の声を傾聴し、図書館運営に活かします。このほか、図書館ボランティアとの意見交換会（令和 7 年 4 月 24 日開催 6 人参加）や雑誌アンケート等を実施しました。

また、本の予約受付・リクエストにも対応し、年間予約 3,887 冊、リクエスト 599 冊に応えました。

(6) 広報活動に関すること

図書館だより「まなぶ〜」を毎月発行したほか、ホームページや SNS で随時市民への情報提供を行いました。

また、新聞紙面への掲載、真庭いきいきテレビや告知放送を活用し、イベント案内や新着本、特集本の紹介等幅広い情報提供に努めました。

収益目的事業

収 1 テレビコマーシャル等の作成、放送事業

【事業の趣旨】

地元企業、各種団体からテレビコマーシャルや PR 番組制作の依頼を受け、ケーブルテレビを通じて放送を行う事業です。この事業の収益金は、一部を公益目的事業会計に繰り入れ、ケーブルテレビ事業の運営に充てています。

■ テレビコマーシャル、番組制作実績

項目	令和 7 年度	令和 6 年度	増減
テレビコマーシャル			
予 算	3,000 千円	3,300 千円	▲300 千円
事業者数	延べ 26 団体	延べ 25 団体	1 団体
収 入	2,259 千円	3,538 千円	▲1,279 千円
達 成 率	75.3%	107.2%	
番組制作			
予 算	5,200 千円	7,200 千円	▲2,000 千円
事業者数	延べ 26 団体	延べ 24 団体	2 団体
収 入	6,293 千円	7,177 千円	▲884 千円
達 成 率	121.0%	100.2%	

収 2 公益目的以外の施設貸与事業

【事業の趣旨】

当財団が管理運営している「久世エスパセンター」は、ホールのほか会議室等の諸室があり、本事業は公益目的事業を優先しながら、一般市民、企業、団体を対象にそれらの貸館を行う事業です。

該当施設の利用料金は市条例で定められており一般に公開されています。なお利用料金は、財団の収入となり、一部を公益目的事業に充てています。

■ 利用状況

項目	令和 7 年度	令和 6 年度	増減
施設利用者数	39,038 人	37,657 人	1,381 人
施設貸与件数	1,274 件	1,462 件	△188 件
施設使用料	4,968 千円	5,757 千円	△789 千円

収 3 コーヒーショップの運営事業

【事業の趣旨】

本事業は久世エスパセンターの来館者を対象に、コーヒー等の飲料と軽食を提供する事業です。エスパスでの公演の合間に利用される方や常連客も多く、交流と憩いの場となっています。

コーヒーショップの主催事業として、高齢者が集ううたごえ喫茶の開催や地域のイベントへの参加等を行いました。

■ イベント等開催状況

概要	開催日等
うたごえ喫茶	年 12 回開催
花水木 アコースティックライブ～鍋屋横丁 17 番地～(アマチュアバンド等ライブ)	R7.4.12(土)
くせ de のみーの参加	R7.9.6(土)

収 4 真庭市からの業務受託事業

1 地域情報化関連の業務受託事業

(1) 広報真庭一部制作事業

「広報真庭」の『読者の広場』、『ぐるっと真庭まちの話題』、『裏表紙』等、計 7 ページ分の取材・制作を行いました。

(2) 告知関連事業

真庭市からの放送依頼を受けて行政告知放送による「お知らせ放送」「お悔やみ放送」を行ったほか、放送端末の維持管理、利用者からの問合せ・故障対応と新規加入者宅への設置工事を行いました。

2 芸術文化関連の業務受託事業

(1) 勝山文化センターポテホール舞台管理業務

■ 日常業務

- ・舞台機構設備、照明設備、備品等の管理、保守、日常点検

■ 公演に係る業務

- ・公演開催に係る準備作業、当日の進行、舞台設備操作における技術要件確認、利用者への指導、助言等
- ・舞台設営、公演に関する安全管理
- ・公演終了後の設備、備品等の使用状況、損傷確認及び終了点検
- ・講演会、中学校芸術鑑賞会、吹奏楽演奏会、映画会等の貸館舞台の管理運営

(2) 芸術アウトリーチ企画・実施業務

主に真庭市内の小学校を対象に、アーティスト等を講師に招き、豊かな感受性等を育む「芸術アウトリーチ」を企画・開催しました。

■ 音楽アウトリーチ

アーティスト名等	開催日	開催場所等	鑑賞者数
奥田なな子（チェロ） ゴウ芽里沙（ピアノ）	R7.10.20(月)	八束小学校	37 人(1～2 年生)
		中和小学校	12 人(全校)
	R7.10.21(火)	檜邑小学校	15 人(全学年 10 人と地域の方)
乗松恵美（ソプラノ） 新崎誠実（ピアノ）	R8.2.5(木)	北房中学校	41 人(1 年生)
			24 人(2 年生)
	R8.2.6(金)	美川小学校	58 人(2～4 年生)
小山弦太郎（サクソフォン） 中川賢一（ピアノ）	R8.2.19(木)	天津小学校	15 人(6 年生)
			28 人(5 年生)
	R8.2.20(金)	富原小学校	17 人(全校)

■ コンテンポラリーダンス

アーティスト名等	開催日	開催場所等	鑑賞者数
セレノグラフィカ (隅地茉歩・阿比留修一)	R7.9.29(月)	蒜山中学校	36 人(1 年生)
			25 人(2 年生)
	R7.9.30(火)	湯原中学校	36 人(全校)
長与江里奈	R7.10.15(水)	遷喬小学校	31 人(5 年生)
			30 人(5 年生)
	R7.10.16(木)	落合小学校	29 人(4 年生)

■ 狂言アウトリーチ

アーティスト名等	開催日	開催場所等	鑑賞者数
田賀屋夙生・島田洋海	R7.11.13(木)	木山小学校	33 人(5.6 年生)
	R7.11.14(金)	北房小学校	41 人(6 年生)
	R7.11.17(月)	落合中学校	322 人(全校)



(3) 真庭市市制施行 20 周年記念式典運営業務

式典における会場設営、進行、事前準備、アトラクションの運営業務を実施しました。

(4) 部活動の地域展開における実証事業

行政や関係各所と協議、練習会の開催等の準備を進め、真庭市認定地域クラブ「真庭ウインドアンサンブル」を設立しました。令和 8 年度から本格的に稼働し、子どもたちが目標を持って芸術文化に触れあえる環境作りに努めます。



(5) 真庭 SDGs 円卓会議運営業務

真庭 SDGs 円卓会議(R8.2.28(土) エスパスホール)の会場設営、運営、舞台技術、受付等の業務及び、真庭いきいきテレビ メインチャンネルでの生中継、YouTube 生配信を実施しました。

(6) 真庭市アーティストインレジデンス業務

上野雄次(花道家、アーティスト、現代美術家)が真庭市に滞在して創作活動を行う際のサポート業務を受託し、実施しました。



収 5 光インターネット等の通信サービス提供事業

令和 7 年 10 月から本格的にサービスを開始し、窓口に加入申込に来られた方を中心に営業を行い、令和 8 年 3 月末までに 16 件の申込をいただきました。ケーブルテレビとインターネットの 2 つのサービス提供で、公益目的事業（ケーブルテレビ加入者の増加）にも効果が及ぶよう進めて参ります。

その他の事業

他 1 その他情報・文化に関する事業

【事業の趣旨】

本事業は公益目的事業、収益目的事業に該当しない小規模、非継続な事業で、公益目的事業の推進に資するための自主事業及び各種団体等からの受託により実施する事業です。

1 地域情報化関連

(1) 真庭市デジタル地域通貨キャンペーン PR 業務

真庭市からの受託業務として、まにこいん 2 万 5 千人突破キャンペーンと春のくらし応援・事業者応援キャンペーンの PR 業務を実施しました。

■ 2 万 5 千人突破キャンペーン PR

・実施期間： 令和 7 年 8 月～10 月

・実施内容： 真庭いきいきテレビ、吉備ケーブルテレビ・テレビ津山 30 秒 CM 放送、真庭タイムス広告掲載

■ 春のくらし応援・事業者応援キャンペーン PR

・実施期間： 令和 8 年 3 月～5 月

・実施内容： 真庭いきいきテレビ 30 秒 CM 制作、真庭タイムス、県北イベント情報誌「JAKEN」広告掲載

(2) 久世公民館主催スマホ教室

真庭市立久世公民館が主催したスマートフォン教室の教材作成、講師の手配及び派遣を実施しました。

2 芸術文化関連

(1) 旧遷喬関連事業

・見学ツアーガイド事業 : 49 件

・お土産販売 物販事業 [財団オリジナル]

ガチャガチャ、缶バッジ・マスキングテープ、キーホルダー反射材、トートバッグ 3 種

[受託]

久世の牛廐、羊羹、真庭ふるさとカルタ、木・革製キーホルダー、写真で巡る岡山県真庭市等

②当該法人の運営体制の充実を図るための取り組み

法人管理部門

当財団においては、法人運営の適正性及び透明性を確保するため、理事会・評議員会・監事による監督機能の充実、内部統制の強化に努めました。

令和7年度は、理事会、評議員会ともに3回開催、監査は11回実施し、事業計画、予算執行状況、重要事項等の審議を行いました。また、月1回の頻度で三役・課長会議を開催し、財団の運営や業務の進捗、課題等について報告、検討を行うことにより組織運営の適正化や充実を図りました。

財務関係では、税理士と顧問契約を締結し、一連の会計処理の確認や指導を行っていただく事で、財団経営、財務諸表の信頼性を担保しました。

1 役員に関する事項

【評議員：11人】

役職	常勤・非常勤	氏名	財団との利害関係	補足
評議員	非常勤	三ツ 宗宏	無し	
同	非常勤	大月 隆行	無し	
同	非常勤	岡崎 陽輔	無し	
同	非常勤	長尾 敬介	無し	
同	非常勤	宮島 美穂	無し	
同	非常勤	山崎 樹一郎	無し	
同	非常勤	篠田 信子	無し	
同	非常勤	森田 秀之	無し	
同	非常勤	中島 浩一郎	無し	
同	非常勤	原 優子	無し	
同	非常勤	清友 尚	無し	

【理事：13人】

役職	常勤・非常勤	氏名	財団との利害関係	補足
代表理事	非常勤	澁澤 壽一	無し	理事長
代表理事	非常勤	福島 啓介	無し	副理事長
業務執行理事	常勤	高柳 克彦	無し	常務理事
理 事	非常勤	吉永 忠洋	無し	
同	非常勤	平泉 繁	無し	
同	非常勤	石賀 幹浩	無し	
同	非常勤	堀 一彦	無し	
同	非常勤	鈴木 英子	無し	
同	非常勤	富松 文治	無し	
同	非常勤	林 咲子	無し	
同	非常勤	伊藤 敦哉	無し	

同	非常勤	前原 進	無し	
同	非常勤	西川 正	無し	

【監事：2人】

役職	常勤・非常勤	氏名	財団との利害関係	補足
監事	非常勤	山中 俊男	無し	
監事	非常勤	矢谷 佳子	無し	

2 職員に関する事項

役職等		人数	補足
事務局長		1人	常務理事が兼務
事務局次長		2人	1名がMIT局長を兼務、1名が保守管理課長を兼務
職員	課長	3人	
	正職員	21人	
	契約職員	4人	

3 理事会・評議員会開催状況

■令和7年度第1回理事会

日時・場所：令和7年6月5日（木） 久世エスパスセンター学習室

協議事項：【議事】

- ・公益財団法人真庭エスパス文化振興財団の収益事業の一部変更について
- ・令和6年度事業報告について
- ・令和6年度決算報告について
- ・特定費用準備資金の保有について
- ・令和7年度 第1回評議員会の招集について
- ・公益財団法人真庭エスパス文化振興財団定款の一部改正について

出席：理事10名、監事2名

欠席：理事3名

■令和7年度第1回評議員会

日時・場所：令和7年6月20日（金） 久世エスパスセンター研修室

協議事項：【議事】

- ・公益財団法人真庭エスパス文化振興財団収益事業の一部変更について
- ・令和6年度事業報告について
- ・令和6年度決算報告について
- ・公益財団法人真庭エスパス文化振興財団定款の一部改正について

出席：評議員8名、理事3名、監事2名

欠席：評議員3名

■令和7年度第2回理事会

日 時 ・ 場 所 : 令和7年11月11日(火) 久世エスパスセンター研修室

協 議 事 項 : 【報告】

- ・令和7年度上半期事業報告について
- ・令和7年度上半期代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について
- ・令和7年度予算執行状況報告について

【議事】

- ・令和7年度補正予算(第1号)について
- ・公益財団法人真庭エスパス文化振興財団定款の別表の一部改正について
- ・公益財団法人真庭エスパス文化振興財団職員就業規程の一部改正について
- ・令和7年度 第2回評議員会の招集について

出 欠 出席 : 理事10名、監事2名

欠席 : 理事3名

■令和7年度第2回評議員会

日 時 ・ 場 所 : 令和7年11月27日(木) 久世エスパスセンター研修室

協 議 事 項 : 【報告】

- ・令和7年度上半期事業報告について
- ・令和7年度予算執行状況報告について

【議事】

- ・令和7年度補正予算(第1号)について
- ・公益財団法人真庭エスパス文化振興財団定款の別表の一部改正について

出 欠 出席 : 評議員8名、理事3名、監事2名

欠席 : 評議員3名

■令和7年度第3回理事会

日 時 ・ 場 所 : 令和8年3月5日(木) 久世エスパスセンター研修室

協 議 事 項 : 【議事】

- ・令和7年度補正予算(第2号)について
- ・公益財団法人真庭エスパス文化振興財団特定費用準備資金等取扱規程の一部改正について
- ・令和8年度事業計画について
- ・令和8年度当初予算について
- ・令和7年度 第3回評議員会の招集について

出 欠 出席 : 理事10名、監事2名

欠席 : 理事3名

■令和7年度第3回評議員会

日 時 ・ 場 所 : 令和8年3月20日(金) 久世エスパスセンター研修室

協 議 事 項 : 【議事】

- ・令和7年度補正予算(第2号)について
- ・令和8年度事業計画について

・令和 8 年度当初予算について

出 欠 出席： 評議員 9 名、理事 3 名、監事 2 名

欠席： 評議員 2 名

4 監査実施状況

実施日	内容
令和 7 年 4 月 1 日	現金監査
令和 7 年 5 月 2 日	現金監査
令和 7 年 5 月 26 日	令和 6 年度事業実施状況、決算監査
令和 7 年 6 月 2 日	現金監査
令和 7 年 7 月 1 日	現金監査
令和 7 年 10 月 3 日	現金監査
令和 7 年 11 月 4 日	令和 7 年度上半期事業実施状況、予算執行状況監査、現金監査
令和 7 年 12 月 1 日	現金監査
令和 8 年 1 月 5 日	現金監査
令和 8 年 2 月 2 日	現金監査
令和 8 年 3 月 2 日	現金監査

5 三役・課長会議開催状況

上半期： 令和 7 年 4 月 4 日、5 月 8 日、5 月 30 日、7 月 14 日、8 月 11 日、9 月 11 日

下半期： 令和 7 年 10 月 3 日、10 月 30 日、12 月 1 日、令和 8 年 1 月 9 日、2 月 19 日
3 月 17 日

6 ランチミーティング（理事との意見交換会）開催状況

・令和 7 年度第 1 回ランチミーティング

開催日時・場所： 令和 7 年 9 月 11 日（木） 久世エスパセンターミーティングルーム（2 回）

出 席 等： 出席理事 延べ 10 名、出席職員 17 名

・令和 7 年度第 2 回ランチミーティング

開催日時・場所： 令和 8 年 1 月 29 日（木） 久世エスパセンターミーティングルーム（2 回）

出 席 等： 出席理事 延べ 9 名、出席職員 11 名

7 組織運営に係る事項

公益法人として公益目的事業の達成や社会的な信頼が得られるよう、財団運営に取り組みました。

●理事会、評議員会の機能強化

- ・理事会、評議員会資料の事前配布の徹底による事業への理解浸透
- ・理事、評議員の選定における外部有識者、地域の方々、専門家の登用
- ・ランチミーティングの開催

●内部統制

- ・事務分掌の作成及び事務ルールの徹底

- ・三役・課長会議による業務執行状況の確認や課題の情報共有
- ・職責や所属による情報アクセスの制限

●コンプライアンス

- ・朝礼等の場を活用したコンプライアンス意識の向上及び適切な事務執行の呼びかけ
- ・勤怠管理（有休取得の奨励、残業・休日出勤管理の厳格化）
- ・車両運転者管理（アルコールチェック等）

●会計、経理

- ・監査による現金確認及び定期的な予算執行状況等の確認
- ・現金取り扱いルールの遵守

●人材育成

- ・研修やセミナー受講の奨励（専門性の向上、公益法人の職員として必要な知識の習得）

●情報公開

- ・ホームページを活用した定款、役員名簿、事業計画・報告、財務諸表の公開

●地域貢献

- ・真庭 SDGs パートナー
- ・真庭市こどもまんなか応援サポーター
- ・真庭市地域見守りネットワーク「まにわのわ」登録事業者
- ・真庭市芸術文化振興計画策定検討委員会 委員
- ・真庭市地域クラブ活動推進協議会 委員
- ・旧遷喬尋常小学校 校舎修理調査委員会 委員
- ・一般社団法人真庭観光局 正会員
- ・真庭警察署協議会 会員

●その他

- ・公益財団法人真庭エスパス文化振興財団特定費用準備資金等取扱規程の改定（改正公益法人法への準拠）

8 その他事項

記載事項無し

9 事業報告の付属明細書

事業報告の内容を補足すべき事項は無いので、付属明細書は作成していません。

以上

令和8年度

法人の経営状況を説明する書類

公益財団法人 真庭スポーツ振興財団

令和7年度（2025年度）

事業報告書



公益財団法人真庭スポーツ振興財団

《基本方針》

<真庭スポーツ振興財団の基本方針>

真庭市の健康づくりやスポーツにおける基本理念も踏まえ、日常的に運動・スポーツを楽しむ機会の提供、市民が参画する環境づくりをコンセプトに、健康づくりや生き甲斐づくりにつなげ、QOL※1)を維持するための活動を行い、健康寿命の延伸を目指します。

さらに、市民の運動・スポーツを通じた交流の「まちづくり」を目指します。こうした健康づくり・スポーツ振興を行うなか、公共施設の一体管理を行い、安全で効率的な管理運営に努めるとともに、施設の整備・機能の拡充及び安全・利便性の向上に努めます。

※1) QOL : (人生の満足度 quality of life)

— 目 次 —

財団事業構成

【①】各事業年度における公益目的事業等の実施状況 3～37P

落合地区事業 3～14P

■公益目的事業

公1 スポーツの振興に関する事業（落合地区）

- 1 教室事業
- 2 大会（イベント）事業
- 3 連携協力事業
- 4 施設管理運営事業

■収益事業

- 収1 飲食物品の販売に関する事業
- 収2 公益目的以外の施設貸与事業
- 収3 合宿誘致に関する事業
- 他1 その他事業

久世地区事業 15～29P

■公益目的事業

公2 スポーツの振興に関する事業（久世地区）

- 1 教室事業
- 2 大会（イベント）事業
- 3 連携協力事業

4 施設管理運営事業

■収益事業

- 収1 飲食物品の販売に関する事業
- 収2 公益目的以外の施設貸与事業
- 収4 真庭市からの業務受託事業

勝山地区事業 30～37P

■公益目的事業

- 公3 スポーツによる健康の保持及び増進に関する事業（勝山地区）
 - 1 健康増進事業
 - 2 スクール事業
 - 3 施設管理運営事業

■収益事業

- 収1 飲食物品の販売に関する事業
- 収4 真庭市からの業務受託事業

【②】当該公益法人の運営体制の充実を図るための取組 38～41P

■法人管理

- 1 役員に関する事項
- 2 職員に関する事項
- 3 理事会・評議員会

【①】各事業年度における公益目的事業等の実施状況

落合地区事業

令和7年度は、記録的な高温により熱中症リスクが高まる中、厚生労働省のガイドラインに基づき、職場および施設での熱中症対策に取り組みました。施設では、注意喚起の掲示やWBGT（暑さ指数）測定器の設置を行い、利用者の安全確保に努めました。その結果、大きな事故もなく、年間を通して各種事業を実施することができました。

また、施設の機能向上と安全性の強化を目的として、テニスコートや屋内外ゲートボール場、ハイランドおちあい、園内外灯のLED化のほか、サブアリーナの空調設備、自動火災報知設備、非常放送設備の改修を、真庭市及び工事業者と連携しながら計画的に実施しました。これにより、施設の長寿命化と利用環境の向上を図っています。

公益目的事業

（公1）スポーツの振興に関する事業（落合地区）

「落合総合公園」を活動の拠点施設として、市民誰もが個々のライフスタイルに応じて参加しやすい各種スポーツ事業を実施することで、スポーツ技術の向上はもとより、心身の健康保持・増進、介護予防や生活の質の向上に向け、スポーツ活動の一層の振興と普及を図りました。

1. 教室事業

市民を対象とし、ライフステージに合わせ、健康づくりやスポーツ技術向上など個人の様々な目標やニーズに応じたスポーツ教室を開催し、子どもから大人まで、初心者から上級者まで、幅広い年齢やレベルの人々にスポーツを楽しむ機会を提供しました。

（1）健康増進教室

教室事業名	開催日	場所	対象者	参加者
ピラティス	4月～3月 午前	白梅総合体育館 サブアリーナ	20歳以上女性	延べ273名
やさしいスッキリ ボディヨガ	4月～3月 午前	白梅総合体育館 会議室	20歳以上女性	延べ172名
体幹エクササイズ	4月～3月 午前	白梅総合体育館 サブアリーナ	20歳以上女性	延べ251名
サーキットトレーニング	4月～3月 午後	トレーニングルーム・白梅総合体育館 サブアリーナ	20歳以上女性	延べ364名
健康ストレッチ	4月～3月 午前	白梅総合体育館 サブアリーナ	20歳以上女性	延べ96名
すわってエアロ	4月～3月 午前	白梅総合体育館 サブアリーナ	20歳以上女性	延べ338名

骨盤メイキング	4月～3月 夜間	白梅総合体育館 会議室	20歳以上女性	延べ63名
トレーニング・ジム	4月～3月	トレーニング ルーム	一般利用 月間券・年間券	一般利用 延べ2,241名 月間券・年 間券延べ 7,210名



ピラティス



すわってエアロ

(2) スポーツ教室

イベント事業名	開催日	場所	対象者	参加者
Y.YLINK 卓球教室	7月12日 (土)	白梅総合体育館 メインアリーナ	小・中学生	90名
トップアスリート派遣事業(シーガルズバレーボール教室)	6月29日 (日)	白梅総合体育館 メインアリーナ サブアリーナ	小・中学生	100名



卓球教室



トップアスリート派遣事業

2. 大会（イベント）事業

様々な世代を対象に、スポーツの楽しさや喜びを体感する機会や日頃の成果発表の場、また、スポーツへの関心を高めるきっかけづくりや世代間交流・障がい者交流をはじめ、指導者・ボランティア育成などスポーツを通じた地域のコミュニティづくりを促進しました。

イベント事業名	開催日	場所	対象	参加者
しらうめカップ落合招待バレーボール大会	5月18日(日)	白梅総合体育館	小学生	400名
たたいて遊ぼうドラムサークル	8月5日(火)	久世エスパスホール	放課後教室児童・一般指導者	40名
白梅杯ソフトテニス大会	8月30日(土)	落合総合公園テニス場	中学生	120名
BODYCARE CLASS	8月31日(日)	白梅総合体育館	20歳以上女性	40名
しらうめグラウンドゴルフ交流戦	11月4日(火)	サッカー場	一般	65名
親睦ゴルフ大会	11月8日(土)	Blue Resort ランドマークゴルフクラブ	一般	55名
白梅杯インドアソフトテニス大会	1月10日(土)	白梅総合体育館・テニスコート	中学生	120名
キッズサッカーフェスティバル	2月22日(日)	サッカー場	幼保・小学生	220名



キッズサッカーフェスティバル



しらうめグラウンドゴルフ交流戦

3. 連携協力事業

「総合型地域スポーツクラブしらうめスポーツクラブ」を始め、学校・団体・機関・施設等と財団の連携協は、地域スポーツの振興や発展を促進するとともに、これらの組織間で連携協力を行うことによって、地域のスポーツ活動やスポーツ文化の向上、選手の育成、健康増進、地域コミュニティの活性化を図りました。

事業名	開催日	場所	対象者	参加者
(定期活動支援)				
なぎなた教室	毎月第1・第3火曜日夜間	白梅総合体育館 サブアリーナ	小学生以上	延べ102名
ヨガ・ブレイクダンス教室	毎週水曜日夜間	白梅総合体育館 サブアリーナ	高校生以上	延べ305名
ジュニアバドミントン	毎週木曜日夜間	白梅総合体育館 メインアリーナ	中・高校生	延べ1146名
ハンドボール教室	毎週金曜日夜間	白梅総合体育館 メインアリーナ	小学生以上	延べ854名
キッズバドミントン	毎週土曜日夜間	白梅総合体育館 メインアリーナ	小学生	延べ1280名
シニア野球サークル	4月～11月	多目的グラウンド	45歳以上	延べ31名
しらうめ元気塾	毎月1回日曜日午前	白梅総合体育館 サブアリーナ	高校生以上	延べ36名
大人の楽トレ教室	毎月第2・第4木曜日午後	白梅総合体育館 メインアリーナ	60歳以上	延べ40名
キッズ体操教室	前期5月～9月 後期11月～12月	白梅総合体育館 サブアリーナ	満3歳～6歳児(小学生除く)	延べ664名
健康ウォーキング	5月・6月・7月・9月・3月	市内各地	市民	延べ61名
(地域活動支援)				
ノルディックウォーキング	4月26日(土) 11月22日(土)	落合振興局周辺	市民	22名 30名
七夕企画	7月中	白梅総合体育館 玄関ホール	市民	短冊約500枚 展示
おやこ運動教室	7月13日(日)	白梅総合体育館 メインアリーナ	年中～ 小学2年生	22組
しらうめカップ小中学生バドミントン大会	1月12日(月)	白梅総合体育館 メインアリーナ	市内・新庄村 小中学生	80名

スキー・スノーボード教室 in 大山	2月15日(日)	だいせんホワイトリゾート	小学生以上	26名
リズムジャンプ体験会	3月11日(水)	白梅総合体育館 メインアリーナ	小学生以上	45名
美化活動	3月20日(金)	落合総合公園内	市民・クラブ会員	29名



ハンドボール教室



リズムジャンプ体験会

4. 施設管理運営事業

スポーツ施設の管理運営は、施設を安全かつ効果的に運営するために非常に重要な活動であるとともに、利用者が快適で安全な環境でスポーツを楽しむことができるよう、施設の維持管理と施設貸与を通じて、質の高いスポーツ体験と快適な施設空間を提供しました。

4-1 維持管理の具体的な取り組み

落合総合公園内のスポーツ施設について、真庭市との指定管理者に関する協定に基づき、地域の健康・スポーツ活動の拠点として、次の事項に留意し、施設の維持管理を行いました。

(1)安全確保

施設の安全性を確保し、利用者やスタッフの健康と安全を保障するため、施設内外の設備や構造物の点検、修繕を行いました。

- ・施設の清掃は日常清掃と定期清掃により、施設巡回や目視点検等を行いながら施設及び敷地内の清掃業務を実施しました。

・サッカー場

年間を通して緑を維持するエバーグリーン化(暖地型芝草と寒地型芝草の入れ替え)、定期的な芝刈りを実施し、利用者に快適な環境を提供しました。

・その他芝生地

定期的に芝刈りを実施し、快適な環境を維持しました。

・敷地内の植栽管理

高低木の花木剪定を実施し、景観の維持に努めました。また、落下枝、死角になりやすい樹木等は事前に剪定し、利用者の安全に配慮した管理をしました。

・グラウンド整備他

施設内のグラウンドは週1回スポーツトラクター等で整備するとともに、除草剤を定量散布防除し快適な環境を維持しました。

(2)法令遵守

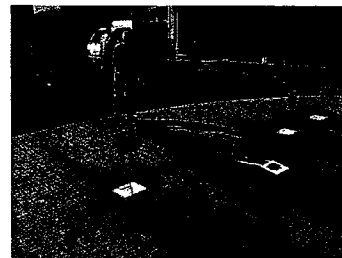
施設の法的規制や基準に適合するように保守・管理（法定点検）を行うとともに、当財団職員による日常点検・定期点検を行いました。

- ・通報、避難、誘導、消火器具の取り扱い訓練

4月24日(木)、10月23日(木)

白梅総合体育館、ハイランドおちあい 真庭消防設備指導の下実施

- ・真庭市個人情報保護条例、真庭スポーツ振興財団個人情報保護規定の遵守



(3)長寿命化

定期的なメンテナンスや修繕によって、施設の設備や構造物の寿命を延ばし、将来的なコスト削減を目指しながら管理運営を実施しました。

(主な修繕業務)

- ・真庭市

テニス場	LED化
ゲートボール場	LED化
ハイランドおちあい	LED化
園内外灯	LED化
白梅総合体育館	サブアリーナ空調設備改修
白梅総合体育館	サブアリーナ自動火災報知設備改修
白梅総合体育館	サブアリーナ非常放送設備改修
白梅総合体育館	メインアリーナ、メインスピーカー用アンプ修繕
白梅総合体育館	1階南トイレ地下漏水修繕
多目的、野球場	トイレ前配管漏水修繕
トレーニング室	トレーニング器具(ラットプルダウンシーテッドロー)更新

- ・財団

白梅総合体育館	玄関自動ドアレーダースイッチ取替
白梅総合体育館	シャワー室シャワー栓取替
白梅総合体育館	玄関ホールフローリング貼替
白梅総合体育館	南スロープタイル貼替
テニス場	Bコート人工芝部分補修

(4)緊急時の応急措置

スタッフ全員が基本的な応急措置のトレーニングを受けるとともに、救命講習などの研修を行い、緊急時に適切な行動が取れるよう管理運営を実施しました。

- ・普通救命講習 5月13日(火)真庭消防署

- ・ AED バッテリーチェック
- ・ 夜間等職員不在時における警備システムによる火災や建造物侵入等の警備

4-2 施設貸与の具体的な取り組み

落合総合公園内のスポーツ施設を貸与することにより、真庭市におけるスポーツの促進・普及、健康増進及び地域連携を支援することを目的に、次の事項に留意し、施設貸与を行いました。

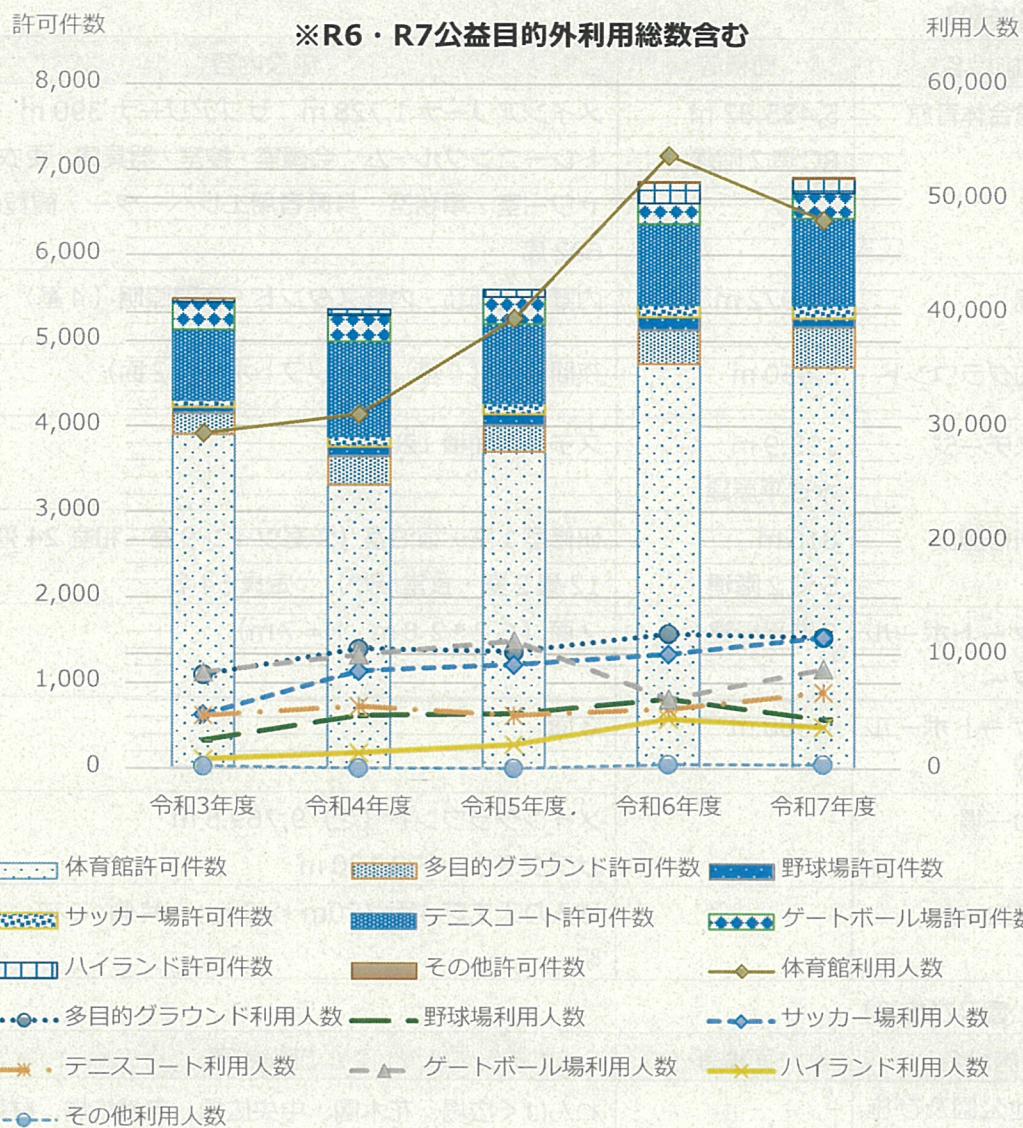
(1) 公益目的施設貸与

個人や地域のスポーツクラブ及び団体などが行うスポーツ活動のための使用を公益目的施設貸与とし、スポーツ活動以外の使用より優先して受け付けるなどの優遇措置を講じました。

【公益目的利用総数】

公園名	施設名	施設使用料（一般）		スポーツ振興（財団）		合計	
		許可件数	人数	許可件数	人数	許可件数	人数
落合総合公園	アリーナ	747	16,534	291	5,021	1,038	21,555
	サブアリーナ	608	7,581	174	2,035	782	9,616
	2階ホール	160	5,168	8	63	168	5,231
	会議室	159	3,327	192	1,399	351	4,726
	トレーニングルーム	2,241	2,241	0	0	2,241	2,241
	多目的グラウンド	471	11,085	0	0	471	11,085
	野球場	91	3,590	0	0	91	3,590
	サッカー場(芝)	89	6,530	1	65	90	6,595
	サッカー場(サバ)	37	3,700	0	0	37	3,700
	テニスコート	875	5,685	135	920	1,010	6,605
	屋内ゲートボール場	231	6,930	9	45	240	6,975
	屋外ゲートボール場	15	656	0	0	15	656
	ハイランド研修室	17	321	0	0	17	321
	ハイランド厨房	0	0	0	0	0	0
	ハイランド宿泊	58	662	0	0	58	662
	野外ステージ	1	38	0	0	1	38
	その他	0	0	1	29	1	29
	他施設実施	0	0	9	234	9	234
合 計		5,800	74,048	820	9,811	6,620	83,859

落合総合公園 年度別利用人数および件数



(2)公益目的外施設貸与

公益目的使用を優先しながら、スポーツ施設をより効率的効果的に活用する為、スポーツ活動以外の使用も対応しました。主な利用団体内容は、講習会、研修会、企業の展示会、消防訓練等です。

(3)利用料金の収納

利用料金は真庭市条例で定められた金額の範囲内で公平・公正に徴収しました。支払いは利用者が便利に支払えるよう、真庭市電子地域通貨（まにこいん）を導入しました。

『指定管理施設の概要』

◎落合地区（落合総合公園）

【有料公園施設】

施設名	面積等	施設内容
白梅総合体育館	5,435.82 m ² RC 造 2 階建	メインアリーナ 1,728 m ² サブアリーナ 390 m ² トレーニングルーム 会議室・控室・器具庫・更衣室・シャワー室・事務室・身障者用エレベーター・観覧席 2 階 692 席
野球場	11,972 m ²	内野黒土舗装・内野スタンド・夜間照明（4 基）
多目的グラウンド	8,450 m ²	夜間照明（6 基）（ソフトボール 2 面）
野外ステージ	195.9 m ² 木造平屋建	ステージ面積 120 m ²
宿泊研修施設	816 m ² S 造 2 階建	研修室 1 室・宿泊室（洋室ツイン 9 室・和室 24 畳 2 室・12 畳 2 室・食堂ほか）定員 54 名
屋内ゲートボールセンター	S 造平屋建	2 面（6.2 * 2.8 m H = 7 m）
屋外ゲートボール場	1,500 m ²	3 面
サッカー場	-	メイングラウンド（芝）9,769.5 m ² サブグラウンド 2,100 m ²
テニスコート	-	砂入り人工芝 4 面（80m * 43m）片側ベンチ 夜間照明

【その他公園及び施設】

施設名	面積等	施設内容
その他公園及び施設	-	わんぱく広場、花木園、中央広場、自然広場、駐車場

4-3 その他公益目的事業促進のための取り組み

公益目的事業の促進のため、次の事項に留意し、積極的に取り組みました。

(1)スポーツ情報発信事業

施設の適切な管理及び円滑な利用促進を行うとともに、施設の魅力や事業内容を積極的に P R しました。

媒 体	内 容
ホームページ	公園案内
X（旧 Twitter）	スポーツ施設利用案内

Instagram	スポーツ情報
Facebook	イベント情報
LINE	アクセス情報
真庭いきいきテレビ	草木・野鳥等
告知端末	の情報など
紙面	



『効果的な広報活動』

- 不特定多数へ向けた広報活動から、コアな利用者へ向けたものまで情報媒体を複層的に積極活用
- 費用対効果の高いツール選択と運用をはかることにより、実効性を向上
- パンフレット・チラシ类等PRツールを作成・設置
- 施設外で利用促進活動を実行
- 当施設で活動する団体・個人に施設利用等の紹介を依頼

(2) 美化活動事業

様々な美化活動を行い、施設の魅力向上につながる管理運営を行いました。

内 容	実施時期
●イルミネーション	冬季
●季節に応じた飾りつけ	七夕(7月中)、クリスマス、正月
●利用者、地域住民と連携した美化活動	通年



収益事業

公益目的事業を推進・寄与する目的で、収益事業を行い収益の一部を公益目的事業に繰り入れています。

(収1) 飲食物品の販売に関する事業

合宿、大会時等の弁当注文やハイランドおちあいで食事提供を行うとともに、公園内に自動販売機を設置、スポーツ施設利用者のためにスポーツ用品・資材の貸出販売を行いました。

事業	場所	利用者	事業内容
飲食販売事業	ハイランドおちあい内	合宿・大会参加者	合宿・大会等の参加者に飲食の提供を行いました。販売数3,679食
自動販売機設置事業	落合総合公園内	一般	自販機業者が設置し、売上の15~20%を設置手数料として収入しました。 ・設置台数：6台

スポーツ用品・ 資材貸出販売事 業	落合総合 公園内	スポーツ施 設利用者	ラインパウダー ラインテープ等の販売 移動式放送設備 スポーツ用品の貸出を行いました。
-------------------------	-------------	---------------	--

(収2) 公益目的以外の施設貸与事業

公益目的の使用を優先しながら、各施設の有効利用を図るため、一般市民、企業、団体に公益目的以外の施設貸与を行いました。

【公益目的外利用総数】

公園名	施設名	件数	人数
落合総合公園	アリーナ	3	1,380
	サブアリーナ	9	825
	2階ホール	4	222
	会議室	49	507
	多目的グラウンド	3	423
	野球場	10	703
	テニスコート	8	20
	サッカー場(芝)	0	0
	サッカー場(サワ)	1	30
	屋内ゲートボール場	15	664
	屋外ゲートボール場	21	395
	ハイランドおちあい研修室	60	2,025
	ハイランドおちあい宿泊	4	45
	野外ステージ	1	24
	その他	2	0
合 計		190	7,263

(収3) 合宿誘致に関する事業

落合総合公園内のスポーツ施設の利用促進を図るため、市内外及び県外のスポーツ関係者（学校・企業・団体等）を対象に、真庭観光局及び旅行代理店と連携協力して合宿誘致を行いました。

公園名	施設名	合宿誘致	
		許可件数	人数
落合総合公園	アリーナ	18	777
	サブアリーナ	3	118
	会議室	25	899
	多目的グラウンド	0	0
	野球場	0	0
	サッカー場（芝）	21	652
	サッカー場（サバ）	5	522
	テニスコート	0	0
	屋内ゲートボール場	1	50
	ハイランドおちあい研修	0	0
	ハイランドおちあい宿泊	31	544
合 計		104	3,562

(他1) その他事業

公益目的事業、収益事業のいずれにも該当しない事業のうち、小規模な事業や単年度的・臨時的な事業について、必要に応じて実施しました。

事業	場所	対象者	事業内容
その他事業	レストハウスしらうめ	無人キャッシュレス スマートストア多店舗展開事業	レストハウスしらうめ（指定管理施設外）を無人キャッシュレス スマートストア多店舗展開事業に貸出（賃貸事業）を行いました。

久世地区事業

真庭市の施策を踏まえ、令和7年度においても当該施設を本市のスポーツ振興の中核施設として位置付け、関係施設との連携を図りながら、安心・安全な公園機能の充実に努めました。

また、市民が生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境の整備を推進するとともに、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とした各種スポーツ事業を実施し、心身の健康の保持増進及び生活の質の向上に寄与しました。さらに、各種スポーツ団体、市民団体及び関係機関との連携を強化し、スポーツを通じた共生社会の実現及び地域の活性化に資する取組を推進するとともに、持続可能なスポーツ環境の充実に努めました。

加えて、部活動の地域展開に向けた実証事業及び地域スポーツ活動の推進に取り組み、指導者の確保・育成並びに運営体制の整備を進めることで、地域におけるスポーツ活動基盤の強化を図りました。なお、北町公園内の久世体育館の老朽化に伴う解体により事業実施環境に変化が生じる中、旧久世校地等を活用した代替措置を講じ、事業の継続性の確保と利用者サービスの維持向上に努めました。

公益目的事業

(公2) スポーツの振興に関する事業（久世地区）

「久世地区公園（北町・宮芝・真庭やまびこ公園）及び旧真庭高校久世校地」を活動の拠点施設として、市民誰もが個々のライフスタイルに応じて参加しやすい各種スポーツ事業を実施することで、スポーツ技術の向上はもとより、心身の健康保持・増進、介護予防や生活の質の向上に向け、スポーツ活動の一層の振興と普及を図りました。

1. 教室事業

市民を対象とし、ライフステージに合わせ、健康づくりやスポーツ技術向上など個人の様々な目標やニーズに応じたスポーツ教室を開催し、子どもから大人まで、初心者から上級者まで、幅広い年齢の人々にスポーツを楽しむ機会を提供しました。

(1)健康増進教室

事業名	開催日	場 所	対象者	参加者
まにわ大運動会	1月25日（日）	白梅総合体育館	在住・在勤者	30チーム 117名

(2) スポーツ教室

事業名	開催日	場 所	対象者	参加者
アドベンチャーパーク（前期）	5月13日～ 7月15日 全10回	旧久世校地体育館	小学4年～6年	延べ185名

アドベンチャーパーク（後期）	10月7日～ 12月9日 全10回	旧久世高校体育館	小学4年～6年	延べ165名
キッズパーク（前期）	5月15日～ 7月17日 全10回	旧久世校地体育館	小学1年～3年	延べ196名
キッズパーク（後期）	10月9日～ 12月11日 全10回	旧久世高校体育館	小学1年～3年	延べ191名
子どもの自転車 乗り方教室	5月25日（日）	やまびこ多目的 グラウンド	年中・年長・小1及び 保護者	13組 （26名）
ジュニア・指導者 向け研修会 （ACP・モルック）	7月24日（木）	勝山文化センター	SUMMERSCHOOL 参加者	30名 （派遣2名）
ジュニア・指導者 向け研修会 （ACP）	10月29日 （水）	白梅総合体育館	木山こども園	親子99名 （派遣1名）
ジュニア・指導者 向け研修会 （リズ&ジャンプ）	3月11日（水）	白梅総合体育館	学校・保育園・こども 園関係者、地域ス ポーツ指導者他	45名
ユニバーサル スポーツ普及教室 （ホッパ・スカットホー ル）	9月18日（木）	久世公民館	市シニアクラブ 連合会女性部	26名 （派遣2名）
ユニバーサル スポーツ普及教室 （ターゲットホッパ・デ ィスゲッター）	10月14日 （火）	久世公民館	すまいるシニア大楽	29名 （派遣2名）
ユニバーサル スポーツ普及教室 （グラントゴルフ）	11月16日 （日）	久世中学校グラウ ンド	DAI 自主組織	21名 （派遣1名）



キッズパーク



ジュニア向け派遣指導

2. 大会（イベント）事業

様々な世代を対象に、スポーツの楽しさや喜びを体感する機会や日頃の成果発表の場、また、スポーツへの関心を高めるきっかけづくりや世代間交流・障がい者交流をはじめ、指導者・ボランティア育成などスポーツを通じた地域のコミュニティづくりを促進しました。

事業名	開催日	場 所	対象者	参加者
トレジャー ウォーキング まにわ探検隊	6月8日（日）	勝山地区	市民	15チーム （59名）
2025 ボッチャ 交流大会inまにわ	11月3日 （月・祝）	白梅総合体育館	市民（小学生以上）	23チーム 72名
ジュニアスポーツ 体験会	3月20日 （金・祝）	落合総合公園内	市内小学5・6年生 中学生	100名



まにわ大運動会



ジュニアスポーツ体験会

3. 連携協力事業

「総合型地域スポーツクラブ・スポレくせ」を始め、学校・団体・機関・施設等と財団の連携協力は、地域スポーツの振興や発展を促進するとともに、これらの組織間で連携協力を行うことによって、地域のスポーツ活動やスポーツ文化の向上、健康増進、介護予防、地域コミュニティの活性化を図りました。

事業名	開催日	場 所	対象者	参加者
バドミントン	4月～3月	久世中学校	年長～中学生家族	延べ 1,481名
			中学生以上	延べ 286名
ソフトテニス	4月～3月	落合総合公園	小中学生	延べ 255名
			高校生以上	延べ 387名
ソフトバレーボール	4月～3月	旧久世校地体育館	大人 初心者	延べ 1,085名
		久世中学校		延べ 1,755名
グラウンドゴルフ	4月～3月	宮芝グラウンド	大人 初心者	延べ 2,248名
卓球	4月～3月	旧久世校地体育館	大人	延べ 374名
		勝山スポーツセンター		延べ 911名
ラージボール卓球	4月～3月	旧久世校地体育館	大人	延べ 262名
		久世中学校		延べ 167名
ピックルボール	4月～3月	旧久世校地体育館	大人	延べ 926名
ウォーキング	4月～3月	久世地内他	大人	延べ 262名
ルディックウォーキング	4月～3月	久世地内他	大人	延べ 118名
楽楽エンジョイ	4月～3月	久世産業学習館	大人	延べ 95名
(地域活動支援事業)				
定期的に運動、スポーツをしていない市民が参加しやすい交流会の開催を実施しました。				
2025 ピックルボールをやってみよう！	4月29日 (火・祝)	白梅総合体育館	ピックルボール 愛好家	26名
グラウンドゴルフ大会	5月23日(金)	やまびこ スタジアム	会員	25名
ソフトテニス大会	6月15日(日)	落合総合公園 テニス場	ソフトテニス 愛好家	32ペア (64名)

モルック交流会	10月13日 (月・祝)	旧久世校地体育館	会員・家族 SC岡山協議会	15チーム (40名)
ウォーキング遠征	11月22日(土)	兵庫県	会員・家族	29名
ソフトバレーde 交流会	1月23日(金) 2月6日(金)	旧久世校地体育館	昭和生まれ会員	13チーム (延べ140名)
ソフトテニス講習会	2月11日 (水・祝)	白梅総合体育館	市内外 小・中学生、一般	97名
バドミントン講習会	3月22日(日)	白梅総合体育館	市内小中学生 保護者	54名
介護予防事業(ささえあいデイサービス 健康ひろば)	毎週月曜日 (40回)	久世産業学習館	要支援1.2ほか	延べ688名
スポーツ協会が行う大会等の要項作成、 会場手配等の支援		市内スポーツ協会	地域におけるスポーツ活動の推進及び地域コミュニティの活性化を図るため、関係団体との連携を念頭に、スポーツ振興に関する各種支援体制の整備及び対応を行いました。本年度においては、各種団体からの要請に応じて、支援・協力・相談対応等できる体制を維持し、地域スポーツ活動を支える基盤づくりに努めました。	
学校のPTA行事や自治会のスポーツ行事にルール説明・審判、進行役等でサポート		学校・自治会		
スポーツ実施に向けた相談対応		市民・各団体		
地域団体が主体となって開催する祭り、イベント等への連携協力		各種実行委員会等		

4. 施設管理運営事業

スポーツ施設の管理運営は、施設を安全かつ効果的に運営するために非常に重要な活動であるとともに、利用者が快適で安全な環境でスポーツを楽しむことができるよう、施設の維持管理及び施設貸与を通じて、質の高いスポーツ環境及び快適な施設空間の提供に努めました。

4-1 維持管理の具体的な取り組み

久世地区公園(北町・宮芝・真庭やまびこ)のスポーツ施設について、真庭市との指定管理者に関する協定に基づき、地域の健康及びスポーツ活動の拠点施設として、次の事項の留意し、適正な管理運営を実施しました。

(1)安全確保

施設の安全性を確保し、利用者及び職員の安全を確保するため、施設内外の設備や構造物について、日常点検及び定期点検を体系的に実施するとともに、不具合箇所の早期発見及び迅速な修繕対応に努めました。

また、職員による施設巡回を定期的に行い、危険箇所の有無や利用状況の確認を行うとともに、必

要に応じて注意喚起表示の設置や利用制限等の措置を講じることで、事故の未然防止に取り組みました。さらに、日常清掃及び定期清掃の実施により、施設内外の衛生環境の維持及び転倒・滑落等のリスク低減を図るとともに、利用者が安全かつ快適に利用できる環境の確保に努めました。加えて、設備機器の適正な管理及び使用方法の周知を徹底し、利用者及び職員双方の安全意識の向上を図ることで、安全管理体制の強化に取り組みました。

(2)法令遵守

施設の管理運営に当たっては、関係法令及び各種基準に基づく法定点検を適切に実施するとともに、職員による日常点検及び定期点検を行い、適正な維持管理に努めました。

主な取組は以下のとおりです。

- ・ 消防設備の自主点検（やまびこスタジアム野球場、久世産業学習館：4月、7月、10月、1月）
- ・ 消火器取扱訓練、通報訓練及び避難訓練の実施（5月22日、11月27日／真庭消防設備指導）
- ・ 施設点検（北町公園、宮芝公園、真庭やまびこ公園：毎月実施）
- ・ 遊具点検（北町公園、宮芝公園：毎月実施）
- ・ 真庭市個人情報保護条例及び財団個人情報保護規定の遵守



(3)長寿命化

施設の機能維持及び長寿命化を図るため、基本協定書に基づき真庭市と役割分担を行いながら、計画的なメンテナンス及び修繕を実施し、将来的な維持管理のコストの抑制に努めました。

主な修繕内容は以下のとおりです。

- ・ やまびこスタジアム多目的トイレ修繕
- ・ 久世産業学習館ベッド修繕
- ・ スポーツトラクター修繕
- ・ スポーツ会館非常灯照明器具修繕
- ・ やまびこスタジアム野球場ベンチフェンス修繕 ほか

(4)緊急時の対応体制

緊急時における迅速かつ適切な対応を図るため、職員に対する応急手当及び救命講習等の研修を実施するとともに、各種設備の点検及び警備体制の確保に努めました。

主な取組は以下のとおりです。

- ・ 普通救命救急講習の受講（5月13日／真庭消防署）
- ・ AEDの定期点検（バッテリー確認等）
- ・ 夜間等職員不在時における警備システムによる監視体制の維持



4-2 施設貸与の具体的な取り組み

久世地区公園（北町・宮芝・真庭やまびこ）のスポーツ施設の貸与については、真庭市におけるスポーツの促進及び普及、健康増進並びに地域連携の推進を目的として、関係法令及び条例に基づき、適正かつ公平な運用に努めました。

(1)公益目的施設貸与

個人及び地域のスポーツクラブ、各種団体等が実施するスポーツ活動については、公益目的施設貸与として位置付け、スポーツ活動以外の利用に優先して受付を行うとともに、利用調整を適切に実施しました。また、利用者のニーズに応じた柔軟な施設運用に努めることで、幅広い世代の市民に対するスポーツ活動の場の提供及び利用促進を図りました。

(2)公益目的外施設貸与

施設の有効活用を図る観点から、スポーツ活動以外の用途についても貸与を行いました。実施に当たっては、公益目的利用を優先する運用を基本としつつ、企業研修、地域行事、各種会議等の利用に対しても、公益目的外施設貸与の趣旨について丁寧な説明を行い、適切に対応しました。

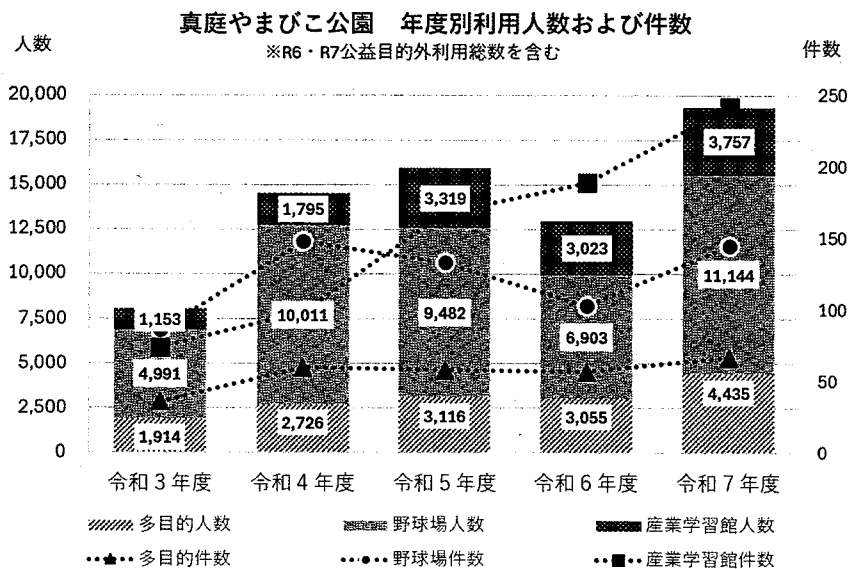
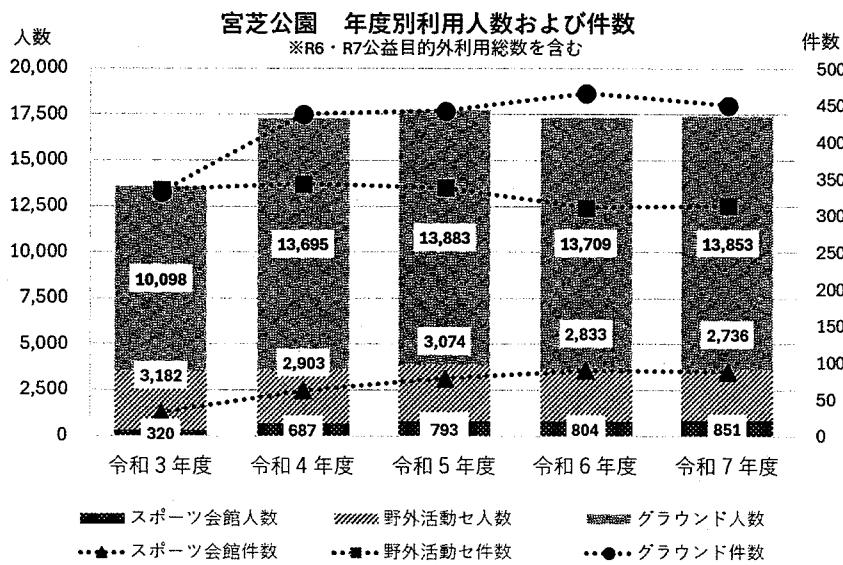
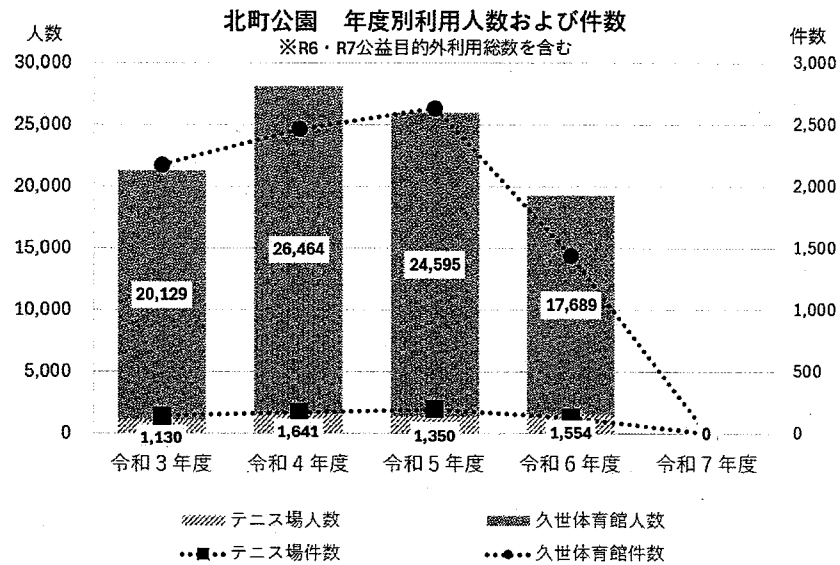
(3)利用料金の収納

利用料金については、真庭市条例に基づき、適正かつ公平に徴収を行いました。また、利用者の利便性向上を図るため、現金による支払いに加え、電子決済（まにこいん）を導入し、多様な支払方法に対応することで、円滑な施設利用環境の整備に努めました。

公益目的施設貸与及び公益目的外施設貸与のいずれにおいても、適正な運用のもと、多くの市民及び団体に施設をご利用いただき、スポーツ活動の促進及び地域交流の推進に寄与しました。
以上の取り組みの結果、令和7年度における施設貸与の実施は次のとおりとなりました。

【公益目的利用者数】

公園名	施設名	施設利用		スポーツ振興（財団）		合計	
		許可件数	人数	許可件数	人数	許可件数	人数
宮芝公園	宮芝グラウンド	275件	10,733人	163件	2,354人	438件	13,087人
	スポーツ会館	36件	438人	0件	0人	36件	438人
	久世野外活動センター	294件	2,268人	0件	0人	294件	2,268人
真庭 やまびこ 公園	スタジアム 野球場	124件	10,611人	1件	25人	125件	10,636人
	多目的グラウンド	55件	3,369人	1件	26人	56件	3,395人
	久世産業学習館	100件	2,074人	61件	730人	161件	2,804人
他施設実施		—	—	378件	5,639人	378件	5,639人
合 計		884件	29,493人	604件	8,774人	1,488件	38,267人



「指定管理施設の概要」

本年度において管理運営を行った指定管理施設の概要は、次のとおりです。

各施設については、利用者の安全確保及び利便性向上に配慮しながら、適正な維持管理及び運営に努めました。

□久世地区（北町・宮芝・真庭やまびこ公園）

【有料公園施設】

施設名	面積等	施設内容
久世テニス場	－	クレーコート2面
宮芝グラウンド	12,641 m ²	夜間照明（6基）
宮芝スポーツ会館	216 m ² （S造2階建）	研修室、事務室ほか
真庭やまびこスタジアム多目的グラウンド	9,386 m ²	真砂土
真庭やまびこスタジアム野球場	19,142 m ²	内外野人工芝、放送室、倉庫、更衣室、事務室、観覧席（2階1,374席）
久世産業学習館	596.34 m ² （木造平屋建）	学習室・研修室・宿泊室（和室8畳2室・洋室2室・調理場・食堂ほか）
久世野外活動センター	9,642 m ²	芝生広場

【その他公園及び施設】

施設名	面積等	施設内容
その他公園及び施設	－	北町公園内施設 宮芝公園内施設 真庭やまびこ公園内施設

4-3 その他公益目的事業促進のための取り組み

公益目的事業の促進を図るため、情報発信機能の強化及び施設環境の向上に資する取組を実施し、利用者サービスの向上及び施設利用の促進に努めました。

(1) スポーツ情報発信事業

施設の適切な管理運営及び円滑な利用促進を図るため、各種媒体を活用し、施設案内や事業情報等の積極的な情報発信を行いました。特に、ホームページやSNS等のデジタル媒体と、紙媒体や地域メディアを組み合わせた多角的な情報発信に取り組み、幅広い層への周知及び利用促進に努めました。

□主な情報発信媒体及び内容

媒 体	内 容
ホームページ	公園案内、スポーツ施設利用情報、スポーツ情報、イベント情報、アクセス情報、草木等の情報、写真を活用した施設の魅力発信、イベント周知、利用促進に関する広報 など
X（旧 Twitter）	
Instagram	
Facebook	
LINE	
真庭いきいきテレビ	
告知端末	
紙面	

□効果的な広報活動の取組

- ・不特定多数への広報から既存利用者への情報提供まで、目的に応じた媒体の使い分けを行い、効果的な情報発信に努めました。
- ・費用対効果を踏まえた媒体選定及び運用を行い、広報の実効性向上を図りました。
- ・チラシ等の広報ツールを作成・配布し、施設利用の促進に努めました。
- ・施設外での広報活動を実施するとともに、利用団体等との連携により情報発信の拡充を図りました。

（２）美化活動事業

施設の魅力向上及び快適な利用環境の確保を目的として、地域住民及び関係団体と連携し、各種美化活動を実施しました。また、季節に応じた装飾や景観づくりを行うことで、利用者に親しみやすい施設環境の創出に努めました。

□主な実施内容

内容	実施時期
イルミネーション	冬季
季節装飾	七夕（6月23日～7月7日）、クリスマス、正月期
利用者・地域住民と連携した美化活動	通年



七夕飾り



花植え（美化活動）

収益事業

公益目的事業の推進及び充実を図るため、収益事業を実施し、その収益の一部を公益目的事業へ繰り入れることで、安定的な事業運営に努めました。

（収1）飲食物品の販売に関する事業

利用者の利便性向上を目的として、管理施設内に自動販売機を設置し、飲料の提供を行うとともに、施設利用者及び各種団体に対してスポーツ用品及び資材の販売ならびに貸出を実施し、サービスの向上を図りました。自動販売機については、民間事業者による設置とし、売上に応じた手数料収入を得ることで、施設運営の財源確保に努めました。

□実施内容

事業	地区名	区分	事業内容
飲食物品販売事業	久世地区	自動販売機設置	自販機業者による設置とし、売上の15～20%程度を設置手数料として収入 設置場所：旧久世校地2台 宮芝公園2台 真庭やまびこ公園2台 計6台
		スポーツ用品・資材貸出販売	ラインパウダー ラインテープ等の販売 スポーツ用品の貸出

（収2）公益目的以外の施設貸与事業

公益目的施設貸与を優先することを基本としつつ、施設の有効活用を図るため、一般市民、企業及び各種団体に対し、公益目的以外の施設貸与を実施しました。

実施に当たっては、公益目的利用との調整を適切に行いながら、各施設の特性を踏まえた運用に努めるとともに、利用者に対して公益目的外施設貸与の趣旨について説明を行い、適正に対応しました。

また、企業研修、各種会議、地域行事等、多様な用途での利用に供することにより、施設の稼働率向上及び地域交流の促進に寄与しました。

【公益目的外利用総数】

公園名	施設名	施設使用	
		許可件数	人数
宮芝公園	宮芝グラウンド	13件	766人
	スポーツ会館	52件	413人
	久世野外活動センター	20件	468人
真庭 やまびこ公園	スタジアム野球場	19件	508人
	多目的グラウンド	11件	1,040人
	久世産業学習館	70件	953人
合 計		185件	4,148人

(収4) 真庭市からの業務受託事業

真庭市から各種事業を受託し、それぞれの業務目的を踏まえ、関係機関と連携を図りながら適正かつ円滑に業務を実施しました。また、施設管理、地域スポーツの推進、人材育成、防災意識の向上など、多岐にわたる分野において市民サービスの向上及び地域課題の解決に寄与するとともに、公益目的事業の推進に資する取組を行いました。

1. 施設管理・運営業務

【久世地区小中学校施設の使用に関する業務】

久世地区小中学校の運動場、屋内運動所及び照明設備の使用に関する業務について、予約受付・調整、鍵の保管及び貸出返却の確認、納付書の発行等を適切に実施しました。

また、利用者からの問い合わせ対応や利用ルールの周知を行い、学校教育活動に支障をきたすことのないよう配慮しながら、市民が円滑に施設を利用できる環境の整備に努めました。

対象施設：6校（遷喬小学校、米来小学校、草加部小学校、檜邑小学校、余野小学校、久世中学校）

【旧久世高校体育館等管理業務】

旧久世高校体育館、武道場及び関連施設について、利用受付、施設の維持管理、利用調整等の業務を実施しました。また、スポーツ及び文化の振興、コミュニティ活動の推進及び教育活動の促進を図るとともに、各種活動の拠点として市民の心身の健全な発達に寄与するとともに、適切な運営に努めました。

場 所：旧久世高校体育館、武道場、管理棟（旧校舎の一部）、駐車場等

令和7年度4月～3月

施設名		区分	施設使用料					個人利用者					合計	
			市内者		市外者		料金 (円)	市内者		市外者		料金 (円)	人数	料金 (円)
			回数	人数	回数	人数		回数	人数	回数	人数			
旧 久 世 高 校	体 育 館	午前	391	5,525	4	277	461,280	3	3	0	0	450	5,805	461,730
		午後	392	2,447	1	9	257,380	0	0	0	0	0	2,456	257,380
		夜間	721	9,023	0	0	569,270	0	0	0	0	0	9,023	569,270
	武 道 場	午前	11	406	0	0	9,520	0	0	0	0	0	406	9,520
		午後	18	54	0	0	5,460	0	0	0	0	0	54	5,460
		夜間	369	5,028	0	0	120,120	0	0	0	0	0	5,028	120,120
合計			1,902	22,483	5	286	1,423,030	3	3	0	0	450	22,772	1,423,480

【旧保育園跡CLTトイレ等管理業務】

北町公園内トイレの代替施設として整備されたCLTトイレ及び駐車スペースについて、日常清掃、消耗品補充、施設開閉管理、環境整備等を実施しました。また、駐車スペースの簡易整備や敷地内の草刈り・落ち葉清掃等を行い、公園と一体的な利用環境の維持に努めるとともに、関係課との連絡調整を適宜行い、施設の適正な維持管理を図りました。

【旧保育園跡CLTトイレ等防犯カメラ設置監視業務】

CLTトイレ及び駐車スペースにおいて防犯カメラを設置し、遠隔監視体制を構築しました。運用にあたっては、通信環境の維持管理及び機器の定期点検を実施するとともに、異常の有無を適宜確認し、不審行為の未然防止及びトラブルの早期対応に努めました。なお、業務期間中に重大な事故・災害等は発生せず、安全な利用環境の確保を図ることができました。

2. 維持管理・環境整備業務

【ラジコン草刈機管理業務】

ラジコン草刈機神刈について、保管、貸出管理、予約状況の把握、使用後の点検及びメンテナンスを実施しました。これにより、公共施設管理の効率化及び作業負担の軽減を図るとともに、安全かつ円滑な機器運用に努めました。※貸出件数：16件（雨天時キャンセル除く）

【宮芝公園周辺除草業務】

宮芝公園周辺の法面において、雑草の繁茂による景観の悪化及び視認性の低下を防止するとともに、利用者の安全確保を図るため、除草作業を実施しました。作業に当たっては、法面の状況に応じた適切な機材及び作業方法を用い、安全対策を徹底したうえで効率的に作業を行いました。

【旧久世高校関連施設草刈業務】

旧久世高校体育館及び運動グラウンド等において、草刈り作業を実施し、施設利用に支障が生じないよう環境整備を行いました。広範囲にわたる敷地について、作業計画を立てて効率的に実施するとともに、安全面に配慮しながら作業を行い、景観の維持及び利用環境の向上に寄与しました。

3. 地域スポーツ・人材育成関連業務

【地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証業務】

部活動の地域展開に向け、地域クラブ活動の体制整備、運営方法の検討、指導者の確保及び育成等の取組を実施しました。また、安全管理体制の整備や費用負担の在り方、責任主体の明確化などについて検討を行い、課題の整理及び今後の方向性の検討を進めました。さらに、活動の実証を通じて、持続可能な地域スポーツ環境の構築に向けた基礎的なデータ及び知見の蓄積を図りました。

・実施した地域クラブ活動種目総数 8 種目

サッカー（落合・北房エリア）（蒜山・湯原・勝山・久世エリア）

ソフトテニス（落合・北房エリア）（蒜山・湯原・勝山・久世エリア）

卓球（北房エリア）（落合・久世・勝山・湯原エリア）（蒜山エリア）

ハンドボール（市内全域）

バドミントン（市内全域）

バレーボール（落合・北房エリア）（久世・勝山・湯原エリア）（蒜山エリア）

陸上競技（市内全域）

剣道（市内全域）

・活動登録人数

北房中 17 名・落合中 90 名・久世中 61 名・勝山中 32 名・湯原中 3 名・蒜山中 45 名・津山中 1 名

※剣道部（落合中・北房中・久世中・その他延べ 34 名）

・全体の指導者数 91 名

指導者の主な属性（スポーツ少年団・スポーツ協会・総合型地域スポーツクラブ・兼職兼業教員等）

・収支バランス

収入 補助金 85.5% 参加費 9.7% 保険料 4.8%

支出 地域クラブ活動費 77.7% 事務局運営費 21.3% その他 1%



ソフトテニス



バレーボール（合同練習）

【令和7年度真庭市スポーツ・文化人材バンク募集周知・受付等業務】

地域における指導者及びサポーターの確保を目的として、登録者の募集、受付及び情報管理を実施しました。登録者の拡充により、地域スポーツ及び文化活動の担い手確保に寄与するとともに、今後の地域クラブ活動推進に向けた基盤整備を図りました。

・登録件数

スポーツ 118名（内指導者 104名、サポーター14名）

文 化 13名（内指導者 13名、サポーター 0名）



4. イベント・普及啓発業務

【ユニバーサルスポーツ等体験イベント事業委託業務】

障がいの有無にかかわらず誰でも参加できるユニバーサルスポーツ等の体験イベントを開催し、パラスポーツを通じて障がい者への理解を深めていくとともに、誰でもできるパラスポーツをはじめとするユニバーサルスポーツの普及や、スポーツ及び運動離れした市民（健常者及び障がい者）へのきっかけづくりを行い、スポーツ及び運動の促進に努めました。

場 所：落合総合公園 白梅総合体育館

参加者数：約 500 名

開催内容：車いすハンドボール、ターゲットボッチャ、卓球バレー、インドアモルック、フライングディスク、スポンジタワー、ボルダリング、デフリンピック特設コーナー、健幸コーナー、防災コーナー、まにこいん、福祉事業所物販、福祉車両展示・試乗、AI 姿勢分析、フードコーナー他

関係各課：スポーツ・文化振興課、健康推進課、福祉課

協力団体：真庭スポーツ推進委員会、市内総合型地域スポーツクラブ、真庭歯科医師会、日本生命岡山支社、住友生命、看護協会真庭支部、金田病院がん相談支援センター、岡山トヨタ自動車株式会社、まにわ防災ネット



ユニバーサルフェスティバル



福祉車両展示

【真庭市地域防災力育成強化事業委託業務】

真庭市地域防災計画に基づき、「減災」の考え方を防災の基本理念として、住民一人ひとりが自ら行う防災活動や地域の防災力強化に取り組みました。また、出前講座や広報活動を通じて幅広い層への啓発を行うとともに、地域の実情に応じた防災活動の支援を行いました。

(1) 地域、自治会、自主防災組織、学校等地域防災力育成強化業務	31件(延べ1,655名)
(2) 防災関連イベントの開催	15件(延べ386名)
(3) 地域防災力育成強化に関する広報活動	31件
(4) 危機管理課の主催する研修会等に対する企画・運営	1件
その他意識調査等の実施	



防災士勉強会



防災啓発活動

本年度の受託業務については、真庭市との連携のもと、施設管理運営、地域スポーツの推進、人材育成、防災力向上及び地域環境整備等の各分野において、それぞれの事業目的に基づき適切に業務を実施しました。特に、部活動の地域展開に向けた実証事業やスポーツ・文化人材バンク事業を通じて、地域スポーツクラブ活動を支える体制整備及び人材確保に取り組むとともに、ユニバーサルスポーツ体験イベントや防災関連事業の実施により、多様な市民が参加できる地域づくり及び地域課題への対応を推進しました。また、施設管理業務においては、安全性及び利便性の確保に努めるとともに、老朽化施設や代替施設への対応を含め、地域のスポーツ・交流活動の拠点機能の維持に努めました。今後においても、関係機関及び地域団体との連携を一層強化し、地域ニーズを的確に把握しながら、公益性及び地域性を踏まえた質の高い事業運営と市民サービスの向上に努めてまいります。

勝山地区事業

令和7年度も真庭市及び関係機関や各種団体と協議調整しながら各種事業を進めました。また、スポーツ振興とスポーツビジネスの融合を目指し、フィットネス・スクール会員を中心としたサービスの向上と安定した収益性を追求するとともに、スポーツを通じた健康増進、運動意欲の向上を図りました。

公益目的事業

(公3) スポーツによる健康の保持及び増進に関する事業（勝山地区）

「健康増進施設・水夢」を拠点施設として、スポーツを通じ、市民の健康を促進し、生活の質を向上させるため、市民のニーズに応じた参加しやすいプログラムを提供することにより、「市民皆健康」を目指し、スポーツによる市民と地域コミュニティの健康の保持・増進を図りました。

1. 健康増進事業

市民にスポーツや運動を通じて、健康促進を目指すための健康プログラムや講座を提供するとともに市民の身体的、精神的、社会的健康を総合的にサポートし、健康的な生活を促進しました。

(1) フィットネス

事業名	開催日	場所	対象者	参加者
リラックスヨーガ	毎週月曜日	スタジオ	16歳以上	述べ158名
エナジーフロー ヨーガ	毎週月曜日	スタジオ	16歳以上	述べ270名
チャレンジエアロ	毎週月曜日	スタジオ	16歳以上	述べ318名
ちょいトレ	毎週月曜日	スタジオ	16歳以上	述べ304名
リズム天国	毎週月曜日	スタジオ	16歳以上	述べ311名
イージーヨガ	毎週水曜日	スタジオ	16歳以上	述べ201名
ストレッチヨガ	毎週水曜日	スタジオ	16歳以上	述べ511名
ジムトレ&ワンツース 運動	毎週水曜日	スタジオ	16歳以上	述べ569名
ZUMBA	毎週水曜日	スタジオ	16歳以上	述べ555名
健康体操	毎週木曜日	スタジオ	16歳以上	述べ515名
バランスエクササイズ	毎週木曜日	スタジオ	16歳以上	述べ973名
スローブレイクレッ スン	毎週木曜日	スタジオ	16歳以上	述べ146名
ピラティス	毎週金曜日	スタジオ	16歳以上	述べ792名
アロマヨガ	毎週金曜日	スタジオ	16歳以上	述べ317名
すこやかストレッチ	毎週土曜日	スタジオ	16歳以上	述べ717名
フットボクシング	毎週金曜日	スタジオ	16歳以上	述べ376名

リズムステップ	毎週木曜日	スタジオ	16 歳以上	述べ 95 名
体力測定	毎週月曜日	ジム	16 歳以上	述べ 21 名



バランスエクササイズ



ピラティス

(1)スイミング

事業名	開催日	場所	対象者	参加者
初心者水夢	毎週月曜日	プール	16 歳以上	延べ 225 名
水中ウォーキング	毎週水曜日	プール	16 歳以上	述べ 250 名
元気はつらつ ウォーキング	毎週木曜日	プール	16 歳以上	述べ 555 名
中級 4 泳法	毎週木曜日	プール	16 歳以上	述べ 335 名
アクアフィット	毎週金曜日	プール	16 歳以上	述べ 648 名
初心者ウォーキング	毎週金曜日	プール	16 歳以上	述べ 236 名
成人コース	毎週月曜日	プール	16 歳以上	述べ 2 名
マスターズ水泳大会	年 2 回	プール	16 歳以上	述べ 17 名



元気はつらつウォーキング



アクアフィット

2. スクール事業

子どもたちが水を安全に楽しむ方法を学び、健全な成長と発達を支援する重要な役割を果たすとともに、水泳の基本的なスキルと水の安全性に関する知識を身につけることを目的として実施しました。

事業名	開催日	場所	対象者	参加者
(1)スイミングスクール	週1回	プール	幼児	述べ1,573名
	週1回	プール	小学校	述べ5,480名
(2)育成コース	週3回	プール	幼児以上	述べ1,632名
(3)選手コース	週6回	プール	小学生以上	述べ2,939名
活動支援・学校指導	夏季・冬季	プール	選手・育成コース	述べ40名
	夏季	プール	小学校生徒	述べ303名



幼児コース



選手コース

3. 施設管理運営事業

「健康増進施設・水夢」のスポーツ施設について、スポーツ施設の管理運営は、施設を安全かつ効果的に運営するために非常に重要な活動であるとともに、利用者が快適で安全な環境でスポーツを楽しむことができるよう、施設の管理運営を通じて、質の高いスポーツ体験と快適な施設空間を提供しました。

3-1 維持管理の具体的な取り組み

真庭市との指定管理者に関する協定に基づき、地域の健康・スポーツ活動の拠点として、次の事項の留意し、施設の管理運営を行いました。

(1)安全確保

施設の安全性を確保し、利用者やスタッフの健康と安全を保障するため、施設内外の設備や構造物の点検・修繕を行いました。

(2)法令遵守

施設の法的規制や基準に適合するように保守・管理（法定点検）を行うとともに、当財団職員による日常点検・定期点検を行いました。

(3)長寿命化

定期的なメンテナンスや修繕によって、施設の設備や構造物の寿命を延ばし、将来的なコスト削減を目指しながら管理運営を実施しました。

(4)緊急時の応急措置

スタッフ全員が基本的な応急措置のトレーニングを受けるとともに、救命講習などの研修を行い、緊急時に適切な行動が取れるようにしました。利用者の安全対策は、施設管理運営の中で最優先課題であり、特にプールでの事故防止において、監視体制を強化するなど最善を尽くしました。



3-2 施設貸与の具体的な取り組み

「健康増進施設水夢」の施設を貸与することにより、真庭市におけるスポーツの促進・普及、健康増進及び地域連携を支援することを目的に、次の事項に留意し、施設貸与を行いました。

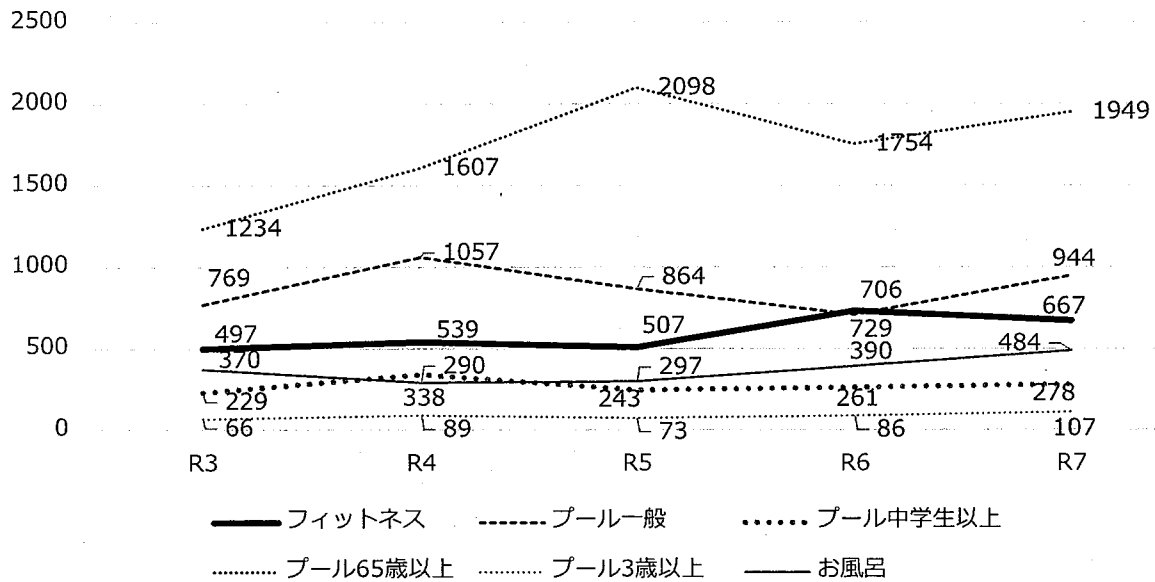
(1)公益目的施設貸与

個人や地域のスポーツクラブ及び団体などが行うスポーツ活動のための使用を公益目的施設貸与とし、スポーツ活動以外の使用より優先して受け付けるなどの優遇措置を講じました。

【公益目的利用総数】

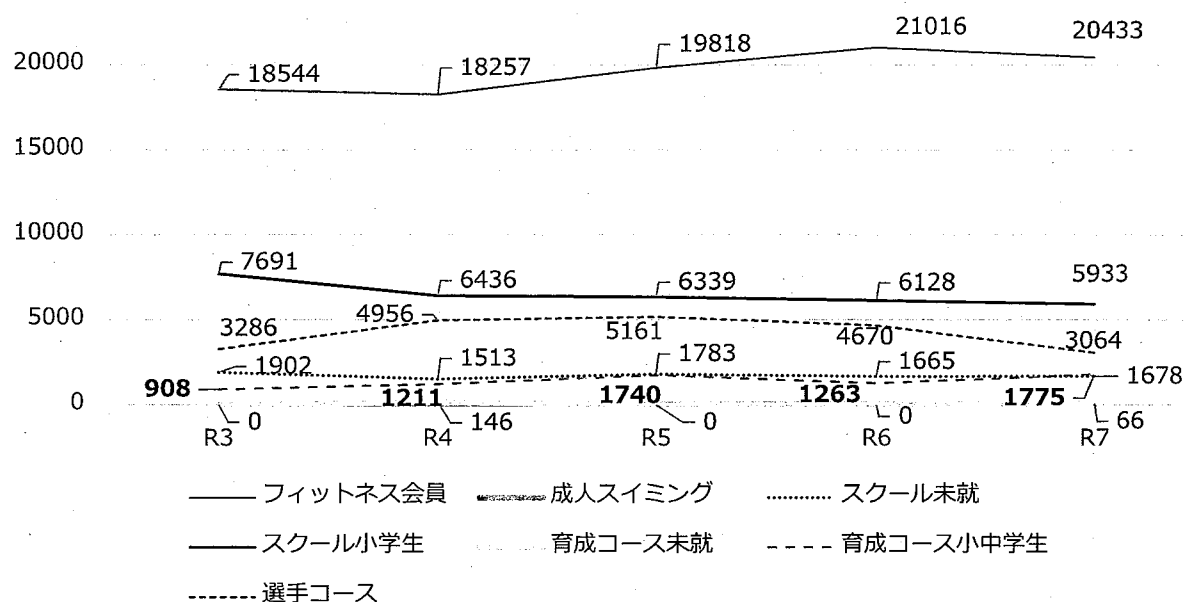
事業名			施設使用	
			許可件数	人数
1回 利用 (減免 含む)	フィットネス一般（高校生以上）		667件	667人
	プール一般（高校生以上）		944件	944人
	プール（中学生以下）		278件	278人
	プール（65歳以上）		1,949件	1,949人
	プール（3歳以上）	107件	107人	
	お風呂（3歳以上）	484件	484人	
合 計			4,429件	4,429人

水夢年度別 一回利用者数



事業名		施設使用	
		許可件数	人数
会員 利用	フィットネス会員（月会費）	535件	20,433人
	フィットネス会員（半年会費）	30件	
	フィットネス会員（年会費）	14件	
	成人スイミング	1件	
	スクール（週1未就学児）	438件	1,678人
	スクール（週2未就学児）	22件	
	スクール（週1小学生）	1,510件	5,933人
	スクール（週2小学生）	99件	
	育成コース（未就学児）	5件	66人
	育成コース（小・中学生）	143件	1,775人
	選手コース	137件	3,064人
合 計		2,934件	32,953人

水夢年度別 会員利用者数



(2)公益目的外施設貸与

スポーツ施設の効率的な運用を図るため、公益目的使用を優先しつつ、必要に応じて公益目的外施設貸与にも対応できる体制を整えました。なお、令和 7 年度においては、公益目的外施設貸与に該当する使用実績はありませんでした。

(3)利用料金の収納

利用料金は真庭市条例で定められた金額の範囲内で公平・公正に徴収しました。支払いは利用者が便利に支払えるよう、電子決済（まにこいん）を導入しました。

『指定管理施設の概要』

【健康増進施設水夢】

施設名	面積等	施設内容
勝山健康増進施設水夢（温水プール）	1,834.02 m ² RC 造 2 階建 （一部木造）	1F 事務室・ホール・25mプール（5コース）・子供プール・障がい者用シャワー・更衣室・採暖室・トレーニングルーム・エアロビクススタジオ・浴室（男・女別）休憩室・機械室
		2F 機械室

3-3 その他公益目的事業促進のための取り組み

『広報、PR活動』

(1) 効果的な広報活動

施設・運動（スポーツ）に興味を持っていただけるよう、市民が気軽に立ち寄れる施設へのポスター掲示や、地域イベント等を活用した周知・PRを行いなど、継続的な広報活動に努めました。また、「教室・イベント等の活動に参加したい」「運動・スポーツをしたい」という意識の醸成につながるよう、施設利用者への声かけや情報発信を行い、利用促進と安定的な施設運営に努めました。

(2) 具体的な利用者意見収集の取組み

・プラス1コミュニケーションを通じた利用者ニーズの把握

施設職員が利用者へあいさつを行う際に、「最近いかがですか？」など、一言添えたコミュニケーションを意識的に行うことで、利用者との信頼関係の構築に努めました。また、日常的な会話を通じて利用者の意見や要望を把握し、施設運営やサービス向上につなげるよう取り組みました。

・意見箱の設置

利用者の目にとまりやすい場所に設置し、常時利用者の声を収集しました。

・利用者等のアンケートの実施

来館者へのアンケート

●利用者の見やすい場所に意見箱を設置（定点調査）

日常の管理運営状況に対するモニタリングを行いました。

●事業開催時

実施した事業等の満足度を調査しました。

●インスタ等SNSを活用した幅広い意見の収集をしました。



収益事業

公益目的事業を推進・寄与する目的で、収益事業を行い収益の一部を公益目的事業に繰り入れました。

(収1) 飲食物品の販売に関する事業

利用者の利便を図るため水夢施設内に自動販売機を設置し、飲料に提供を行うとともに、キャップ・ゴーグルの貸出や水着類やスクール向けの教材を販売し、サービスの向上を図りました。

事業	場所	利用者	事業内容
自動販売機	水夢施設内	一般	自販機業者が設置し、売上の15～20%を設置手数料として収入しています。 ・設置台数：2台
スポーツ用品・資材貸出販売	水夢施設内	水夢利用者	キャップ・水着等の水泳用品の貸出販売を行いました。

(収4) 真庭市からの業務受託事業

真庭市教育委員会と委託契約し市内小学校の児童を対象に水泳教室を実施しました。

事業	場所	利用者	事業内容
学校水泳教室	水夢施設内	市内小学生	水夢内プールを使用して市内小学校の水泳教室を実施しました。

【②】当該公益法人の運営体制の充実を図るための取組

法人管理

本財団の運営にあたっては、関係法令及び定款に基づき、理事会及び評議員会を適切に開催し、重要事項について審議・決定をおこなうなど、適正な法人運営の確保に努めた。令和 7 年度においては、理事長交代に伴う新たな体制のもと、法人運営の安定化と意思決定機能の強化を図るとともに、定款変更や予算補正等の重要事項について適切に対応した。さらに、三役会議をはじめとした内部協議を定期的を実施し、迅速かつ円滑な意思決定及び情報共有に努めた。今後も、社会環境や地域ニーズの変化を踏まえ、効率的かつ持続可能な法人運営に努めていく。

1. 役員に関する事項

【評議員：8名】

役 職	氏 名	形 態	備 考
評議員	三ツ 宗宏	非常勤	
評議員	長尾 政則	非常勤	
評議員	津田 三保子	非常勤	
評議員	藤井 健平	非常勤	令和 7 年 6 月退任
評議員	本山 貢	非常勤	
評議員	建井 輝子	非常勤	
評議員	宮島 啓人	非常勤	令和 8 年 3 月退任
評議員	黒田 正博	非常勤	令和 7 年 6 月新任
評議員	新家 道正	非常勤	令和 7 年 6 月新任

【理 事：11名】

役 職	氏 名	形 態	備 考
代表理事	梅井 康司	非常勤	理事長（令和 7 年 6 月退任）
代表理事	藤井 健平	非常勤	理事長（令和 7 年 6 月新任）
常務理事	山上 敦史	常 勤	
理 事	吉永 忠洋	非常勤	令和 7 年 6 月退任
理 事	炭山 優子	非常勤	令和 7 年 6 月退任
理 事	高岡 敦史	非常勤	令和 8 年 3 月退任
理 事	三村 公一	非常勤	
理 事	松岡 祥和	非常勤	
理 事	内藤 貴嗣	非常勤	
理 事	伊藤 敦哉	非常勤	
理 事	石賀 幹浩	非常勤	令和 8 年 3 月退任
理 事	市橋 明子	非常勤	
理 事	志田 淳	非常勤	令和 7 年 6 月新任
理 事	小谷 佳枝	非常勤	令和 7 年 6 月新任

【監 事：2名】

役 職	氏 名	形 態	備 考
監 事	江森 信夫	非常勤	
監 事	山本 章憲	非常勤	令和7年6月退任
監 事	原田 洋司	非常勤	令和7年6月新任

2. 職員に関する事項

役職等	人 数	備 考
事務局長	1名	常務理事が兼務
職 員 部 長	1名	
課 長	1名	
正職員他	11名	
パート	3名	
嘱託職員	9名	

※令和7年度各地区においてバランスの取れた人員配置を行い、施設運営及び事業実施体制の維持に努めました。(落合地区(9名) 久世地区(9名) 勝山地区(8名))

3. 理事会・評議員会開催状況

■令和7年度第1回定時理事会

日 時：令和7年6月5日(火) 10:00~11:20

場 所：白梅総合体育館会議室

出席者：理事7名 監事1名 オブザーバー1名 事務局5名

欠席者：理事5名 監事1名

議 事：令和6年度事業報告

令和6年度決算報告

特定費用準備資金の承認

評議員の推薦

役員の推薦

評議員会の召集

(いずれも原案可決)

■令和7年度第1回定時評議員会

日 時：令和7年6月20日(金) 16:00~17:25

場 所：白梅総合体育館会議室

出席者：評議員5名 監事1名 オブザーバー5名 事務局7名

欠席者：評議員1名 監事1名

議 事：令和6年度事業報告

令和6年度決算報告

評議員の選任

役員の選任

(いずれも原案可決)

■令和7年度第1回臨時理事会

日 時：令和7年6月20日（金）17：40～18：00

場 所：白梅総合体育館会議室

出席者：理事8名 監事2名 オブザーバー1名 事務局2名

欠席者：理事3名

議 事：理事長及び常務理事の選定

(いずれも原案可決)

■令和7年度第2回臨時理事会

日 時：令和7年11月10日（月）13：30～15：10

場 所：白梅総合体育館会議室

出席者：理事10名 監事2名 オブザーバー1名 事務局5名

欠席者：理事1名

議 事：専決処分（補正第1号）の承認について

令和7年度上半期事業報告について

令和7年度上半期収支決算報告について

令和7年度補正予算（補正第2号）について

理事長及び常務理事の業務報告について

評議員会の招集について

(いずれも原案可決)

■令和7年度第1回臨時評議員会

日 時：令和7年12月11日（木）13：30～15：05

場 所：白梅総合体育館会議室

出席者：評議員6名 監事2名 オブザーバー1名 事務局5名

欠席者：評議員2名

議 事：令和7年度上半期事業報告について

令和7年度上半期収支決算報告について

令和7年度補正予算（補正第2号）について

(いずれも原案可決)

■令和7年度第2回定時理事会

日 時：令和8年3月4日（水）13：30～14：55

場 所：白梅総合体育館会議室

出席者：理事6名 監事1名 オブザーバー1名 事務局4名

欠席者：理事 5 名 監事 1 名

議 事：令和 7 年度収支予算（補正第 4 号）の承認について
定款変更の承認について
令和 8 年度事業計画の承認について
令和 8 年度収支予算の承認について
理事長及び常務理事の業務報告について
評議員会の招集について
(いずれも原案可決)

■令和 7 年度第 2 回定時評議員会

日 時：令和 8 年 3 月 19 日（木）13：30～15：15

場 所：白梅総合体育館会議室

出席者：評議員 5 名 監事 1 名 オブザーバー 1 名 事務局 4 名

欠席者：評議員 3 名 監事 1 名

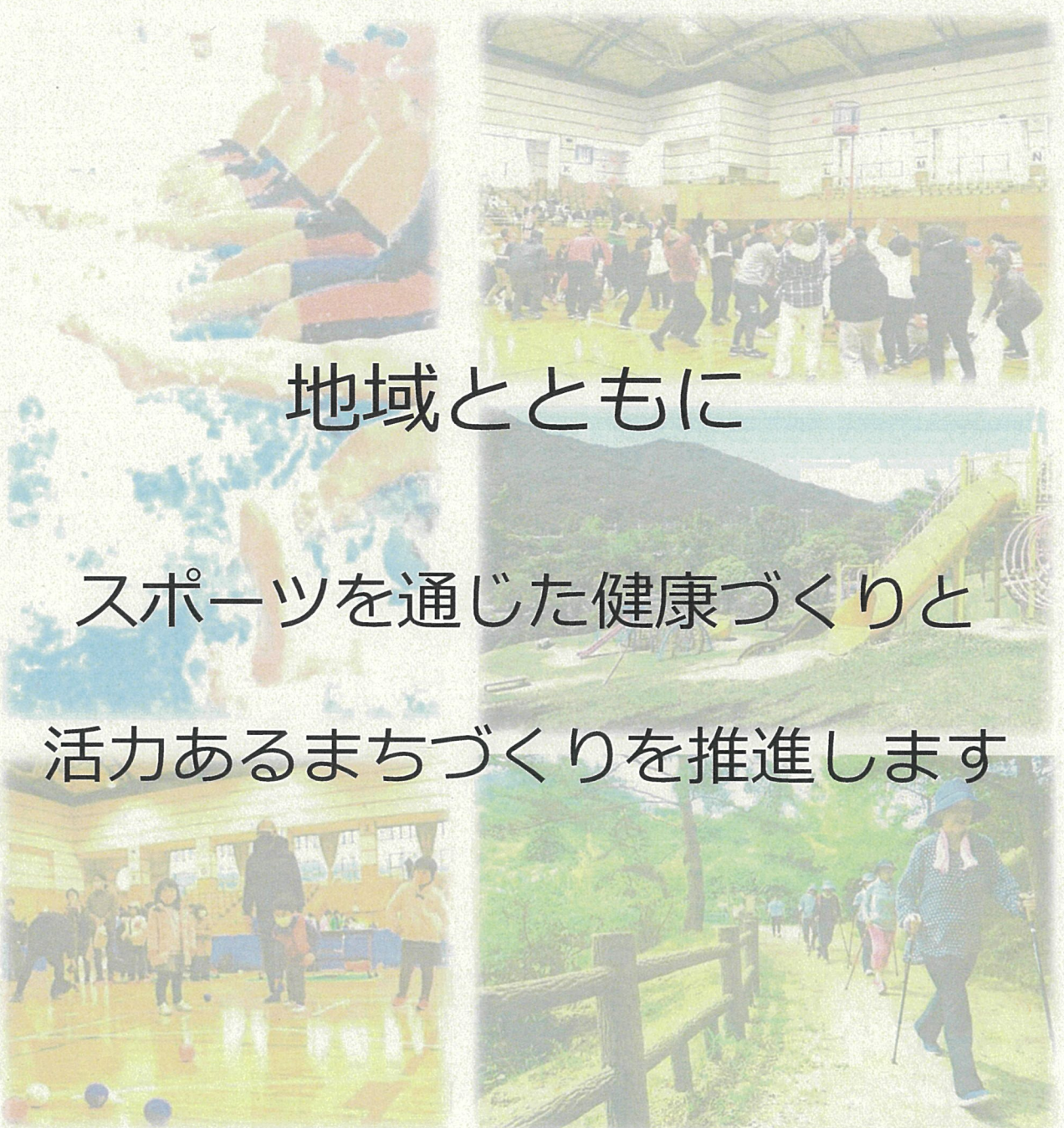
議 事：令和 7 年度収支予算（補正第 4 号）の承認について
定款変更の承認について
令和 8 年度事業計画の承認について
令和 8 年度収支予算の承認について
(いずれも原案可決)

■三役会議

理事長、常務理事等による三役会議を定期的を開催し、法人運営に係る重要事項の事前調整及び意思決定の迅速化を図った。

開催日	備 考
令和 7 年 4 月 25 日（水）	6 名出席
令和 7 年 5 月 19 日（月）	5 名出席
令和 7 年 6 月 25 日（水）	5 名出席
令和 7 年 7 月 28 日（月）	4 名出席
令和 7 年 8 月 28 日（木）	6 名出席
令和 7 年 9 月 29 日（月）	5 名出席
令和 7 年 10 月 30 日（木）	6 名出席
令和 7 年 11 月 27 日（木）	7 名出席
令和 7 年 12 月 24 日（水）	7 名出席
令和 8 年 1 月 27 日（火）	6 名出席
令和 8 年 2 月 25 日（水）	8 名出席
令和 8 年 3 月 19 日（木）	5 名出席

■その他 特記事項なし



地域とともに
スポーツを通じた健康づくりと
活力あるまちづくりを推進します

公益財団法人
真庭スポーツ振興財団

令和7年度

決 算 報 告 書

公益財団法人真庭スポーツ振興財団

令和 7 年度決算報告書

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日

—目次—

■ 貸借対照表		1
■ 正味財産増減計算書		2～4
■ 正味財産増減計算書内訳表		5～6
■ 収支計算書		7～8
■ 財務諸表に対する注記		9～10
■ 附属明細書		11
■ 財産目録		12
■ 監査報告書		13

貸借対照表
令和 8年 3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	26,983,181	29,765,456	△ 2,782,275
売掛金	729,480	1,085,020	△ 355,540
未収入金	7,942,528	4,692,243	3,250,285
商品	800,226	665,585	134,641
前払費用	654,826	606,070	48,756
立替金	81,967	0	81,967
流動資産合計	37,192,208	36,814,374	377,834
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金(基)	15,000,000	15,000,000	0
基本財産合計	15,000,000	15,000,000	0
(2) 特定資産			
特定費用準備資金(特)	20,000,000	10,500,000	9,500,000
特定資産合計	20,000,000	10,500,000	9,500,000
(3) その他固定資産			
建物	439,446	453,303	△ 13,857
車両運搬具	1	1	0
備品	268,197	551,988	△ 283,791
リース資産	8,808,140	4,859,580	3,948,560
電話加入権	4,500	4,500	0
長期前払費用	190,100		190,100
その他固定資産合計	9,710,384	5,869,372	3,841,012
固定資産合計	44,710,384	31,369,372	13,341,012
資産合計	81,902,592	68,183,746	13,718,846
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	8,993	11,550	△ 2,557
未払金	7,652,663	9,318,067	△ 1,665,404
未払給与	5,339,430	5,481,700	△ 142,270
未払消費税等	2,640,400	3,425,600	△ 785,200
前受金	385,500		385,500
預り金	13,660	0	13,660
未払法人税等	1,263,200	906,100	357,100
リース債務(流動)	1,772,760	949,080	823,680
流動負債合計	19,076,606	20,092,097	△ 1,015,491
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,452,862	2,452,862	0
受入保証金	120,000	120,000	0
リース債務(固定)	7,035,380	3,910,500	3,124,880
固定負債合計	9,608,242	6,483,362	3,124,880
負債合計	28,684,848	26,575,459	2,109,389
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計			
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)			
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	53,217,744	41,608,287	11,609,457
(うち基本財産への充当額)	(15,000,000)	(15,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(20,000,000)	(10,500,000)	(9,500,000)
正味財産合計	53,217,744	41,608,287	11,609,457
負債及び正味財産合計	81,902,592	68,183,746	13,718,846

正味財産増減計算書
令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	26,745	7,136	19,609
基本財産運用益計	26,745	7,136	19,609
事業収益			
施設利用料収益	18,501,020	18,358,570	142,450
付帯設備料収益	146,500	121,850	24,650
指定管理事業料収益	128,299,000	135,553,100	△ 7,254,100
連携協力事業収益	1,093,000	1,445,560	△ 352,560
教室事業収益	1,393,650	1,129,600	264,050
イベント事業収益	331,800	333,510	△ 1,710
スポーツ振興事業料収益	2,818,450	2,908,670	△ 90,220
受取会費収益	15,139,400	17,286,300	△ 2,146,900
物品貸出販売事業料収益	2,131,985	2,303,950	△ 171,965
発券事業料収益	1,292,600	1,215,500	77,100
自動販売機設置手数料収益	1,507,180	1,603,212	△ 96,032
食事販売手数料収益	3,583,788	4,543,640	△ 959,852
飲食販売事業者営業収益	1,440,000	1,440,000	0
飲食販売事業料収益	6,530,968	7,586,852	△ 1,055,884
貸貨事業料収益	240,000	93,000	147,000
合宿誘致事業料収益	3,437,270	3,675,360	△ 238,090
健康推進事業料収益	10,393,400	11,147,600	△ 754,200
受託事業料収益	22,423,643	11,498,355	10,925,288
事業収益計	211,354,236	211,749,107	△ 394,871
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金		80,000	△ 80,000
受取国庫助成金		1,200,000	△ 1,200,000
受取地方公共団体助成金	464,793		464,793
受取補助金等計	464,793	1,280,000	△ 815,207
受取負担金			
受取負担金	1,644,300	1,485,800	158,500
受取負担金計	1,644,300	1,485,800	158,500
雑収益			
雑収益	690,658	177,576	513,082
雑収益計	690,658	177,576	513,082
経常収益計	214,180,732	214,699,619	△ 518,887
(2) 経常費用			
事業費			
物品貸出販売事業費	666,159	148,440	517,719
給料手当	76,917,284	76,099,029	818,255
福利厚生費	13,467,608	13,155,691	311,917
旅費交通費	1,400,868	1,158,580	242,288
通信運搬費	1,036,900	1,290,230	△ 253,330
減価償却費	1,822,596	1,181,342	641,254
消耗什器備品費	482,680	162,000	320,680
消耗品費	6,131,605	5,133,576	998,029
修繕費	4,252,424	4,055,555	196,869
印刷製本費	312,112	160,841	151,271
光熱水料費	35,250,444	37,868,579	△ 2,618,135
貸借料	7,483,138	8,874,219	△ 1,391,081
保険料	1,767,301	1,596,738	170,563
諸謝金	8,581,980	6,014,720	2,567,260
租税公課	10,125,538	10,116,570	8,968
委託費	12,554,057	12,987,888	△ 433,831
支払手数料(事業)	842,910	815,240	27,670
研修費(事業)	442,960	225,401	217,559
広告宣伝費(事業)	156,628	593,702	△ 437,074
食糧費	464,702	373,069	91,633
仕入材料費	4,606,524	5,492,241	△ 885,717
雑費	29,040	32,120	△ 3,080
事業費計	188,795,458	187,535,771	1,259,687

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
管理費			
役員報酬	520,500	480,000	40,500
給料手当	4,985,745	5,215,977	△ 230,232
退職給付費用		516,600	△ 516,600
福利厚生費	876,815	914,573	△ 37,758
旅費交通費	97,676	80,014	17,662
通信運搬費	665,941	451,186	214,755
減価償却費	25,612	17,751	7,861
消耗品費	2,026,052	1,906,999	119,053
修繕費	28,913	27,889	1,024
光熱水料費	415,775	434,364	△ 18,589
賃借料	388,810	457,838	△ 69,028
保険料	34,211	35,732	△ 1,521
租税公課	615,622	651,730	△ 36,108
委託料(管理)	1,179,201	1,193,372	△ 14,171
支払手数料(管理)	31,874	34,383	△ 2,509
交際費(管理)	164,383	135,536	28,847
会議費(管理)	78,787	44,800	33,987
諸会費(管理)	290,075	338,775	△ 48,700
書籍資料費(管理)	68,940	93,085	△ 24,145
雑費	56,185	44,527	11,658
管理費計	12,551,117	13,075,131	△ 524,014
経常費用計	201,346,575	200,610,902	735,673
評価損益等調整前当期経常増減額	12,834,157	14,088,717	△ 1,254,560
当期経常増減額	12,834,157	14,088,717	△ 1,254,560
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益			
車両運搬具売却益		330,000	△ 330,000
固定資産売却益計		330,000	△ 330,000
経常外収益計		330,000	△ 330,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額		330,000	△ 330,000
税引前当期一般正味財産増減額	12,834,157	14,418,717	△ 1,584,560
法人税、住民税及び事業税	1,224,700	906,100	318,600
当期一般正味財産増減額	11,609,457	13,512,617	△ 1,903,160
一般正味財産期首残高	41,608,287	28,095,670	13,512,617
一般正味財産期末残高	53,217,744	41,608,287	11,609,457
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	53,217,744	41,608,287	11,609,457

正味財産増減計算書内訳表
令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計					収益事業等会計							法人会計	合計
	(公1)スポーツ 振興事業(落合 地区)	(公2)スポーツ 振興事業(久世 地区)	(公3)スポーツ 健康増進事業 (勝山地区)	公益目的事業共 通	小計	(収1)飲食物品 販売事業	(収2)施設貸与 事業(公益以外)	(収3)合宿誘致 事業	(収4)業務委託 事業	(他1)その他事 業	収益事業等共通	小計	法人会計	
I 一般正味財産増減の部														
1. 経常増減の部														
(1) 経常収益														
基本財産運用益														
基本財産受取利息	0				0								26,745	26,745
基本財産運用益計	0				0								26,745	26,745
事業収益														
施設利用料収益	10,600,120	3,226,440	3,100,450		16,927,010		1,574,010					1,574,010		18,501,020
付帯設備料収益	67,350	76,000			143,350		3,150					3,150		146,500
指定管理事業料収益	51,299,100	39,715,270	24,911,100		115,925,470								12,373,530	128,299,000
連携協力事業収益	840,050	252,950			1,093,000									1,093,000
教室事業収益	1,008,000	385,650			1,393,650									1,393,650
イベント事業収益	242,700	89,100			331,800									331,800
スポーツ振興事業料収益	2,090,750	727,700			2,818,450									2,818,450
受取会費収益			15,139,400		15,139,400									15,139,400
物品貸出販売事業料収益						2,131,985						2,131,985		2,131,985
発券事業料収益	1,111,800		180,800		1,292,600									1,292,600
自動販売機設置手数料収益						1,507,180						1,507,180		1,507,180
食事販売手数料収益						3,583,788						3,583,788		3,583,788
飲食販売事業者営業収益						1,440,000						1,440,000		1,440,000
飲食販売事業料収益						6,530,968						6,530,968		6,530,968
賃貸事業料収益										240,000		240,000		240,000
合宿誘致事業料収益								3,437,270				3,437,270		3,437,270
健康推進事業料収益			10,393,400		10,393,400									10,393,400
受託事業料収益									22,423,643			22,423,643		22,423,643
事業収益計	65,169,120	43,745,410	53,725,150		162,639,680	8,662,953	1,577,160	3,437,270	22,423,643	240,000		36,341,026	12,373,530	211,354,236
受取補助金等														
受取地方公共団体助成金		464,793			464,793									464,793
受取補助金等計		464,793			464,793									464,793
受取負担金														
受取負担金			1,110,700		1,110,700				533,600			533,600		1,644,300
受取負担金計			1,110,700		1,110,700				533,600			533,600		1,644,300
雑収益														
雑収益	0	0	0		0		100,000					100,000	590,658	690,658
雑収益計	0	0	0		0		100,000					100,000	590,658	690,658
経常収益計	65,169,120	44,210,203	54,835,850		164,215,173	8,662,953	1,677,160	3,437,270	22,957,243	240,000		36,974,626	12,990,933	214,180,732
(2) 経常費用														
事業費														
物品貸出販売事業費						666,159						666,159		666,159
給料手当	23,038,392	21,779,028	22,281,219		67,098,639	752,350	802,000	1,392,400	6,746,895	125,000		9,818,645		76,917,284
福利厚生費	4,030,761	3,991,642	3,769,742		11,792,145	134,093	141,028	243,184	1,135,158	22,000		1,675,463		13,467,608
旅費交通費	222,723	76,263	1,101,882		1,400,868									1,400,868
通信運搬費	38,251	488,933	268,686		795,870	170	180	2,180	238,500			241,030		1,036,900
減価償却費	1,068,968		709,188		1,778,156				44,440			44,440		1,822,596
消耗什器備品費		146,080			146,080				336,600			336,600		482,680
消耗品費	2,186,631	574,877	1,104,295		3,865,803		122,043	33,533	2,102,306	7,920		2,265,802		6,131,605
修繕費	2,350,964	1,476,237	398,482		4,225,683				26,741			26,741		4,252,424
印刷製本費		60,225			60,225				251,887			251,887		312,112
光熱水料費	13,067,516	5,342,038	16,288,387		34,697,941	325,000	110,000	73,337	41,111	3,055		552,503		35,250,444
賃借料	2,061,921	2,470,537	2,044,935		6,577,393			684,355	221,390			905,745		7,483,138
保険料	625,384	342,531	398,316		1,366,231				386,800	14,270		401,070		1,767,301
諸謝金	2,954,000	468,000	2,100,000		5,522,000				3,059,980			3,059,980		8,581,980
租税公課	3,106,628	2,509,276	2,611,434		8,227,338	753,853	111,760	238,383	775,564	18,640		1,898,200		10,125,538
委託費	7,773,988	916,444	2,217,835		10,908,267	1,128,560	200,000	252,880	64,350			1,645,790		12,554,057
支払手数料(事業)	155,527	43,622	237,838		436,987	7,425		341,793	56,705			405,923		842,910
研修費(事業)	99,660	141,400	201,900		442,960									442,960
広告宣伝費(事業)	35,000	65,610	5,000		105,610				51,018			51,018		156,628
食糧費	79,211	12,337	316,383		407,931				56,771			56,771		464,702
仕入材料費						4,606,524						4,606,524		4,606,524
雑費	0	0	0		0				29,040			29,040		29,040
事業費計	62,895,525	40,905,080	56,055,522		159,856,127	8,374,134	1,487,011	3,262,045	15,625,256	190,885		28,939,331		188,795,458

科目	公益目的事業会計					収益事業等会計							法人会計	合計
	(公1)スポーツ 振興事業(落合 地区)	(公2)スポーツ 振興事業(久世 地区)	(公3)スポーツ 健康増進事業 (勝山地区)	公益目的事業共 通	小計	(収1)飲食物品 販売事業	(収2)施設貸与 事業(公益以外)	(収3)合宿誘致 事業	(収4)業務委託 事業	(他1)その他事 業	収益事業等共通	小計	法人会計	
管理費														
役員報酬													520,500	520,500
給料手当													4,985,745	4,985,745
福利厚生費													876,815	876,815
旅費交通費													97,676	97,676
通信運搬費													665,941	665,941
減価償却費													25,612	25,612
消耗品費													2,026,052	2,026,052
修繕費													28,913	28,913
光熱水料費													415,775	415,775
賃借料													388,810	388,810
保険料													34,211	34,211
租税公課													615,622	615,622
委託料(管理)													1,179,201	1,179,201
支払手数料(管理)													31,874	31,874
交際費(管理)													164,383	164,383
会議費(管理)													78,787	78,787
諸会費(管理)													290,075	290,075
書籍資料費(管理)													68,940	68,940
雑費													56,185	56,185
管理費計													12,551,117	12,551,117
経常費用計	62,895,525	40,905,080	56,055,522		159,856,127	8,374,134	1,487,011	3,262,045	15,625,256	190,885		28,939,331	12,551,117	201,346,575
評価損益等調整前当期経常増減額	2,273,595	3,305,123	△ 1,219,672		4,359,046	288,819	190,149	175,225	7,331,987	49,115		8,035,295	439,816	12,834,157
当期経常増減額	2,273,595	3,305,123	△ 1,219,672		4,359,046	288,819	190,149	175,225	7,331,987	49,115		8,035,295	439,816	12,834,157
2. 経常外増減の部														
(1) 経常外収益														
経常外収益計														
(2) 経常外費用														
経常外費用計														
当期経常外増減額														
他会計振替前当期一般正味財産増減額	2,273,595	3,305,123	△ 1,219,672		4,359,046	288,819	190,149	175,225	7,331,987	49,115		8,035,295	439,816	12,834,157
他会計振替額				3,055,704	3,055,704						△ 3,055,704	△ 3,055,704		0
税引前当期一般正味財産増減額	2,273,595	3,305,123	△ 1,219,672	3,055,704	7,414,750	288,819	190,149	175,225	7,331,987	49,115	△ 3,055,704	4,979,591	439,816	12,834,157
法人税、住民税及び事業税						165,943	54,772	100,211	882,691	21,083		1,224,700		1,224,700
当期一般正味財産増減額	2,273,595	3,305,123	△ 1,219,672	3,055,704	7,414,750	122,876	135,377	75,014	6,449,296	28,032	△ 3,055,704	3,754,891	439,816	11,609,457
一般正味財産期首残高	△ 9,314,898	19,966,899	166,561	2,191,142	13,009,704	22,127,200	698,078	1,974,420	13,454,724	542,195	△ 12,191,142	26,605,475	1,993,108	41,608,287
一般正味財産期末残高	△ 7,041,303	23,272,022	△ 1,053,111	5,246,846	20,424,454	22,250,076	833,455	2,049,434	19,904,020	570,227	△ 15,246,846	30,360,366	2,432,924	53,217,744
II 指定正味財産増減の部														
当期指定正味財産増減額														
指定正味財産期首残高														
指定正味財産期末残高														
III 正味財産期末残高	△ 7,041,303	23,272,022	△ 1,053,111	5,246,846	20,424,454	22,250,076	833,455	2,049,434	19,904,020	570,227	△ 15,246,846	30,360,366	2,432,924	53,217,744

収支計算書
令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入				
基本財産利息収入	25,000	26,745	△ 1,745	
基本財産運用収入計	25,000	26,745	△ 1,745	
事業収入				
施設利用料収入	18,069,000	18,501,020	△ 432,020	
付帯設備料収入	141,000	146,500	△ 5,500	
指定管理事業料収入	128,299,000	128,299,000	0	
連携協力事業収入	1,110,000	1,093,000	17,000	
教室事業収入	1,338,000	1,393,650	△ 55,650	
イベント事業収入	326,000	331,800	△ 5,800	
スポーツ振興事業料収入	2,774,000	2,818,450	△ 44,450	
受取会費収入	15,114,000	15,139,400	△ 25,400	
物品貸出販売事業料収入	2,181,000	2,131,985	49,015	
発券事業料収入	1,246,000	1,292,600	△ 46,600	
自動販売機設置手数料収入	1,443,000	1,507,180	△ 64,180	
食事販売手数料収入	3,668,000	3,583,788	84,212	
飲食販売事業者営業収入	1,440,000	1,440,000	0	
飲食販売事業料収入	6,551,000	6,530,968	20,032	
賃貸事業料収入	240,000	240,000	0	
合宿誘致事業料収入	3,510,000	3,437,270	72,730	
健康推進事業料収入	10,438,000	10,393,400	44,600	
受託事業料収入	22,681,000	22,423,643	257,357	
事業収入計	211,244,000	211,354,236	△ 110,236	
補助金等収入				
国庫助成金収入	300,000		300,000	
地方公共団体助成金収入	655,000	464,793	190,207	
補助金等収入計	955,000	464,793	490,207	
負担金収入				
負担金収入	1,634,000	1,644,300	△ 10,300	
負担金収入計	1,634,000	1,644,300	△ 10,300	
雑収入				
雑収入	706,000	690,658	15,342	
雑収入計	706,000	690,658	15,342	
事業活動収入計	214,564,000	214,180,732	383,268	
2. 事業活動支出				
事業費支出				
事業仕入高	801,000	800,800	200	
役員報酬支出(事業)	608,000	0	608,000	
給料手当支出	88,296,000	76,917,284	11,378,716	
福利厚生費支出	16,289,000	13,467,608	2,821,392	
旅費交通費支出	1,624,000	1,400,868	223,132	
通信運搬費支出	1,839,000	1,036,900	802,100	
消耗什器備品費支出	540,000	482,680	57,320	
消耗品費支出	8,310,000	6,131,605	2,178,395	
修繕費支出	4,544,000	4,252,424	291,576	
印刷製本費支出	521,000	312,112	208,888	
光熱水料費支出	37,120,500	35,250,444	1,870,056	
賃借料支出	8,419,000	7,483,138	935,862	
保険料支出	1,828,000	1,767,301	60,699	
諸謝金支出	8,643,000	8,581,980	61,020	
租税公課支出	12,059,000	10,125,538	1,933,462	
租税公課(法人税)支出	1,163,000		1,163,000	
委託費支出	14,256,000	12,554,057	1,701,943	
支払手数料支出(事業)	952,000	842,910	109,090	
交際費支出(事業)	187,000	0	187,000	
会議費支出(事業)	98,000	0	98,000	
諸会費支出(事業)	315,000	0	315,000	
研修費支出(事業)	512,000	442,960	69,040	
広告宣伝費支出(事業)	302,000	156,628	145,372	
書籍資料費支出(事業)	97,000	0	97,000	
食糧費支出	542,000	464,702	77,298	
仕入材料費支出	4,695,500	4,606,524	88,976	
雑費支出	214,000	29,040	184,960	
事業費支出計	214,775,000	187,107,503	27,667,497	

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
管理費支出				
役員報酬支出		520,500	△ 520,500	
給料手当支出		4,985,745	△ 4,985,745	
福利厚生費支出		876,815	△ 876,815	
旅費交通費支出		97,676	△ 97,676	
通信運搬費支出		665,941	△ 665,941	
消耗品費支出		2,026,052	△ 2,026,052	
修繕費支出		28,913	△ 28,913	
光熱水料費支出		415,775	△ 415,775	
賃借料支出		388,810	△ 388,810	
保険料支出		34,211	△ 34,211	
租税公課支出		615,622	△ 615,622	
委託料支出(管理)		1,179,201	△ 1,179,201	
支払手数料支出(管理)		31,874	△ 31,874	
交際費支出(管理)		164,383	△ 164,383	
会議費支出(管理)		78,787	△ 78,787	
諸会費支出(管理)		290,075	△ 290,075	
書籍資料費支出(管理)		68,940	△ 68,940	
雑費支出		56,185	△ 56,185	
管理費支出計		12,525,505	△ 12,525,505	
その他の支出				
その他の支出	1,508,000	1,550,560	△ 42,560	
法人税、住民税及び事業税		1,224,700	△ 1,224,700	
その他の支出計	1,508,000	2,775,260	△ 1,267,260	
事業活動支出計	216,283,000	202,408,268	13,874,732	
事業活動収支差額	△ 1,719,000	11,772,464	△ 13,491,464	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計				
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出				
特定費用準備資金積立支出		9,500,000	△ 9,500,000	
特定資産取得支出計		9,500,000	△ 9,500,000	
その他の支出				
長期前払費用支出(その他)	200,000	190,100	9,900	
その他の支出計	200,000	190,100	9,900	
投資活動支出計	200,000	9,690,100	△ 9,490,100	
投資活動収支差額	△ 200,000	△ 9,690,100	9,490,100	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計		0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計		0	0	
財務活動収支差額		0	0	
Ⅳ 予備費支出				
		—		
当期収支差額	△ 1,919,000	2,082,364	△ 4,001,364	
前期繰越収支差額		17,005,772	△ 17,005,772	
次期繰越収支差額	△ 1,919,000	19,088,136	△ 21,007,136	

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

当財団の主な業務は真庭市からの指定管理業務となっている。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 建物 定額法
上記以外の資産 定率法

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金(基)	15,000,000	0	0	15,000,000
小計	15,000,000	0	0	15,000,000
特定資産				
公益充実資金(特)	10,500,000	9,500,000	0	20,000,000
小計	10,500,000	9,500,000	0	20,000,000
合計	25,500,000	9,500,000	0	35,000,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
定期預金(基)	15,000,000	—	(15,000,000)	—
小計	15,000,000	—	(15,000,000)	—
特定資産				
公益充実資金(特)	20,000,000	—	(20,000,000)	—
小計	20,000,000	—	(20,000,000)	—
合計	35,000,000	—	(20,000,000)	—

6. 担保に供している資産

該当なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産			
定期預金(基)	15,000,000	0	15,000,000
小計	15,000,000	0	15,000,000
その他固定資産			
建物	439,446	0	439,446
車両運搬具	1	0	1
備品	268,197	0	268,197
小計	707,644	0	707,644
、合計	15,707,644	0	15,707,644

公益財団法人真庭スポーツ振興財団

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
売掛金	729,480	0	729,480
未収入金	7,942,528	0	7,942,528
立替金	81,967	0	81,967
合計	8,753,975	0	8,753,975

9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当なし

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

14. 関連当事者との取引の内容

該当なし

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

該当なし

16. 重要な後発事象

該当なし

17. その他

該当なし

附属明細書

1. 重要な固定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金(基)	15,000,000	0	0	15,000,000
	基本財産計	15,000,000	0	0	15,000,000
特定資産	公益充実資金(特)	10,500,000	9,500,000	0	20,000,000
	特定資産計	10,500,000	9,500,000	0	20,000,000
その他固定資産	建物	453,303	0	13,857	439,446
	車両運搬具	1	0	0	1
	備品	551,988	0	283,791	268,197
	リース資産	4,859,580	5,499,120	1,550,560	8,808,140
	減価償却累計額	0	1,848,208	1,848,208	0
	電話加入権	4,500	0	0	4,500
	長期前払費用	0	190,100	0	190,100
	その他固定資産計	5,869,372	3,841,012	0	9,710,384

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,452,862	0	0	0	2,452,862

財産目録
令和 8年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	落合・手元保管	運転資金として	303,592	
		久世・手元保管	運転資金として	212,309	
		水夢・手元保管	運転資金として	203,029	
	普通預金	JA晴れの国岡山・真庭落合支店	公益・収益・法人会計共用	3,989,160	
		中国銀行・落合支店 (2509919)	共用	3,448,958	
		JA晴れの国岡山・久世支店	共用	2,684,459	
		中国銀行・落合支店 (2512324)	共用	3,054,346	
		JA晴れの国岡山・勝山支店	共用	4,657,315	
		中国銀行・落合支店 (2517334)	共用	7,056,678	
		トマト銀行・久世支店	まにこいん運転資金として	10,101	
		中銀・落合支店 (2527097)	公益充実資金利子	15,653	
	定期預金	JA晴れの国岡山・真庭落合支店	基本財産利子	35,168	
	電子通貨	落合総合公園	まにこいん	50,466	
		真庭スポーツ振興財団	まにこいん	7,956	
真庭市勝山健康増進施設・水夢		まにこいん	1,253,991		
現金預金			26,983,181		
売掛金			729,480		
未収入金			7,942,528		
商品			800,226		
前払費用			654,826		
立替金			81,967		
流動資産合計				37,192,208	
(固定資産)	基本財産				
	定期預金(基)	JA晴れの国岡山・真庭落合支店	公益・法人会計の財源	15,000,000	
	特定資産	公益充実資金	中銀・落合支店 (2527097)	施設修繕事業積立金 (落合地区)	3,000,000
			中銀・落合支店 (2527097)	施設修繕事業積立金 (久世地区)	4,500,000
			中銀・落合支店 (2527097)	事務所移転事業積立金 (久世地区)	2,000,000
			中銀・落合支店 (2527097)	施設修繕事業積立金 (勝山地区)	1,000,000
			中国銀行・落合支店 (2509919)	財政安定化事業積立金	4,000,000
			JA晴れの国岡山・久世支店	財団設立周年記念事業積立金	3,500,000
			中国銀行・落合支店 (2512324)	地域スポーツクラブ活動支援事業積立金	2,000,000
	その他固定資産	建物	共用	439,446	
		車両運搬具	共用	1	
		備品	共用	268,197	
		リース資産	共用	8,808,140	
		電話加入権	共用	4,500	
		長期前払費用	リサイクル料 労務システム保守サービス	共用	6,100 184,000
	固定資産合計				44,710,384
	資産合計				81,902,592
(流動負債)	買掛金			8,993	
	未払金			7,652,663	
	未払給与			5,339,430	
	未払消費税等			2,640,400	
	前受金			385,500	
	預り金	久世小中学校使用料 旧久世高校体育館使用料		6,000 7,660	
	未払法人税等			1,263,200	
	リース債務 (流動)			1,772,760	
流動負債合計				19,076,606	
(固定負債)	退職給付引当金			2,452,862	
	受入保証金		農村RMO選定団体吉縁起村協議会 建物賃貸保証金	120,000	
	リース債務 (固定)			7,035,380	
固定負債合計				9,608,242	
負債合計				28,684,848	
正味財産				53,217,744	

公益財団法人真庭スポーツ振興財団

監査報告書

公益財団法人真庭スポーツ振興財団

理事長 藤井 健平 殿

2026年 5月27日

監事 江森 信夫 

監事 原田 洋司 

私たち監事は、公益財団法人真庭スポーツ振興財団定款第9条の規定に基づき、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び活動計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1)事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2)計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

令和8年度

法人の経営状況を説明する書類

有限会社 醍醐の里

第 25 期

定 時 株 主 総 会 議 案 書

令和 8 年 6 月

有限会社 醍醐の里

有限会社 醍醐の里

社 是

一、誠意ある処 自ずから道あり

一、新鮮安心安全に笑顔でサービス 道の駅

一、自信と責任をもって明るい接客 道の駅

第 25 期 定時株主総会開催次第

1. 議 事

1号議案 令和7年度 事業報告について

2号議案 令和7年度 決算報告について

3号議案 令和8年度 事業方針（案）について

4号議案 令和8年度 収支計画（案）について

2. 報告事項〈添付〉

(1)株主名簿 （令和8年3月31日現在）

【 1 号議案】

事業報告

令和7年度に於きましては、不安定な国際情勢を背景とした原材料費・エネルギー価格の高騰、及び継続的な物価上昇により、個人消費の冷え込みが懸念される極めて厳しい経営環境にありました。さらには少子高齢化・地域の過疎化による労働力不足は、当社においても例外ではなく、人材不足に悩まされた1年でもありました。

このような状況下において、当道の駅は「繋がりの拠点となる道の駅」を使命として、地域住民・出荷者・取引業者の方々の多大なるご支援に支えられ、付加価値の向上とコスト管理に努めてまいりました。その結果、幸いにも多くのお客様にご支持を頂き、総売上は6,687万円、当期利益は151万円の黒字と一定の成果を上げることができました。

直売所の売上高をみると計画値3,350万円に対し、実績3,266万円と予算まであと一歩（97.4%）でしたが、前期比では100.8%と上回ることができました。

生産者の方や地域業者の方との連携を密にすることで、「スーパーでは味わえない鮮度」と「地元生産者に支えられた安心感」を訴求し、店頭への品揃えを確保することで、お客様にとって魅力のある店舗づくりに努めてきた結果と思われま

す。また、直売所スタッフが丁寧で親しみやすい接客を心掛けてきたことが、徐々に実を結んできているものと考えます。今後も引き続き、スタッフ一丸となって魅力ある店舗づくりを心掛け、またSNSを通じた情報発信にも力を入れてまいります。

次に、今期の食堂売上高は計画額1,700万円に対し、決算額1,750万円（102.9%）と計画を上回りました。年度途中で、メニュー変更や価格の見直しを複数回行い、利用者のニーズに合ったメニューづくりを心掛けました。前年に変更したタッチパネル式の券売機も定着し、お客様の利便性と回転率の向上に貢献しています。

これまで地域貢献活動の一環として行ってきた高齢者等給食サービスについては、

今年度末をもって休止としました。食材の高騰、配達コストの上昇、配達スタッフの高齢化による危険リスクのアップにより、真庭市との協議を踏まえ、他の業者へ引き継ぐことといたしました。

又、多目的グラウンドに於きましては、地域の方々がグラウンドゴルフやペタンク、そして夕方になると親子で遊ぶ元気な声が響いており、地域交流や憩いの場としても積極的に活用していただいております。屋外プレハブでの灯心会によるコラージュや焼き芋処いもけんを誘致しての営業も継続して行っております。

繁忙期におけるイベントは、今年はマルシェの誘致を中心に行い、生産者やスタッフの負担を最小限とする工夫のもと行ってまいりました。

駅舎、駐車場、トイレ等の施設においては、日常の清掃作業とともに、周辺の草刈りや早朝のトイレ掃除などを行い、立ち寄った方に気持ちよく使っていただける道の駅を心がけてまいりました。

令和7年度は、厳しい経営環境の中でも、スタッフと出荷者・地域業者等が協力し、連携を強める中で、一定の成果を出せた1年となりました。

【2号議案】

貸借対照表

令和 8 年 3 月 31 日 現在

資産の部

《流動資産》	決 算 額	前 年 度	増 減
現 金	2,751,048	3,801,263	-1,050,215
普 通 預 金	25,090,580	19,138,889	5,951,691
定 期 預 金	14,025,082	14,012,482	12,600
定 期 積 金	0	0	0
売 掛 金	3,069,225	5,283,716	-2,214,491
棚 卸 資 産	896,975	859,059	37,916
未 収 金	4,893,682	4,933,444	-39,762
未 収 還 付 金	0	1,399,000	-1,399,000
立 替 金 等	615,550	16,560	598,990
流 動 資 産 合 計	51,342,142	49,444,413	1,897,729

《固定資産》

建 物	718,910	869,165	-150,255
建 物 付 属 設 備	9,407,031	10,142,214	-735,183
構 築 物	6,424,037	6,784,194	-360,157
車 両 運 搬 具	913,577	2	913,575
工 事 器 具 備 品	127,944	191,814	-63,870
出 資 金 等	1,006,470	1,000,000	6,470
固 定 資 産 合 計	18,597,969	18,987,389	-389,420

資 産 合 計	69,940,111	68,431,802	1,508,309
---------	------------	------------	-----------

負債の部

《負債》

買 掛 金	0	0	0
未 払 金	17,508,726	16,742,139	766,587
未 払 法 人 税 等	171,600	71,000	100,600
未 払 消 費 税 等	3,462,300	0	3,462,300
預 り 金 等	-74,768	262,402	-337,170
長 期 借 入 金	10,500,000	14,500,000	-4,000,000

負 債 合 計	31,567,858	31,575,541	-7,683
---------	------------	------------	--------

資本の部

《 資 本 金 》	7,800,000	7,800,000	0
《 剰 余 金 》	0	0	0
繰越利益剰余金	29,056,261	29,056,261	0
(内 当期利益)	1,515,992	163,355	1,352,637
利益剰余金計	29,056,261	29,056,261	0
株 主 資 本 計	38,372,253	36,856,261	1,515,992
負債・純資産計	69,940,111	68,431,802	1,508,309

損益計算書

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

《売上高》	決 算 額	予 算 額	増 減	備 考
売上高(直売所)	32,655,346	33,500,000	-844,654	
売上高(レストラン)	17,503,436	17,000,000	503,436	
売上高(給食サービス)	6,421,988	6,700,000	-278,012	
売上高(新規事業)	1,609,266	6,000,000	-4,390,734	
駅舎管理費	3,615,000	3,600,000	15,000	
施設賃貸料	2,914,440	2,900,000	14,440	
年会費	839,084	800,000	39,084	
発送手数料	1,313,184	1,700,000	-386,816	
売上高計	66,871,744	72,200,000	-5,328,256	

《売上原価》				
仕入高(直売所)	1,133,862	3,100,000	-1,966,138	
仕入高(レストラン)	7,207,369	7,000,000	207,369	
仕入高(給食サービス)	3,040,282	3,000,000	40,282	
仕入高(新規事業)		3,500,000	-3,500,000	
棚卸資産差額	-37,916	0	-37,916	
売上原価計	11,343,597	16,600,000	-5,256,403	

売上総利益	55,528,147	55,600,000	-71,853	
-------	------------	------------	---------	--

《販売費および一般管理費》				
販売員給与	18,978,613	18,500,000	478,613	
雑給与	0	0	0	
旅費交通費	122,015	50,000	72,015	
広告宣伝費	100,320	200,000	-99,680	
販売促進費	784,104	1,000,000	-215,896	
発送配達費	229,806	200,000	29,806	
支払手数料	4,945,728	700,000	4,245,728	
生産組織対策費	1,058,370	1,100,000	-41,630	
役員報酬	960,000	960,000	0	
退職慰労金	0	0	0	
事務員給与	5,850,059	10,500,000	-4,649,941	
従業員賞与	2,724,380	2,000,000	724,380	
法定福利費	2,226,091	2,500,000	-273,909	
福利厚生費	474,352	800,000	-325,648	
従業員退職金	243,240	360,000	-116,760	
減価償却費	1,492,289	1,200,000	292,289	
リース料	1,279,943	1,400,000	-120,057	
施設納付金	181,818	200,000	-18,182	
修繕費	549,545	500,000	49,545	

《販売費および一般管理費》

通 信 費	1,402,796	1,640,000	-237,204
水 道 光 熱 費	5,536,198	6,000,000	-463,802
租 税 公 課	444,865	400,000	44,865
寄 付 金	33,000	100,000	-67,000
接 待 交 際 費	43,703	200,000	-156,297
保 険 料	322,170	300,000	22,170
備 品 消 耗 品	2,176,791	1,800,000	376,791
管 理 諸 費	693,073	800,000	-106,927
下 水 処 理 費	166,400	400,000	-233,600
施 設 設 備 維 持 費	715,317	900,000	-184,683
諸 会 費	65,000	150,000	-85,000
貸 倒 償 却	0	0	0
雑 費	835,724	500,000	335,724
販 売 管 理 費 計	54,635,710	55,360,000	-724,290

営 業 利 益	892,437	240,000	652,437
---------	---------	---------	---------

《営業外収益の部》 0

受 取 利 息	58,569	20,000	38,569
雑 収 入	836,587	280,000	556,587
営 業 外 収 益 計	895,156	300,000	595,156

《営業外費用の部》 0

雑 損 失 等	100,000	100,000	0
営 業 外 費 用 計	100,000	100,000	0

《 経 常 利 益 》	1,687,593	440,000	1,247,593
-------------	-----------	---------	-----------

《特別利益の部》

固 定 資 産 売 却 益	0	0	0
---------------	---	---	---

《特別損失の部》 0

固 定 資 産 売 却 損	1	0	1
---------------	---	---	---

0

税引き前当期純利益(損失)	1,687,592	440,000	1,247,592
---------------	-----------	---------	-----------

法人税、住民税及び事業税	171,600	71,000	100,600
--------------	---------	--------	---------

当期純利益(損失)	1,515,992	369,000	1,146,992
-----------	-----------	---------	-----------

株主資本等変動計算書

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

[illegible]

以上の通り、提出いたします。

令和 8 年 5 月 18 日

有限会社 醍醐の里

[illegible]

以上の計算書類は、公正妥当な会計基準によって処理されていることについて、令和 8 年 5 月 8 日に監査を行い、適法正確なることを証明いたします。

監査役 西山 盛二

監査役 本郷 和道

個 別 注 記 表

(令和 7 年 4 月 1 日 ~ 令和 8 年 3 月 31 日)

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1.消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

II 貸借対照表などに関する注記

1.有形固定資産の減価償却累計額 20,661,673 円

III 株主資本等変動計算書に関する注記

1.発行済株式総数 156株

V 一株当たり情報に関する注記

1.一株当たり純資産額は、 245,975.98円であります。
2.一株当たり当期純利益は、 9,717.89円であります。

以 上

監 査 報 告 書

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までの第 25 期事業年度の取締役の
会計職務の執行を監査いたしました。

I 監査方法の概要

監査役は、取締役等から会計の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、
道の駅「醍醐の里」会議室に於いて、令和 8 年 5 月 8 日に会計及び
財産の状況を調査し、必要に応じて会計顧問から、会計報告を求めました。
また、会計帳簿などの調査を行い、計算書類及び付属明細書につき、検討を
行いました。

II 監査の結果

- 1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、貸借対照表及び損益計算書の
記載と合致しているものと認めます。
- 2) 貸借対照表及び損益計算書は、法令及び定款に従い、会社の財産及び損益の
状況を正しく示しているものと認めます。
- 3) 付属明細書は、記載すべき事項を正しく示しており、指摘すべき事項は認め
られません。
- 4) 取締役の会計事項に関する不正の行為、又は、法令若しくは定款に違反する
重大な事実はありません。

令和 8 年 5 月 8 日

有限会社 醍醐の里

監査役

西山 盛二



監査役

本郷 祐道



【 3 号議案】

事 業 方 針（案）

令和8年度は、前年度に引き続き厳しい経営環境が予想されることから、これまで以上に生産者、地元業者、真庭市行政などとの連携を密にして、堅実で強固な経営体質を作り上げることを心掛けてまいります。

直売所においては、生産者の高齢化と後継者不足による「店頭の商品の品薄」は、道の駅の存立基盤を揺るがす重要課題と位置づけ、出荷者の開拓に努めます。新規出荷者への声掛けや多品種少量生産の奨励を行うことで、年間を通じた品揃えと多様性の確保を目指します。

お客様にとって買いたくなる魅力ある商品を確保するため、地元業者との連携も強化し、お総菜や食肉、加工品や土産物を幅広く調達し、常連様にも飽きられない店舗づくりを行います。

レストランにおいては前年から引き続き、食材関連業者と連携した新メニューの開発や期間限定メニューを進めるなどして、お客様を飽きさせない新鮮なイメージを定着させていきます。物価の高騰に対応すべく、食材を厳選し材料原価の低減に努めます。

駅舎、駐車場、トイレ等の施設に於きましては、利用者の憩いの場として利用していただけるよう清掃活動等を徹底するとともに、地域内外の交流拠点として、情報発信の場となるよう努めます。屋外施設についても、その効果的な活用方法について検討を進め、当施設との相乗効果の発揮に努めてまいります。

地元メディアやSNSを積極的に活用することで、リアルでストーリー性のある発信を行い、醍醐の里の知名度アップにつなげます。

短時間勤務やワークシェアリングを取り入れ、地域の高齢者や子育て世代がそれぞれのライフスタイルに合わせて活躍できる「柔軟で魅力ある職場づくり」

を目指します。また今年度は、道の駅管理システムの変更に備えるとともに、DX化やAIの活用といった時代の流れにも対応するため、積極的に研修を行い、従業員の研鑽に努めます。

今年度も地域住民・生産者と繋がり、お客様・観光客や若い世代とも繋がることで、「醍醐の里」が様々な方から必要とされる魅力ある「道の駅」となるよう、一層努力してまいります。

【4号議案】

収支計画書(案)

(令和 8 年 4 月 1 日 ~ 令和 9 年 3 月 31 日)

《売上高》	前年実績	予算額
売上高(直売所)	32,655,346	33,700,000
売上高(レストラン)	17,503,436	17,500,000
売上高(給食サービス等)	6,421,988	1,000,000
売上高(新規事業)	1,609,266	6,000,000
駅舎管理費	3,615,000	3,615,000
施設賃貸料	2,914,440	2,900,000
年会費	839,084	850,000
発送手数料	1,313,184	1,700,000
売上高計	66,871,744	67,265,000

《売上原価》		
仕入高(直売所)	1,133,862	1,200,000
仕入高(レストラン)	7,207,369	6,500,000
仕入高(給食サービス等)	3,040,282	0
仕入高(新規事業)	0	3,500,000
棚卸資産差額	-37,916	0
売上原価計	11,343,597	11,200,000
売上総利益	55,528,147	56,065,000

《販売費および一般管理費》		
販売員給与	18,978,613	19,700,000
雑給与	0	0
旅費交通費	122,015	200,000
広告宣伝費	100,320	200,000
販売促進費	784,104	900,000
発送配達費	229,806	300,000
支払手数料	4,945,728	1,600,000
生産組織対策費	1,058,370	1,200,000
役員報酬	960,000	960,000
退職慰労金	0	0
事務員給与	5,850,059	7,600,000
従業員賞与	2,724,380	3,400,000
法定福利費	2,226,091	3,000,000
福利厚生費	474,352	500,000
従業員退職金	243,240	0
減価償却費	1,492,289	1,200,000
リース料	1,279,943	1,200,000
施設納付金	181,818	182,000
修繕費	549,545	500,000

《販売費および一般管理費》

通 信 費			1,402,796	1,700,000	
水 道	光 熱	費	5,536,198	5,900,000	
租 税	公	課	444,865	500,000	
寄	付	金	33,000	50,000	
接 待	交 際	費	43,703	100,000	
保 險		料	322,170	300,000	
備 品	消 耗	品	2,176,791	2,100,000	
管 理	諸	費	693,073	750,000	
下 水	処 理	費	166,400	200,000	
施 設	設 備	維 持	費	715,317	800,000
諸 會		費	65,000	100,000	
貸 倒	償	却	0	0	
雜		費	835,724	800,000	
販 売	管 理	費 計	54,635,710	55,942,000	
營 業 利 益			892,437	123,000	

営業外損益の部

《営業外収益の部》

受	取	利	息	58,569	40,000		
雑	収	入		836,587	300,000		
営	業	外	収	益	計	895,156	340,000

《営業外費用の部》

雜	損	失	等	100,000	100,000
營	業	外	費	用	計
				100,000	100,000

《	経	常	利	益	》	1,687,593	363,000
---	---	---	---	---	---	-----------	---------

特別損益の部

《特別利益の部》

固	定	資	産	売	却	益	0	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---

《特別損失の部》

固	定	資	産	売	却	損	1	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---

税	引	き	前	当	期	純	利	益	(	損	失	)	1,687,592	363,000
法	人	税	、	住	民	税	及	び	事	業	税		171,600	130,000
当	期	純	利	益	(	損	失	)					1,515,992	233,000

【報告事項（添付資料）】

株主リスト 令和8年3月31日

No.	氏 名	住 所	株式数	議決権数	議決権割合	※1
1	真庭市	真庭市久世2927-2	40	40	0.256	
2	真庭環境衛生株式会社	真庭市下河内328-1	20	20	0.128	
3	晴れの国岡山農業協同組合	真庭市落合垂水1064-1	10	10	0.064	
4	牧 生夫	真庭市下河内314-1	8	8	0.051	
5	真庭森林組合	真庭市勝山1884-10	5	5	0.032	
6	両備ホールディングス株式会社	岡山市北区下石井2丁目10	5	5	0.032	
7	備北バス株式会社	高梁市川上町領家381-1	4	4	0.026	
8	池田 通也	真庭市下市瀬979-2	3	3	0.019	
9	福島 晃行	真庭市鹿田372-1	3	3	0.019	
10	菱川 和恵	真庭市一色231	3	3	0.019	
11	西本 冠枝	真庭市下市瀬891	2	2	0.013	
12	真庭商工会	真庭市鍋屋6	2	2	0.013	
※	小出 始	真庭市田原731	2	2	0.013	
※	辻 麒一郎	真庭市鹿田1248	3	3	0.019	
15	中島 敏博	真庭市鹿田455	2	2	0.013	
16	石原 敏治	真庭市関4255	2	2	0.013	
17	林 美知男	真庭市関426	2	2	0.013	
18	中鉄美作バス株式会社	真庭市勝山411-6	2	2	0.013	
19	菱川 雅博	真庭市高屋277	2	2	0.013	
20	野村 義次	真庭市鹿田342	2	2	0.013	
21	福田 輝雄	真庭市鹿田371	2	2	0.013	
22	山縣 将伸	真庭市鹿田316	2	2	0.013	
23	木山神社	真庭市木山1265-1	2	2	0.013	
24	西山 盛二	真庭市木山196	2	2	0.013	
25	柴田 俊也	真庭市中河内1825	1	1	0.006	
26	南條 善通	真庭市赤野232	1	1	0.006	
27	杉 豊	真庭市西原69-1	1	1	0.006	
28	山縣 昌人	真庭市鹿田353	1	1	0.006	
29	森岡 稔	真庭市法界寺410-1	1	1	0.006	
30	行部 朝市	真庭市田原山上2382	1	1	0.006	
31	澤山 稔	真庭市日名1383	1	1	0.006	
32	石原 美千子	真庭市関4204	1	1	0.006	
33	安田 博信	真庭市下市瀬1050-108	2	2	0.013	
34	松下 泰祐	真庭市鹿田270	1	1	0.006	
35	森 源治郎	真庭市鹿田1281	1	1	0.006	
36	橋本 喬至	真庭市鹿田348	1	1	0.006	
37	横山 榮	真庭市鹿田223-1	1	1	0.006	
38	織田 孝三	真庭市鹿田498	1	1	0.006	
39	守城 久美子	真庭市鹿田2186	1	1	0.006	
※	織田 龍樹	真庭市鹿田635-2	2	2	0.013	
41	植木 皓允	真庭市鹿田279-3	1	1	0.006	
42	山縣電機工業株式会社	真庭市鹿田146-1	1	1	0.006	
43	武村 淑子	真庭市鹿田1085	1	1	0.006	
44	山縣 芳正	真庭市下方965-1	1	1	0.006	
45	福井 春美	真庭市鹿田1311-2	1	1	0.006	
46	植木 一徳	真庭市鹿田757	1	1	0.006	
47	本郷 和道	岡山市中区高島新屋敷231-6	2	2	0.013	
合 計			156	156	1	

※ 議決権割合…小数点第4位四捨五入

※ 株式変更手続き中

株式総数	156
------	-----

令和8年度

法人の経営状況を説明する書類

株式会社 アストピア蒜山

第 30 回定時株主総会

株式会社 アストピア蒜山

第 30 回定時株主総会次第

日時：令和 8 年 6 月 29 日 月曜日 午前 10 時より

会場：真庭市蒜山振興局 会議室

1.開 会

2.あいさつ

代表取締役 植木 崇雄

3.議長選出

4.会議の目的事項

報告事項

第 1 号報告 第 29 期（令和 7 年度）営業報告について

決議事項

第 1 号議案 第 29 期(令和 7 年度)決算報告の承認について

第 2 号議案 第 30 期(令和 8 年度)営業計画の承認及び運営について

5.その他

6.議長解任

7.閉 会

2025年度事業報告

株式会社アストピア蒜山

本年度の事業について

蒜山ヒルズは高単価な団体利用、合宿利用のお客様の受け入れを行い、稼働率アップと売上の確保を図りました。

また11月中旬より冬季休業とし、経費を落とし、マイナス幅を抑えるよう努めました。

快湯館は12月より平日の営業時間を午後からとし、燃料費・水光費・人件費を抑えるようにしましたが

漏水による露天風呂の休止・その修繕に伴う休業・ボイラー故障による休業、利用者の減少もあり

売上が伸びませんでした。

高原荘は、団体客の新規取込みを増やすため、新しいサービスや体験プランを企画し、テストマーケティングを行いながら収支バランスの構築と周知を行う年になりました。

ベーカリー部門は、昨年よりは赤字幅が減少はしましたが、人件費、材料費等のコストは高いままで改善には至りませんでした。

全社収益実績

部門	2024実績	2025計画	2025実績
津黒高原施設	51,840,798	51,940,455	49,209,943
快湯館・サイクリング	31,550,622	32,609,718	29,000,189
スポーツ公園	7,180,470	7,478,632	6,111,510
自然広場	2,126,002	2,170,905	1,905,416
ヒルズ施設	93,148,471	87,149,996	85,460,583
その他			217
合計	185,846,363	181,349,706	171,687,858

昨年増減 △ 14,158,505 円

昨年比 92.4%

計画増減 △ 9,661,848 円

計画比 94.7%

全社費用実績

部門	2024実績	2025計画	2025実績
津黒高原施設	43,685,924	44,715,000	43,316,853
快湯館・サイクリング	37,238,289	32,538,000	35,108,920
スポーツ公園	6,371,644	7,165,000	5,977,249
自然広場	2,747,915	2,126,000	1,846,985
ヒルズ施設	131,303,990	87,149,996	99,122,665
その他	0	0	3
合計	221,347,762	173,693,996	185,372,675

昨年増減 △ 35,975,087 円

昨年比 83.7%

計画増減 11,678,679 円

計画比 106.7%

全社利益実績

部門	2024実績	2025計画	2025実績
津黒高原施設	8,154,874	7,225,455	5,893,090
快湯館・サイクリング	△ 5,687,667	71,718	△ 6,108,731
スポーツ公園	808,826	313,632	134,261
自然広場	△ 621,913	44,905	58,431
ヒルズ施設	△ 38,155,519	0	△ 13,662,082
その他	0	0	214
合計	△ 35,501,399	7,655,710	△ 13,684,817

昨年増減 21,816,582 円

計画増減 △ 21,340,527 円

法人税 182,500 円

当期純損失 13,867,317 円

津黒高原施設

施設名	営業日数	休業日数	実営業日数	備 考
宿泊	365	1	364	
日帰り入浴	365	1	364	
キャンプ	237	0	237	
スポーツ施設	244	0	244	
プール	17	0	17	

営業収益

						昨年	計画
フロント収入	15,186,251 円	昨年比	93.6 %	計画比	92.6 %	16,223,120	16,400,000
食事収入	15,853,124 円		94.2 %		96.1 %	16,827,998	16,500,000
キャンプ収入	2,468,908 円		94.3 %		82.3 %	2,616,836	3,000,000
スキー場収入	0 円		— %		— %	0	0
スポーツ収入	171,217 円		48.2 %		33.6 %	355,056	510,000
管理料	15,530,443 円		98.2 %		100.0 %	15,817,788	15,530,455
その他、雑収入等	0 円		— %		— %		
			%				
合計	49,209,943 円		94.9 %		94.7 %	51,840,798	51,940,455

営業費用

						昨年	計画
直接費	4,346,370 円	昨年比	97.4 %	計画比	96.6 %	4,463,971	4,500,000
人件費	15,220,748 円		103.2 %		103.7 %	14,750,539	14,678,000
その他費用	23,749,735 円		97.1 %		93.0 %	24,471,414	25,537,000
合計	43,316,853 円		99.2 %		96.9 %	43,685,924	44,715,000

営業利益

5,893,090 円	昨年増減	計画増減		
	-2,261,784 円	-1,332,365 円	8,154,874	7,225,455

快湯館

施設名	営業日数	休業日数	実営業日数	備 考
快湯館	313	17	296	露天風呂漏水修繕 4日 ボイラー故障 13日

営業収益

						昨年	計画
市内利用	7,308,733 円	昨年比	94.9 %	計画比	88.6 %	7,699,578	8,250,000
市外利用	15,627,399 円		90.1 %		89.7 %	17,350,171	17,420,000
売店他	2,882,134 円		79.9 %		71.6 %	3,606,173	4,026,981
管理料	567,277 円		178.8 %		178.8 %	317,277	317,277
その他、雑収入等	1,850,522 円		93.2 %		92.5 %	1,985,235	2,000,000
合計	28,236,065 円		91.2 %		88.2 %	30,958,434	32,014,258

営業費用

						昨年	計画
直接費	685,459 円	昨年比	47.1 %	計画比	49.0 %	1,456,798	1,400,000
人件費	9,577,596 円		81.0 %		90.7 %	11,821,808	10,560,000
その他費用	24,651,054 円		105.0 %		123.0 %	23,479,616	20,040,000
合計	34,914,109 円		95.0 %		109.1 %	36,758,222	32,000,000

営業利益

△ 6,678,044 円	昨年増減	計画増減		
	△ 878,256 円	△ 6,692,302 円	△ 5,799,788	14,258

サイクリングターミナル

施設名	営業日数	休業日数	実営業日数	備 考
自転車	313	0	313	

営業収益

		昨年比	計画比	昨年	計画
サイクリング	10,182 円	21.8 %	20.4 %	46,728	50,000
その他、雑収入等	553,942 円	101.6 %	101.6 %	545,460	545,460
管理料	200,000 円	%	%	0	0
合計	764,124 円	129.0 %	128.3 %	592,188	595,460
人件費	0 円	0.0 %	0.0 %	240,000	268,000
その他費用	194,811 円	81.1 %	72.2 %	240,067	270,000
合計	194,811 円	40.6 %	36.2 %	480,067	538,000

営業利益

569,313 円	昨年増減	計画比	112,121	57,460
			457,192 円	511,853 円

蒜山高原スポーツ公園

施設名	営業日数	休業日数	実営業日数	備 考
体育館	313	0	313	
スポーツ施設	212	0	212	

営業収益

		昨年比	計画比	昨年	計画
テニスコート	30,182 円	25.8 %	43.1 %	117,172	70,000
多目的グラウンド	44,282 円	98.5 %	88.6 %	44,972	50,000
体育館	195,480 円	128.3 %	130.3 %	152,327	150,000
野球場	0 円	0.0 %	0.0 %	11,136	25,000
サッカー場	87,245 円	155.4 %	145.4 %	56,127	60,000
グラウンドゴルフ	144,973 円	79.0 %	58.0 %	183,609	250,000
プリペードカード	2,106,363 円	93.9 %	84.3 %	2,243,636	2,500,000
用具	130,727 円	49.0 %	52.3 %	266,865	250,000
管理料	3,273,632 円	82.4 %	82.4 %	3,973,632	3,973,632
その他、雑収入等	98,626 円	75.3 %	65.8 %	130,994	150,000
合計	6,111,510 円	85.1 %	81.7 %	7,180,470	7,478,632

* 雑収入 助成金なし

営業費用

		昨年比	計画比	昨年	計画
直接費	445,440 円	△ 67.8 %	— %	△ 657,000	0
人件費	2,438,179 円	74.0 %	70.7 %	3,293,401	3,450,000
その他費用	3,093,630 円	82.8 %	83.3 %	3,735,243	3,715,000
合計	5,977,249 円	93.8 %	83.4 %	6,371,644	7,165,000

営業利益

134,261 円	昨年増減	計画増減	808,826	313,632
			△ 674,565 円	△ 179,371 円

自然広場

施設名	営業日数	休業日数	実営業日数	備 考
風のパレット	244	38	206	

営業収益

						昨年	計画
施設利用料	68,409 円	昨年比	127.0 %	計画比	68.4 %	53,864	100,000
売店収入	216,102 円		30.8 %		30.9 %	701,233	700,000
管理料	1,620,905 円		118.2 %		118.2 %	1,370,905	1,370,905
合計	1,905,416 円		89.6 %		87.8 %	2,126,002	2,170,905

営業費用

						昨年	計画
直接費	58,332 円	昨年比	23.0 %	計画比	— %	253,155	200,000
人件費	815,975 円		57.2 %		98.8 %	1,426,244	826,000
その他費用	972,678 円		91.0 %		88.4 %	1,068,516	1,100,000
合計	1,846,985 円		67.2 %		86.9 %	2,747,915	2,126,000

営業利益

58,431 円	昨年増減	△ 621,913	計画増減	44,905
		680,344 円		13,526 円

蒜山ヒルズ

施設名	営業日数	休業日数	実営業日数	備 考
ヒルズ宿泊	365	146	219	
サイクリング	365	146	219	
ベーカリー	225	105	260	

営業収益

						昨年	計画
フロント収入	24,692,147 円	昨年比	75.2 %	計画比	89.3 %	32,854,337	27,650,000
食事収入	18,083,469 円		78.5 %		92.3 %	23,029,841	19,600,000
道の駅収入	583,500 円		10.1 %		64.8 %	5,761,286	900,000
ベーカリー	38,101,475 円		140.5 %		108.9 %	27,127,560	35,000,000
管理料	3,999,992 円		100.0 %		100.0 %	3,999,992	3,999,996
雑収入	0 円		0.0 %		— %	375,455	0
合計	85,460,583 円		91.7 %		98.1 %	93,148,471	87,149,996

営業費用

						昨年	計画
直接費	19,447,138 円	昨年比	77.3 %	計画比	108.8 %	25,150,344	17,870,000
人件費	33,404,561 円		70.5 %		122.6 %	47,353,622	27,250,000
その他費用	46,270,966 円		78.7 %		110.1 %	58,800,024	42,029,996
合計	99,122,665 円		75.5 %		113.7 %	131,303,990	87,149,996

営業利益

△ 13,662,082 円	昨年増減	△ 38,155,519	計画増減	0
		24,493,437 円		△ 13,662,082 円

2025年度営業報告

蒜山なごみの温泉津黒高原荘

利用人員

単位:人

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対前年増減
なごみの温泉計	12,073	12,150	13,053	980
宿泊人員	3,014	3,100	3,227	213
(宿泊利用率)%	9.0%	9.3%	9.7%	0.7%
休憩人員	515	500	431	△ 84
昼食人員	1,634	1,650	1,467	△ 167
日帰り温泉	6,910	6,900	7,928	1,018
スポーツ計	2,901	3,230	2,268	△ 633
テニス	36	50	4	△ 32
グラウンド	94	80	92	△ 2
キャンプ	2,144	2,500	1,742	△ 402
プール	627	600	430	△ 197
				0
客室販売数	1,267	1,290	1,181	△ 86
(客室稼働率)%	11.9%	12.1%	11.1%	-0.8%

営業収益

税抜

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対前年増減
フロント収入計	16,223,120	16,400,000	15,186,251	△ 1,036,869
室料収入	12,459,830	12,500,000	11,390,223	△ 1,069,607
日帰り温泉	2,849,303	2,900,000	2,495,984	△ 353,319
売店収入	741,697	800,000	817,626	75,929
娯楽会議室	13,644	0	8,183	△ 5,461
その他	158,646	200,000	474,235	315,589
食事収入計	16,827,998	16,500,000	15,853,124	△ 974,874
宿泊者食事収入	13,118,135	12,000,000	12,260,570	△ 857,565
喫茶レストラン	185,002	500,000	191,775	6,773
宴会	2,077,785	2,200,000	2,087,171	9,386
飲物収入	1,447,076	1,800,000	1,313,608	△ 133,468
スポーツ収入計	2,971,892	3,510,000	2,640,125	△ 331,767
キャンプ場	2,616,836	3,000,000	2,468,908	△ 147,928
プール	210,709	500,000	131,545	△ 79,164
テニス、グラウンド	144,347	10,000	39,672	△ 104,675
				0
				0
施設管理収入計	15,817,788	15,530,455	15,530,443	△ 287,345
管理料	12,545,448	12,545,455	12,545,448	0
まにわくん業務	3,272,340	2,985,000	2,984,995	△ 287,345
雑収入計	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	51,840,798	51,940,455	49,209,943	△ 2,630,855

*別表1 部門別収支資料参照

営業費用

税抜

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対前年増減
商品仕入費	495,282	500,000	349,540	△ 145,742
食材仕入費	3,481,702	3,500,000	3,472,120	△ 9,582
飲物材料費	569,501	500,000	618,538	49,037
仕出し仕入	0	0	0	0
棚卸	△ 82,514	0	△ 93,828	△ 11,314
営業直接費	4,463,971	4,500,000	4,346,370	△ 117,601
従業員給与	12,705,778	12,850,000	13,227,720	521,942
派遣労務費	288,000	300,000	800,000	512,000
販売員旅費	6,182	0	0	△ 6,182
広告宣伝費	15,764	20,000	10,817	△ 4,947
販売促進費	854,752	900,000	771,441	△ 83,311
企画外注費	176,944	200,000	65,355	△ 111,589
幹旋手数料	928,192	1,000,000	906,773	△ 21,419
役員報酬	339,995	340,000	332,496	△ 7,499
従業員賞与	490,000	0	0	△ 490,000
法定福利費	1,146,761	1,408,000	1,119,694	△ 27,067
厚生費	168,338	150,000	71,869	△ 96,469
退職掛金	120,000	120,000	73,334	△ 46,666
減価償却費	187,230	180,000	181,387	△ 5,843
リース料	531,200	552,000	661,819	130,619
地代家賃	0	0	0	0
修繕費	0	900,000	462,300	462,300
事務備品	144,410	150,000	109,192	△ 35,218
通信交通費	257,655	250,000	248,068	△ 9,587
水道光熱費	6,149,856	6,070,000	6,222,482	72,626
租税公課	49,216	50,000	52,697	3,481
寄付金	84,930	0	76,810	△ 8,120
保険料	149,470	190,000	178,290	28,820
備品消耗品	1,359,683	1,305,000	1,244,720	△ 114,963
管理諸費	5,325,844	5,350,000	5,137,067	△ 188,777
燃料費	5,859,923	6,130,000	5,208,099	△ 651,824
ランドリー料	764,550	800,000	777,900	13,350
支払手数料、貸倒償却	476,132	450,000	522,595	46,463
雑費	484,725	400,000	456,672	△ 28,053
雑損失、繰延資産	156,423	150,000	50,886	△ 105,537
営業費用計	39,221,953	40,215,000	38,970,483	△ 251,470
合計	43,685,924	44,715,000	43,316,853	△ 369,071

売上総利益

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対前年増減
合計	8,154,874	7,225,455	5,893,090	△ 2,261,784

人件費

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対前年増減
従業員給与	12,705,778	12,850,000	13,227,720	521,942
従業員賞与	490,000	0	0	△ 490,000
退職掛金	120,000	120,000	73,334	△ 46,666
法定福利厚生費	1,146,761	1,408,000	1,119,694	△ 27,067
派遣労務費	288,000	300,000	800,000	512,000
合計	14,750,539	14,678,000	15,220,748	470,209

【津黒高原部門】 別表1

営業収益						税抜 単位:円
区分	高原荘	キャンプ	スポーツ	プール	まにわくん	合計
フロント収入計	15,186,251	0	0	0	0	15,186,251
室料収入	11,390,223					11,390,223
日帰り温泉	2,495,984					2,495,984
売店収入	817,626					817,626
娯楽会議室	8,183					8,183
その他	474,235					474,235
食事収入計	15,853,124	0	0	0	0	15,853,124
宿泊者食事収入	12,260,570					12,260,570
喫茶レストラン	191,775					191,775
宴会	2,087,171					2,087,171
飲物収入	1,313,608					1,313,608
スポーツ収入計		2,470,635	37,945	131,545	0	2,640,125
キャンプ場		2,468,908				2,468,908
プール				131,545		131,545
その他		1,727	37,945			39,672
						0
施設管理収入計	11,393,632	0	501,816	650,000	2,984,995	15,530,443
管理料	11,393,632		501,816	650,000		12,545,448
まにわくん業務					2,984,995	2,984,995
雑収入計	0	0	0	0	0	0
その他						0
合計	42,433,007	2,470,635	539,761	781,545	2,984,995	49,209,943

営業費用						税抜 単位:円
区分	高原荘	キャンプ	スポーツ	プール	まにわくん	合計
商品仕入費	326,745	22,795				349,540
食材仕入費	3,472,120					3,472,120
飲物材料費	618,538					618,538
仕出し仕入						0
棚卸	△ 93,828					△ 93,828
営業直接費	4,323,575	22,795	0	0	0	4,346,370
従業員給与	10,565,369	1,406,221	261,633	212,897	781,600	13,227,720
派遣労務費	800,000					800,000
販売員旅費	0					0
広告宣伝費	10,817					10,817
販売促進費	771,441					771,441
企画外注費	65,355					65,355
幹旋手数料	759,328	147,445				906,773
役員報酬	332,496					332,496
従業員賞与	0					0
法定福利費	1,123,063		△ 3,369			1,119,694
厚生費	71,869					71,869
退職掛金	73,334					73,334
減価償却費	181,387					181,387
リース料	661,819					661,819
地代家賃	0					0
修繕費	390,300	72,000				462,300
事務備品	109,192					109,192
通信交通費	245,678				2,390	248,068
水道光熱費	5,797,901	79,877	119,208	225,496		6,222,482
租税公課	52,697					52,697
寄付金	0				76,810	76,810
保険料	146,690				31,600	178,290
備品消耗品	997,883	52,148	59,779	134,910		1,244,720
管理諸費	4,942,503	1,564		193,000		5,137,067
燃料費	4,945,121	59,899	8,579		194,500	5,208,099
ランドリー料	777,900					777,900
支払手数料、貸倒償却	522,595					522,595
雑費	451,572				5,100	456,672
雑損失、繰延資産	50,886					50,886
営業費用計	34,847,196	1,819,154	445,830	766,303	1,092,000	38,970,483
合計	39,170,771	1,841,949	445,830	766,303	1,092,000	43,316,853

売上総利益						単位:円
区分	高原荘	キャンプ	スポーツ	プール	まにわくん	合計
合計	3,262,236	628,686	93,931	15,242	1,892,995	5,893,090

2025年度営業報告

真庭市蒜山快湯館

管理業務利用人数

単位:人

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
市内利用計	25,230	25,500	21,555	△ 3,675
市内大人	9,513	9,700	8,248	△ 1,265
市内小人	1,148	1,200	1,055	△ 93
市内回数 大人	13,994	14,000	11,927	△ 2,067
市内回数 小学生	575	600	325	△ 250
市外利用計	36,441	36,470	29,762	△ 6,679
市外大人	8,366	8,500	7,377	△ 989
市外小人	994	1,000	794	△ 200
市外回数 大人	4,762	4,750	4,282	△ 480
市外回数 小学生	125	120	52	△ 73
外割大人	17,307	17,300	15,380	△ 1,927
外割小人	4,887	4,800	1,877	△ 3,010
その他計	3,567	3,800	2,408	△ 1,159
サービス券	3,567	3,800	2,408	△ 1,159
合計	65,238	65,770	53,725	△ 11,513

自主事業利用人数

単位:人

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
売店	14,127	14,000	13,720	△ 407
レンタル	1,061	1,000	1,430	369
ほのかマッサージ	474	500	192	△ 282
合計	15,662	15,500	15,342	△ 320

営業収益

税抜

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
市内利用収入計	7,699,578	8,250,000	7,308,733	△ 390,845
市内大人	3,189,691	3,500,000	2,784,725	△ 404,966
市内小人	221,255	250,000	209,800	△ 11,455
市内回数 大人	4,288,632	4,500,000	4,314,208	25,576
市外利用収入計	17,350,171	17,420,000	15,627,399	△ 1,722,772
市外大人	5,513,066	5,500,000	4,940,027	△ 573,039
市外小人	375,555	370,000	293,300	△ 82,255
市外回数 大人	1,796,091	1,800,000	1,714,727	△ 81,364
外割大人	9,056,936	9,100,000	8,127,704	△ 929,232
外割小人	608,523	650,000	551,641	△ 56,882
その他	3,606,173	4,026,981	2,882,134	△ 724,039
売店	3,079,192	3,500,000	2,535,280	△ 543,912
レンタル	254,254	254,254	255,945	1,691
ほのかマッサージ	272,727	272,727	90,909	△ 181,818
指定管理料	317,277	317,277	567,277	250,000
管理料	317,277	317,277	567,277	250,000
雑収入	1,985,235	2,000,000	1,850,522	△ 134,713
手数料	598,025	600,000	500,174	△ 97,851
その他	1,387,210	1,400,000	1,350,348	△ 36,862
合計	30,958,434	32,014,258	28,236,065	△ 2,722,369

営業費用

税抜

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
商品仕入費	1,718,352	1,400,000	1,431,488	△ 286,864
食材仕入費				0
飲物材料費				0
仕出し仕入				0
棚卸	△ 261,554		△ 746,029	△ 484,475
営業直接費	1,456,798	1,400,000	685,459	△ 771,339
従業員給与	9,244,506	8,500,000	7,374,375	△ 1,870,131
派遣労務費	1,341,845	1,200,000	1,113,048	△ 228,797
販売員旅費	0		0	0
広告宣伝費	23,846	40,000	16,818	△ 7,028
販売促進費	49,937	30,000	92,000	42,063
企画外注費	0		0	0
幹旋手数料	0		0	0
役員報酬	339,996	340,000	332,496	△ 7,500
従業員賞与	300,000	0	0	△ 300,000
法定福利費	875,457	800,000	1,031,840	156,383
厚生費	145,984	100,000	3,711	△ 142,273
退職掛金	60,000	60,000	58,333	△ 1,667
減価償却費	75,000	150,000	1,437	△ 73,563
リース料	1,051,710	800,000	676,196	△ 375,514
地代家賃	0		0	0
修繕費	0		327,120	327,120
事務備品	118,474	100,000	131,356	12,882
通信交通費	177,708	130,000	116,154	△ 61,554
水道光熱費	5,225,688	5,000,000	5,103,778	△ 121,910
租税公課	3,016	5,000	30,488	27,472
寄付金	0	0	0	0
保険料	44,710	45,000	95,977	51,267
備品消耗品	1,467,293	1,000,000	1,262,380	△ 204,913
管理諸費	5,866,080	5,000,000	6,286,461	420,381
燃料費	8,252,170	7,000,000	8,039,887	△ 212,283
支払手数料、貸倒償却	143,137	0	139,747	△ 3,390
貸倒償却		0	1,675,018	1,675,018
雑費	352,083	300,000	254,284	△ 97,799
雑損失、繰延資産	142,784	0	65,746	△ 77,038
営業費用計	35,301,424	30,600,000	34,228,650	△ 1,072,774
合計	36,758,222	32,000,000	34,914,109	△ 1,844,113

売上総利益

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
合計	△ 5,799,788	14,258	△ 6,678,044	△ 878,256

人件費

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
従業員給与	9,244,506	8,500,000	7,374,375	△ 1,870,131
従業員賞与	300,000	0	0	△ 300,000
退職掛金	60,000	60,000	58,333	△ 1,667
法定福利厚生費	875,457	800,000	1,031,840	156,383
派遣労務費	1,341,845	1,200,000	1,113,048	△ 228,797
合計	11,821,808	10,560,000	9,577,596	△ 2,244,212

2025年度営業報告

蒜山高原サイクリングターミナル

利用人員

単位:人

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
貸自転車	77	100	16	△ 61
和食旭	26,199	30,000	15,114	△ 11,085
合計	26,276	30,100	15,130	△ 11,146

営業収益

税抜

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
サイクル計	592,188	595,460	755,642	163,454
貸自転車	46,728	50,000	10,182	△ 36,546
和食旭家賃	545,460	545,460	545,460	0
指定管理料			200,000	200,000
雑収計	0	0	8,482	8,482
自販機手数料	0	0	0	0
その他	0	0	8,482	8,482
合計	592,188	595,460	764,124	171,936

営業費用

税抜 単位:円

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
商品仕入費	0	0	0	0
食材仕入費	0	0	0	0
飲物材料費	0	0	0	0
仕出し仕入	0	0	0	0
棚卸	0	0	0	0
営業直接費	0	0	0	0
従業員給与	240,000	240,000	0	△ 240,000
派遣労務費	0	0	0	0
販売員旅費	0	0	0	0
広告宣伝費	0	0	0	0
販売促進費	0	0	0	0
企画外注費	0	0	0	0
斡旋手数料	0	0	0	0
役員報酬	0	0	0	0
従業員賞与	0	0	0	0
法定福利費	0	28,000	0	0
厚生費	0	0	0	0
退職掛金	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0
リース料	0	0	0	0
地代家賃	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0
事務備品	0	0	0	0
通信交通費	0	0	0	0
水道光熱費	0	0	0	0
租税公課	0	0	10,048	10,048
寄付金	0	0	0	0
保険料	135,466	150,000	124,763	△ 10,703
備品消耗品	4,101	20,000	0	△ 4,101
管理諸費	100,500	100,000	60,000	△ 40,500
燃料費	0	0	0	0
納付金	0	0	0	0
現金過不足	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0
雑損失、繰延資産	0	0	0	0
営業費用計	480,067	538,000	194,811	△ 285,256
合計	480,067	538,000	194,811	△ 285,256

売上総利益

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
合計	112,121	57,460	569,313	457,192

人件費

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
従業員給与	240,000	240,000	0	△ 240,000
従業員賞与	0	0	0	0
退職掛金	0	0	0	0
法定福利厚生費	0	28,000	0	0
派遣労務費	0	0	0	0
合計	240,000	268,000	0	△ 240,000

2025年度営業報告

蒜山高原スポーツ公園

スポーツ公園利用人数

及びB&G海洋センター

管理業務

単位:人

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
テニス	354	300	169	△ 185
グラウンド	1,223	1,200	349	△ 874
体育館	1,155	1,200	1,066	△ 89
野球場	250	300	0	△ 250
サッカー	1,357	1,400	1,673	316
グラウンドゴルフ	822	1,500	640	△ 182
合計	5,161	5,900	3,897	△ 1,264

自主事業

単位:人

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
ゴルフ練習場	676	700	682	6
レンタル用具	1,240	1,200	148	△ 1,092
合計	1,916	1,900	830	△ 1,086

スポーツ公園収益

税抜

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
スポーツ収益計	565,343	605,000	502,162	△ 63,181
テニス	117,172	70,000	30,182	△ 86,990
グラウンド	44,972	50,000	44,282	△ 690
体育館	152,327	150,000	195,480	43,153
野球場	11,136	25,000	0	△ 11,136
サッカー	56,127	60,000	87,245	31,118
グラウンドゴルフ	183,609	250,000	144,973	△ 38,636
その他収入計	2,510,501	2,750,000	2,237,090	△ 273,411
ゴルフ練習場	2,243,636	2,500,000	2,106,363	△ 137,273
レンタル用具	266,865	250,000	130,727	△ 136,138
指定管理料	3,973,632	3,973,632	3,273,632	△ 700,000
指定管理料	3,973,632	3,973,632	3,273,632	△ 700,000
雑収入	130,994	150,000	98,626	△ 32,368
手数料	130,994	150,000	98,626	△ 32,368
その他				
合計	7,180,470	7,478,632	6,111,510	△ 1,068,960

営業費用

税抜

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
商品仕入費	0	0	0	0
食材仕入費	0	0	0	0
飲物材料費	0	0	0	0
仕出し仕入	0	0	0	0
棚卸	△ 657,000	0	445,440	1,102,440
営業直接費	△ 657,000	0	445,440	1,102,440
従業員給与	3,002,242	2,800,000	2,188,271	△ 813,971
派遣労務費	284,904	250,000	192,687	△ 92,217
販売員旅費	75,898	80,000	29,793	△ 46,105
広告宣伝費	0	0	4,636	4,636
販売促進費	282,000	0	0	△ 282,000
企画外注費	0	0	0	0
幹旋手数料	0	0	0	0
役員報酬	0	0	0	0
従業員賞与	10,000	0	0	△ 10,000
法定福利費	△ 3,745	400,000	57,221	60,966
厚生費	0	0	0	0
退職掛金	0	0	0	0
減価償却費	75,000	100,000	37,879	△ 37,121
リース料	23,500	50,000	161,113	137,613
地代家賃	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0
事務備品	0	0	0	0
通信交通費	62,231	70,000	61,967	△ 264
水道光熱費	1,349,659	1,500,000	1,238,148	△ 111,511
租税公課	16,000	15,000	7,827	△ 8,173
寄付金	0	0	0	0
保険料	17,540	100,000	67,977	50,437
備品消耗品	737,139	500,000	83,460	△ 653,679
管理諸費	838,255	900,000	1,046,250	207,995
燃料費	184,346	300,000	280,054	95,708
貸倒償却	7,726	0	10,144	2,418
現金過不足	0	0	0	0
雑費	66,448	100,000	63,182	△ 3,266
支払手数料	△ 499	0	1,200	1,699
営業費用計	7,028,644	7,165,000	5,531,809	△ 1,496,835
合計	6,371,644	7,165,000	5,977,249	△ 394,395

売上総利益

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
合計	808,826	313,632	134,261	△ 674,565

人件費

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
従業員給与	3,002,242	2,800,000	2,188,271	△ 813,971
従業員賞与	10,000	0	0	△ 10,000
退職掛金	0	0	0	0
法定福利厚生費	△ 3,745	400,000	57,221	60,966
派遣労務費	284,904	250,000	192,687	△ 92,217
合計	3,293,401	3,450,000	2,438,179	△ 855,222

2025年度営業報告

蒜山高原自然広場

利用人員

単位:人

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
管理業務 計	6,294	7,120	5,422	△ 872
ドッグラン	103	100	40	△ 63
BBQ	11	20	49	38
芝生広場	6,180	7,000	5,183	△ 997
その他	0	0	150	150
自主事業 計	1,113	1,000	622	△ 491
売店	1,113	1,000	622	△ 491
				0
				0
合計	7,407	8,120	6,044	△ 1,363

営業収益

税抜

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
管理業務 計	53,864	100,000	68,409	14,545
ドッグラン	44,318	50,000	36,591	△ 7,727
BBQ	9,546	50,000	27,273	17,727
その他	0	0	4,545	4,545
				0
自主事業 計	701,233	700,000	216,102	△ 485,131
売店	701,233	700,000	170,756	△ 530,477
食事	0	0	12,619	12,619
その他	0	0	32,727	32,727
その他 計	1,370,905	1,370,905	1,620,905	250,000
指定管理料	1,370,905	1,370,905	1,620,905	250,000
委託管理料	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	2,126,002	2,170,905	1,905,416	△ 220,586

営業費用

税抜

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
商品仕入費	240,869	200,000	54,372	△ 186,497
食材仕入費	0	0	0	0
飲物材料費	0	0	0	0
仕出し仕入	0	0	0	0
棚卸	12,286	0	3,960	△ 8,326
営業直接費	253,155	200,000	58,332	△ 194,823
従業員給与	1,426,244	700,000	815,975	△ 610,269
派遣労務費	0	0	0	0
販売員旅費	0	0	0	0
広告宣伝費	0	0	0	0
販売促進費	0	0	0	0
企画外注費	0	0	0	0
斡旋手数料	0	0	0	0
役員報酬	0	0	0	0
従業員賞与	0	0	0	0
法定福利費	0	126,000	0	0
厚生費	0	0	0	0
退職掛金	0	0	0	0
減価償却費	0	0	391,500	391,500
リース料	49,560	50,000	43,560	△ 6,000
地代家賃	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0
事務備品	50,829	10,000	0	△ 50,829
通信交通費	0	50,000	93,637	93,637
水道光熱費	673,541	600,000	351,066	△ 322,475
租税公課	0	0	0	0
寄付金	0	0	0	0
保険料	0	10,000	48,396	48,396
備品消耗品	204,924	150,000	7,540	△ 197,384
管理諸費	38,622	150,000	28,270	△ 10,352
燃料費	47,781	50,000	0	△ 47,781
納付金	0	0	0	0
現金過不足	0	0	0	0
雑費	0	30,000	0	0
雑損失、繰延資産	3,259	0	8,709	5,450
営業費用計	2,494,760	1,926,000	1,788,653	△ 706,107
合計	2,747,915	2,126,000	1,846,985	△ 900,930

売上総利益

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
合計	△ 621,913	44,905	58,431	13,526

人件費

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
従業員給与	1,426,244	700,000	815,975	△ 610,269
従業員賞与	0	0	0	0
退職掛金	0	0	0	0
法定福利厚生費	0	126,000	0	0
派遣労務費	0	0	0	0
合計	1,426,244	826,000	815,975	△ 610,269

2025年度営業報告

道の駅蒜山高原 ホテル蒜山ヒルズ

利用人員

単位:人

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
ヒルズ計	6,585	5,250	4,823	△ 1,762
宿泊人員	4,517	4,000	3,268	△ 1,249
(宿泊利用率)%	22.1%	19.0%	16.0%	-6.1%
休憩人員	273	250	62	△ 211
昼食人員	694	0	0	△ 694
日帰り入浴	1,101	1,000	1,493	392
喫茶人員				0
客室販売数	1,970	1,600	1,413	△ 557
(客室稼働率)%	38.5%	31.3%	27.6%	-10.9%

道の駅	44,019	49,350	32,489	△ 11,530
サイクリング	1,129	1,150	836	△ 293
売店	19,400	23,200	6,727	△ 12,673
喫茶	3,648		0	△ 3,648
ベーカリー	19,842	25,000	24,926	5,084

(売店・ベーカリーはレジの打込販売数で人数カウント)

営業収益

税抜

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
フロント収入計	32,854,337	27,650,000	24,692,147	△ 8,162,190
室料収入	29,899,151	24,500,000	20,943,478	△ 8,955,673
日帰り入浴	429,711	450,000	646,654	216,943
売店収入	2,341,936	2,500,000	1,423,895	△ 918,041
娯楽会議室	8,637	0	0	△ 8,637
その他	174,902	200,000	1,678,120	1,503,218
食事収入計	23,029,841	19,600,000	18,083,469	△ 4,946,372
宿泊者食事収入	18,080,676	16,000,000	14,486,244	△ 3,594,432
レストラン	1,403,989	0	0	△ 1,403,989
宴会	1,177,790	1,200,000	693,188	△ 484,602
飲物収入	2,367,386	2,400,000	2,904,037	536,651
喫茶	0		0	0
道の駅の収入計	32,888,846	35,900,000	38,684,975	5,796,129
サイクリング	805,136	900,000	583,000	△ 222,136
売店	3,758,123	0	0	△ 3,758,123
喫茶飲料	1,198,027	0	0	△ 1,198,027
その他	0	0	500	500
ベーカリー収入	27,127,560	35,000,000	38,101,475	10,973,915
施設管理収入計	3,999,992	3,999,996	3,999,992	0
管理料	3,999,992	3,999,996	3,999,992	0
雑収入計	375,455	0	0	△ 375,455
その他			0	0
合計	93,148,471	87,149,996	85,460,583	△ 7,687,888

*別表2 部門別収支資料参照

営業費用

税抜

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
商品仕入費	4,443,304	1,300,000	1,960,516	△ 2,482,788
食材仕入費	18,764,788	15,000,000	14,454,500	△ 4,310,288
飲物材料費	2,469,262	1,570,000	1,347,580	△ 1,121,682
仕出し仕入				
棚卸	△ 527,010		1,684,542	2,211,552
営業直接費	25,150,344	17,870,000	19,447,138	△ 5,703,206
従業員給与	40,273,832	22,700,000	26,316,638	△ 13,957,194
派遣労務費	1,976,000	1,800,000	3,628,391	1,652,391
販売員旅費	446,289	15,000	49,627	△ 396,662
広告宣伝費	133,253	150,000	28,747	△ 104,506
販売促進費	3,683,916	1,400,000	2,573,670	△ 1,110,246
企画外注費	0	0	55,636	55,636
幹旋手数料	2,563,854	1,850,000	2,094,590	△ 469,264
役員報酬	340,009	340,000	332,508	△ 7,501
従業員賞与	1,341,000	0	0	△ 1,341,000
法定福利費	3,642,790	2,630,000	3,291,199	△ 351,591
厚生費	287,015	300,000	21,000	△ 266,015
退職掛金	120,000	120,000	168,333	48,333
減価償却費	10,670,897	10,500,000	10,478,583	△ 192,314
リース料	1,668,247	1,600,000	1,335,926	△ 332,321
地代家賃	617,919	0	185,455	△ 432,464
修繕費	0	50,000	430,680	430,680
事務備品	282,901	215,000	248,158	△ 34,743
通信交通費	500,501	350,000	508,389	7,888
水道光熱費	7,079,186	5,600,000	6,270,243	△ 808,943
租税公課	23,868	20,000	947,460	923,592
寄付金	3,000	10,000	0	△ 3,000
保険料	258,680	380,000	119,247	△ 139,433
備品消耗品	4,257,345	2,730,000	1,970,895	△ 2,286,450
管理諸費	7,355,640	5,850,000	5,991,761	△ 1,363,879
燃料費	6,335,897	5,300,000	4,768,622	△ 1,567,275
ランドリー料	1,759,260	1,500,000	1,244,129	△ 515,131
支払い手数料、貸倒償却	8,558,914	3,500,000	4,179,878	△ 4,379,036
雑費	527,610	300,000	306,716	△ 220,894
雑損失、繰延資産	1,445,823	69,996	2,129,046	683,223
営業費用計	106,153,646	69,279,996	79,675,527	△ 26,478,119
合計	131,303,990	87,149,996	99,122,665	△ 32,181,325

売上総利益

税抜き

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
合計	△ 38,155,519	0	△ 13,662,082	24,493,437

人件費

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対昨年増減
従業員給与	40,273,832	22,700,000	26,316,638	△ 13,957,194
従業員賞与	1,341,000	0	0	△ 1,341,000
退職掛金	120,000	120,000	168,333	48,333
法定福利費	3,642,790	2,630,000	3,291,199	△ 351,591
派遣労務費	1,976,000	1,800,000	3,628,391	1,652,391
合計	47,353,622	27,250,000	33,404,561	△ 13,949,061

【ヒルズ部門】 別表2

営業収益		税抜				単位:円
区分	ヒルズ	サイクル	道の駅	ベーカリー	牧場公園	合計
フロント収入計	24,692,147	0	0	0	0	24,692,147
室料収入	20,943,478					20,943,478
日帰り入浴	646,654					646,654
売店収入	1,423,895					1,423,895
娯楽会議室						0
その他	1,678,120					1,678,120
食事収入計	18,083,469	0	0	0	0	18,083,469
宿泊者食事収入	14,486,244					14,486,244
レストラン						0
宴会	693,188					693,188
飲物収入	2,904,037					2,904,037
喫茶						0
道の駅の収入計	0	583,000	0	38,101,975	0	38,684,975
サイクリング		583,000				583,000
売店						0
喫茶飲料						0
その他				500		500
ベーカリー収入				38,101,475		38,101,475
施設管理収入計	0	672,723	1,500,000	0	1,827,269	3,999,992
管理料		672,723	1,500,000		1,827,269	3,999,992
雑収入計						0
その他						
合計	42,775,616	1,255,723	1,500,000	38,101,975	1,827,269	85,460,583

営業費用		税抜				単位:円
区分	ヒルズ	サイクル	道の駅	ベーカリー	牧場公園	合計
商品仕入費	671,576			1,288,940		1,960,516
食材仕入費	3,559,171			10,895,329		14,454,500
飲物材料費	1,252,112			95,468		1,347,580
仕出し仕入						0
棚卸	1,031,488		△ 3,299	656,353		1,684,542
営業直接費	6,514,347	0	△ 3,299	12,936,090	0	19,447,138
従業員給与	10,209,627	1,047,775		13,433,173	1,626,063	26,316,638
派遣労務費	1,826,316			1,802,075		3,628,391
販売員旅費				49,627		49,627
広告宣伝費	21,182			7,565		28,747
販売促進費	2,548,819			24,851		2,573,670
企画外注費				55,636		55,636
回転手数料	2,094,590					2,094,590
役員報酬	239,172			93,336		332,508
従業員賞与						0
法定福利費	1,232,292			2,058,907		3,291,199
厚生費	5,400			15,600		21,000
退職掛金	45,000			123,333		168,333
減価償却費	639,542			9,839,041		10,478,583
リース料	943,015		15,120	377,791		1,335,926
地代家賃				185,455		185,455
修繕費	336,810	88,170			5,700	430,680
事務備品	152,440			95,718		248,158
通信交通費	388,791		5,691	113,907		508,389
水道光熱費	4,655,151		166,338	1,448,754		6,270,243
租税公課	61,640			885,820		947,460
寄付金						0
保険料	72,877		5,000	41,370		119,247
備品消耗品	656,402	24,039	66,620	1,177,501	46,333	1,970,895
管理諸費	4,295,160		1,206,318	490,283		5,991,761
燃料費	3,496,427		10,138	1,211,041	51,016	4,768,622
ランドリー料	1,231,479			12,650		1,244,129
支払い手数料、貸倒償却	1,790,222		1,274	2,388,382		4,179,878
雑費	232,203			72,513	2,000	306,716
雑損失、繰延資産、支払利息	369,848			1,759,198		2,129,046
営業費用計	37,544,405	1,159,984	1,476,499	37,763,527	1,731,112	79,675,527
合計	44,058,752	1,159,984	1,473,200	50,699,617	1,731,112	99,122,665

売上総利益		単位:円			
区分	ヒルズ	サイクル	道の駅	ベーカリー	合計
合計	△ 1,283,136	95,739	26,800	△ 12,597,642	△ 13,662,082

2026年度事業計画

株式会社アストピア蒜山

基本方針

当年度は赤字が継続している快湯館の経営改善を最優先課題とし、運営の効率化やサービス内容の見直し、利用促進の強化などを行い、収益力の向上に取り組んでまいります。

安定した運営となっている津黒高原荘については、立地環境や設備などの施設の特性を生かした販売施策を強化し更なる収益基盤の強化に努めてまいります。

ヒルズエリアについては、維持管理をしっかり行い施設や公園の美化に努めてまいります。

これら3施設の施策を柱として、全社的な業務改善・人材配置の最適化・組織運営体制の強化に取り組みます。厳しい経営環境の中ではありますが、持続可能な事業運営の実現に向けて財務体質の改善と組織の再建を進め経営の安定化と向上を目指してまいります。

収益実績

部門	2024実績	2025実績	2026計画
津黒高原施設	51,840,798	49,209,943	48,424,488
快湯館・サイクリング	31,550,622	29,000,189	33,772,147
スポーツ公園	7,180,470	6,111,510	6,262,407
自然広場	2,126,002	1,905,416	1,491,089
ヒルズ施設	93,148,471	85,460,583	3,618,182
その他	0	217	0
小計	185,846,363	171,687,858	93,568,313
ペーカリー			10,203,028
合計	185,846,363	171,687,858	103,771,341

費用実績

部門	2024実績	2025実績	2026計画
津黒高原施設	43,685,924	43,316,853	42,619,855
快湯館・サイクリング	37,238,289	35,108,920	33,419,594
スポーツ公園	6,371,644	5,977,249	6,235,257
自然広場	2,747,915	1,846,985	1,480,371
ヒルズ施設	131,303,990	99,122,665	4,102,865
その他	0	3	0
小計	221,347,762	185,372,672	87,857,942
ペーカリー			9,741,964
合計	221,347,762	185,372,672	97,599,906

利益実績

部門	2024実績	2025実績	2026計画
津黒高原施設	8,154,874	5,893,090	5,804,633
快湯館・サイクリング	△ 5,687,667	△ 6,108,731	352,553
スポーツ公園	808,826	134,261	27,150
自然広場	△ 621,913	58,431	10,718
ヒルズ施設	△ 38,155,519	△ 13,662,082	△ 484,683
その他	0	214	0
小計	△ 35,501,399	△ 13,684,817	5,710,371
ペーカリー			461,064
合計	△ 35,501,399	△ 13,684,817	6,171,435

2026年度予算

蒜山なごみの温泉津黒高原荘

利用人員

単位:人

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対前年増減
なごみの温泉計	12,073	13,053	12,400	△ 653
宿泊人員	3,014	3,227	3,300	73
(宿泊利用率)%	9.0%	9.7%	10.0%	0.3%
休憩人員	515	431	500	69
昼食人員	1,634	1,467	1,600	133
日帰り温泉	6,910	7,928	7,000	△ 928
スポーツ計	2,901	2,268	2,440	172
テニス	36	4	40	36
グラウンド	94	92	100	8
キャンプ	2,144	1,742	1,800	58
プール	627	430	500	70
客室販売数	1,267	1,181	1,210	29
(客室稼働率)%	11.9%	11.1%	11.4%	0.3%

営業収益

税抜

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対前年増減
フロント収入計	16,223,120	15,186,251	15,257,286	71,035
室料収入	12,459,830	11,390,223	11,953,758	563,535
日帰り温泉	2,849,303	2,495,984	2,368,528	△ 127,456
売店収入	741,697	817,626	825,000	7,374
娯楽会議室	13,644	8,183	0	△ 8,183
その他	158,646	474,235	110,000	△ 364,235
食事収入計	16,827,998	15,853,124	14,822,746	△ 1,030,378
宿泊者食事収入	13,118,135	12,260,570	10,988,013	△ 1,272,557
喫茶レストラン	185,002	191,775	500,000	308,225
宴会	2,077,785	2,087,171	2,000,000	△ 87,171
飲物収入	1,447,076	1,313,608	1,334,733	21,125
スポーツ収入計	2,971,892	2,640,125	2,896,000	255,875
キャンプ場	2,616,836	2,468,908	2,700,000	231,092
プール	210,709	131,545	180,000	48,455
テニス、グラウンド	144,347	39,672	16,000	△ 23,672
施設管理収入計	15,817,788	15,530,443	15,383,177	△ 147,266
管理料	12,545,448	12,545,448	12,398,182	△ 147,266
まにわくん業務	3,272,340	2,984,995	2,984,995	0
雑収入計	0	0	65,279	65,279
その他	0	0	65,279	65,279
合計	51,840,798	49,209,943	48,424,488	△ 785,455

営業費用

税抜

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対前年増減
商品仕入費	495,282	349,540	486,795	137,255
食材仕入費	3,481,702	3,472,120	3,800,782	328,662
飲物材料費	569,501	618,538	700,000	81,462
仕出し仕入			0	0
棚卸	△ 82,514	△ 93,828	0	93,828
営業直接費	4,463,971	4,346,370	4,987,577	641,207
従業員給与	12,705,778	13,227,720	12,592,855	△ 634,865
派遣労務費	288,000	800,000	600,000	△ 200,000
販売員旅費	6,182	0	0	0
広告宣伝費	15,764	10,817	10,817	0
販売促進費	854,752	771,441	908,970	137,529
企画外注費	176,944	65,355	65,355	0
回転手数料	928,192	906,773	869,313	△ 37,460
役員報酬	339,995	332,496	332,500	4
従業員賞与	490,000	0	0	0
法定福利費	1,146,761	1,119,694	1,058,942	△ 60,752
厚生費	168,338	71,869	8,869	△ 63,000
退職掛金	120,000	73,334	60,000	△ 13,334
減価償却費	187,230	181,387	128,400	△ 52,987
リース料	531,200	661,819	448,269	△ 213,550
地代家賃	0	0	0	0
修繕費	0	462,300	353,564	△ 108,736
事務備品	144,410	109,192	151,955	42,763
通信交通費	257,655	248,068	245,002	△ 3,066
水道光熱費	6,149,856	6,222,482	5,395,717	△ 826,765
租税公課	49,216	52,697	27,989	△ 24,708
寄付金	84,930	76,810	0	△ 76,810
保険料	149,470	178,290	223,500	45,210
備品消耗品	1,359,683	1,244,720	1,595,321	350,601
管理諸費	5,325,844	5,137,067	5,656,113	519,046
燃料費	5,859,923	5,208,099	5,039,908	△ 168,191
ランドリー料	764,550	777,900	863,850	85,950
支払手数料、貸倒償却	476,132	522,595	591,689	69,094
雑費	484,725	456,672	403,380	△ 53,292
雑損失、繰延資産	156,423	50,886	0	△ 50,886
営業費用計	39,221,953	38,970,483	37,632,278	△ 1,338,205
合計	43,685,924	43,316,853	42,619,855	△ 696,998

売上総利益

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対前年増減
合計	8,154,874	5,893,090	5,804,633	△ 88,457

人件費

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対前年増減
従業員給与	12,705,778	13,227,720	12,592,855	△ 634,865
従業員賞与	490,000	0	0	0
退職掛金	120,000	73,334	60,000	△ 13,334
法定福利厚生費	1,146,761	1,119,694	1,058,942	△ 60,752
派遣労務費	288,000	800,000	600,000	△ 200,000
合計	14,750,539	15,220,748	14,311,797	△ 908,951

【津黒高原部門】 別表1

営業収益						税抜 単位:円
区分	高原荘	キャンプ	スポーツ	プール	真庭市コミュニティバス	合計
フロント収入計	15,257,286	0	0	0	0	15,257,286
室料収入	11,953,758					11,953,758
日帰り温泉	2,368,528					2,368,528
売店収入	825,000					825,000
娯楽会議室						0
その他	110,000					110,000
食事収入計	14,822,746	0	0	0		14,822,746
宿泊者食事収入	10,988,013					10,988,013
喫茶レストラン	500,000					500,000
宴会	2,000,000					2,000,000
飲物収入	1,334,733					1,334,733
スポーツ収入計	0	2,700,000	16,000	180,000		2,896,000
キャンプ場		2,700,000				2,700,000
プール				180,000		180,000
テニス・グラウンド			16,000			16,000
						0
施設管理収入計	11,379,091	0	479,091	540,000	2,984,995	15,383,177
管理料	11,379,091		479,091	540,000		12,398,182
まにわくん業務					2,984,995	2,984,995
雑収入計	65,279	0	0	0		65,279
その他	65,279					65,279
合計	41,524,402	2,700,000	495,091	720,000	2,984,995	48,424,488

営業費用						税抜 単位:円
区分	高原荘	キャンプ	スポーツ	プール	真庭市コミュニティバス	合計
商品仕入費	464,000	22,795				486,795
食材仕入費	3,800,782					3,800,782
飲物材料費	700,000					700,000
仕出し仕入						0
棚卸						0
営業直接費	4,964,782	22,795	0	0	0	4,987,577
従業員給与	9,500,000	1,750,000	313,275	160,000	869,580	12,592,855
派遣労務費	600,000					600,000
販売員旅費	0					0
広告宣伝費	10,817					10,817
販売促進費	908,970					908,970
企画外注費	65,355					65,355
斡旋手数料	734,313	135,000				869,313
役員報酬	332,500					332,500
従業員賞与	0					0
法定福利費	1,058,942					1,058,942
厚生費	8,869					8,869
退職掛金	60,000					60,000
減価償却費	128,400					128,400
リース料	448,269					448,269
地代家賃						0
修繕費	300,000	53,564				353,564
事務備品	151,955					151,955
通信交通費	245,002					245,002
水道光熱費	5,030,929	92,000	56,068	216,720		5,395,717
租税公課	27,989					27,989
寄付金	0					0
保険料	146,690				76,810	223,500
備品消耗品	940,411	450,000	70,000	134,910		1,595,321
管理諸費	5,463,113			193,000		5,656,113
燃料費	4,650,766	180,000	18,000		191,142	5,039,908
ランドリー料	863,850					863,850
支払手数料、支払利息割引料	591,689					591,689
雑費	403,380					403,380
雑損失、繰延資産						0
営業費用計	32,672,209	2,660,564	457,343	704,630	1,137,532	37,632,278
合計	37,636,991	2,683,359	457,343	704,630	1,137,532	42,619,855

売上総利益						単位:円
区分	高原荘	キャンプ	スポーツ	プール	真庭市コミュニティバス	合計
合計	3,887,411	16,641	37,748	15,370	1,847,463	5,804,633

2026年度予算

真庭市蒜山快湯館

管理業務利用人数 税抜き

単位:人

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対昨年増減
市内利用計	25,230	21,555	20,980	△ 575
市内大人	9,513	8,248	8,100	△ 148
市内小人	1,148	1,055	1,000	△ 55
市内回数 大人	13,994	11,927	11,550	△ 377
市内回数 小学生	575	325	330	5
市外利用計	36,441	29,762	28,605	△ 1,157
市外大人	8,366	7,377	7,100	△ 277
市外小人	994	794	750	△ 44
市外回数 大人	4,762	4,282	3,850	△ 432
市外回数 小学生	125	52	55	3
外割大人	17,307	15,380	15,100	△ 280
外割小人	4,887	1,877	1,750	△ 127
その他計	3,567	2,408	2,400	△ 8
サービス券	3,567	2,408	2,400	△ 8
合計	65,238	53,725	51,985	△ 1,740

自主事業利用人数

単位:人

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対昨年増減
売店	14,127	13,720	14,000	280
レンタル	1,061	1,430	1,500	70
ほのかマッサージ	474	192		△ 192
合計	15,662	15,342	15,500	158

営業収益

税抜

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対昨年増減
市内利用収入計	7,699,578	7,308,733	8,749,999	1,441,266
市内大人	3,189,691	2,784,725	3,681,819	897,094
市内小人	221,255	209,800	227,272	17,472
市内回数券	4,288,632	4,314,208	4,840,908	526,700
市外利用収入計	17,350,171	15,627,399	19,301,234	3,673,835
市外大人	5,513,066	4,940,027	6,454,545	1,514,518
市外小人	375,555	293,300	340,909	47,609
市外回数券	1,796,091	1,714,727	1,912,144	197,417
外割大人	9,056,936	8,127,704	10,020,909	1,893,205
外割小人	608,523	551,641	572,727	21,086
その他	3,606,173	2,882,134	2,990,914	108,780
売店	3,079,192	2,535,280	2,640,914	105,634
レンタル	254,254	255,945	350,000	94,055
ほのかマッサージ	272,727	90,909		△ 90,909
指定管理料	317,277	567,277	1,360,000	792,723
管理料	317,277	567,277	1,360,000	792,723
雑収入	1,985,235	1,850,522	850,000	△ 1,000,522
手数料	598,025	500,174	850,000	349,826
その他	1,387,210	1,350,348	0	△ 1,350,348
合計	30,958,434	28,236,065	33,252,147	5,016,082

営業費用

税抜

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対昨年増減
商品仕入費	1,718,352	1,431,488	184,050	△ 1,247,438
食材仕入費	0			0
飲物材料費	0			0
仕出し仕入	0			0
棚卸	△ 261,554	△ 746,029		746,029
営業直接費	1,456,798	685,459	184,050	△ 501,409
従業員給与	9,244,506	7,374,375	7,900,000	525,625
派遣労務費	1,341,845	1,113,048	600,000	△ 513,048
販売員旅費	0	0	0	0
広告宣伝費	23,846	16,818	15,000	△ 1,818
販売促進費	49,937	92,000	50,000	△ 42,000
企画外注費	0	0	0	0
幹旋手数料	0	0	0	0
役員報酬	339,996	332,496	332,496	0
従業員賞与	300,000	0	0	0
法定福利費	875,457	1,031,840	720,000	△ 311,840
厚生費	145,984	3,711	8,711	5,000
退職掛金	60,000	58,333	60,000	1,667
減価償却費	75,000	1,437	24,800	23,363
リース料	1,051,710	676,196	936,306	260,110
地代家賃	0	0	0	0
修繕費	0	327,120	300,000	△ 27,120
事務備品	118,474	131,356	129,732	△ 1,624
通信交通費	177,708	116,154	139,998	23,844
水道光熱費	5,225,688	5,103,778	4,907,704	△ 196,074
租税公課	3,016	30,488	14,457	△ 16,031
寄付金	0	0	0	0
保険料	44,710	95,977	95,977	0
備品消耗品	1,467,293	1,262,380	1,033,274	△ 229,106
管理諸費	5,866,080	6,286,461	5,111,934	△ 1,174,527
燃料費	8,252,170	8,039,887	8,300,000	260,113
支払手数料	143,137	139,747	104,103	△ 35,644
貸倒償却		1,675,018	1,675,017	△ 1
雑費、支払利息割引料	352,083	254,284	261,272	6,988
雑損失、繰延資産	142,784	65,746		△ 65,746
営業費用計	35,301,424	34,228,650	32,720,781	△ 1,507,869
合計	36,758,222	34,914,109	32,904,831	△ 2,009,278

売上総利益

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対昨年増減
合計	△ 5,799,788	△ 6,678,044	347,316	7,025,360

人件費

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対昨年増減
従業員給与	9,244,506	7,374,375	7,900,000	525,625
従業員賞与	300,000	0	0	0
退職掛金	60,000	58,333	60,000	1,667
法定福利厚生費	875,457	1,031,840	720,000	△ 311,840
派遣労務費	1,341,845	1,113,048	600,000	△ 513,048
合計	11,821,808	9,577,596	9,280,000	△ 297,596

2026年度予算

蒜山高原サイクリングターミナル

利用人員

単位:人

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対昨年増減
貸自転車	77	16	200	184
和食旭	26,199	15,114		△ 15,114
				0
合計	26,276	15,130	200	△ 14,930

営業収益

税抜

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対昨年増減
サイクル計	592,188	755,642	520,000	△ 235,642
貸自転車料	46,728	10,182	400,000	389,818
和食旭家賃	545,460	545,460	0	△ 545,460
指定管理料		200,000	120,000	△ 80,000
雑収計	0	8,482	0	△ 8,482
自販機手数料他	0	0	0	0
その他	0	8,482	0	△ 8,482
				0
合計	592,188	764,124	520,000	△ 244,124

営業費用

税抜

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対昨年増減
商品仕入費	0	0	0	0
食材仕入費	0	0	0	0
飲物材料費	0	0	0	0
仕出し仕入	0	0	0	0
棚卸	0	0	0	0
営業直接費	0	0	0	0
従業員給与	240,000	0	320,000	320,000
派遣労務費	0	0	0	0
販売員旅費	0	0	0	0
広告宣伝費	0	0	0	0
販売促進費	0	0	0	0
企画外注費	0	0	0	0
幹旋手数料	0	0	0	0
役員報酬	0	0	0	0
従業員賞与	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0
厚生費	0	0	0	0
退職掛金	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0
リース料	0	0	0	0
地代家賃	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0
事務備品	0	0	0	0
通信交通費	0	0	0	0
水道光熱費	0	0	0	0
租税公課	0	10,048	0	△ 10,048
寄付金	0	0	0	0
保険料	135,466	124,763	124,763	0
備品消耗品	4,101	0	40,000	40,000
管理諸費	100,500	60,000	30,000	△ 30,000
燃料費	0	0	0	0
納付金	0	0	0	0
現金過不足	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0
雑損失、繰延資産	0	0	0	0
営業費用計	480,067	194,811	514,763	319,952
合計	480,067	194,811	514,763	319,952

売上総利益

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対昨年増減
合計	112,121	569,313	5,237	△ 564,076

人件費

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対昨年増減
従業員給与	240,000	0	320,000	80,000
従業員賞与	0	0	0	0
退職掛金	0	0	0	0
法定福利厚生費	0	0	0	0
派遣労務費	0	0	0	0
合計	240,000	0	320,000	80,000

2026年度予算

蒜山高原スポーツ公園

スポーツ公園利用人数

及びB&G海洋センター

管理業務

単位:人

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対昨年増減
テニス	354	169	150	△ 19
グラウンド	1,223	349	350	1
体育館	1,155	1,066	1,050	△ 16
野球場	250	0	100	100
サッカー	1,357	1,673	1,650	△ 23
グラウンドゴルフ	822	640	700	60
合計	5,161	3,897	4,000	103

自主事業

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対昨年増減
ゴルフ練習場	676	682	700	18
レンタル用具	1,240	148	150	2
合計	1,916	830	850	20

スポーツ公園収入

税抜

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対昨年増減
スポーツ収益計	565,343	502,162	590,000	87,838
テニス	117,172	30,182	30,000	△ 182
グラウンド	44,972	44,282	50,000	5,718
体育館	152,327	195,480	200,000	4,520
野球場	11,136	0	30,000	30,000
サッカー	56,127	87,245	130,000	42,755
グラウンドゴルフ	183,609	144,973	150,000	5,027
その他収入計	2,510,501	2,237,090	2,380,589	143,499
ゴルフ練習場	2,243,636	2,106,363	2,272,110	165,747
レンタル用具	266,865	130,727	108,479	△ 22,248
指定管理料	3,973,632	3,273,632	3,191,818	△ 81,814
指定管理料	3,973,632	3,273,632	3,191,818	△ 81,814
雑収入	130,994	98,626	100,000	1,374
手数料	130,994	98,626	100,000	1,374
合計	7,180,470	6,111,510	6,262,407	150,897

営業費用

税抜

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対昨年増減
商品仕入費	0	0	0	0
食材仕入費	0	0	0	0
飲物材料費	0	0	0	0
仕出し仕入	0	0	0	0
棚卸	△ 657,000	445,440	0	△ 445,440
営業直接費	△ 657,000	445,440	0	△ 445,440
従業員給与	3,002,242	2,188,271	3,301,818	1,113,547
派遣労務費	284,904	192,687	150,000	△ 42,687
販売員旅費	75,898	29,793	0	△ 29,793
広告宣伝費	0	4,636	0	△ 4,636
販売促進費	282,000		0	0
企画外注費	0		0	0
幹旋手数料	0		0	0
役員報酬	0		0	0
従業員賞与	10,000		0	0
法定福利費	△ 3,745	57,221	50,000	△ 7,221
厚生費	0		0	0
退職掛金	0		0	0
減価償却費	75,000	37,879	37,200	△ 679
リース料	23,500	161,113	497,600	336,487
地代家賃	0		0	0
修繕費	0		0	0
事務備品	0		0	0
通信交通費	62,231	61,967	61,497	△ 470
水道光熱費	1,349,659	1,238,148	1,158,315	△ 79,833
租税公課	16,000	7,827	7,368	△ 459
寄付金	0			0
保険料	17,540	67,977	67,977	0
備品消耗品	737,139	83,460	50,000	△ 33,460
管理諸費	838,255	1,046,250	598,900	△ 447,350
燃料費	184,346	280,054	200,000	△ 80,054
ランドリー料	7,726			0
貸倒償却	0	10,144		△ 10,144
雑費	66,448	63,182	54,582	△ 8,600
支払手数料	△ 499	1,200		△ 1,200
営業費用計	7,028,644	5,531,809	6,235,257	703,448
合計	6,371,644	5,977,249	6,235,257	258,008

売上総利益

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対昨年増減
合計	808,826	134,261	27,150	△ 107,111

人件費

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対昨年増減
従業員給与	3,002,242	2,188,271	3,301,818	299,576
従業員賞与	10,000	0	0	△ 10,000
退職掛金	0	0	0	0
法定福利厚生費	△ 3,745	57,221	50,000	53,745
派遣労務費	284,904	192,687	150,000	△ 134,904
合計	3,293,401	2,438,179	3,501,818	208,417

2026年度予算

蒜山高原自然広場

利用人員

単位:人

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対昨年増減
管理業務 計	6,294	5,422	6,250	828
ドッグラン	103	40	40	0
BBQ	11	49	60	11
芝生広場	6,180	5,183	6,000	817
その他	0	150	150	0
自主事業 計	1,113	622	0	△ 622
売店	1,113	622		△ 622
				0
				0
合計	7,407	6,044	6,250	206

営業収益

税抜

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対昨年増減
管理業務 計	53,864	68,409	45,000	△ 23,409
ドッグラン	44,318	36,591	15,000	△ 21,591
BBQ	9,546	27,273	30,000	2,727
その他	0	4,545		△ 4,545
自主事業 計	701,233	216,102	456,089	239,987
売店	701,233	170,756		△ 170,756
食事		12,619		△ 12,619
その他		32,727	456,089	423,362
その他 計	1,370,905	1,620,905	990,000	△ 630,905
指定管理料	1,370,905	1,620,905	990,000	△ 630,905
委託管理料				0
その他				0
合計	2,126,002	1,905,416	1,491,089	△ 414,327

営業費用

税抜

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対昨年増減
商品仕入費	240,869	54,372		△ 54,372
食材仕入費	0	0		0
飲物材料費	0	0		0
仕出し仕入	0	0		0
棚卸	12,286	3,960		△ 3,960
営業直接費	253,155	58,332	0	△ 58,332
従業員給与	1,426,244	815,975	500,000	△ 315,975
派遣労務費	0			0
販売員旅費	0			0
広告宣伝費	0			0
販売促進費	0			0
企画外注費	0			0
幹旋手数料	0			0
役員報酬	0			0
従業員賞与	0			0
法定福利費	0			0
厚生費	0			0
退職掛金	0			0
減価償却費	0	391,500	391,500	0
リース料	49,560	43,560	43,560	0
地代家賃	0			0
修繕費	0			0
事務備品	50,829			0
通信交通費	0	93,637	93,992	355
水道光熱費	673,541	351,066	358,490	7,424
租税公課	0			0
寄付金	0			0
保険料	0	48,396	48,396	0
備品消耗品	204,924	7,540	7,540	0
管理諸費	38,622	28,270	36,893	8,623
燃料費	47,781			0
ランドリー料	0			0
現金過不足	0			0
雑費	0			0
雑損失、繰延資産	3,259	8,709		△ 8,709
営業費用計	2,494,760	1,788,653	1,480,371	△ 308,282
合計	2,747,915	1,846,985	1,480,371	△ 366,614

売上総利益

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対昨年増減
合計	△ 621,913	58,431	10,718	△ 47,713

人件費

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対昨年増減
従業員給与	1,426,244	815,975	500,000	△ 315,975
従業員賞与	0	0	0	0
退職掛金	0	0	0	0
法定福利厚生費	0	0	0	0
派遣労務費	0	0	0	0
合計	1,426,244	815,975	500,000	△ 315,975

2026年度予算

道の駅蒜山高原 ホテル蒜山ヒルズ

利用人員

単位:人

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対昨年増減
ヒルズ計	6,585	4,823		△ 4,823
宿泊人員	4,517	3,268		△ 3,268
(宿泊利用率)%	22.1%	16.0%		-16.0%
休憩人員	273	62		△ 62
昼食人員	694	0		0
日帰り入浴	1,101	1,493		△ 1,493
客室販売数	1,970	1,413		△ 1,413
(客室稼働率)%	38.5%	27.6%		-27.6%

道の駅	24,177	32,489		△ 32,489
サイクルサイクリング	1,129	836		△ 836
売店	19,400	6,727		△ 6,727
喫茶	3,648	0		0
ベーカリー	19,842	24,926		△ 24,926

営業収益

税抜

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対前年増減
フロント収入計	32,854,337	24,692,147	0	△ 24,692,147
室料収入	29,899,151	20,943,478	0	△ 20,943,478
日帰り入浴	429,711	646,654	0	△ 646,654
売店収入	2,341,936	1,423,895	0	△ 1,423,895
娯楽会議室	8,637	0	0	0
その他	174,902	1,678,120	0	△ 1,678,120
雑収入、利息				0
食事収入計	23,029,841	18,083,469	0	△ 18,083,469
宿泊者食事収入	18,080,676	14,486,244	0	△ 14,486,244
喫茶レストラン	1,403,989	0	0	0
宴会	1,177,790	693,188	0	△ 693,188
飲物収入	2,367,386	2,904,037	0	△ 2,904,037
喫茶	0	0	0	0
道の駅の収入計	32,888,846	38,684,975	0	△ 38,684,975
サイクリング	805,136	583,000	0	△ 583,000
売店	3,758,123	0	0	0
喫茶飲料	1,198,027	0	0	0
その他	0	500	0	△ 500
ベーカリー収入	27,127,560	38,101,475	0	△ 38,101,475
施設管理収入計	3,999,992	3,999,992	3,618,182	△ 381,810
管理料	3,999,992	3,999,992	3,618,182	△ 381,810
雑収入計	375,455	0	0	0
その他				0
合計	93,148,471	85,460,583	3,618,182	△ 81,842,401

営業費用

税抜

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対前年増減
商品仕入費	4,443,304	1,960,516	0	△ 1,960,516
食材仕入費	18,764,788	14,454,500	0	△ 14,454,500
飲物材料費	2,469,262	1,347,580	0	△ 1,347,580
				0
棚卸	△ 527,010	1,684,542		△ 1,684,542
営業直接費	25,150,344	19,447,138	0	△ 19,447,138
従業員給与	40,273,832	26,316,638	1,451,389	△ 24,865,249
派遣労務費	1,976,000	3,628,391	0	△ 3,628,391
販売員旅費	446,289	49,627	0	△ 49,627
広告宣伝費	133,253	28,747	0	△ 28,747
販売促進費	3,683,916	2,573,670	0	△ 2,573,670
企画外注費	0	55,636	0	△ 55,636
幹旋手数料	2,563,854	2,094,590	0	△ 2,094,590
役員報酬	340,009	332,508	0	△ 332,508
従業員賞与	1,341,000	0	0	0
法定福利費	3,642,790	3,291,199	0	△ 3,291,199
厚生費	287,015	21,000	0	△ 21,000
退職掛金	120,000	168,333	0	△ 168,333
減価償却費	10,670,897	10,478,583	486,420	△ 9,992,163
リース料	1,668,247	1,335,926	426,328	△ 909,598
地代家賃	617,919	185,455	0	△ 185,455
修繕費	0	430,680	0	△ 430,680
事務備品	282,901	248,158	0	△ 248,158
通信交通費	500,501	508,389	0	△ 508,389
水道光熱費	7,079,186	6,270,243	436,364	△ 5,833,879
租税公課	23,868	947,460	0	△ 947,460
寄付金	3,000	0	0	0
保険料	258,680	119,247	0	△ 119,247
備品消耗品	4,257,345	1,970,895	64,545	△ 1,906,350
管理諸費	7,355,640	5,991,761	1,196,910	△ 4,794,851
燃料費	6,335,897	4,768,622	40,909	△ 4,727,713
ランドリー料	1,759,260	1,244,129	0	△ 1,244,129
支払い手数料、貸倒償却	8,558,914	4,179,878	0	△ 4,179,878
雑費	527,610	306,716	0	△ 306,716
雑損失、繰延資産	1,445,823	2,129,046	0	△ 2,129,046
営業費用計	106,153,646	79,675,527	4,102,865	△ 75,572,662
合計	131,303,990	99,122,665	4,102,865	△ 95,019,800

売上総利益

税抜き

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対前年増減
合計	△ 38,155,519	△ 13,662,082	△ 484,683	13,177,399

人件費

税抜き

単位:円

区分	2024年度実績	2025年度実績	2026年度予算	対前年増減
従業員給与	40,273,832	26,316,638	1,451,389	△ 24,865,249
従業員賞与	1,341,000	0	0	0
退職掛金	120,000	168,333	0	△ 168,333
法定福利厚生費	3,642,790	3,291,199	0	△ 3,291,199
派遣労務費	1,976,000	3,628,391	0	△ 3,628,391
合計	47,353,622	33,404,561	1,451,389	△ 31,953,172

ヒルズ部門 別表2

営業収益		税抜		単位:円
区分	道の駅	牧場公園	ヒルズ	合計
施設管理収入計	2,727,273	890,909	0	3,618,182
管理料	2,727,273	890,909		3,618,182
雑収入計	0	0	0	0
その他				
合計	2,727,273	890,909	0	3,618,182

営業費用				単位:円
区分	道の駅	牧場公園	ヒルズ	合計
商品仕入費				0
食材仕入費				0
飲物材料費				0
				0
棚卸				0
営業直接費	0	0	0	0
従業員給与	673,207	778,182		1,451,389
派遣労務費				0
販売員旅費				0
広告宣伝費				0
販売促進費				0
企画外注費				0
斡旋手数料				0
役員報酬				0
従業員賞与				0
法定福利費				0
厚生費				0
退職掛金				0
減価償却費			486,420	486,420
リース料	272,728		153,600	426,328
地代家賃				0
修繕費				0
事務備品				0
通信交通費				0
水道光熱費	436,364			436,364
租税公課				0
寄付金				0
保険料				0
備品消耗品	32,727	31,818		64,545
管理諸費	1,196,910			1,196,910
燃料費		40,909		40,909
ランドリー料				0
支払い手数料、貸倒償却				0
雑費				0
雑損失、繰延資産				0
営業費用計	2,611,936	850,909	640,020	4,102,865
合計	2,611,936	850,909	640,020	4,102,865

売上総利益		税抜き	単位:円	
区分	道の駅	牧場公園		合計
合計	115,337	40,000	△ 640,020	△ 484,683

2026年度予算

ベーカリー

営業収益

税抜

単位:円

区分	2026年度予算			対前年増減
収入計	7,679,428	0	0	0
共益費	436,364			
元利償還金	7,243,064			0
雑収入計	2,523,600		0	0
その他	2,523,600			0
合計	10,203,028	0	0	0

営業費用

税抜

単位:円

区分	2026年度予算			対前年増減
商品仕入費	0			0
食材仕入費	0			0
飲物材料費	0			0
				0
棚卸				0
営業直接費	0	0	0	0
従業員給与	0			0
派遣労務費	0			0
販売員旅費	0			0
広告宣伝費	0			0
販売促進費	0			0
企画外注費	0			0
幹旋手数料	0			0
役員報酬	0			0
従業員賞与	0			0
法定福利費	0			0
厚生費	0			0
退職掛金	0			0
減価償却費	6,782,000			0
リース料	0			0
地代家賃	0			0
修繕費	0			0
事務備品	0			0
通信交通費	0			0
水道光熱費	1,800,000			0
租税公課	723,600			0
寄付金	0			0
保険料	0			0
備品消耗品	0			0
管理諸費	436,364			0
燃料費	0			0
ランドリー料	0			0
支払い手数料、貸倒償却	0			0
雑費	0			0
雑損失、繰延資産				0
営業費用計	9,741,964	0	0	0
合計	9,741,964	0	0	0

売上総利益

税抜き

単位:円

区分	2026年度予算			対前年増減
合計	461,064	0	0	0

第 3 0 期

決 算 報 告 書

令和 7 年 4 月 1 日から

令和 8 年 3 月 3 1 日まで

△

株 式 会 社 ア ス ト ピ ア 蒜 山
(法人番号:7260001022861)

貸借対照表

代表者 原田 喜市

令和 8 年 3 月 31 日現在

(単位: 円)

科 目	前 期 額	構成比	決 算 額	構成比
(資 産 の 部)				
I 流動資産	(41,035,787)	(35.4)	(31,202,148)	(32.4)
現金及び預金	19,032,404	16.4	17,655,846	18.3
棚卸資産	3,816,943	3.3	2,526,338	2.6
前払費用	667,709	0.6	81,617	0.1
未収入金	17,516,523	15.1	12,606,733	13.1
未収還付法人税等	2,208	0.0	6,632	0.0
貸倒引当金	△ 0	0.0	△ 1,675,018	1.7
II 固定資産	(73,457,424)	(63.4)	(64,342,527)	(66.7)
有形固定資産	(66,855,833)	(57.7)	(59,094,754)	(61.3)
建物	37,481,712	32.4	35,163,426	36.5
機械及び装置	91,695	0.1	80,876	0.1
建物付属設備	14,767,786	12.7	14,562,375	15.1
車両運搬具	3	0.0	3	0.0
工具、器具及び備品	11,016,070	9.5	5,607,373	5.8
少額一括償却資産	340,424	0.3	953,213	1.0
リース資産	3,158,143	2.7	2,727,488	2.8
無形固定資産	(4,908,734)	(4.2)	(3,750,734)	(3.9)
営業用ソフトウェア	4,333,334	3.7	3,333,334	3.5
電話加入権	357,000	0.3	199,000	0.2
	218,400	0.2	218,400	0.2
投資その他の資産	(1,692,857)	(1.5)	(1,497,039)	(1.6)
長期前払費用	1,674,607	1.4	1,464,569	1.5
リサイクル預託金	18,250	0.0	32,470	0.0
III 繰延資産	(1,334,135)	(1.2)	(906,569)	(0.9)
繰開業費	1,334,135	1.2	906,569	0.9
資産の部合計	115,827,346	100.0	96,451,244	100.0

(単位: 円)

科 目	前 期 額	構成比	決 算 額	構成比
(負 債 の 部)				
I 流 動 負 債 債 金	(15,867,628)	(13.7)	(14,774,843)	(15.3)
買 掛 金	1,680,892	1.5	882,281	0.9
未 払 金	13,284,228	11.5	7,871,235	8.2
未 払 法 人 税 等 金	182,500	0.2	182,500	0.2
未 払 消 費 税	0	0.0	5,521,100	5.7
未 払 受 取 金	44,000	0.0	0	0.0
前 預 金	676,008	0.6	317,727	0.3
II 固 定 負 債 債 金	(117,606,000)	(101.5)	(113,190,000)	(117.4)
長 期 借 入 金	113,376,000	97.9	109,524,000	113.6
長 期 未 払 金	4,230,000	3.7	3,666,000	3.8
負 債 の 部 合 計	133,473,628	115.2	127,964,843	132.7
(純 資 産 の 部)				
I 株 主 資 本 金	(-17,646,282)	(-)	(-31,513,599)	(-)
1. 資 本	62,650,000	54.1	62,650,000	65.0
2. 資 本 剰 余 金	(0)	(0.0)	(0)	(0.0)
3. 利 益 剰 余 金	(△ 80,296,282)	(69.3)	(△ 94,163,599)	(97.6)
(I) そ の 他 利 益 剰 余 金	(-80,296,282)	(-)	(-94,163,599)	(-)
繰 越 利 益 剰 余 金	△ 80,296,282	69.3	△ 94,163,599	97.6
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	(0)	(0.0)	(0)	(0.0)
III 新 株 予 約 権	(0)	(0.0)	(0)	(0.0)
純 資 産 の 部 合 計	-17,646,282	-	-31,513,599	-
負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	115,827,346	100.0	96,451,244	100.0

損 益 計 算 書

令和 7 年 4 月 1 日から
令和 8 年 3 月 31 日まで

(単位: 円)

科 目	前 期 額	構成比	決 算 額	構成比
I 売上高	(183,405,325)	(100.0)	(168,859,725)	(100.0)
娯楽施設売上高	36,538,227	19.9	33,151,989	19.6
商品売上高	34,359,114	18.7	42,979,072	25.5
宿泊施設売上高	86,827,755	47.3	66,990,955	39.7
施設管理等受託収入	25,680,229	14.0	25,737,709	15.2
II 売上原価	(30,667,268)	(16.7)	(24,982,739)	(14.8)
期首棚卸高	2,301,151	1.3	3,816,943	2.3
商品仕入高	6,897,807	3.8	3,795,916	2.2
食材仕入高	22,246,490	12.1	17,926,620	10.6
食飲材料仕入高	3,038,763	1.7	1,966,118	1.2
期末棚卸高	34,484,211	18.8	27,505,597	16.3
売上総利益	3,816,943	2.1	2,522,858	1.5
	152,738,057	83.3	143,876,986	85.2
III 販売費及び一般管理費	(189,014,037)	(103.1)	(158,135,546)	(93.6)
販売費及び一般管理費	189,014,037	103.1	158,135,546	93.6
営業損失	36,275,980	19.8	14,258,560	8.4
IV 営業外収益	(2,470,442)	(1.3)	(2,828,133)	(1.7)
受取利息	14,454	0.0	44,212	0.0
雑収入	2,455,988	1.3	2,783,921	1.6
V 営業外費用	(1,748,290)	(1.0)	(2,254,387)	(1.3)
支払利息	1,242,091	0.7	1,709,993	1.0
繰延資産償却	376,389	0.2	427,566	0.3
雑損	129,810	0.1	116,828	0.1
経常損失	35,553,828	19.4	13,684,814	8.1
VI 特別利益	(31,818)	(0.0)	(0)	(0.0)
固定資産売却益	31,818	0.0	0	0.0
VII 特別損失	(0)	(0.0)	(3)	(0.0)
固定資産売却除却損	0	0.0	3	0.0
税引前当期純損失	35,522,010	19.4	13,684,817	8.1
法人税、住民税及び事業税	182,500	0.1	182,500	0.1
当期純損失	35,704,510	19.5	13,867,317	8.2

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 7 年 4 月 1 日から
令和 8 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	前 期 額	売上高比率	決 算 額	売上高比率
従業員給与費	66,892,602	36.5	49,922,979	29.6
派遣従業員旅費	3,890,749	2.1	5,734,126	3.4
従業員旅費	528,369	0.3	79,420	0.0
従業員旅費	172,863	0.1	61,018	0.0
従業員旅費	4,870,605	2.7	3,437,111	2.0
従業員旅費	176,944	0.1	120,991	0.1
従業員旅費	3,492,046	1.9	3,001,363	1.8
従業員旅費	1,020,000	0.6	997,500	0.6
従業員旅費	2,141,000	1.2	0	0.0
従業員旅費	5,661,263	3.1	5,499,954	3.3
従業員旅費	601,337	0.3	96,580	0.1
従業員旅費	300,000	0.2	300,000	0.2
従業員旅費	11,089,460	6.0	11,090,786	6.6
従業員旅費	3,324,217	1.8	2,878,614	1.7
従業員旅費	617,919	0.3	185,455	0.1
従業員旅費	545,785	0.3	488,706	0.3
従業員旅費	1,048,924	0.6	1,028,215	0.6
従業員旅費	20,477,930	11.2	19,185,717	11.4
従業員旅費	92,100	0.1	1,048,520	0.6
従業員旅費	6,000	0.0	0	0.0
従業員旅費	687,796	0.4	679,860	0.4
従業員旅費	8,030,485	4.4	4,600,595	2.7
従業員旅費	19,524,941	10.6	19,769,909	11.7
従業員旅費	20,680,117	11.3	18,296,662	10.8
従業員旅費	2,523,810	1.4	2,022,029	1.2
従業員旅費	9,162,925	5.0	4,843,420	2.9
従業員旅費	23,839	0.0	1,685,162	1.0
従業員旅費	1,430,011	0.8	1,080,854	0.6
合 計	189,014,037	103.1	158,135,546	93.6

棚卸資産の計算内訳

令和 8 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	前 期 額	売上高比率	決 算 額	売上高比率
商 成 果 品	121,177	0.1	101,456	0.1
育 成 果 品	0	0.0	3,480	0.0
貯 蔵 品	3,695,766	2.0	2,421,402	1.4
合 計	3,816,943	2.1	2,526,338	1.5

株主資本等変動計算書

令和 7 年 4 月 1日から
令和 8 年 3 月 31日まで

	前 期 額 (円)	決 算 額 (円)
I 株 主 資 本		
1. 資 本		
当期首残高	62,650,000	62,650,000
当期変動額	0	0
当期末残高	62,650,000	62,650,000
2. 利 益 剰 余 金		
(1) その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
当期首残高	-44,591,772	-80,296,282
当期変動額		
当期純損失	-35,704,510	-13,867,317
当期末残高	-80,296,282	-94,163,599
その他利益剰余金合計		
当期首残高	-44,591,772	-80,296,282
当期変動額		
当期純損失	-35,704,510	-13,867,317
当期末残高	-80,296,282	-94,163,599
株 主 資 本 合 計		
当期首残高	18,058,228	-17,646,282
当期変動額		
当期純損失	-35,704,510	-13,867,317
当期末残高	-17,646,282	-31,513,599
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等		
当期首残高	0	0
当期変動額	0	0
当期末残高	0	0
III 新 株 予 約 権		
当期首残高	0	0
当期変動額	0	0
当期末残高	0	0
純 資 産 の 部 合 計		
当期首残高	18,058,228	-17,646,282
当期変動額		
当期純損失	-35,704,510	-13,867,317
当期末残高	-17,646,282	-31,513,599

△

個 別 注 記 表

令和 7 年 4 月 1日から
令和 8 年 3 月 31日まで

Ⅰ. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却方法

(1)有形固定資産

定率法又は旧定率法を採用しております。

ただし、取得価額10万円以上20万円未満の資産については、3年均等償却を採用しております。

(2)リース資産

法人税法の規定に基づくリース期間定額法を採用しております。

(3)長期前払費用

期間均等償却を採用しております。

2. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

Ⅱ. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 24,285,351円

Ⅲ. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数 1,253株

Ⅳ. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、-25,150.51円であります。

2. 一株当たり当期純損失は、11,067.29円であります。

以 上

△

監 査 報 告 書

令和7年4月1日から令和8年3月31日までの第30期営業年度の
決算書及び付属明細書を監査いたしました結果、適正かつ正確であることを
認めます。

令和 8 年 6 月 23 日

株式会社 アストピア蒜山

監査役

伊藤 敦哉



監査役

赤木 真久



令和8年度

法人の経営状況を説明する書類

株式会社 グリーンピア蒜山

令和 8 年度
定時株主総会資料

於：ヒルゼン高原センター 会議室

株式会社グリーンピア蒜山

令和 8 年 度

定 時 株 主 総 会 次 第

日時 令和 8 年 6 月 6 日（土）午前 10 時 30 分
場所 ヒルゼン高原センター 会議室

1. 開 会

2. 社長挨拶

3. 議長選出

4. 会議の目的事項

第 1 号議案 令和 7 年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書承認の
件（令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで）

第 2 号議案 剰余金処分案承認の件

第 3 号議案 令和 8 年度事業計画並びに予算案承認の件

第 4 号議案 取締役の選任の件

5.その他

6.閉会

第1号議案 令和7年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書承認の件

令和7年度（第36期）事業報告

令和7年度の日本経済は、物価高、賃上げ、設備投資が景気を支えて、実質 GDP は、おおむね+1%の成長を維持した年でした。しかしながら、ウクライナ戦争の長期化に加えて6月13日から勃発したイラン戦争による原油高や円安による資源価格の高騰により、先行きについては依然として不透明な中で推移しました。

当社におきましては、蒜山高原エリアにおける観光振興と地域資源の活用を使命として観光需要への対応、広域観光との連携の推進、施設の保全、老朽設備の更新、商品開発、地域イベントの開催などを行ってまいりました。

このような外部環境のもと全体の売上高は、令和6年度 629,212 千円から令和7年度 656,977 千円と+27,765 千円(+4.41%)となりました。

施設別に見ますと、**道の駅風の家**は、高原野菜や加工品の販売が好調に推移して、昨年に引き続き野菜部門の売上が過去最高を更新し、令和6年度 292,315 千円から令和7年度 301,742 千円と+9,427 千円(+3.23%)となりました。

三木ヶ原ふるさと特産館は、仕入れ上昇に伴う食事メニューの価格改定により、令和6年度 109,023 千円から令和7年度 112,746 千円と+3,722 千円(+3.41%)となりました。

ひるぜんべアバレースキー場は、営業日数が前年 73 日から 56 日と短くなりましたが、12月27日からの比較的早期のオープンとなったことと、リフト料金の改定により、令和6年度 79,093 千円から令和7年度 88,286 千円と+9,193 千円(+11.62%)となりました。

蒜山ハーブガーデンハービルは、イベントを積極的に開催し、ショップや苗売り場の品ぞろえを充実させたことにより、令和6年度 77,606 千円から令和7年度 79,426 千円と+1,820 千円(+2.34%)となりました。

そばの館は、蒜山産の玄蕎麦が令和6年度 26.4 t から令和7年度 17.6 t と減収がありましたが、食事部門のメニュー価格改定や新メニューの販売により令和6年度 71,173 千円から令和7年度 74,775 千円と+3,601 千円(+5.06%)となりました。

その結果、令和7年度計画 636,100 千円に対し令和7年度実績 656,977 千円と+20,877 千円(+3.28%)となりました。当期純利益におきましては、令和7年度計画 15,532 千円に対し令和7年度実績 21,685 千円と+6,153 千円(+39.61%)となりました。前年度比較におきましては、営業利益においては、+8,278 千円（前年同期-4,420 千円）と+12,698 千円（-287.30%）となり、税引前当期純損益額は+27,046 千円（前年同期+11,240 千円）+15,806 千円（+140.62%）と前年実績を上回る決算となりました。

今後とも真庭市の地域資源を最大限に生かしながら、経済効果が全市に行き渡るように施設管理やサービスの向上、市内事業者との連携強化を推進していきます。

代表者 真田 善弘

(單位：円)

243

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで

商号 株式会社 グリーンピア蒜山

(単位：円)

科 目		金 額	
I	売上高 売上高 売上高 売上高 売上高	656,977,353 0	656,977,353 0
II	売上高 売上高 売上高 売上高 売上高	278,895,861 0	278,895,861 0
III	売上高 売上高 売上高 売上高 売上高	369,802,762	369,802,762
IV	売上高 売上高 売上高 売上高 売上高	363,813 6,000 400 16,635,957	363,813 6,000 400 16,635,957
V	売上高 売上高 売上高 売上高 売上高	0 0 1 6,189 492,039 50,097	0 0 1 6,189 492,039 50,097
VI	売上高 売上高 売上高 売上高 売上高	2,309,999 0	2,309,999 0
VII	売上高 売上高 売上高 売上高 売上高	0 0	0 0
	売上高 売上高 売上高 売上高 売上高	27,046,573 5,360,591	27,046,573 5,360,591
	売上高 売上高 売上高 売上高 売上高	21,685,982	21,685,982

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 7年 4月 1日から

令和 8年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
販 売 員 給 与	134,636,885
販 売 員 旅 費	51,930,662
販 告 員 宣 伝 費	2,309,244
販 告 器 包 装 費	1,499,519
荷 造 運 賃	0
支 払 手 数 料	100,804
賃 務 委 託 料	13,092,422
役 員 報 酬	2,392,564
従 業 員 賞 与	454,850
法 定 員 福 利 費	700,000
厚 生 費	0
退 職 共 済 掛 金	27,756,635
減 価 償 却 費	1,399,802
地 代 家 賃	7,226,000
修 繕 費	30,084,854
図 書 教 育 費	262,857
通 信 交 通 費	0
水 道 光 熱 費	8,152,302
租 税 公 課	302,470
寄 付 交 際 費	760,459
接 待 交 際 料	28,819,889
保 険 費	25,018,220
備 品 消 耗 品 費	146,000
会 議 費	401,316
車 両 関 係 費	744,210
環 境 衛 生 費	19,677,927
諸 費	171,098
貸 倒 債 費	5,150,658
雑 費	3,151,502
合 計	935,560
	0
	2,524,053
	369,802,762

棚 卸 資 産 の 計 算 内 訳

令和 8年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
商 品	16,540,900
製 品	0
半 製 品	0
原 材 料	8,156,977
仕 掛 品 (半 成 品)	0
貯 蔵 品	6,291,271
合 計	30,989,148

株主資本等変動計算書

商号 株式会社 グリーンピア蒜山

令和 7年 4月 1日から
令和 8年 3月31日まで

(単位: 円)

I 株 主 資 本

1. 資 本 金

当期首残高	36,250,000
当期変動額	0
当期末残高	36,250,000

2. 利 益 剰 余 金

(1) 利 益 準 備 金

当期首残高	3,081,250
当期変動額	
剰余金から準備金への振り替え	181,250
当期末残高	3,262,500

(2) そ の 他 利 益 剰 余 金

別 途 積 立 金

当期首残高	234,000,000
当期変動額	0
当期末残高	234,000,000

繰 越 利 益 剰 余 金

当期首残高	13,086,407
当期変動額	
剰余金から準備金への振り替え	-181,250
剰余金の配当	-1,812,500
当期純利益	21,685,982
当期末残高	32,778,639

そ の 他 利 益 剰 余 金 合 計

当期首残高	247,086,407
当期変動額	
剰余金から準備金への振り替え	-181,250
剰余金の配当	-1,812,500
当期純利益	21,685,982
当期末残高	266,778,639

株 主 資 本 合 計

当期首残高	286,417,657
当期変動額	
剰余金から準備金への振り替え	0
剰余金の配当	-1,812,500
当期純利益	21,685,982
当期末残高	306,291,139

II 評 価 ・ 換 算 差 額 等

当期首残高	0
当期変動額	0
当期末残高	0

III 新 株 予 約 権

当期首残高	0
当期変動額	0
当期末残高	0

純 資 産 の 部 合 計

当期首残高	286,417,657
当期変動額	
剰余金から準備金への振り替え	0
剰余金の配当	-1,812,500
当期純利益	21,685,982
当期末残高	306,291,139

個 別 注 記 表

令和 7年 4月 1日から

令和 8年 3月31日まで

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却方法

(1)有形固定資産

定率法又は旧定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物（附属設備を除く）については旧定額法、平成19年4月1日以後に取得した建物（附属設備を除く）については定額法、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

なお、取得価額10万円以上20万円未満の資産については、3年均等償却を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1)貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込額を計上しております。

4. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

III. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額

560,013,605円

IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数

725株

V. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、422,470.53円であります。

2. 一株当たり当期純利益は、29,911.69円であります。

以 上

貸借対照表

(単位 円)

資 産 の 部			
科 目	R6年度	R7年度	差 額
現金・預金	176,102,449	86,219,656	-89,882,793
売 掛 金	6,807,657	5,997,238	-810,419
棚卸 資産	30,122,549	30,989,148	866,599
未 収 金	734,745	1,552,710	817,965
未収還付法人税	0	0	0
立替金	936,480	912,879	-23,601
仮 払 金	0	0	0
貸倒引当金	-67,000	-61,000	6,000
流動資産計	214,636,880	125,610,631	-89,026,249
建 物	50,311,479	59,202,521	8,891,042
構 築 物	15,825,850	11,988,154	-3,837,696
機械装置	43,956,550	45,693,943	1,737,393
車両運搬具	221,975	12	-221,963
工具器具備品	8,724,401	7,849,883	-874,518
建物付属設備	0	0	0
その他の有形固定資産	943,865	1,489,244	545,379
電話加入権	377,832	377,832	0
土 地	1,773,855	1,773,855	0
預け金	40,000	40,000	0
出 資 金	20,000	20,000	0
投資有価証券	1,750,000	102,277,076	100,527,076
預託金	111,140	111,140	0
固定資産計	124,056,947	230,823,660	106,766,713
開 業 費			
協会加入金			
負担金	1,771,715	1,279,676	-492,039
ソフトウェア			0
繰延資産計	1,771,715	1,279,676	-492,039
資産の部合計	340,465,542	357,713,967	17,248,425
負 債 ・ 資 本 の 部			
買 掛 金	13,830,831	16,320,906	2,490,075
未 払 金	24,907,311	21,038,457	-3,868,854
未払法人税等	182,500	5,304,800	5,122,300
未払消費税等	11,894,100	5,869,300	-6,024,800
預 り 金	3,233,143	2,889,365	-343,778
仮受金	0	0	0
流動負債計	54,047,885	51,422,828	-2,625,057
長期借入金	0	0	0
負債の部合計	54,047,885	51,422,828	-2,625,057
資 本 金	36,250,000	36,250,000	0
別途積立金	234,000,000	234,000,000	0
利益準備金	3,081,250	3,262,500	181,250
繰越利益	13,086,407	32,778,639	19,692,232
当期純損益額			0
純資産の部合計	286,417,657	306,291,139	19,873,482
負債・純資産部の部合計	340,465,542	357,713,967	17,248,425

損 益 比 較 表

(単位 円)

	R6年実績	R7年実績	増減	販売管理費	R6年度実績	R7年度実績	増減
売上高	629,212,882	656,977,353	27,764,471	役員報酬	700,000	700,000	0
			0	給与	128,735,475	134,636,885	5,901,410
売上原価	274,586,460	278,895,861	4,309,401	賃金	50,776,741	51,930,662	1,153,921
			0	法定福利費	26,051,966	27,756,635	1,704,669
売上総利益	354,626,422	378,081,492	23,455,070	福利厚生費	1,198,924	1,399,802	200,878
			0	退職金共済	7,080,000	7,226,000	146,000
販売管理費	359,046,514	369,802,762	10,756,248	接待交際費	565,290	401,316	-163,974
			0	広告宣伝費	1,099,010	1,499,519	400,509
営業利益	-4,420,092	8,278,730	12,698,822	荷造運賃	126,222	100,804	-25,418
受取利息	277,558	363,813	86,255	通信費	706,907	760,459	53,552
貸倒引当金戻入益	0	6,000	6,000	支払手数料	12,077,100	13,092,422	1,015,322
受取配当金	400	400	0	業務委託費	701,800	454,850	-246,950
雑収入	15,916,618	16,635,957	719,339	消耗品費	18,474,866	19,677,927	1,203,061
営業外収益計	16,194,576	17,006,170	811,594	図書教育費	163,302	302,470	139,168
貸倒損失	0	6,189	6,189	旅費交通費	2,084,090	2,309,244	225,154
繰延資産償却	492,039	492,039	0	租税公課	25,344,884	25,018,220	-326,664
雑損失	42,014	50,097	8,083	諸会費	820,560	935,560	115,000
固定資産廃棄損	3	1	-2	減価償却費	29,506,994	30,084,854	577,860
営業外費用計	534,056	548,326	14,270	修繕費	9,388,772	8,152,302	-1,236,470
				損害保険料	466,830	744,210	277,380
経常利益	11,240,428	24,736,574	13,496,146	水道光熱費	30,594,091	28,819,889	-1,774,202
固定資産売却益	0	2,309,999	2,309,999	賃借料	2,392,564	2,392,564	0
特別利益	0	2,309,999	2,309,999	車両関係費	3,953,078	5,150,658	1,197,580
				環境衛生費	3,130,964	3,151,502	20,538
特別損失	0	0	0	リース料	127,690	262,857	135,167
				寄付金	151,000	146,000	-5,000
税引前当期純利益	11,240,428	27,046,573	15,806,145	会議費	17,036	171,098	154,062
				貸倒償却	25,000	0	-25,000
法人税等	225,070	5,360,591	5,135,521	雑費	2,585,358	2,524,053	-61,305
当期純利益	11,015,358	21,685,982	10,670,624	合 計	359,046,514	369,802,762	10,756,248

監査報告書

株式会社グリーンピア蒜山
代表取締役 長尾伸二 殿

私ども監査役は、令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までの第 36 期営業年度の株式会社グリーンピア蒜山の財務並びに業務の執行状況を監査の結果、会計書類、および帳簿は適法かつ正確に整理されており、会計法規に適合した良好な経理が執行されていると認めます。

令和 8 年 6 月 2 日

監査役 伊 藤 敦 哉



監査役 法 華 教 善



令和 7 年度役員名簿

役 職	氏 名
代表取締役	真田善弘（Bブロック選出委員）
取締役	宮永 優（Aブロック選出委員）
取締役	長尾伸二（Cブロック選出委員）
取締役	芦立欽次（Dブロック選出委員）
取締役	長恒 充（蒜山酪農農業協同組合）
監査役	伊藤敦哉（真庭市副市長）
監査役	法華教善（会計経験委員）
※取締役の任期は 2 年 監査役は 4 年となっております。	

第 2 号議案 剰余金処分案承認の件

剰余金の処分案としては、以下のとおりにしたいと存じます。

1. 期末配当金に関する事項

当社は、株主の皆様に対し、安定的かつ適正に利益を還元することを基本方針としております。各施設とも好調に推移して、燃料及び原材料の高騰による収益低下の影響はございますが、当期の期末配当につきましては、次のとおりといたしたいと存じます。

利益処分案

① 株主に対する配当の割当てに関する事項およびその総額

当社普通株式 1 株 50,000 円につき 2,500 円としたいと存じます。
なお、配当総額 1,812,500 円となります。

② 剰余金の効力が生じる日 令和 8 年 6 月 6 日

2. その他の配当金と剰余金の項目とその金額

期首繰越利益剰余金	13,086,407 円
別途積立金	0 円
配当金	-1,812,500 円
利益準備金	-181,250 円
令和 7 年度純利益	21,685,982 円
期末繰越利益剰余金	32,778,639 円

以上

第 3 号議案 令和 8 年度事業計画並びに予算案承認の件 基本的経営方針

◆三木ケ原ふるさと特産館 ウッドパオ

入館者数の推移は、6 年度 42,304 人から 7 年度 41,822 人-482 人（-1.13%）となりました。シーズン前半は梅雨らしくない晴天が続いたことにより多くの来客者がありました。特に 7 月は例年の 5 割増しの売上となりましたが、繁忙期の秋のシーズンは、週末と祝日の天候不良による来客者の減少で、前年まで続いていた売上げの増加とはなりませんでしたが、レストランメニューなどの値上げによる若干の増収となりました。

今年度も来館された方への感謝と関心を持ち、親切、親身を基本としてお客様から感じた事を、より良い接客に活かしていきます。部門別では、レストランカフェ部門は過去最高額を超えましたが、ショップ部門は 6 年度売上 23,236 千円から 7 年度売上 21,864 千円と-1,371 千円（-5.90%）となりました。

レンタサイクル部門

蒜山の自然を安全に楽しんで頂くため、故障などのトラブルが起きないように、こまめな点検整備を心がけていきます。大人普通自転車 9 台、子供普通自転車 5 台、子供マウンテンバイク 5 台、大人電動自転車 12 台、電動二人乗り 3 台、タンDEM（二人乗り自転車）2 台、ロードバイク 5 台で 41 台体制となり、自転車専門整備士による点検証明の TS マークの取得や貸自転車専用の賠償責任保険（賠償額 1 億円）に加入して営業していきます。

レストラン部門

近年のラム肉その他の食材費高騰対策として若干の値上げをしながらも、お求めやすい価格の維持、さらに店内処理による新鮮で上質なラム肉を多くのお客様に提供をしていきます。野外席では蒜山の美しい景色を楽しんで頂き、屋内席では蒜山で珍しい全テーブル無煙ロースターによる煙の少ない快適空間での心地良い食の時間を過ごして頂けるようにしていきます。

カフェ部門

ソフトクリーム・ジェラート部門では過去最高売上であった令和 7 年度をさらに更新できるよう今までの販売データやスタッフのアイデアを活かしながら魅力ある新メニューや季節ごとのフレーバーの提供をしていきます。

ショップ部門

近年継続して取り組んでいる主なテーマである「持ち帰り用の肉類の売上増」の為にレストランで提供しているラム肉や珍しい部位・ジビエの販売及びハーブソルトやタレ、調味料等をレストランでの試食としてジンギスカン料理とともに味わって頂くことで、商品に興味を持ってもらい販売につなげていきます。

◆道の駅「風の家」

入館者の推移は、6年度137,639人から7年度138,541人と+902人（+0.65%）となりました。年々物価高騰が続くなか、蒜山の野菜を買い求めに来るお客様が年々多くなり、ゴールデンウィーク・お盆・紅葉シーズンは例年以上の集客がありました。

3月1日から、出雲発、風の家経由、大阪行き往復定期運行バスが再開され蒜山に来られるお客様が増えました。マリオットホテル内の売店の運営などの相互協力を引き続きおこないます。ホームページ・インスタグラム、Xなどで野菜の出荷情報・お土産物の入荷情報やイベント情報を発信していきます。真庭市北玄関の施設としてお客様の受け入れ態勢を整えて魅力のあるお店作りをして、市内及び周辺施設のインフォメーションの役割を果たしていきます。

ショップ部門

6年度売上173,891千円から7年度売上178,701千円と+4,809千円（+2.77%）となりました。販売価格の高騰が収まらないのが懸念されますが、商品の構成の見直しポップの作成、陳列を変えたりするなど工夫をして売上アップを目指します。蒜山の名産の牛乳・ヨーグルトなどの乳製品・ジャージー肉・蒜山蕎麦・地元食材を使った魅力のある商品の販売、真庭市の商品及び岡山県内の6次化商品を販売していきます。

野菜部門

6年度75,122千円から7年度売上76,731千円と+1,609千円（+2.14%）となりました。野菜価格の高騰により、昨年に引き続き最高売上を更新しました。特に夏から秋にかけて「大根、とうもろこし、キャベツ、ぶどう」を買い求めに来られるお客様が多くなりました。お客様に野菜の調理の仕方や苗の育てかたが説明できるようにスタッフ全員スキルアップして、お客様に対応していきます。生産者組合と協力しながら新鮮で安心・安全な野菜を提供して、より多くのお客様に利用して頂ける直売所にしています。

また、手狭になってきた野菜販売施設ですが、屋根部の錆や壁の老朽化また、野生の動物の侵入を防ぐために、建替えの検討を進めていきます。

軽食部門

6年度売上24,346千円から7年度売上24,366千円と+20千円（+0.08%）となりました。原材料高騰のためメニュー価格を見直す時期がきています。値上げをして利用されるお客様が減らないよう工夫して美味しい物を提供できるお店にして売上アップをしていきます。現行のメニューの盛り付けやラーメンスープの味の味の見直し、野菜売り場から地元野菜を使い新しいメニューの提供が出来るようにしていきます。スタッフ全員が向上心をもって新しいことに取り組んでいきます。

◆味覚工房 そばの館

来店者は、6年度 51,481 人から7年度 53,682 人と+2,201 人（+4.27%）となりました。全体としては、6年度 71,173 千円から7年度 74,775 千円となり+3,602 千円（+5.06%）となりました。近年のペット同伴での来客用に、屋外席をより利用しやすいようにします。ペットご飯を併せて限定販売していきます。原材料の高騰が続いているので一部のメニュー、商品について価格改定をしていきます。期間限定メニューを提案してシーズンごとに飽きの来ないメニュー構成と基本の「挽きたて、打ちたて、ゆでたて」を守り親切丁寧な接客サービスと、いつ来ても美味しいと言われる蕎麦店を目指していきます。

■ひるぜん蕎麦振興部門

ひるぜん蕎麦生産組合では、作付け面積の減少と播種後の降雨被害の影響により、蒜山そばの生産量が6年 26.3 t から7年は 17.8 t と減収となりました。玄蕎麦販売につきましては、早々に完売いたしました。蒜山産そばの需要については好調なため、今後も新規の作付けを募集するように取組みます。農業政策の変更により転作田の水張問題が肥料散布でも交付金対象として認められるようになったため、生産者に周知をして漏れの無いように事務処理を進めていきます。

◆蒜山ハーブガーデンハービル

入場者数は、6年度 48,271 人から7年度 46,092 人と-2,179 人（-4.51%）となり、売上は6年度 77,606 千円から7年度 79,426 千円と+1,819 千円（+2.34%）となりました。

今年度、ハービル開園以来の、入園料の値上げを実施いたします。

（大人 300 円⇒400 円、中高生 200 円⇒300 円、障害者 100 円⇒200 円）

また、6年度 3,423 枚、出ていた年間パスポートは値上げの影響（500 円⇒1,000 円）により7年度 1,609 枚と半減いたしました。今年度は、一般販売チケットの値上がりもあり年間パスポートの付加価値も上がるのではと予想しております。リピーターの方はもちろん初めてのお客様にも満足していただけるサービスや空間の提供をしていきます。イベントやSNSを有効に活用し、積極的なPRと営業をしていきます。

ガーデン内の一部を歩きやすいように整備します。

カフェ部門

喫茶メニューの追加として、個包装のスイーツなどの気軽に手に取っていただける商品の販売をおこないます。また、食事、喫茶とも季節感を出し、お客様がより満足していただけるようなカフェメニューとサービスを提供します。

ショップ・工房部門

定番商品ではありますが改めてアロマ関連の商品に力を入れ、同時にスタッフの知識向上をはかります。その他、新商品の展開や店舗ディスプレイについても定期的に変えてみ

るなど工夫を積極的におこないながら売り上げアップを目指します。

工房では、予約不要で、いつ来園されてもクラフト体験ができるというハービルの強みを生かして案内と PR の仕方を工夫して利用人員アップを目指します。

また、新たな体験メニューとして、お客様がご自身でブレンドして作る「オリジナルハーブティー作り体験」にチャレンジして、売り上げアップを目指します。

香りのグッズや菓子類、ハーブティーやインテリア雑貨まで幅広い商品展開をします。

ガーデニング苗部門

お客様のニーズを把握し、需要に応じた商品の仕入れを行い、在庫管理（過剰在庫をしないなど）も含めた効率の良い販売をしていきます。

また、陳列やラッピングなどの付加価値を加え、販売促進をしていきます。

上記の取り組みなどにより、費用を抑えつつ昨年を上回る売り上げを目指します

ひるぜんベアバレースキー場

令和7年度は、営業開始日の12月27日から営業を開始し、3月1日までの56日間（中絶9日）の営業日数となりました。売上は6年度 79,093 千円から7年度 88,286 千円と +9,193 千円増（+11.62%）となりました。

今年度の計画としては安定的なグレンデ整備体制の構築のため、新たな圧雪車の購入、自動改札機のソフトシステムの更新、第1リフトの8.9号柱修繕、傾斜修正、戸の修理、スノーマットの設置を計画しています。スキースノーボード用品店との連携をして、リフト券の販売や集客イベントを積極的に実施していきます。

リフト、グレンデ部門

安全運航を第一目標に掲げて、リフトの保守管理、従事員の教育をしっかりと行い事故の無いようにしていきます。開業以来の無事故を継続するため、索道メーカーによる索道施設の年次点検をしていきます。市内の宿泊施設との連携で色々な宿泊プランを企画していきます。地域雇用対策として市内事業者からの人材派遣をお願いして人材の相互連携をしていきます。

レストラン部門

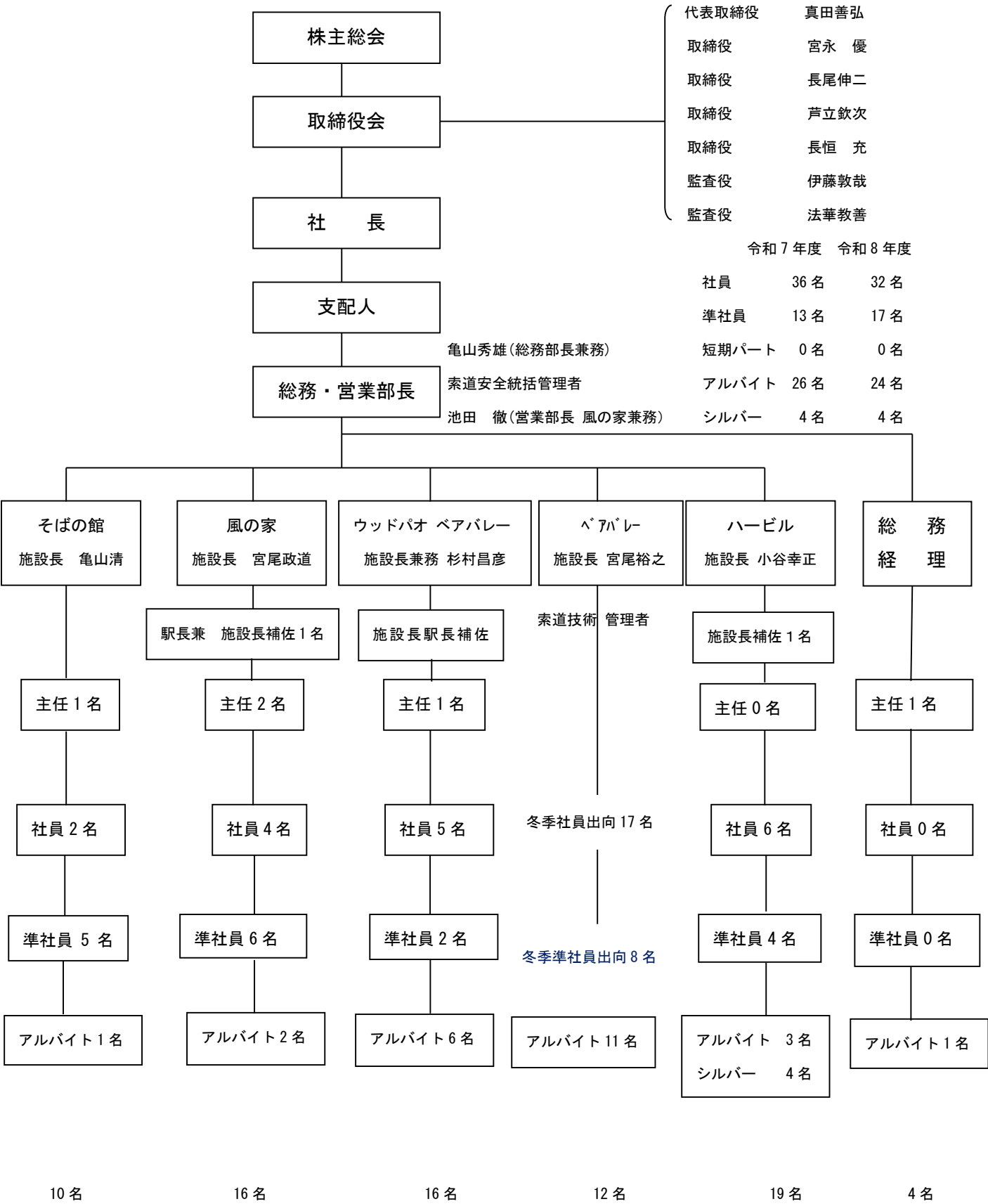
原材料や資材の高騰はありますが、お客様に利用しやすい価格で引続き提供していきます。新たなメニューを考案して、満足度を上げていきます。ショップでの手作り弁当やテイクアウト商品を販売していきます。ベアーズキャビン内での販売もおこないます。

その他

引き続き地域の皆様に信頼される会社となれるよう、全力で事業計画を達成して活性化に努めていきます。また、地域の事業者様と連携をすることで事業効果が真庭市全域に波及するような活動を推進していきます。

株式会社グリーンピア蒜山組織図

GREENPIA HIRUZEN CO., LTD.



第3号議案 令和8年度事業計画並びに予算（案）承認の件

令和8年度事業計画案

（単位 千円）

科目	R6年実績	R7年実績	達成率	R8年計画	R7年実績差	比率
PAO 食事	71,130	75,372	106.0%	74,000	-1,372	98.2%
酒	4,050	4,148	102.4%	4,000	-148	96.4%
喫茶	1,824	1,653	90.6%	1,700	47	102.8%
売店	23,236	21,864	94.1%	23,000	1,136	105.2%
ソフト	7,570	8,072	106.6%	8,000	-72	99.1%
自転車	1,212	1,635	134.9%	2,000	365	122.3%
加入金						
計	109,023	112,746	103.4%	112,700	-46	100.0%
風の家 食事	24,346	24,366	100.1%	24,500	134	100.5%
喫茶			0.0%			0.0%
売店	173,891	178,693	102.8%	180,000	1,307	100.7%
ソフト	18,955	21,943	115.8%	22,000	57	100.3%
野菜	75,122	76,731	102.1%	77,000	269	100.4%
計	292,315	301,734	103.2%	303,500	1,766	100.6%
そば 食事	58,723	65,293	111.2%	66,000	707	101.1%
酒	547	533	0.0%	600	67	112.6%
喫茶	25	79	0.0%	100	21	126.6%
売店	11,877	8,868	74.7%	13,000	4,132	146.6%
計	71,173	74,775	105.1%	79,700	4,925	106.6%
ハーブ 食事	14,920	12,955	86.8%	14,800	1,845	114.2%
酒	138	167	121.0%	200	33	119.8%
喫茶	10,173	9,845	96.8%	13,200	3,355	134.1%
売店	16,807	16,560	98.5%	18,000	1,440	108.7%
ソフト	3,705	3,607	97.4%	3,800	193	105.4%
苗	19,236	22,533	117.1%	25,000	2,467	110.9%
入場	12,624	13,756	109.0%	14,000	244	101.8%
計	77,606	79,426	102.3%	89,000	9,574	112.1%
スキー 食事	10,752	10,552	98.1%	11,000	448	104.2%
酒	286	287	100.3%	300	13	104.5%
喫茶	394	447	113.5%	500	53	111.9%
売店	3,565	3,205	89.9%	3,500	295	109.2%
ソフト	0	0	0.0%	0	0	0.0%
リフト入場	64,093	73,793	115.1%	70,000	-3,793	94.9%
計	79,093	88,286	111.6%	85,300	-2,986	96.6%
全社 食事	179,873	188,541	104.8%	190,300	1,759	100.9%
酒	5,022	5,136	102.3%	5,100	-36	99.3%
喫茶	12,418	12,026	96.8%	15,500	3,474	128.9%
売店	229,377	229,192	99.9%	237,500	8,308	103.6%
ソフト	30,231	33,622	111.2%	33,800	178	100.5%
野菜・苗	94,359	99,265	105.2%	102,000	2,735	102.8%
入場・リフト	77,930	89,185	114.4%	86,000	-3,185	96.4%
総合計	629,212	656,969	104.4%	670,200	13,231	102.0%

※1000円未満の端数は切り捨て表示しております。

損 益 計 画 書

(単位 円)

	R7年実績	R8年計画	増減	販売管理費	R7年度実績	R8年計画	増減
売上高	656,977,353	670,200,000	13,222,647	役員報酬	700,000	700,000	0
			0	給与	134,636,885	134,000,000	-636,885
売上原価	278,895,861	287,721,000	8,825,139	賃金	51,930,662	54,000,000	2,069,338
			0	法定福利費	27,756,635	27,800,000	43,365
売上総利益	378,081,492	382,479,000	4,397,508	福利厚生費	1,399,802	1,460,000	60,198
			0	退職金共済	7,226,000	7,400,000	174,000
販売管理費	369,802,762	376,282,564	6,479,802	接待交際費	401,316	400,000	-1,316
			0	広告宣伝費	1,499,519	1,500,000	481
営業利益	8,278,730	6,196,436	-2,082,294	荷造運賃	100,804	100,000	-804
受取利息	363,813	2,650,000	2,286,187	通信費	760,459	720,000	-40,459
貸倒引当金戻入益	6,000	0	-6,000	支払手数料	13,092,422	13,000,000	-92,422
受取配当金	400	400	0	業務委託費	454,850	1,000,000	545,150
雑収入	16,635,957	11,000,000	-5,635,957	消耗品費	19,677,927	21,000,000	1,322,073
営業外収益計	17,006,170	13,650,400	-3,355,770	図書教育費	302,470	300,000	-2,470
貸倒損失	6,189	0		旅費交通費	2,309,244	2,700,000	390,756
繰延資産償却	492,039	492,039	0	租税公課	25,018,220	25,000,000	-18,220
雑損失	50,097	10,000	-40,097	諸会費	935,560	940,000	4,440
固定資産廃棄損	1	0	-1	減価償却費	30,084,854	32,500,000	2,415,146
営業外費用計	548,326	502,039	-46,287	修繕費	8,152,302	7,000,000	-1,152,302
				損害保険料	744,210	750,000	5,790
経常利益	24,736,574	19,344,797	-5,391,777	水道光熱費	28,819,889	29,500,000	680,111
固定資産売却益	2,309,999	0		賃借料	2,392,564	2,392,564	0
前期損益修正益				車両関係費	5,150,658	5,500,000	349,342
特別利益	2,309,999	0	-2,309,999	環境衛生費	3,151,502	3,500,000	348,498
固定資産売却損				リース料	262,857	300,000	37,143
前期損益修正損				寄付金	146,000	150,000	4,000
特別損失	0	0	0	会議費	171,098	170,000	-1,098
				貸倒償却	0	0	0
法人税等	5,360,591	5,223,000	-137,591	雑費	2,524,053	2,500,000	-24,053
合 計	21,685,982	14,121,797	-7,564,185	合 計	369,802,762	376,282,564	6,479,802

第 4 号議案 取締役選任の件

取締役退任につき、取締役の選任をお願いしたいと存じます。

令和 7 年度 株式会社グリーンピア蒜山 役員名簿

役 職	氏 名	所 属
代表取締役	真田善弘	(B 地区選出委員)
取締役	宮永 優	(A 地区選出委員)
取締役	長尾伸二	(C 地区選出委員)
取締役	芦立欽次	(D 地区選出委員)
取締役	長恒 充	(蒜山酪農農業協同組合)
監査役	伊藤敦哉	(真庭市副市長)
監査役	法華教善	(会計経験委員)

令和 8 年度株式会社グリーンピア蒜山 役員名簿 (案)

役 職	氏 名	所 属
代表取締役	長尾伸二	(C 地区選出委員)
取締役	宮永 優	(A 地区選出委員)
取締役	清水義文	(B 地区選出委員)
取締役	芦立欽次	(D 地区選出委員)
取締役	長恒 充	(蒜山酪農農業協同組合)
監査役	伊藤敦哉	(真庭市副市長)
監査役	法華教善	(会計経験委員)

令和8年6月6日

株式会社グリーンピア蒜山株主名簿

株主名	代表ブロック	代表者名	株数
真庭市	行政	太田 昇	480 株
蒜山酪農農業協同組合	企業	長恒 充	20 株
大森部落	Aブロック	蔵富弘志	7 株
茅部野東部落	Aブロック	萩原雅志	5 株
栗住部落	Aブロック	石賀茂夫	10 株
黒岩部落	Aブロック	宮永 優	7 株
間谷部落	Aブロック	亀山恵治	7 株
笠木部落	Aブロック	池田高吉	6 株
茅部野西部落	Aブロック	砂村 敏	7 株
茅部部落	Aブロック	西田演男	9 株
大蛇・社田部落	Bブロック	戸田英正	11 株
田部・下郷原部落	Bブロック	清水義文	9 株
郷原下部落	Bブロック	池田 昇	9 株
郷原上部落	Bブロック	長尾昭二	8 株
南田部落	Bブロック	浅原一夫	5 株
熊谷部落	Bブロック	長尾憲司	5 株
白髪部落	Cブロック	筒井一行	6 株
山根田部落	Cブロック	長尾 覚	4 株
天王部落	Cブロック	長尾伸二	6 株
延助上部落	Cブロック	福富昭吾	8 株
延助下部落	Cブロック	延本貞明	7 株
中原部落	Cブロック	中村 完	7 株
宗利部落	Cブロック	多久間都男	6 株
徳山部落	Cブロック	久保田宗夫	12 株
苗代部落	Cブロック	大江佑介	7 株
正富部落	Dブロック	正富 靖	8 株
鍛冶屋部落	Dブロック	葛尾俊昭	21 株
小原部落	Dブロック	下平直勲	6 株
堂の前部落・堂の上部落	Dブロック	三船泉宏	12 株
湯船・上湯船・第2湯船部落	Dブロック	芦立欽次	10 株
合計	1株券面 50,000 円		725 株

令和8年度

法人の経営状況を説明する書類

株式会社 グリーンス

令和8年度 定時株主総会資料

株式会社グリーنز

令和8年度
定時株主総会

1 目的事項

第1号議案 決算報告書の承認に関する件

第2号議案 令和8年度事業計画並びに予算案承認の件

第3号議案 役員改選の件

その他

第1号議案 決算報告書の承認について

第6期（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）の計算書類を、
別添のとおり提出いたします。

計算書類

- ・貸借対照表
- ・損益計算書
- ・株主資本等変動計算書
- ・個別注記表

株式会社グリーンズ
代表取締役 石賀 幹浩

第 6 期

決 算 報 告 書

令和 7 年 4 月 1 日 から
令和 8 年 3 月 3 1 日 まで

株 式 会 社 グ リ ー ン ズ
(法 人 番 号 :8260001035111)

貸借対照表

商号 株式会社 グリーنز

代表者 石賀 幹浩

令和 8 年 3 月 31 日 現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流動資産	(27,229,969)	I 流動負債	(6,585,738)
現金及び預金	16,286,938	支払掛金	2,141,689
掛金	5,172,949	未払掛金	848,544
卸払収	5,022,844	未払法人税等	2,433,505
未立仮	426,346	未払消費税	581,900
	26,782	未払人費	559,500
	47,470	未払り	20,600
	246,640		
II 固定資産	(213,334)	II 固定負債	(6,568,000)
有形固定資産	(0)	長期借入金	6,568,000
無形固定資産	(0)		
投資その他の資産	(213,334)	負債の部合計	13,153,738
長期前払費用	213,334	(純資産の部)	
		I 株主資本	(14,289,565)
		1. 資本金	5,000,000
		2. 資本剰余金	(0)
		3. 利益剰余金	(9,289,565)
		(1) その他利益剰余金	(9,289,565)
		繰越利益剰余金	9,289,565
		II 評価・換算差額等	(0)
III 繰延資産	(0)	III 新株予約権	(0)
資産の部合計	27,443,303	純資産の部合計	14,289,565
		負債・純資産の部合計	27,443,303

損 益 計 算 書

商号 株式会社 グリーンス

令和 7 年 4 月 1 日 から
令和 8 年 3 月 31 日まで

(単位:円)

科 目		金 額		
I	売上高 売上 指定管理受託収入 ミュージアム業務受託収入 アクティビティ等手数料	21,653,199 10,731,816 8,617,401 66,001	41,068,417	41,068,417
II	売上原価 期首棚仕卸 商受託業務費 合他勘定振替 期売上総卸利	16,168,478 1,766,038	3,454,483 17,934,516 21,388,999 600 5,022,844	16,365,555 24,702,862
III	販売費及び一般管理費 販売費及び一般管理費		24,023,402	24,023,402
IV	営業外収入 受取手利 販賣貸付手数料 雑収入		36,981 369,018 19,090 193,182 1,999,856	2,618,127
V	営業外費用 支払損 雑損失		102,885 4,822	107,707
経常	経常利益			3,189,880
VI	特別利益		0	0
VII	特別損失		0	0
税引前当期純利益				3,189,880
法人税、住民税及び事業税			786,300	786,300
当期純利益				2,403,580

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額
雑費	1,250,550
旅費	104,277
広告費	83,740
発送手数料	242,507
支払業定	594,346
従業員福利	10,368,900
厚生繕具	1,969,300
事務用品	2,252,688
通信光熱	192,181
水道税	47,511
租税	68,624
接待	66,681
保険	3,831,848
備品消耗品	6,963
衛生会料	13,909
燃業	66,620
研雑	224,941
合	107,571
	56,250
	4,476
	2,428,610
	909
	40,000
計	24,023,402

棚卸資産の計算内訳

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額
商品	5,022,844
合 計	5,022,844

株主資本等変動計算書

商号 株式会社 グリーنز

令和 7 年 4 月 1 日から
令和 8 年 3 月 31 日まで
(単位:円)

I 株 主 資 本			
1. 資 本 金			
	当期首残高		5,000,000
	当期変動額		0
	当期末残高		5,000,000
2. 利 益 剰 余 金			
(1) その他利益剰余金			
繰越利益剰余金			
	当期首残高		6,885,985
	当期変動額		
	当期純利益	2,403,580	2,403,580
	当期末残高		9,289,565
その他利益剰余金合計			
	当期首残高		6,885,985
	当期変動額		
	当期純利益	2,403,580	2,403,580
	当期末残高		9,289,565
株 主 資 本 合 計			
	当期首残高		11,885,985
	当期変動額		
	当期純利益	2,403,580	2,403,580
	当期末残高		14,289,565
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		0
III 新 株 予 約 権			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		0
純 資 産 の 部 合 計			
	当期首残高		11,885,985
	当期変動額		
	当期純利益	2,403,580	2,403,580
	当期末残高		14,289,565

個別注記表

令和 7 年 4 月 1 日から
令和 8 年 3 月 31 日まで

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による原価法を採用しております。
2. 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

III. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数 100株

IV. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、142,896.65円であります。
2. 一株当たり当期純利益は、24,035.80円であります。

以 上

監 査 報 告 書

株式会社グリーンズ

代表取締役 石賀 幹浩 様

私ども監査役は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの第6期事業年度の株式会社グリーンズの財務並びに業務の執行状況を監査した結果、会計書類、および帳簿は適正かつ正確に整理されており、会計法規に適合した良好な経理が執行されていると認めます。

令和8年6月12日

監査役

亀 山 秀 雄



第2号議案 令和8年度事業計画並びに予算（案）承認の件

別添のとおり。

株式会社グリーンス
代表取締役 石賀 幹浩

令和8年度 自主事業収支明細書

管 理 施 設 名 :		真庭市緑山観光文化発信拠点施設		会 社 名 :	株式会社グリーンズ
作 成 種 別 :		事業計画書用		作 成 者 :	石賀 幹浩

区分	費目名	金額(円)	内容及び積算根拠
収入区分	利用料金	CLTパビリオン使用料	240,000
		サイクリング使用料	862,000
		物販収入	26,000,000
			0
			0
			0
	指定管理料	真庭市	15,328,000
	業務委託収入	真庭市	7,649,400
	その他収入	共益費等	1,731,278
	自主事業充当額	自主事業から充当	0
収入合計(A)		51,810,678	

区分	費目名	金額(円)	内容及び積算根拠
支出区分	人件費	給与	13,416,915 社員5名充当
		賞与	1,617,388 社員5名充当
		扶養手当	180,000
		通勤交通費	174,000
		法定福利費	2,695,184
		厚生費	55,000
			0
			0
	その他		0
	人件費計	18,138,487	
	事務費	消耗品費	1,016,244 施設消耗品費
		広告宣伝費	280,000 チラシ・インターネット広告費等(作製費含む)
		通信費	100,000 電話代・インターネット接続料
		出張旅費	400,000
		諸会費	101,375 商工会会費・観光局・観光協会・しんきんカード会費
		保険料	104,310 施設損害保険(サイクリング損害保険50,000円含む)
		支払手数料	671,538 クレジット手数料・銀行振込手数料
		研修費	200,000
	その他		0
	事務費計	2,873,467	
	管理費	水道光熱費	4,550,000 電気代・水道・下水道
		燃料費	230,000 除雪車ガソリン代
		修繕費	550,000 施設修繕費・自転車修繕費・手数料
		管理委託費	3,132,288 セコム・消防設備等保安管理・中国電気保安協会・エレベーター点検・会計事務所費・自転車保管
		衛生費	202,678 グスキン等
		リース料①	270,000 除雪機
		リース料②	600,000 車両リース料
		本社経費	0
	その他		0
	管理費計	9,534,966	
	その他	租税公課費	17,010,118 1,700万(商品購入費)
		減価償却費	98,853
		支払利息等	1,337,328
		法人税等	484,700
		雑損失(値下げ)	15,311
		消費税	2,000,000
		発送配達費	317,448
	その他		0
	その他計	21,263,758	
支出合計(B)		51,810,678	

差引(A)-(B) (C)	0
本来事業充当金(D)	
自主事業収益(C)-(D)	0

[必ず、税込金額で入力のこと]

第3号議案 役員改選の件

現任役員のうち、真田善弘氏のご逝去及び植木啓司氏の役職変更に伴う退任により、下記のとおり新たに役員の選任をお願いするものであります。

つきましては、各候補者についてご審議のうえ、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

記

【取締役候補者】

取締役 長尾 伸二 (新任)

取締役 本守 一生 (新任)

なお、各候補者の任期は、定款の定めにより、前任者の残任期間といたします。

以上

株式会社グリーンス
代表取締役 石賀 幹浩

役員改選

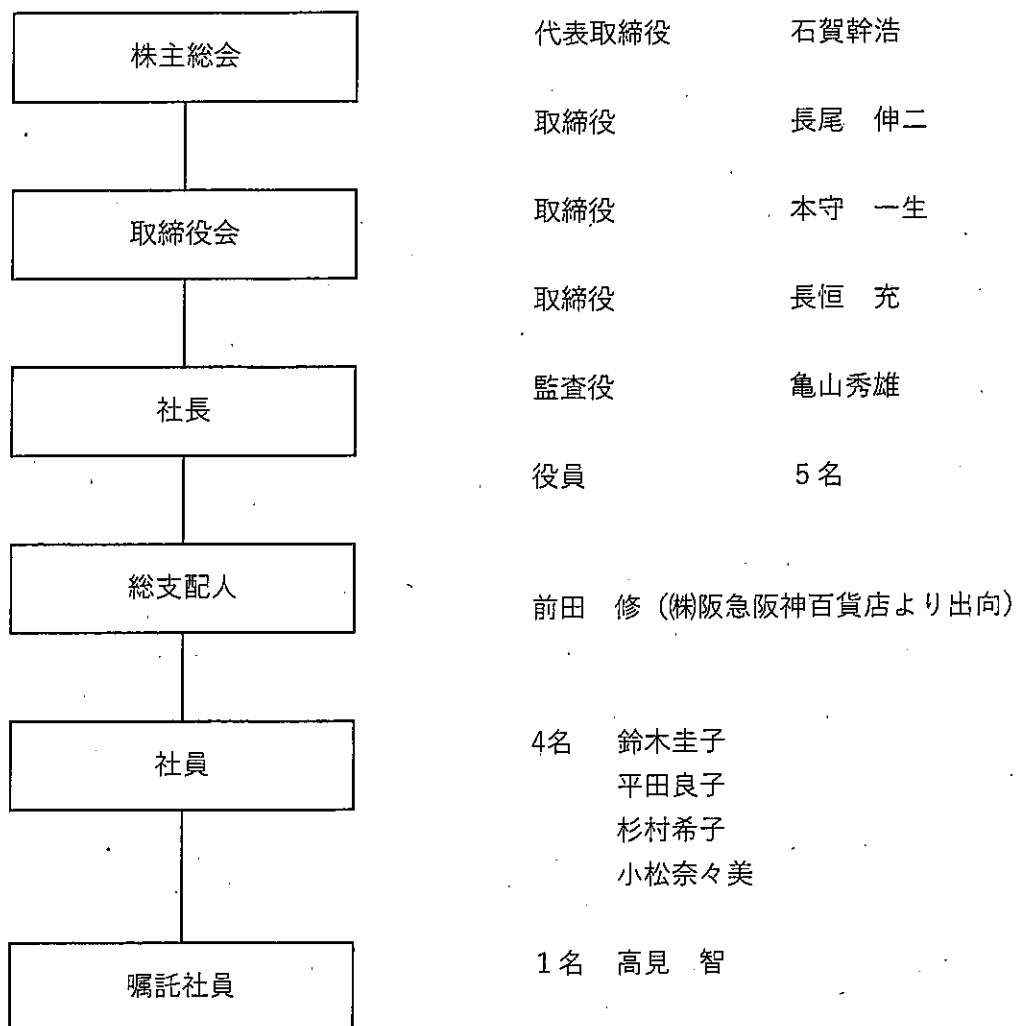
現 役 員	
代表取締役	石賀幹浩
取締役	真田善弘
取締役	植木啓司
取締役	長恒 充

新 役 員	
代表取締役	石賀幹浩
取締役	長尾伸二 新任
取締役	本守一生 新任
取締役	長恒 充

株 主 名 簿

株主名	株数
岡山県真庭市蒜山上長田1205-197 株式会社ヒルゼン高原センター	40 株
真庭市	15 株
岡山県真庭市蒜山上徳山1380番地6 株式会社グリーンピア蒜山	15 株
岡山県真庭市蒜山福田1205番地32 ひるぜんワイン有限公司	15 株
蒜山酪農農業協同組合	15 株
合計	100 株

株式会社グリーنز 組織図（令和8年6月現在）



令和8年度

法人の経営状況を説明する書類

まにわっと電力 株式会社

第 1 期

決 算 報 告 書

令和 7 年 8 月 5 日から

令和 8 年 3 月 3 1 日まで

◁

ま に わ っ と 電 力 株 式 会 社
(法人番号:9260001040449)

事業報告書

(令和7年8月5日から令和8年3月31日まで)

(1) 現況に関する事項

【概況】

日本国内において、電力価格については、本期間は総じて安定・低位で推移したものの、需給逼迫時には急騰するなど変動性も高く、特にLNG価格の影響を受け短期的な振れ幅が大きい状況でした。さらに令和8年2月末から3月にかけての中東情勢の悪化によりホルムズ海峡が事実上封鎖され、原油・LNG輸送の停滞を通じてエネルギー価格の上昇を招くなど、世界の電力市場にも大きな影響を与えました。

【事業の経過及び成果】

このような不安定な情勢の中にあって、当社は、令和7年8月5日に、電力取引によって得た利益を地域のため及び脱炭素の取組推進のために活用することを目的として、真庭市及び市内業者を中心とする9社の出資によって設立されました。

当年度成果として、11事業所20事業個所と契約し給電をすることができ、売上高179,557千円、商品仕入高は175,738千円となり、その結果、売上総利益は、3,819千円となりました。販売費および一般管理費1,867千円、法人税等を引き当てた結果、事業開始年度でありながら、当期純利益1,439千円を計上することができました。

【設備及び資金の状況】

社用車 ホンダN VANを1台 891千円を購入しました。

事務用パソコン HP ノートPCを1台 275千円を購入しました。

【今後当社が取り組むべき事項】

事業初年度である当期におきましては、弊社の企業理念を理解していただける市内の大口高圧電力需要家様との契約を獲得し、収益の増加を目指してまいりました。その結果、売上・利益共に予想を上回り、黒字決算とすることが出来ました。来期におきましては、当期の実績を踏まえ、引き続き市内の高圧需要家への営業活動を推進するとともに、市の低圧公共施設へバイオマス発電の電力供給ができるよう関係機関との調整を進めてまいります。

(2) 事業別売上高

事業区分	金額	構成比
電力小売事業の取次	179,557,579 円	100%
計	179,557,579 円	100%

(3) 業績および財産の状況

区分	第 1 期
売上高	179,557,579 円
経常利益	2,000,495 円
当期純利益	1,439,158 円
1 株あたりの当期純利益	359 円
純資産	41,439,158 円
総資産	113,946,432 円

会社の現状

(1) 株式の現状

① 会社が発行する株式の総数	10,000 株
② 発行済株式の総数	4,000 株
③ 当期末株主数	10 名
④ 株主	

株主の名前	所有株式数 (株)	割合 (%)
真庭市	2,040	51
テス・エンジニアリング株式会社	360	9
有限会社エコライフ商友	200	5
昭和化学工業株式会社	200	5
株式会社ちゅうぎんエナジー	200	5
真庭環境衛生管理株式会社	200	5
真庭木材市売株式会社	200	5
真庭木材事業協同組合	200	5
山縣電機工業株式会社	200	5
ワイテック工業株式会社	200	5
合計	4,000	100

(2) 従業員の状況

区分	従業員数	平均勤続年数
男子	1 人	1 年
女子	0 人	-
計	1 人	1 年

(3) 事務所

名 称	所 在 地
まにわっと電力株式会社	岡山県真庭市中島 143 番地

(4) 役員等

役 職	氏 名
代表取締役	建井 輝子
監査役	山本 美智夫
顧問	津風呂 雅彦

会社の沿革

令和 7 年(2025 年) 8 月 まにわつと電力株式会社 設立

令和 8 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流 動 資 産 (	113,493,664)	I 流 動 負 債 (	72,507,274)
現金 及 び 預 金	74,876,604	買 掛 金	71,722,957
売 掛 金	38,848,190	未 払 金	51,317
前 払 費 用	1,870	未 払 法 人 税 等	553,900
貸 倒 引 当 金	△ 233,000	未 払 消 費 税 等	179,100
II 固 定 資 産 (	452,768)	II 固 定 負 債 (	0)
有形 固 定 資 産 (	445,258)		
車 両 運 搬 具	445,258		
無 形 固 定 資 産 (	0)	負 債 の 部 合 計	72,507,274
投 資 そ の 他 の 資 産 (	7,510)	(純 資 産 の 部)	
長 期 前 払 費 用	7,510	I 株 主 資 本 (	41,439,158)
		1. 資 本 金	40,000,000
		2. 資 本 剰 余 金 (	0)
		3. 利 益 剰 余 金 (	1,439,158)
		(1) そ の 他 利 益 剰 余 金 (	1,439,158)
		繰 越 利 益 剰 余 金	1,439,158
		II 評 価 ・ 換 算 差 額 等 (	0)
III 繰 延 資 産 (	0)	III 新 株 予 約 権 (	0)
資 産 の 部 合 計	113,946,432	純 資 産 の 部 合 計	41,439,158
		負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	113,946,432

(単位：円)

科 目				金 額		
I	売 上 高	売 上 高		179,557,579	179,557,579	179,557,579
II	売 上 原 価	期 首 棚 卸 高	商 品 仕 入 高 計	175,738,396	0 175,738,396	
	合 期 末 棚 卸 利 益				175,738,396 0	175,738,396
III	販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	営 業 利 益		1,867,252	1,867,252
IV	営 業 外 収 益	受 取 利 息			48,564	48,564
V	営 業 外 費 用	営 業 外 費 用			0	0
	経 常 利 益					2,000,495
VI	特 別 利 益	特 別 利 益			0	0
VII	特 別 損 失	特 別 損 失			0	0
	税 引 前 当 期 純 利 益					2,000,495
	法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税				561,337	561,337
	当 期 純 利 益					1,439,158

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 7 年 8 月 5日から
令和 8 年 3 月 31日まで

(単位：円)

科 目					金 額
広 告 宣 伝 費					31,750
厚 生 費					50,883
減 価 却 費					720,702
事 務 品 費					107,170
通 信 費					95,570
租 税 公 課					182,300
寄 付 金					1,000
接 待 交 際 費					4,000
保 険 料					39,455
消 耗 品 費					249,454
車 両 費					39,943
旅 交 通 費					29,220
支 払 手 数 料					29,095
諸 会 費					5,000
貸 倒 引 当 金 繰 入					233,000
雑 費					48,710
合 計					1,867,252

◁

株主資本等変動計算書

令和 7 年 8 月 5日から

令和 8 年 3 月 31日まで

(単位：円)

I 株主資本

1. 資本金

当期首残高		0
当期変動額		
新株の発行	40,000,000	40,000,000
当期末残高		40,000,000

2. 利益剰余金

(1) その他利益剰余金

繰越利益剰余金

当期首残高		0
当期変動額		
当期純利益	1,439,158	1,439,158
当期末残高		1,439,158

その他利益剰余金合計

当期首残高		0
当期変動額		
当期純利益	1,439,158	1,439,158
当期末残高		1,439,158

株主資本合計

当期首残高		0
当期変動額		
新株の発行	40,000,000	
当期純利益	1,439,158	41,439,158
当期末残高		41,439,158

II 評価・換算差額等

当期首残高		0
当期変動額		0
当期末残高		0

III 新株予約権

当期首残高		0
当期変動額		0
当期末残高		0

純資産の部合計

当期首残高		0
当期変動額		
新株の発行	40,000,000	
当期純利益	1,439,158	41,439,158
当期末残高		41,439,158

◁

個 別 注 記 表

令和 7 年 8 月 5 日から
令和 8 年 3 月 31 日まで

Ⅰ. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しております。

2. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

Ⅱ. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額

445,702円

Ⅲ. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数

4,000株

Ⅳ. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、10,359.78円であります。

2. 一株当たり当期純利益は、359.78円であります。

以 上

監査報告書

まにわっと電力株式会社の第1期事業年度（自 令和7年8月5日 至 令和8年3月31日）における取締役の職務の執行を監査いたしました。

その方法及び結果につき、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

取締役からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めるとともに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書及びこれらの附属明細書）について監査いたしました。

2. 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和 8 年 5 月 25 日

まにわっと電力株式会社

監査役 山本 美智夫

